

表紙共 4 枚

配布先	
東電殿	1
社内	1
合計	2

東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所  
水処理運営部  
水処理運営第三グループ殿

調達番号:601539010120-0078-3603-31001

福島第一原子力発電所

## 業務実施報告書

系統名: \_\_\_\_\_

機器名: \_\_\_\_\_

G.M	メンバー

品質保証担当
2016.3.22

(件名)  1F-1~4号機 フランジタンク点検 保守委託	工事番号	承認
	P15-1633A	2016.3.22
	図書番号	審査
	16MZ79-03	2016.3.22 2016.3.22
	整理番号	作成
	7	2016.3.22

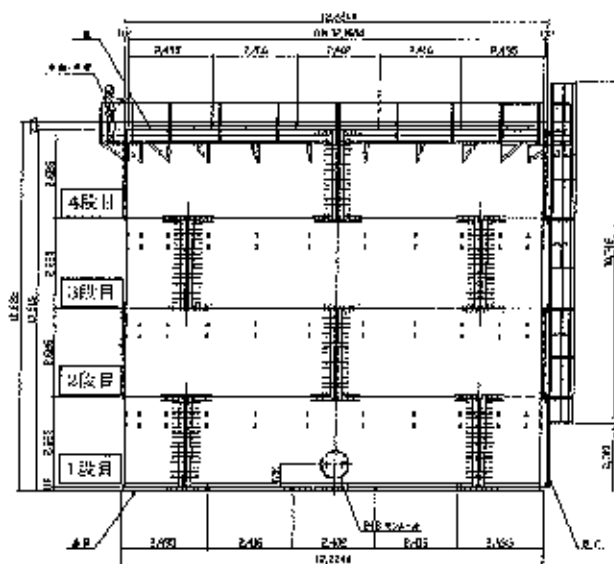
放管	主技	担当
2018.3.14	2016.3.14	2016.3.14
( 1/2 )		

# 放射線管理記録 B エリア全 2 0 基

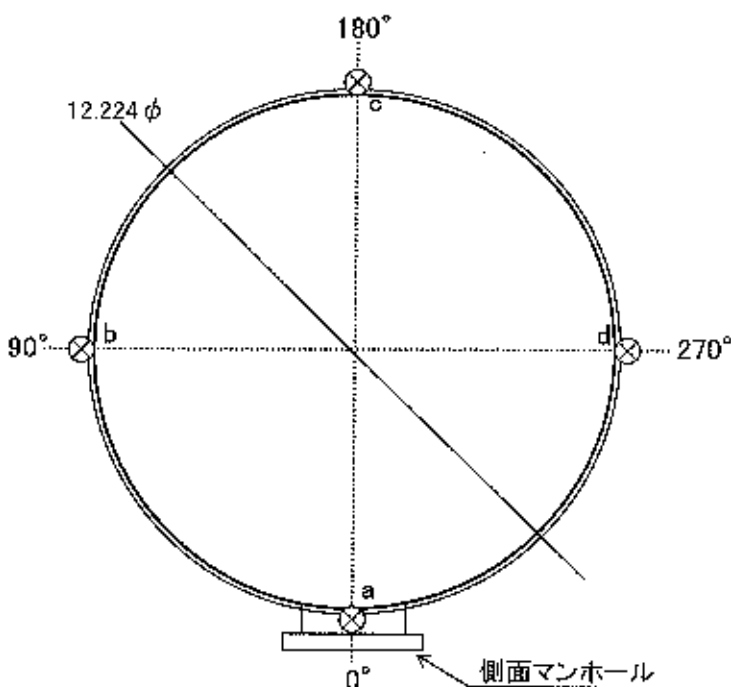
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託	測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( B-A1 円筒フランジタンク、側面マンホール )	測定器	F1-ICW-152 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 16 日 10 時 50 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後
		MW	停止後
			日
防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アタッチ(上, 下), マスク(全面・フット)		

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



Bエリア A1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

放 管	主 技	担 当
2016.3.14	2016.3.14	2016.3.14
		2/2

## 放射線管理記録Bエリア全20基

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> γ <input type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> Lダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)	

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

### BエリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

単位 (mSV/m)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	A1	a (0° 側)	γ線	0.017
			β γ線	0.017
		b (90° 側)	γ線	0.033
			β γ線	0.035
		c (180° 側)	γ線	0.027
			β γ線	0.027
		d (270° 側)	γ線	0.019
			β γ線	0.026
	側面マンホール	γ線	0.014	
		β γ線	0.016	
測定時間	10:50~11:00			
タンク内水位	水計不良			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

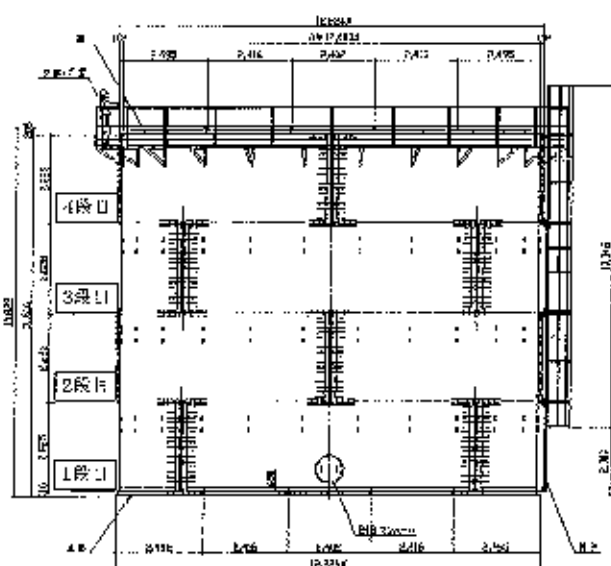
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

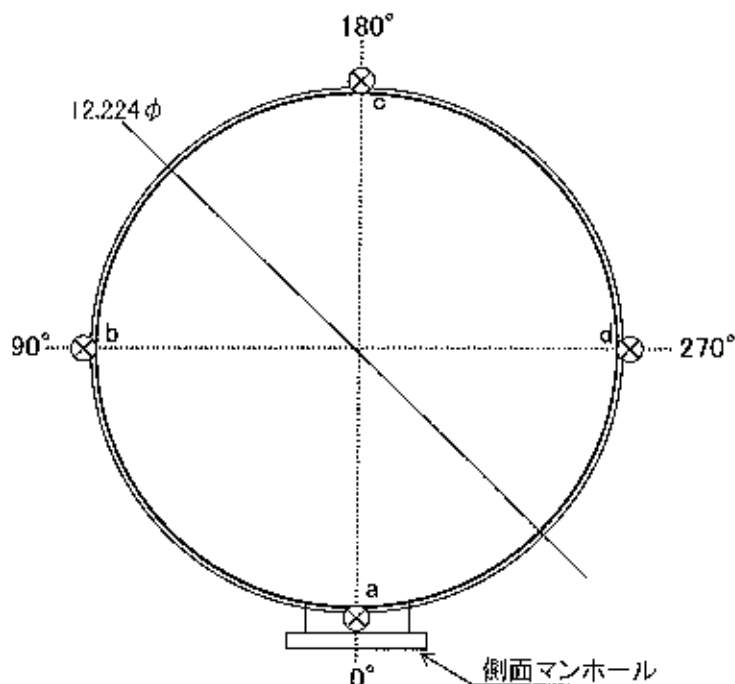
作業件名		1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Bエリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( B・A2 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-152 F1-ICWBL-62
測定日時		平成 27 年 11 月 16 日 10 時 40 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライカ(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Bエリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服 - A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## BエリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.018
			$\beta \gamma$ 線	0.019
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.025
			$\beta \gamma$ 線	0.025
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.035
			$\beta \gamma$ 線	0.035
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.025
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.017	
$\beta \gamma$ 線		0.017		
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

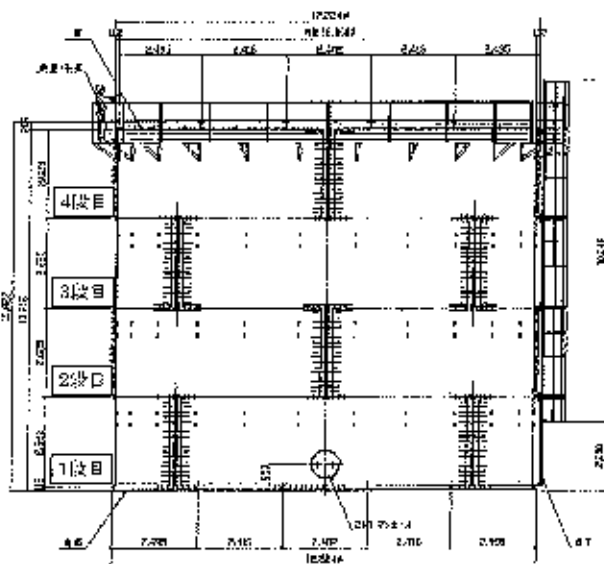
# 放射線管理記録

( 1/2 )

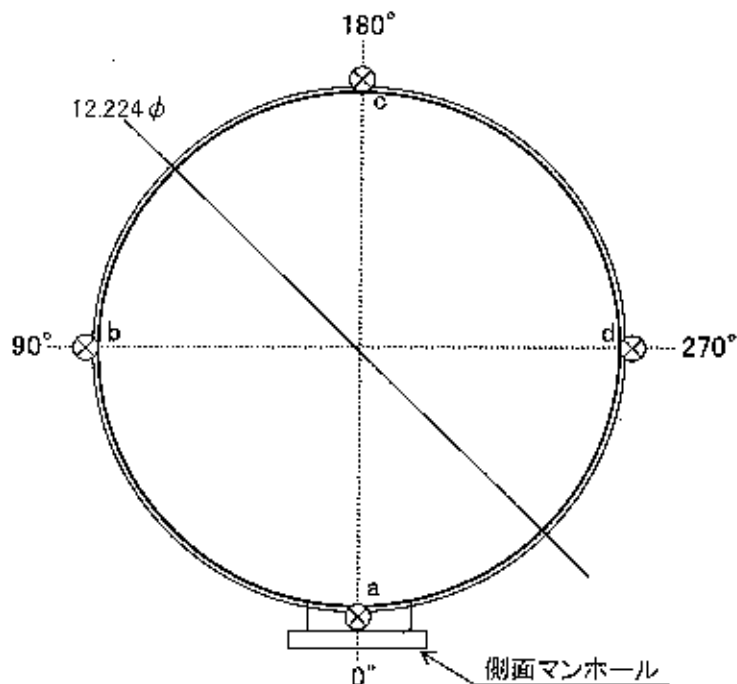
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( B-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-152 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 16 日 10 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (参照)



Bエリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## { 2/2 }

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## 單位 (mSv/h)

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0°・90°・180°・270°側面マンホール(最下部)を記載しました。

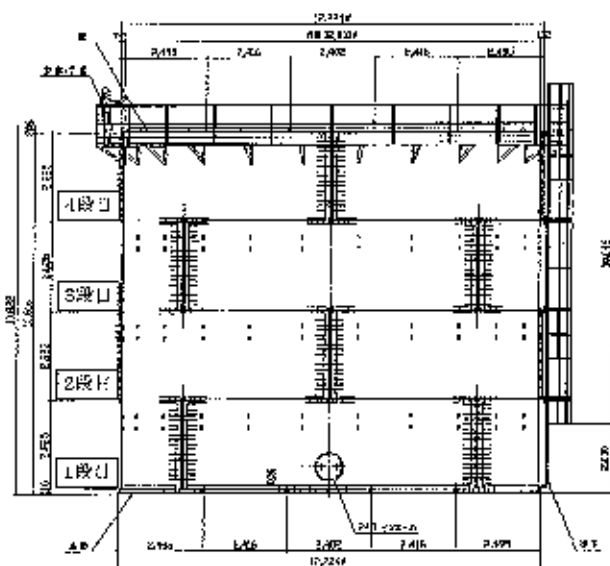
# 放射線管理記録

( 1/2 )

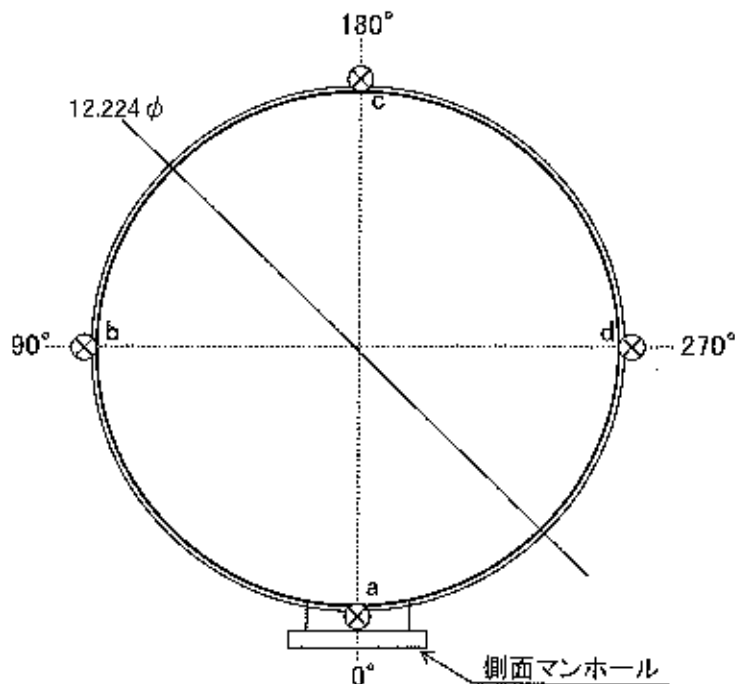
作業件名	1F--1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( B-A4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-152 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 16 日 10 時 20 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック 7/ラック(上) (下), マスク(全顔・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円型タンク 立面図, Scale



Bエリア A4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
防護装備						一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	A4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.029
			$\beta \gamma$ 線	0.029
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.018
			$\beta \gamma$ 線	0.022
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.012
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.010		
	$\beta \gamma$ 線	0.013		
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

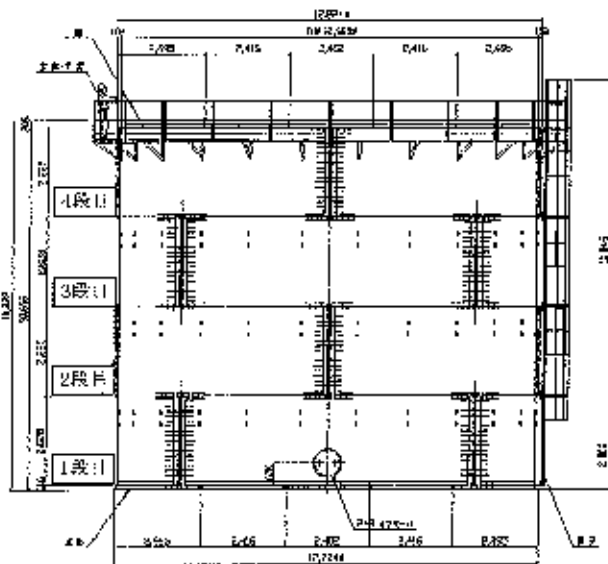
# 放射線管理記録

( 1/2 )

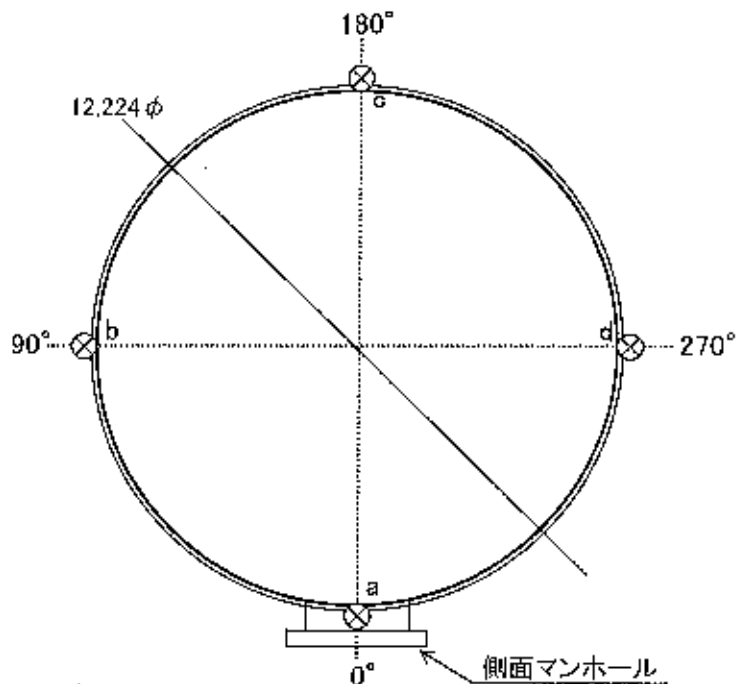
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Bエリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( B-A5 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-152 F1-ICWBL-62
測定日時		平成 27 年 11 月 16 日 10 時 10 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アブラカ(上), (下), マスク(全面・フット)
コード	番号	出力	MW 停止後	日	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (参照)



Bエリア A5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック フック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント  
(Bq/cm<sup>2</sup>)

## BエリアA5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	A5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.019
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.019
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.010	
$\beta \gamma$ 線		0.026		
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

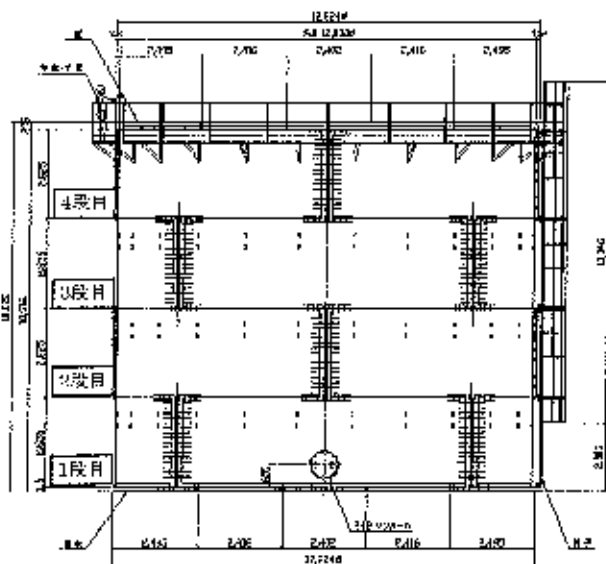
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

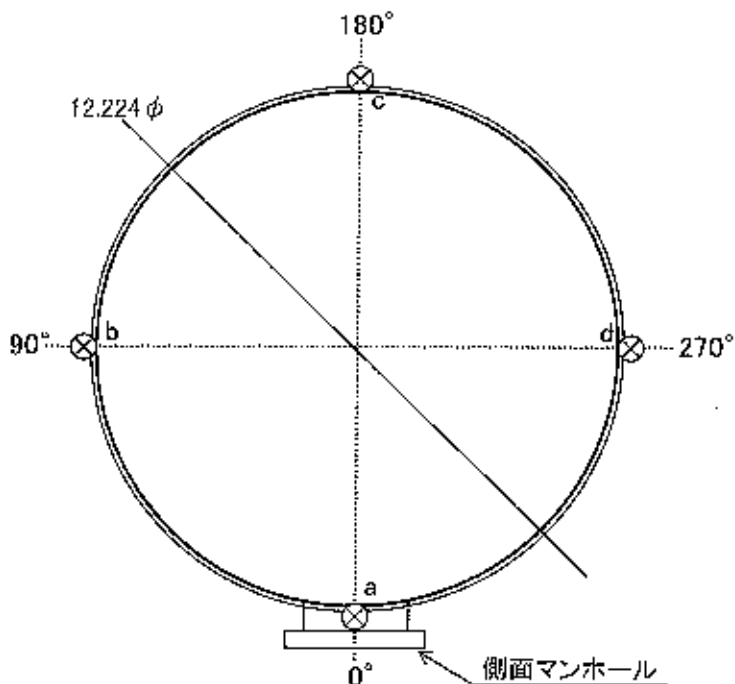
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( B-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-031
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 26 日 8 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライナー(上, 下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 1/200mm



Bエリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW 停止後	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	B1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.019
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.021
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.014
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.015
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.016
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.015	
$\beta$ $\gamma$ 線		0.018		
測定時間	8:40~8:50			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

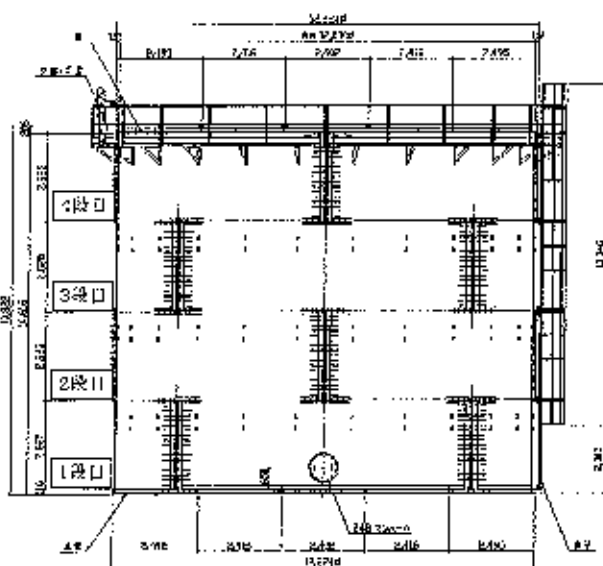
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

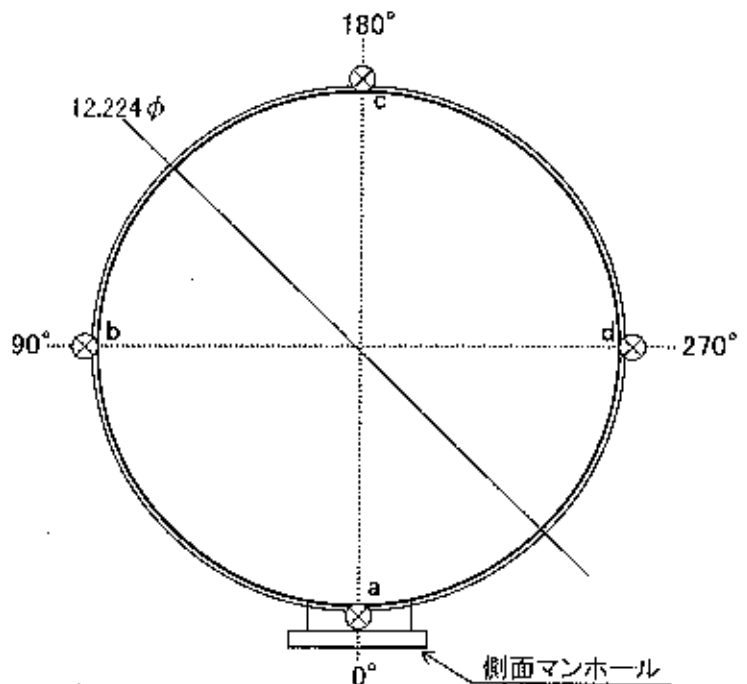
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (B-2 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 24 日 11 時 20 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Bエリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名					測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接				
測定場所					コ	#/B	F	L	測定者
作業内容 (測定目的)					ジョ				測定器
測定日時 平成 年 月 日 時 分					区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D				
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)			

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.012
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.013	
$\beta \gamma$ 線		0.017		
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

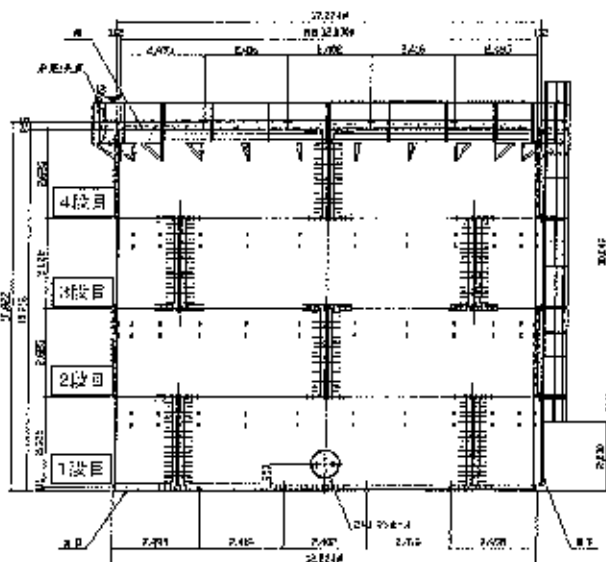
# 放射線管理記録

( 1/2 )

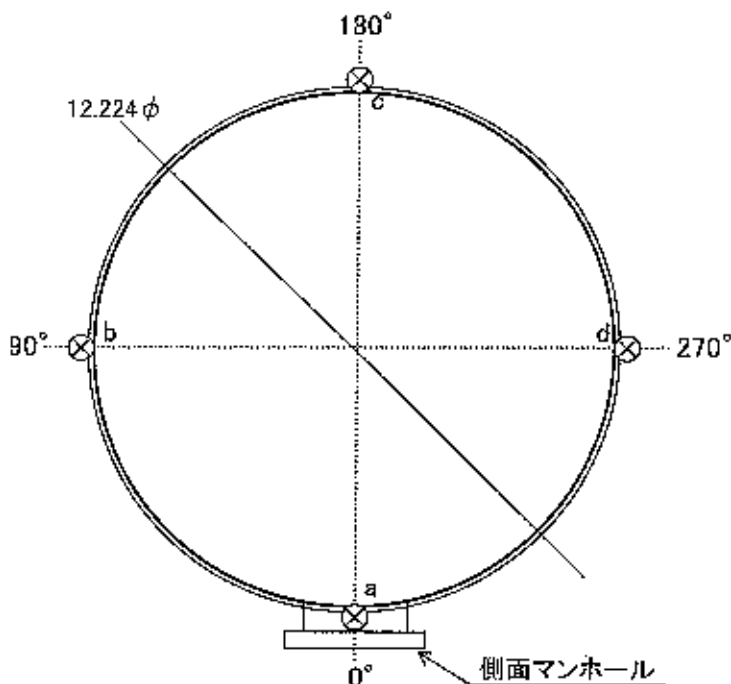
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( B-B3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 24 日 10 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上), (下), マスク(全商・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (参考図)



Bエリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	B3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.014
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.011
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.018
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.011
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.011	
$\beta$ $\gamma$ 線		0.014		
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

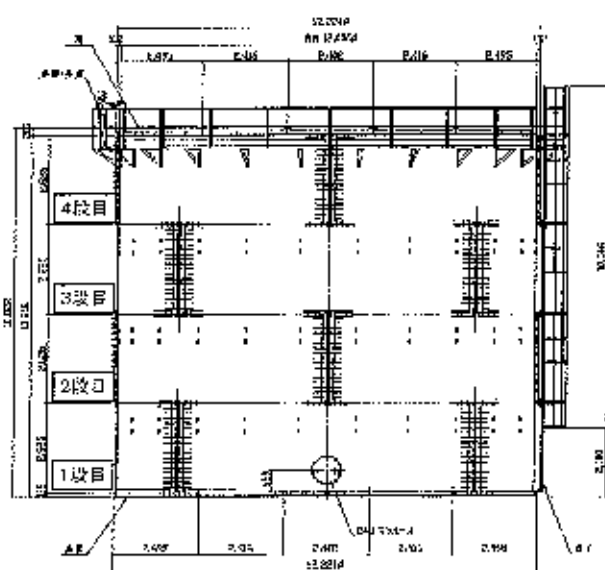
# 放射線管理記録

( 1/2 )

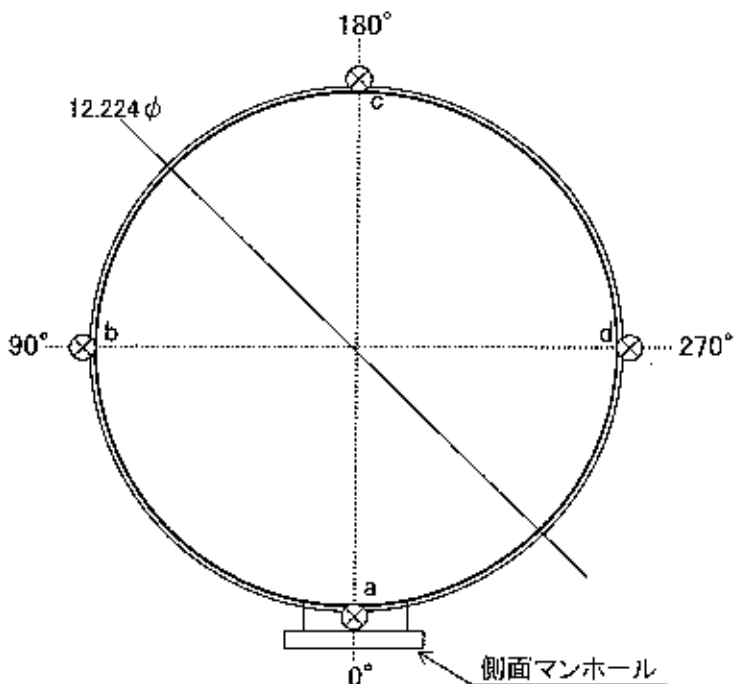
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( B-B4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 24 日 10 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アラック (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク立面図 (mm)



Bエリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン テ ナ ー	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ ン テ ナ ー			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定器	
区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D			
防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)			
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ( )：スミアポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>)

△：ダストポイント  
(Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位: (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	B4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.017
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.013
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.013		
	$\beta \gamma$ 線	0.014		
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

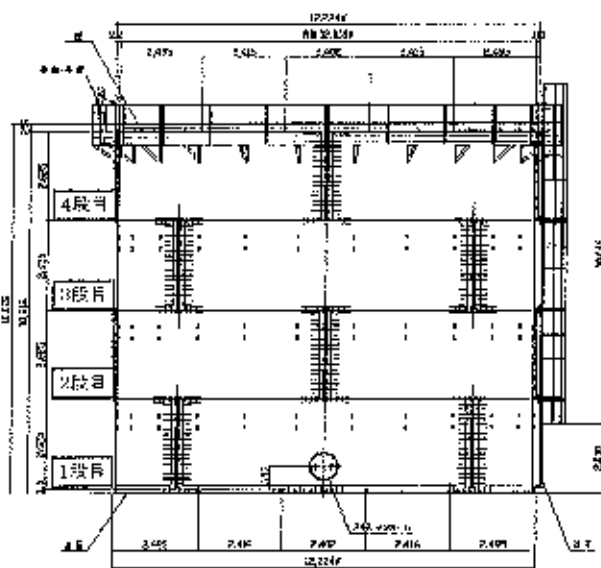
# 放射線管理記録

( 1/2 )

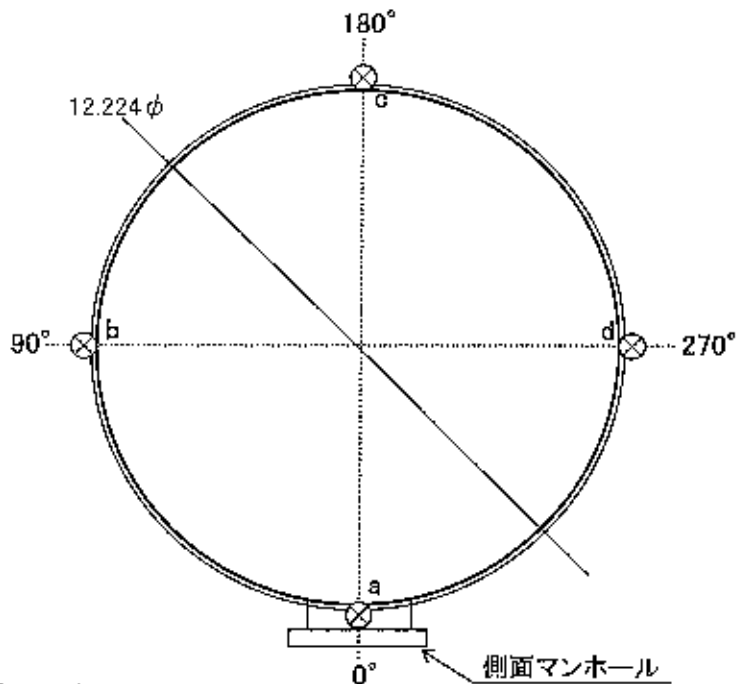
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( B-B5 内筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 24 日 10 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アブラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

出型タンク 立面図 (1/2/24)



Bエリア B5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
区域区分						線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
防護装備						一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック 7/ツタ(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	B5	a (0° 側)	γ 線	0.009
			β γ 線	0.009
		b (90° 側)	γ 線	0.011
			β γ 線	0.011
		c (180° 側)	γ 線	0.013
			β γ 線	0.015
		d (270° 側)	γ 線	0.007
			β γ 線	0.009
側面マンホール	γ 線	0.009		
	β γ 線	0.011		
測定時間	10:50～11:00			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

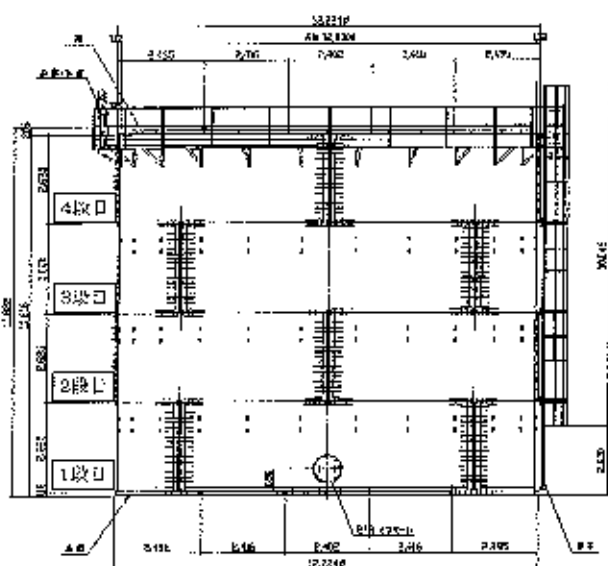
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

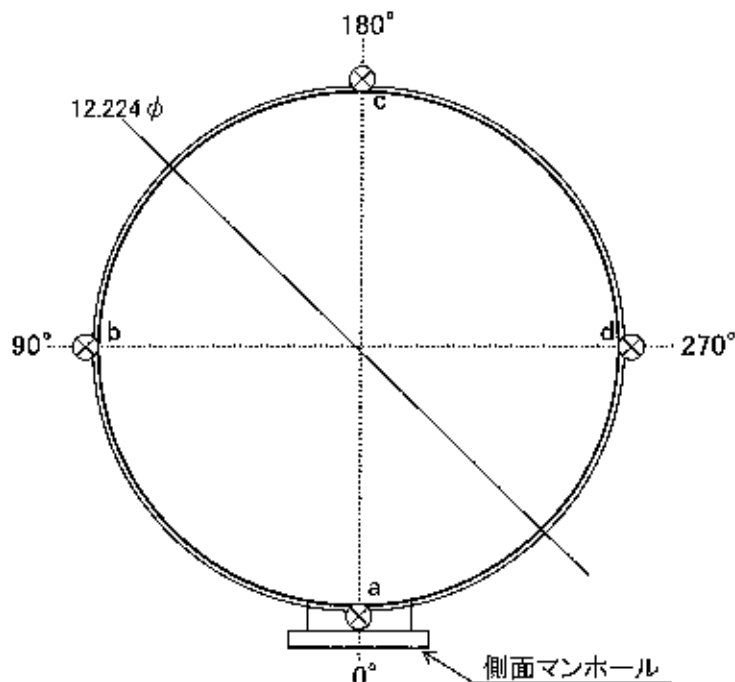
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( B-6 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 26 日 8 時 50 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	B	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライカ (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位: mm)



Bエリア B6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ( ) : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)

## BエリアB6タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	B6	a (0° 側)	γ 線	0.016
			β γ 線	0.017
		b (90° 側)	γ 線	0.013
			β γ 線	0.014
		c (180° 側)	γ 線	0.014
			β γ 線	0.014
		d (270° 側)	γ 線	0.011
			β γ 線	0.011
側面マンホール	γ 線	0.011		
	β γ 線	0.016		
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

# 放射線管理記録

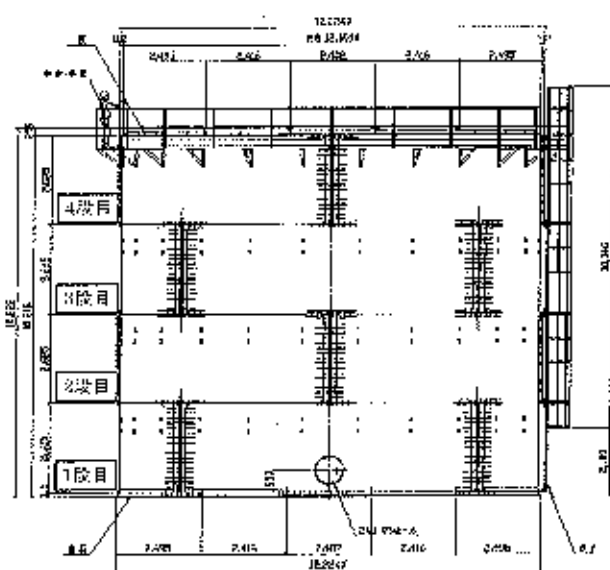
( 1/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( B-67 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 26 日 9 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アノラック (上) (下) (マスク) (全面・フット)

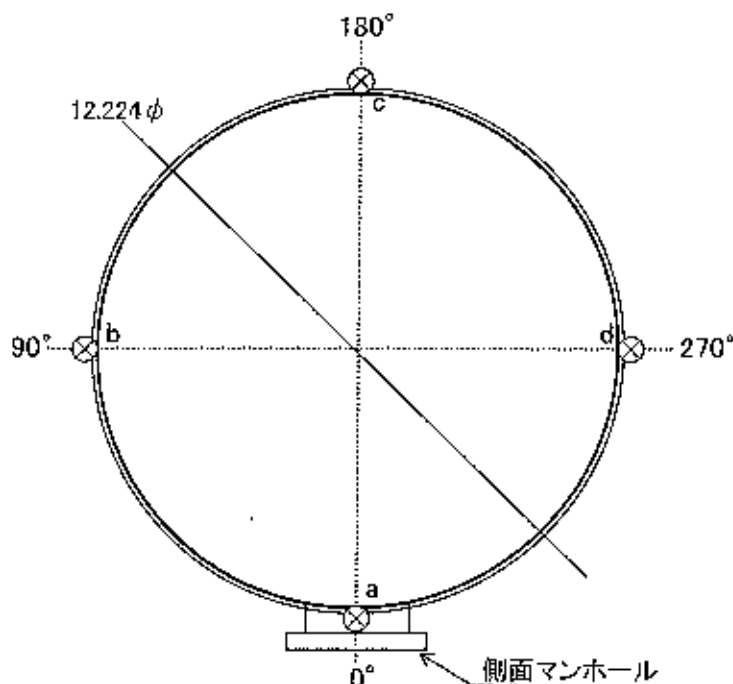
× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 JSC0002



Bエリア B7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接				
測定場所					コ ン タ ー	H/B	F L	測定者	
作業内容 (測定目的)					コ ー ド			測定器	
測定日時 平成 年 月 日 時 分					区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D				
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック ア/ラック(上・下), マスク(全面・フット)			

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアB7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	B7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.018
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.020
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.013
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.012
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.012
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.013		
	$\beta$ $\gamma$ 線	0.017		
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

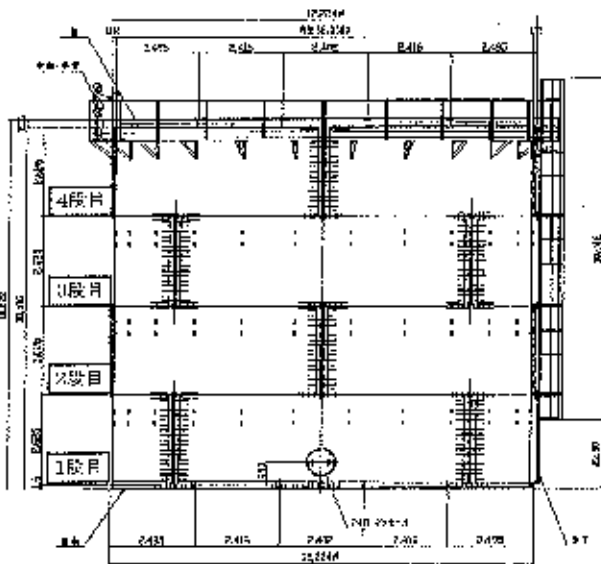
# 放射線管理記録

( 1/2 )

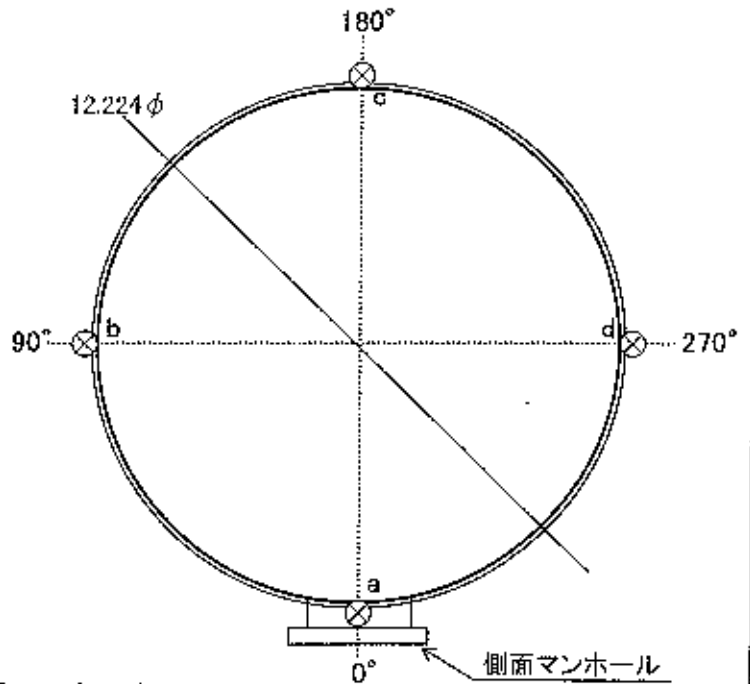
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Bエリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( B-B8 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時		平成 27 年 11 月 26 日 9 時 10 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/7 (上) (下), (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm単位)



Bエリア B8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F/L	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアB8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	B8	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.017
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.011
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.012		
	$\beta \gamma$ 線	0.016		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

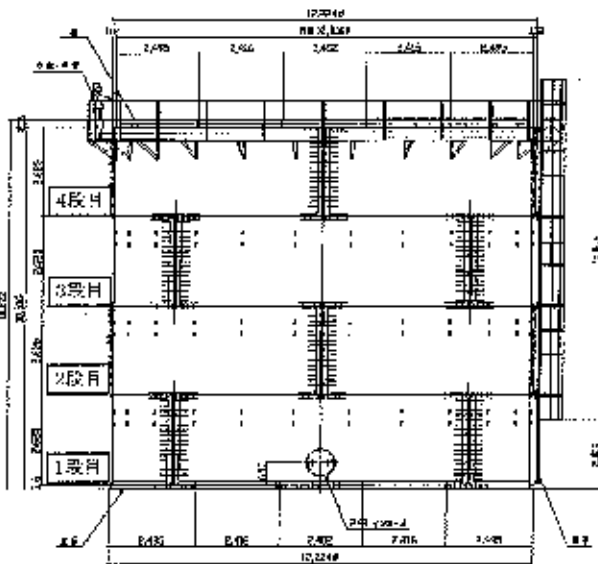
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

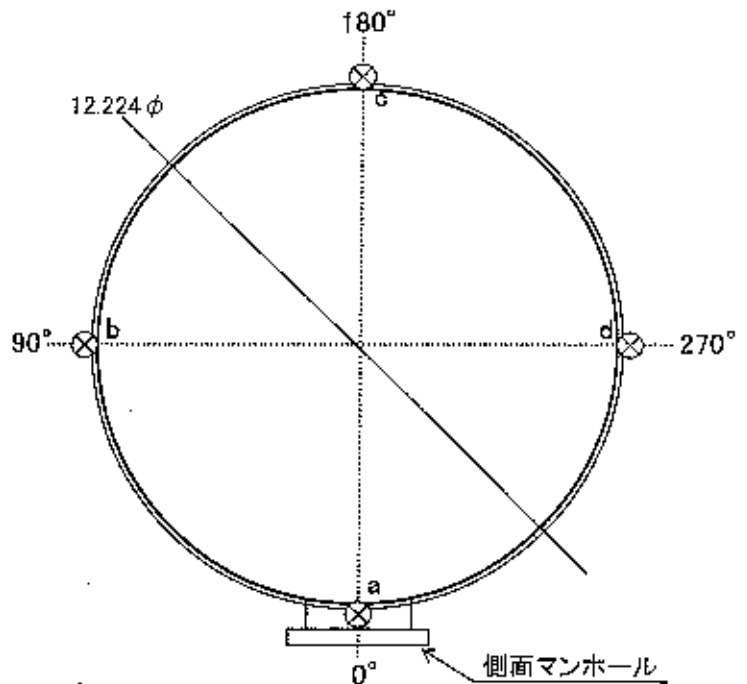
作業件名		1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Bエリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( B-C1 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時		平成 27 年 11 月 26 日 10 時 10 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイヤック アノラック (上, 下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



Bエリア C1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> 汚染直接
測定場所		コ リ ド	#/B	F L	測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## BエリアC1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	C1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.021
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.021
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.018		
	$\beta \gamma$ 線	0.021		
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	—% (153mm)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

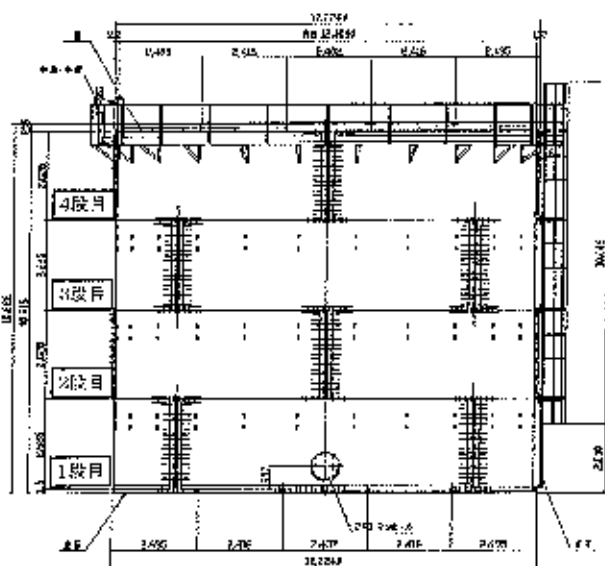
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

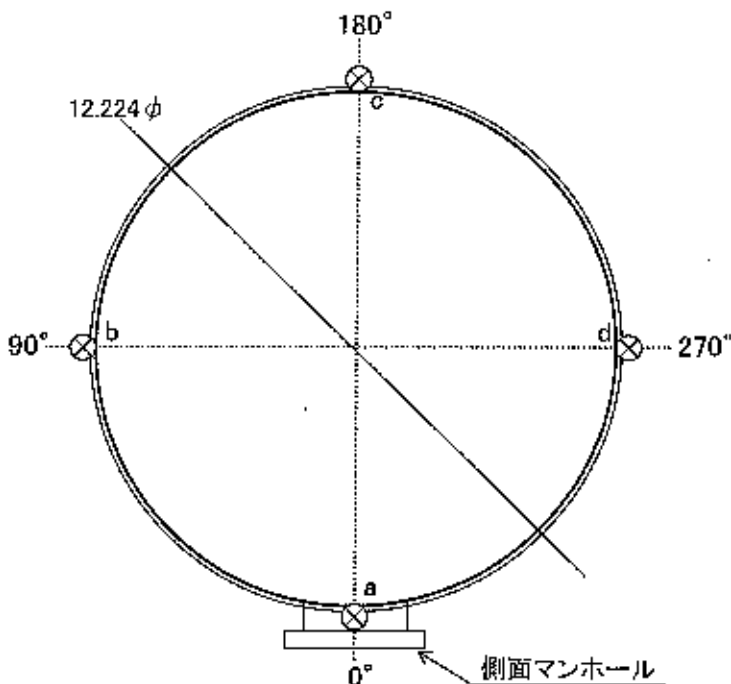
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (B-C2 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 26 日 10 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アノラック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (5.1/100)



Bエリア C2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	* / B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック ツラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアC2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	C2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.018
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.011
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.012	
		$\beta \gamma$ 線	0.012	
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

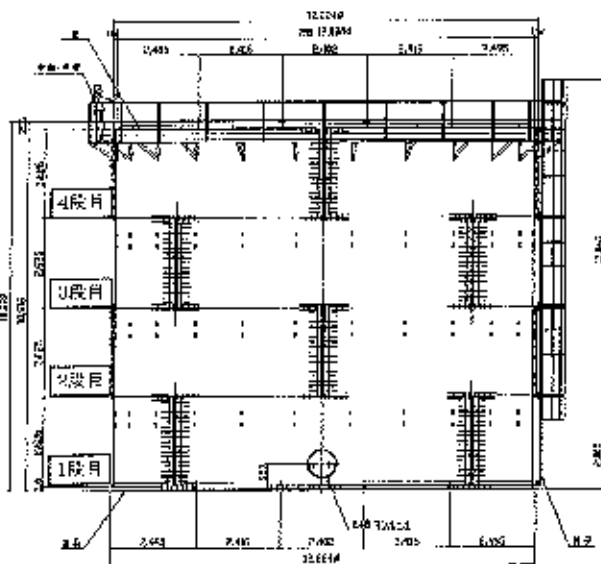
# 放射線管理記録

( 1/2 )

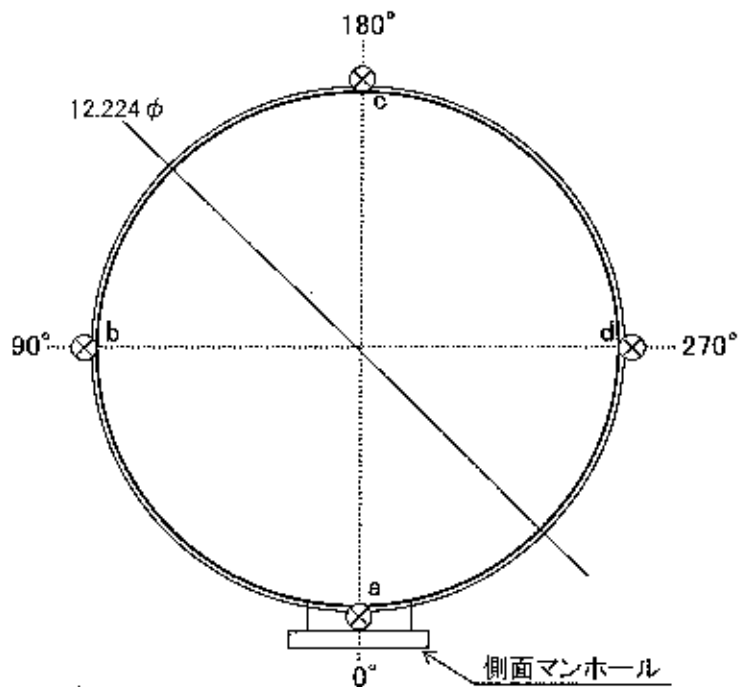
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Bエリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( B-C3 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-CW-031 F1-CWBL-62
測定日時		平成 27 年 11 月 26 日 9 時 50 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服: A, B1, B2, C ①手袋 ②タイベック ③タイラック ④アラック(上) ⑤(下) (マスク(全面・フット))

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Bエリア C3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		DIK	E/B	F/L	測定者
作業内容 (測定目的)		1/F			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タイラック ブラック(上・下), マスク(全面・フット)
X: 空間線量当量率 (mSv/h)            ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)            ○: スミアポイント (Bq/cm <sup>2</sup> )            △: ダストポイント (Bq/cm <sup>3</sup> )					

## BエリアC3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	C3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.010
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.009		
	$\beta \gamma$ 線	0.010		
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

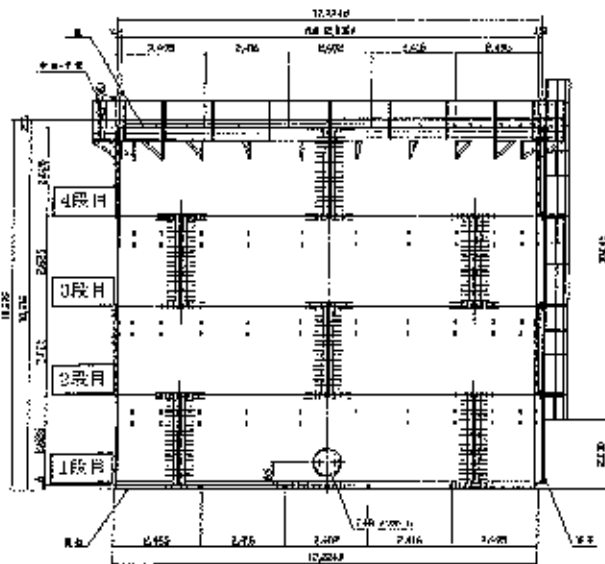
# 放射線管理記録

( 1/2 )

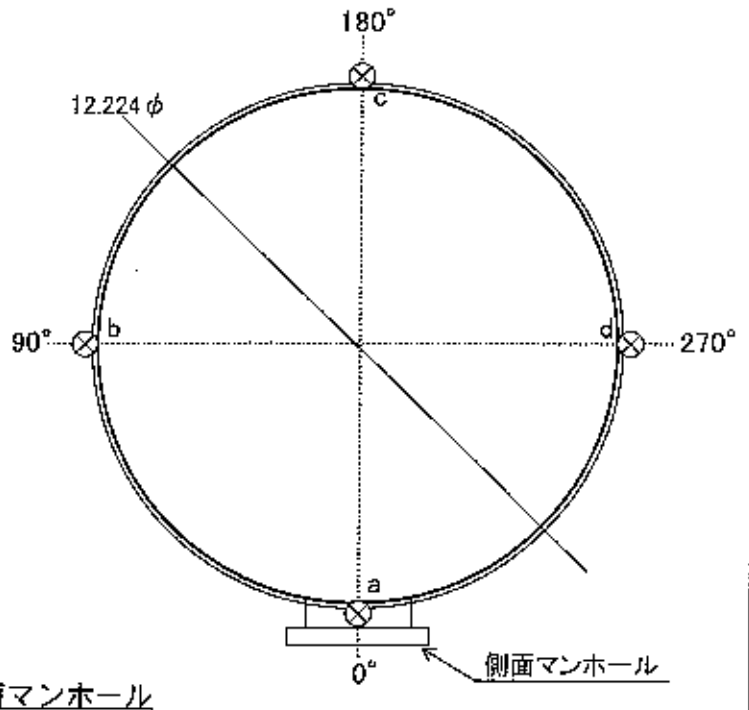
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Bエリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( B-C4 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時		平成 27 年 11 月 26 日 9 時 40 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライズ(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 正面図 (単位:mm)



Bエリア C4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	↑/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名		RWA	電気	原子炉	
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアC4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	C4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.011
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.008		
	$\beta \gamma$ 線	0.010		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	水位低(水計支持範囲外)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

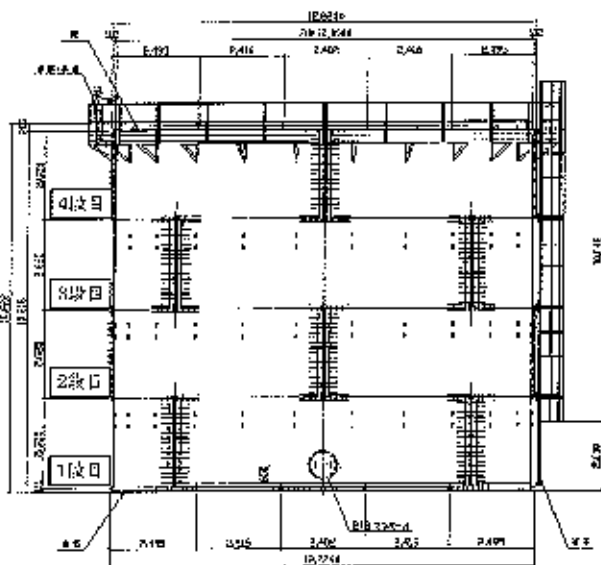
# 放射線管理記録

( 1/2 )

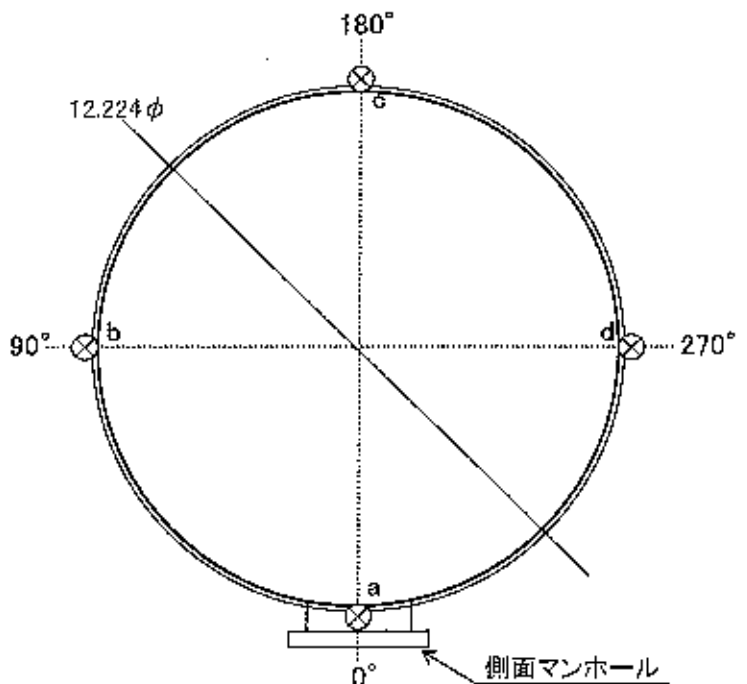
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( B…C5 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 26 日 9 時 30 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライズ(上, 下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



Bエリア C5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input checked="" type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW 原子炉 停止後	日
				防護装備	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)

## BエリアC5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	C5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.007
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.006		
	$\beta \gamma$ 線	0.008		
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	2.5%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

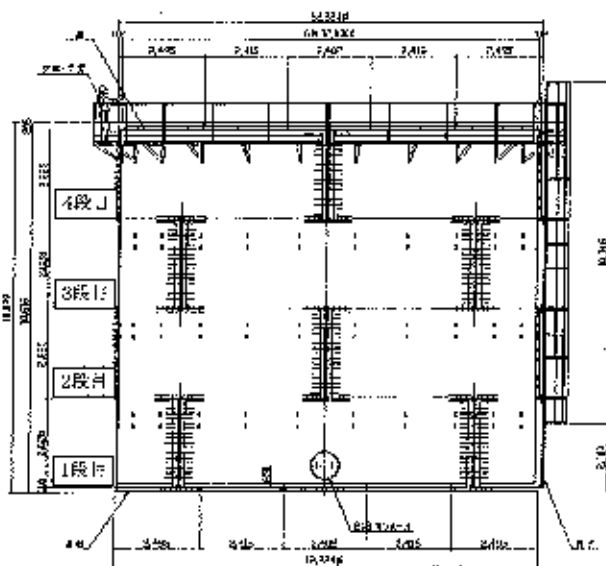
# 放射線管理記録

( 1/2 )

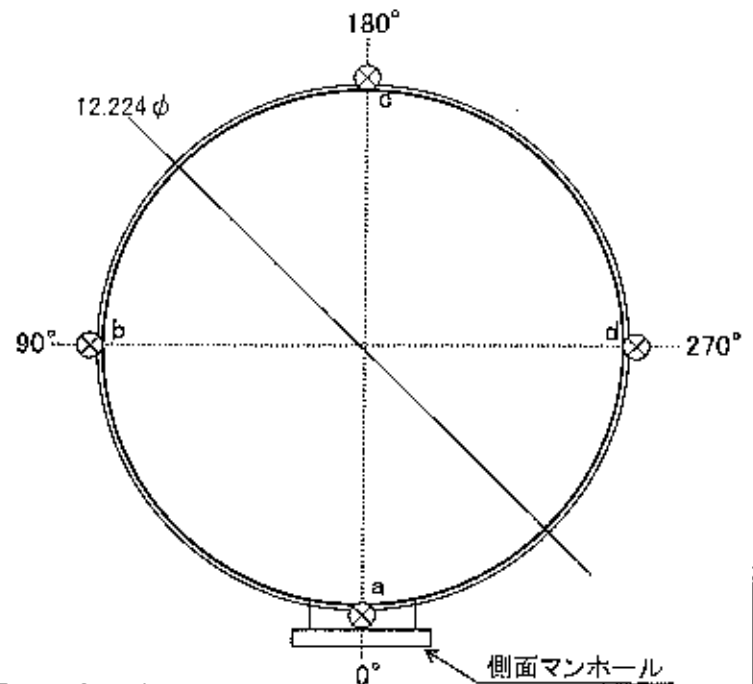
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( B C 6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 26 日 9 時 20 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アノラック(上), (下), マスク(全顔・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク 立面図 1200mm



Bエリア C6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名				測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所				コ ン タ ー	%/B	F.I.	測定者
作業内容 (測定目的)				コ ン タ ー			測定器
測定日時 平成 年 月 日 時 分				区域区分			
件名 コード				RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備
				MW		日	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タバック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアC6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	C6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.009
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.011	
$\beta \gamma$ 線		0.011		
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	58.3%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

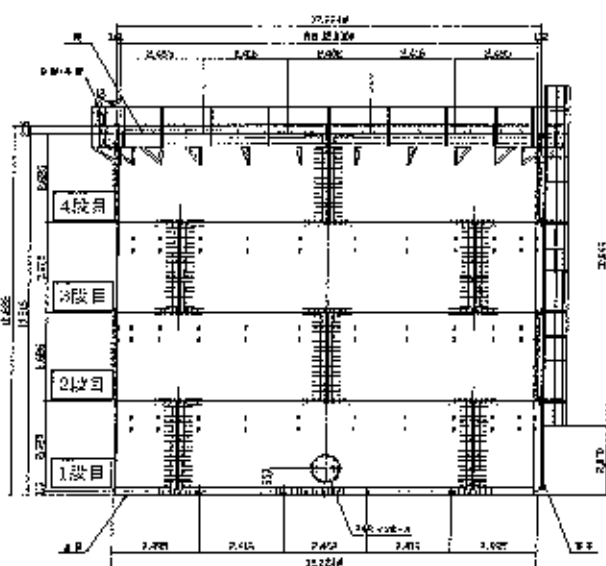
# 放射線管理記録

( 1/2 )

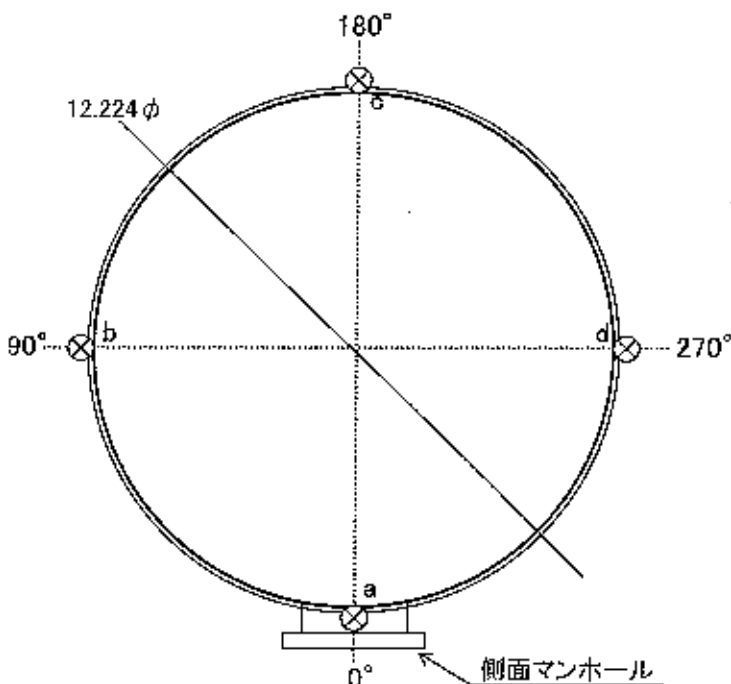
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Bエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( B-C7 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 24 日 11 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 断面図 (mm)



Bエリア C7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					日
				防護装備	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック フラッグ(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## BエリアC7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

半田 (MOV) 17

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
B	C7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.007
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.009		
	$\beta \gamma$ 線	0.013		
測定時間	11:00~11:10			
タンク内水位	57.1%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

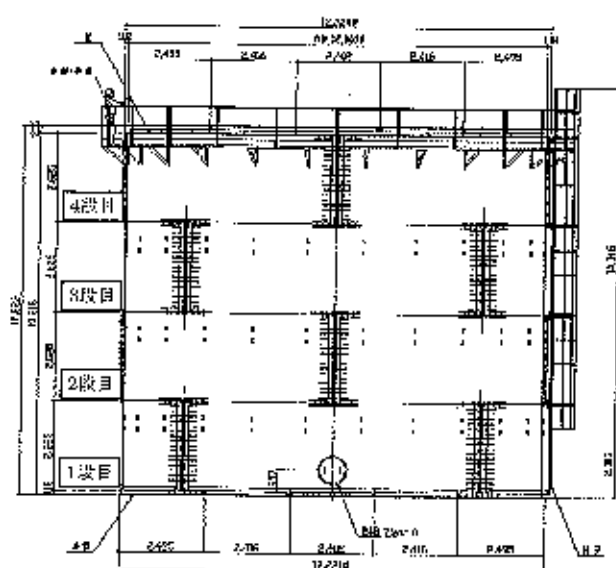
# 放射線管理記録H3エリア全20基

放管	主技	担当
2016.3.14	2016.3.14	2016.3.14
		(1/2)

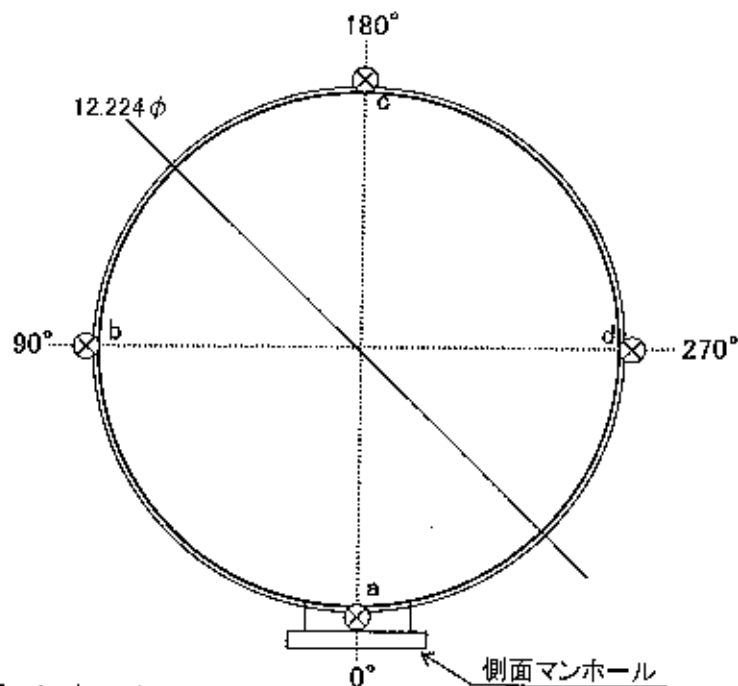
作業件名	1F...1~4号機 フランジタンク点検保守委託	測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア	測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (H3-A1 円筒フランジタンク、側面マンホール)	測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成27年11月27日 10時50分	区域区分	線量 ~ 1, 2, 3 汚染 ~ A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイヤック アノック (上) (下), (マス), (全脚・フット)
	電気 出力		
	原子炉 停止後		
	MW		
	日		

X: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (側面)



H3エリア A1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録H3エリア全20基

放 管	主 技	担 当
2016.3.14	2016.3.14	2016.3.14
(2/2)		

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所					測定者				
作業内容 (測定目的)					測定器				
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック ツラック(上・下), マスク(全面・フット)		

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta \gamma$ 線	0.048
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.036
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.019
			$\beta \gamma$ 線	0.026
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta \gamma$ 線	0.032
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.035	
$\beta \gamma$ 線		0.056		
測定時間	10:50~11:00			
タンク内水位	—% 188mm			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

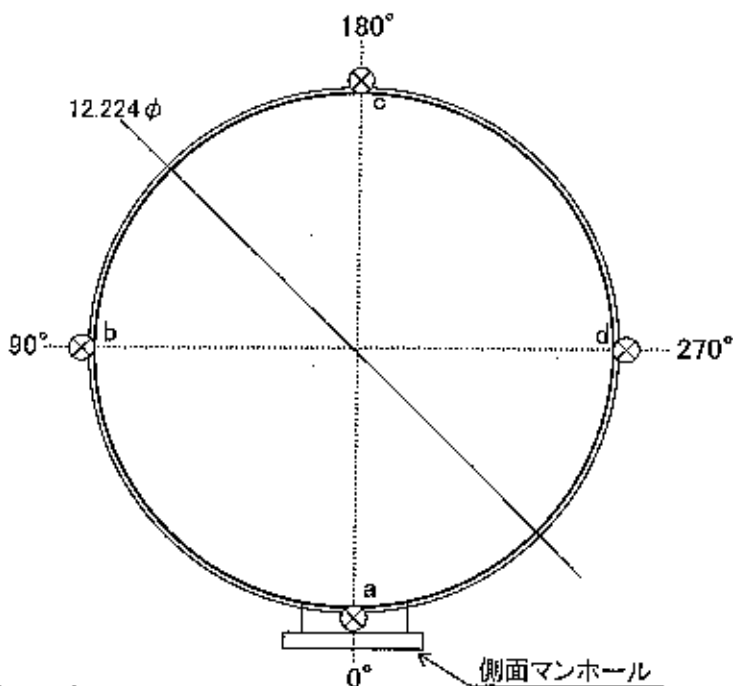
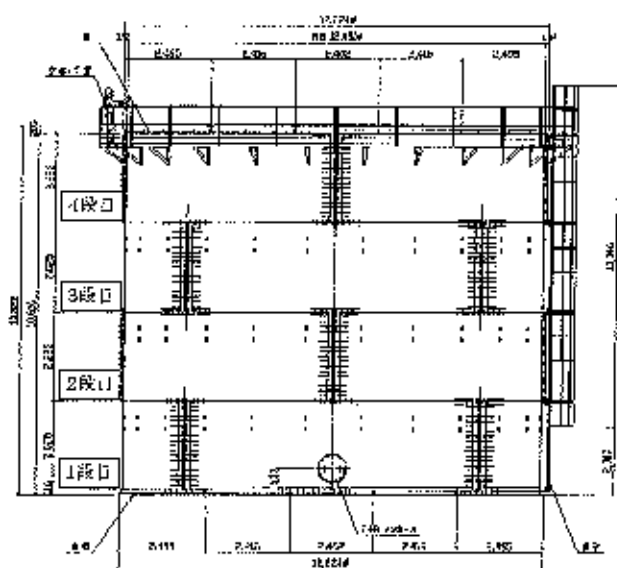
◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$\{1/2\}$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

H3エリア A2タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW	線量 ~ 1, 2, 3 汚染 ~ A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)	
			停止後	日	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A2	a (0° 側)	γ線	0.036
			β γ線	0.045
		b (90° 側)	γ線	0.033
			β γ線	0.045
		c (180° 側)	γ線	0.035
			β γ線	0.047
		d (270° 側)	γ線	0.041
			β γ線	0.045
	側面マンホール	γ線	0.033	
β γ線		0.055		
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	0.4%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

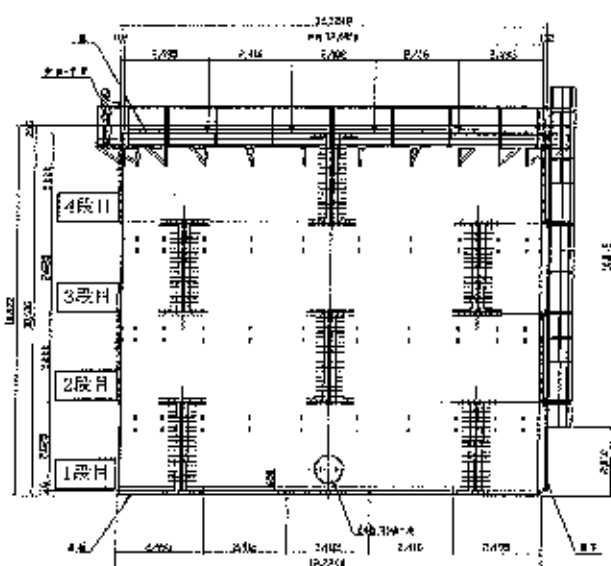
# 放射線管理記録

( 1/2 )

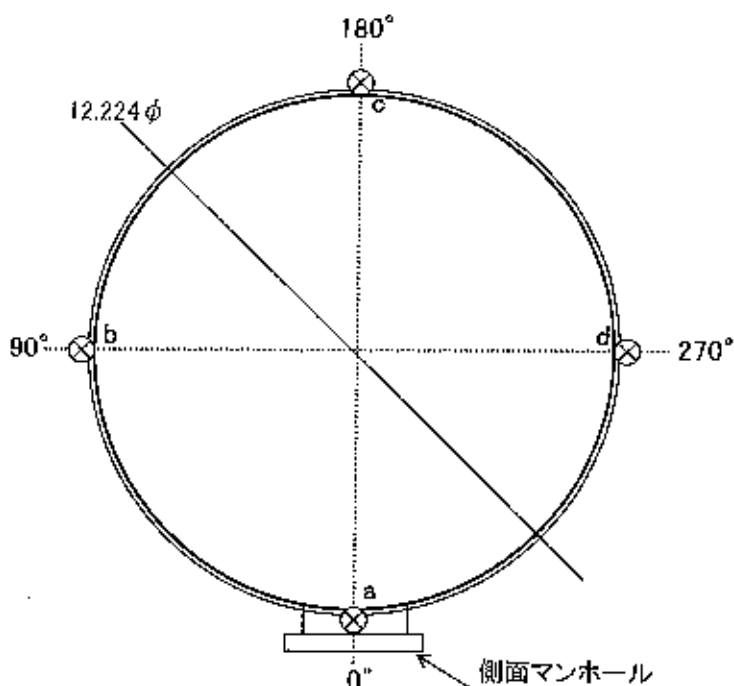
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H3-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 10 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ブライタ, (上), (下), (マスク), (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 上面図 (2/2) 参照



H3エリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン ド	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイツク ノラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H3エリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A3	a (0° 側)	γ線	0.020
			β γ線	0.031
		b (90° 側)	γ線	0.025
			β γ線	0.035
		c (180° 側)	γ線	0.020
			β γ線	0.030
		d (270° 側)	γ線	0.019
			β γ線	0.031
側面マンホール	γ線	0.026		
	β γ線	0.028		
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	—% 231mm			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

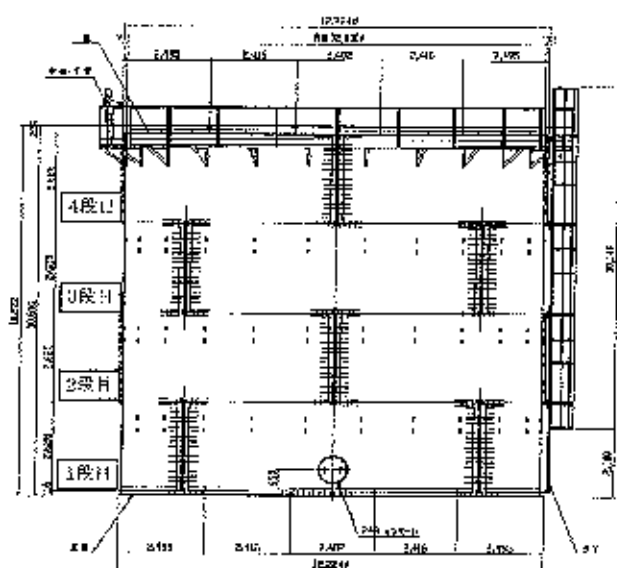
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

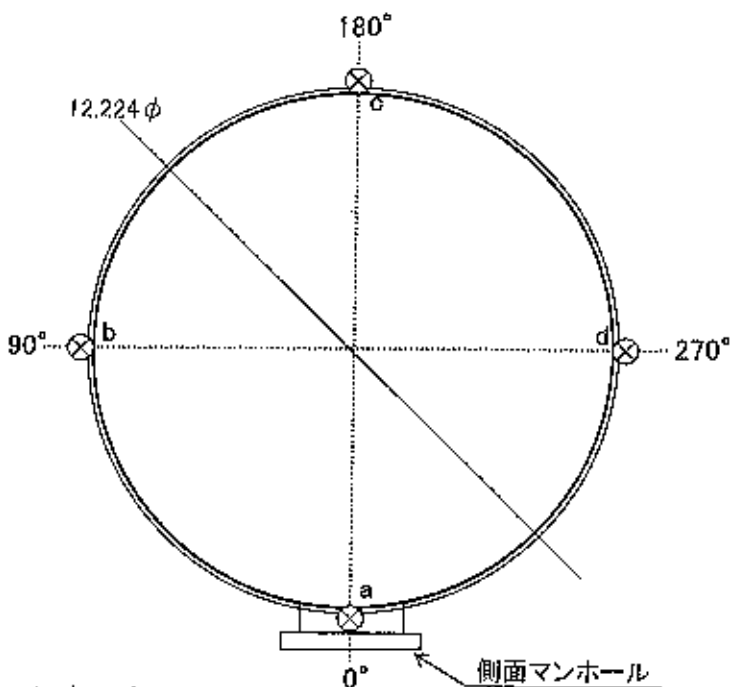
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H3-A4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 9 時 20 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下) (マスク) (全面) (フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



H3エリア A4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器 (ICW, ICWBL) 損傷防止のため、ビニール袋 (0.03mm) で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	A/B	F/L	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW 停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A4	a (0° 側)	γ 線	0.017
			β γ 線	0.026
		b (90° 側)	γ 線	0.022
			β γ 線	0.036
		c (180° 側)	γ 線	0.022
			β γ 線	0.029
		d (270° 側)	γ 線	0.024
			β γ 線	0.051
	側面マンホール	γ 線	0.018	
		β γ 線	0.026	
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	0.6%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

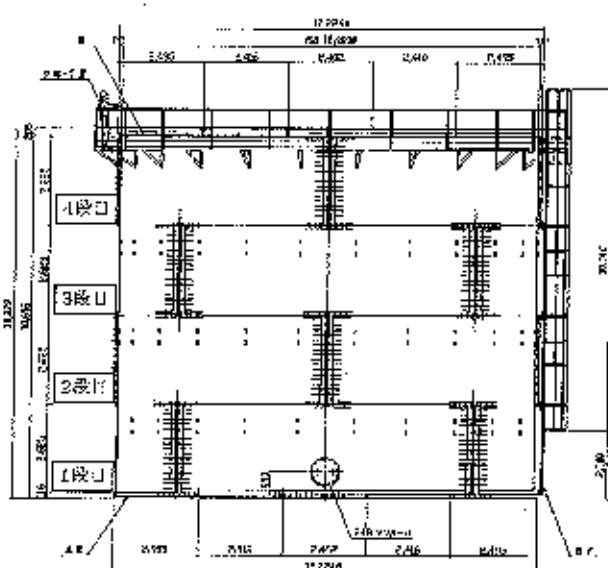
# 放射線管理記録

( 1/2 )

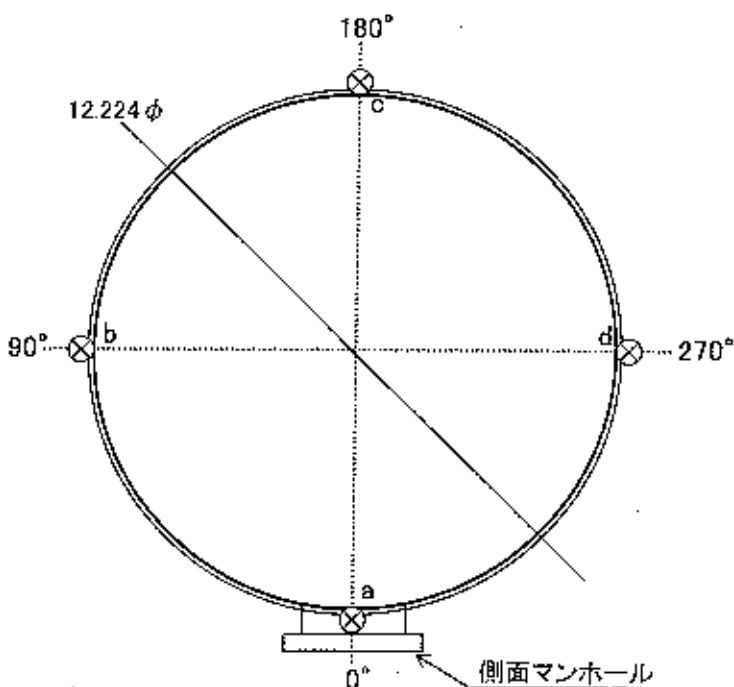
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H3-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 9 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図: cm/100



H3エリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					コード	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)					コード			測定器
測定日時					平成	年	月	日
件名	RWA	電気	原子炉	原子炉	停止後	日	区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タバコ アフター(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H3エリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	B1	a (0° 側)	γ 線	0.039
			β γ 線	0.045
		b (90° 側)	γ 線	0.030
			β γ 線	0.046
		c (180° 側)	γ 線	0.025
			β γ 線	0.038
		d (270° 側)	γ 線	0.036
			β γ 線	0.036
	側面マンホール	γ 線	0.061	
β γ 線		0.061		
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	—% 残水無			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

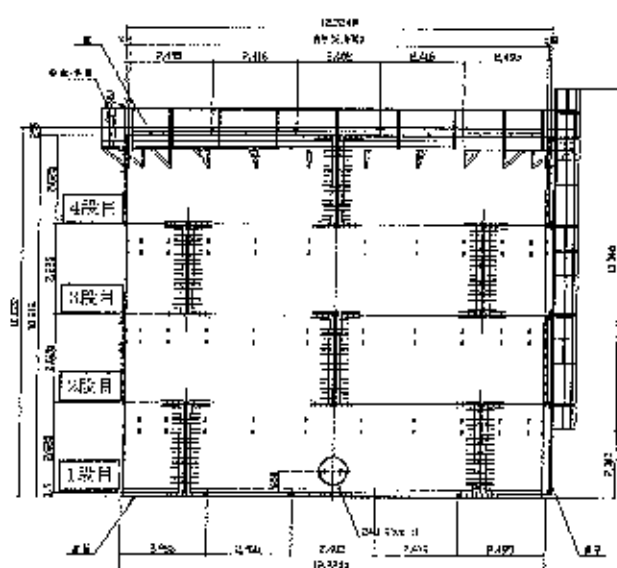
# 放射線管理記録

( 1/2 )

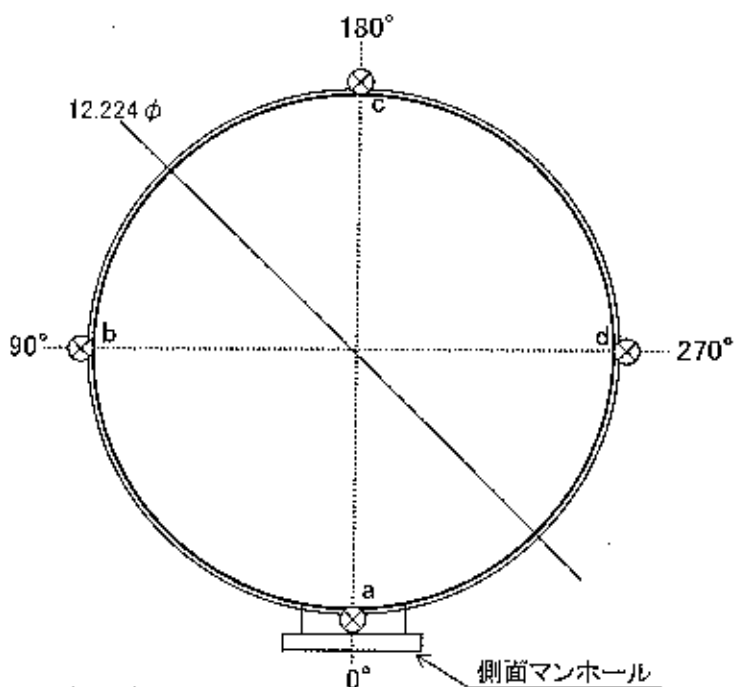
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H3-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 9 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アフラック(上), (下), マスク(全顔・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



H3エリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	↑/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
				日	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.015
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.250
			$\beta$ $\gamma$ 線	23.000
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.036
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.046
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.550
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	—% 126mm			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP60検査記録参照

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

# 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所 1~4号機

対象機器 H3エリア B2タンク

検査項目 目視検査

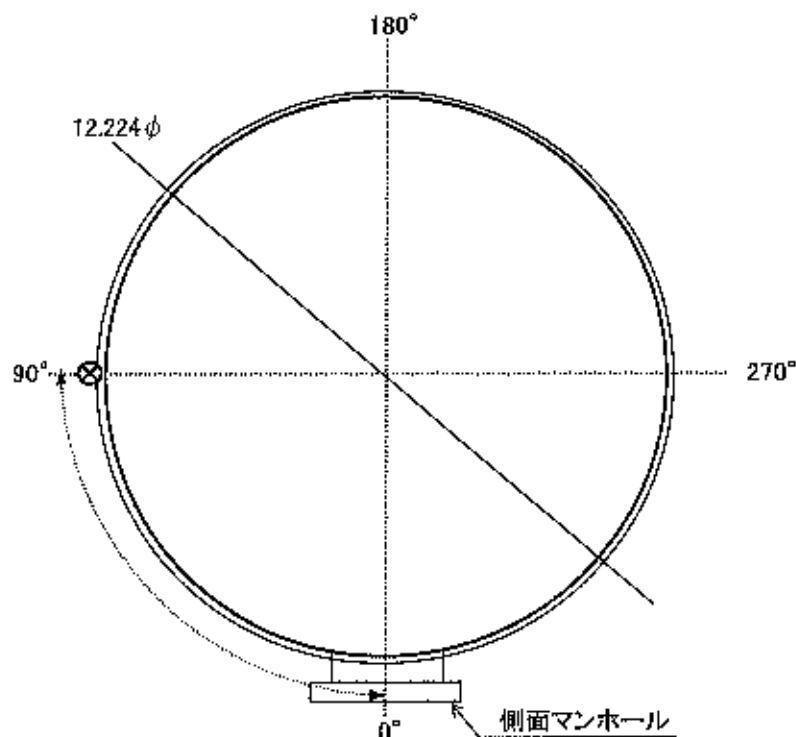
東京電力株  
記録確認者

QC 主技 担当

2016.3.17

2016.3.14 2016.3.14

H3エリア B2タンク 平面図



測定器:F1-ICW-140 F1-ICWBL-42

単位:mSv/h

No.	採取箇所	$\gamma$ 線	$\beta/\gamma$ 線
①	1段目下部フランジ(90° 付近)	0.25	23
②	側面マンホール(270° 付近)	0.02	0.55

タンク内:水深3cm(側面マンホール前にて測定)

-タンク内:水位-約127mm

1段目下部フランジ拡大図(90° 付近)



側面マンホール拡大図(270° 付近)



◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に漏れ、にじみ等は確認されなかった。

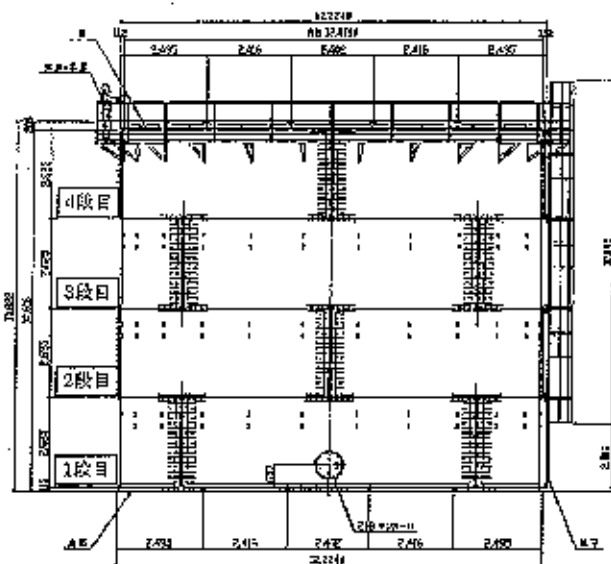
# 放射線管理記録

( 1/2 )

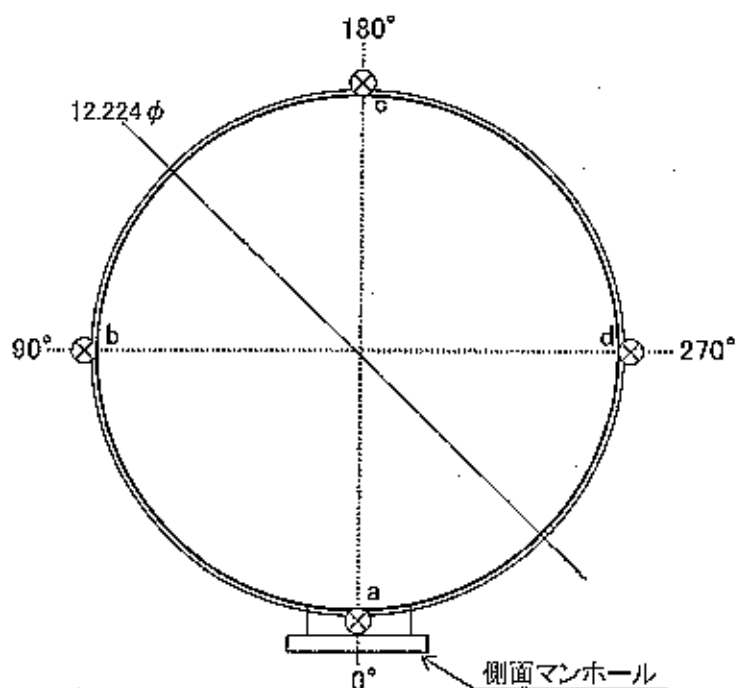
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H3-B3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 9 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アノラック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円型タンク 立面図 (1/2) (2/2)



H3エリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為雨天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ イ ト	4/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ イ ト			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ブランク(上・下), マスク(全面・フード)	

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ( )：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H3エリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	B3	a (0° 側)	γ 線	0.013
			β γ 線	0.022
		b (90° 側)	γ 線	0.015
			β γ 線	0.025
		c (180° 側)	γ 線	0.011
			β γ 線	0.025
		d (270° 側)	γ 線	0.016
			β γ 線	0.035
	側面マンホール	γ 線	0.023	
		β γ 線	0.025	
測定時間	9:50～10:00			
タンク内水位	—% 125mm			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

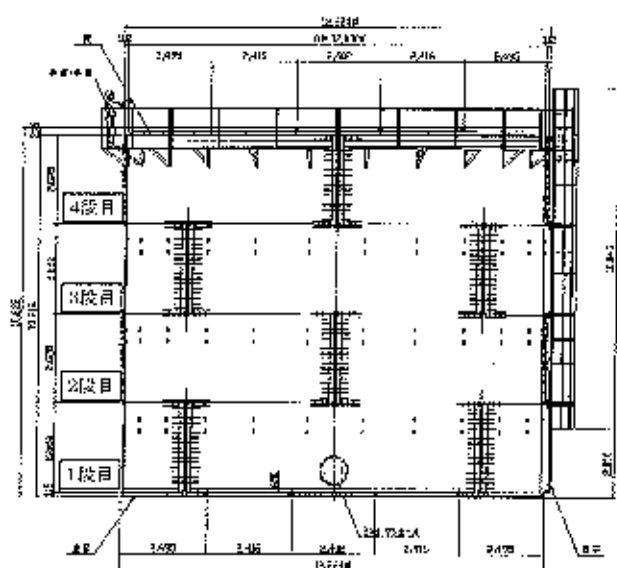
# 放射線管理記録

( 1/2 )

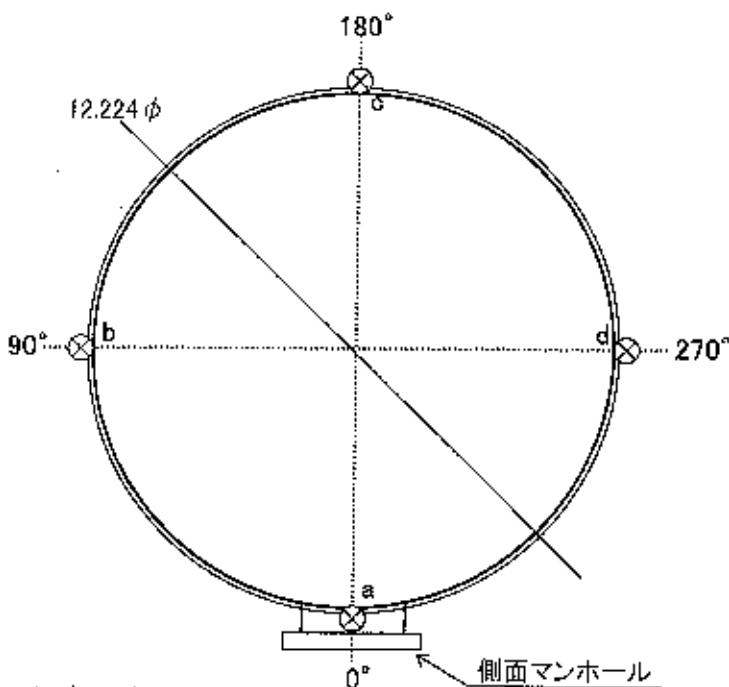
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H3-B4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 10 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アノック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



H3エリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	γ/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイツ アラック(上・下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	B4	a (0° 側)	γ 線	0.030
			β γ 線	0.032
		b (90° 側)	γ 線	0.030
			β γ 線	0.063
		c (180° 側)	γ 線	0.030
			β γ 線	0.058
		d (270° 側)	γ 線	0.020
			β γ 線	0.032
	側面マンホール	γ 線	0.025	
β γ 線		0.026		
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	0. 5%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

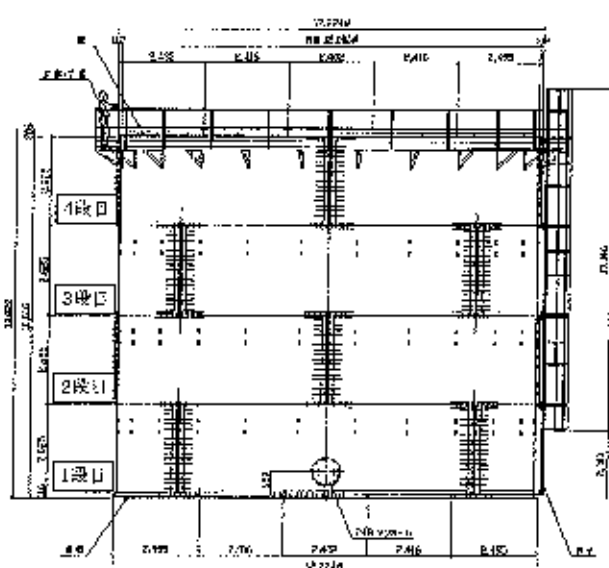
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

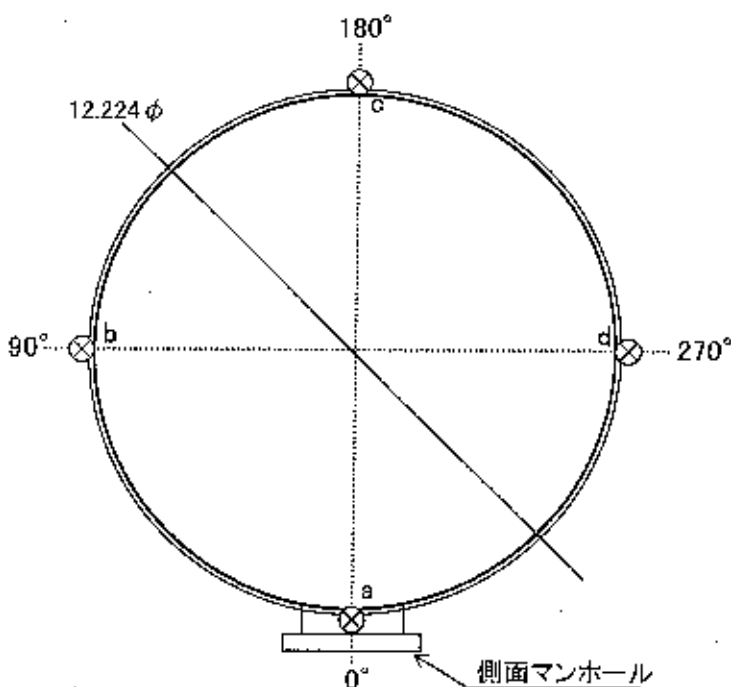
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (H3-B5 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成27年11月27日 10時10分			区域区分	線量-1, 2, 3 汚染-A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

×: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位: mm)



H3エリア B5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		11 ト #/B F L	測定者		
作業内容 (測定目的)		コ ド	測定器		
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW 停止後	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック ヴラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	B5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.023
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.028
			$\beta \gamma$ 線	0.036
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.038
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.025
			$\beta \gamma$ 線	0.032
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.018	
$\beta \gamma$ 線		0.025		
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	0.5%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



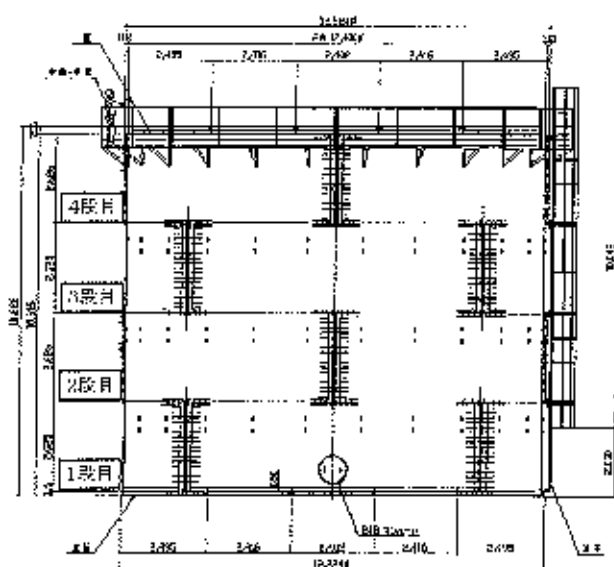
# 放射線管理記録

( 1/2 )

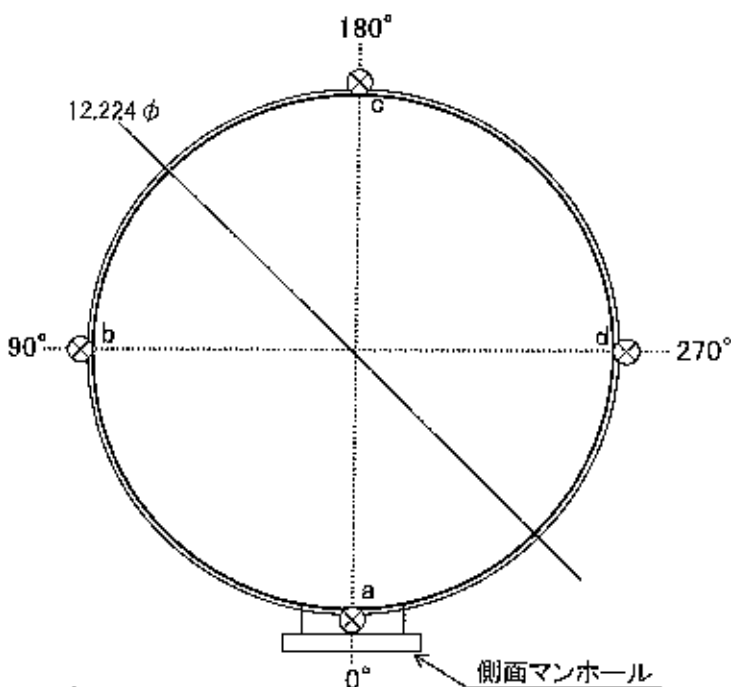
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H3-B6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 10 時 20 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (E) (下), マスク (全箇) (フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) 次紙参照



H3エリア B6タンク 平面図



側面マンホール

## 測定条件

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ー ド	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ ー ド			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定器	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック フラック(上・下), マスク(全面・フット)	
		防護装備			

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアB6タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	B6	a (0° 側)	γ線	0.017
			β γ線	0.030
		b (90° 側)	γ線	0.030
			β γ線	0.045
		c (180° 側)	γ線	0.026
			β γ線	0.037
		d (270° 側)	γ線	0.025
			β γ線	0.035
		側面マンホール	γ線	0.021
			β γ線	0.032
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	0.6%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

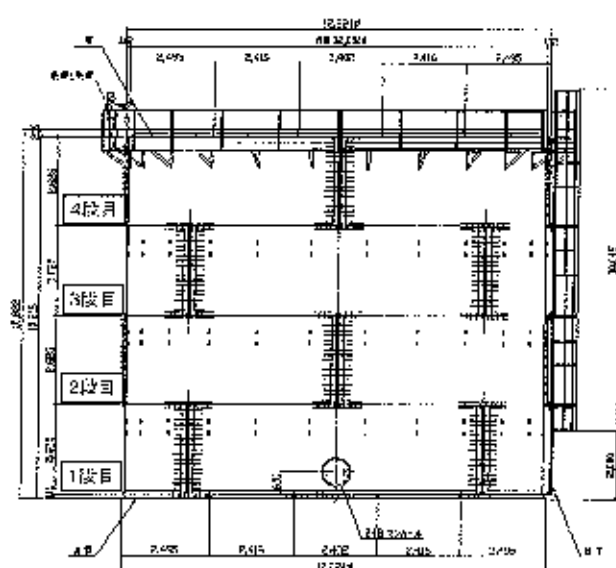
# 放射線管理記録

( 1/2 )

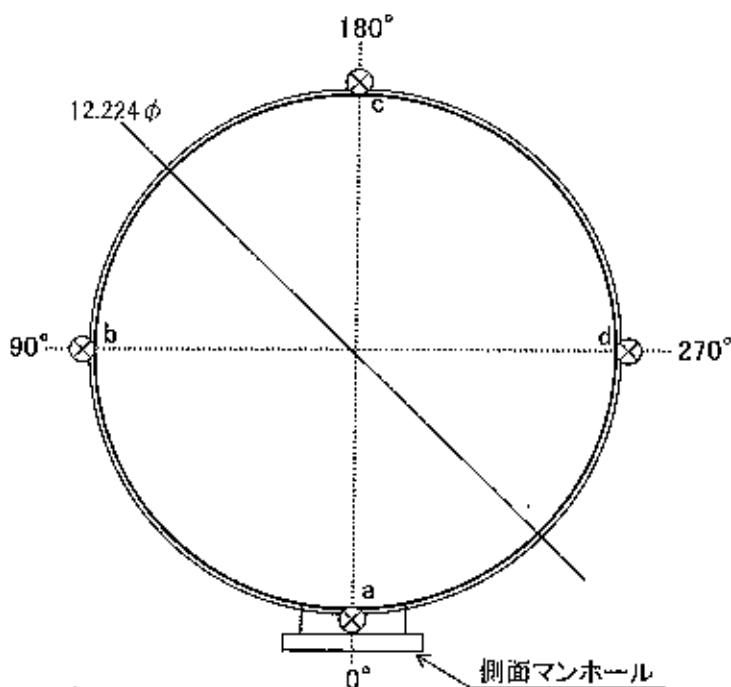
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H3-B7 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-147
				測定器	F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 9 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下) マスク (全面) フット

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (150V202)



H3エリア B7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コイ 子	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ロ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
				防護装備	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック 7/バック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアB7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	B7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta \gamma$ 線	0.035
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.031
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.025
			$\beta \gamma$ 線	0.037
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.036
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.023	
$\beta \gamma$ 線		0.035		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	0.7%			
タンク堰内水深	5cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

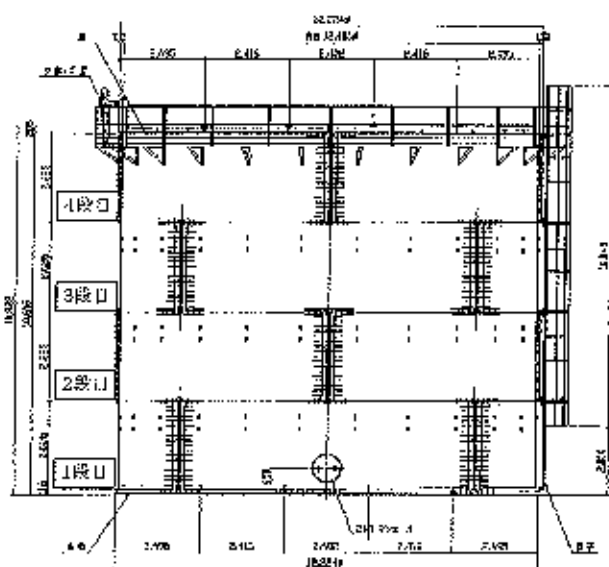
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

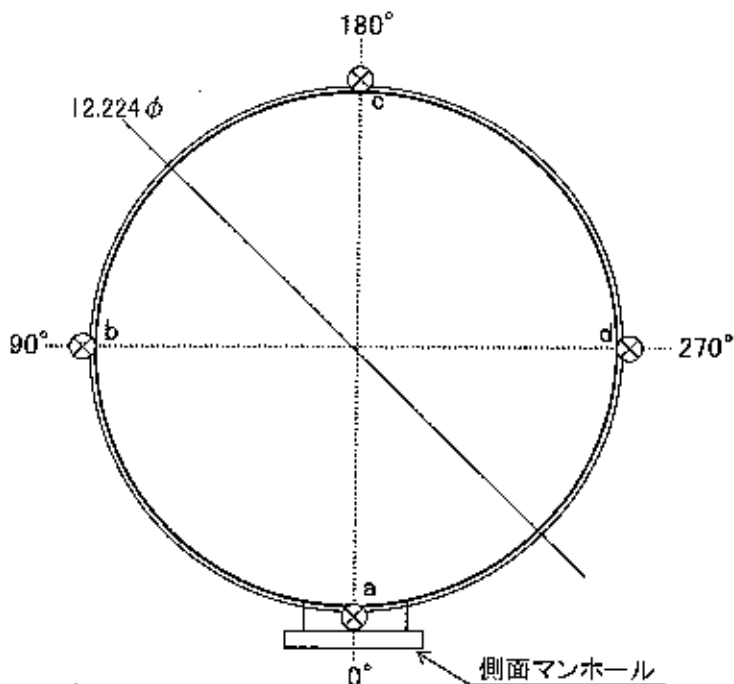
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (H3-A002A-1 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成27年11月30日 10時50分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アノラック) (上) (下), (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円型タンク 立面図 (mm)



H3エリアA002A-1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日		

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H3エリアA002A-1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002A-1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.001	
		$\beta \gamma$ 線	0.002	
測定時間	10:50~11:00			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

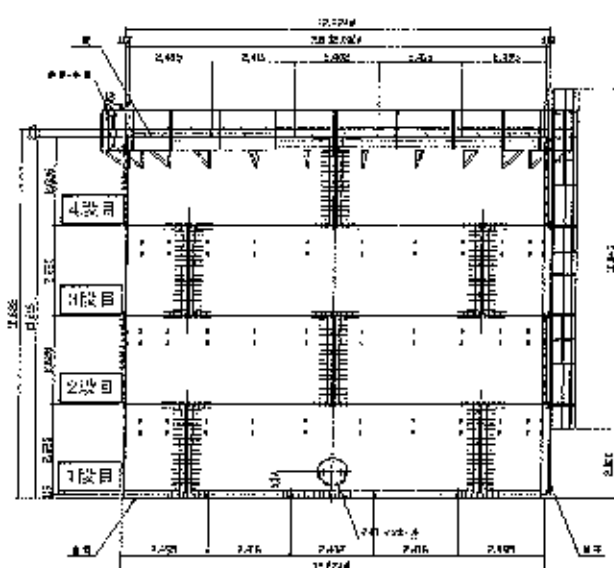
# 放射線管理記録

( 1/2 )

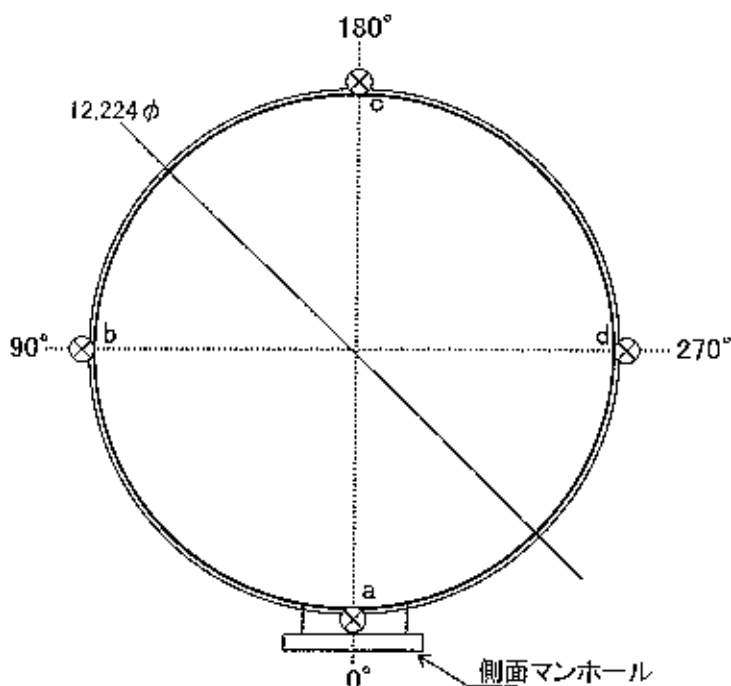
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H3-A002A-2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-147
				測定器	F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 9 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/ラック(上), (下), マスク(全面・フット)
コード	番号	出力	MW 停止後		

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 平面図 (1/2/2)



H3エリアA002A-2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ロ ド	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ロ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					日
				防護装備	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック フラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアA002A-2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002A-2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.001	
		$\beta \gamma$ 線	0.002	
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



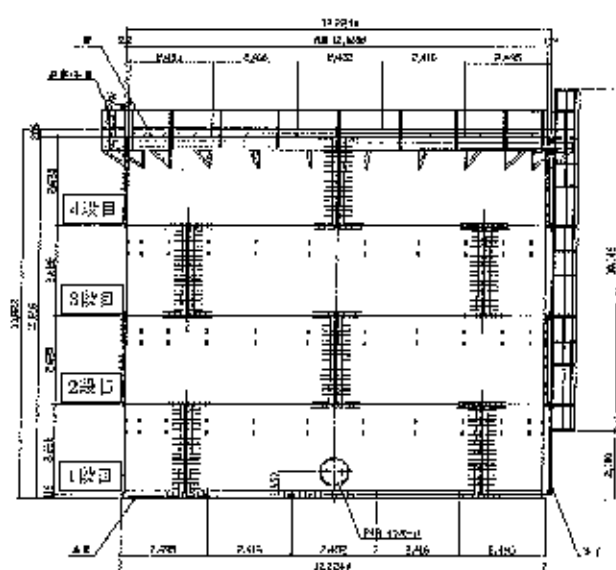
# 放射線管理記録

( 1/2 )

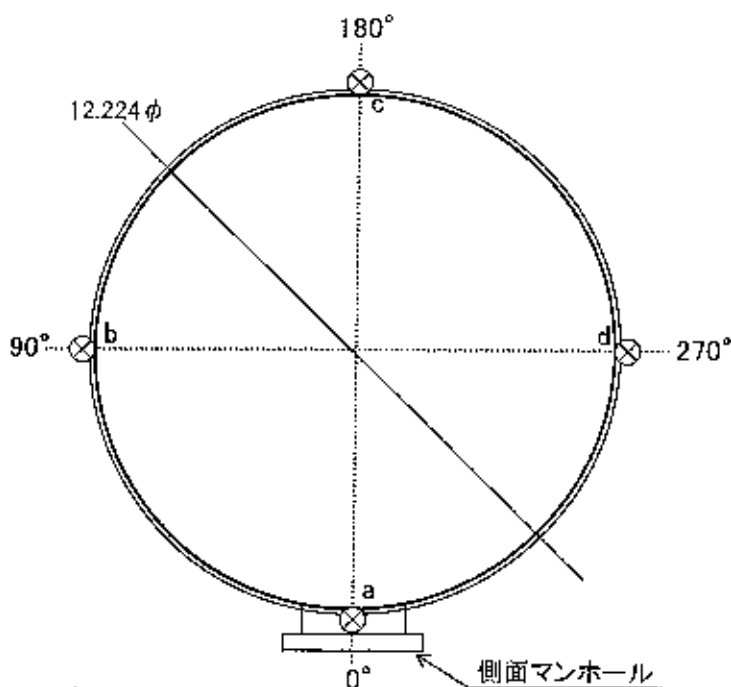
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直読
測定場所	H3エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H3-A002A-3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 9 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイヤック アライメント (上, 下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



H3エリアA002A-3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コイ	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コイ			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
				一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H3エリアA002A-3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002A-3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

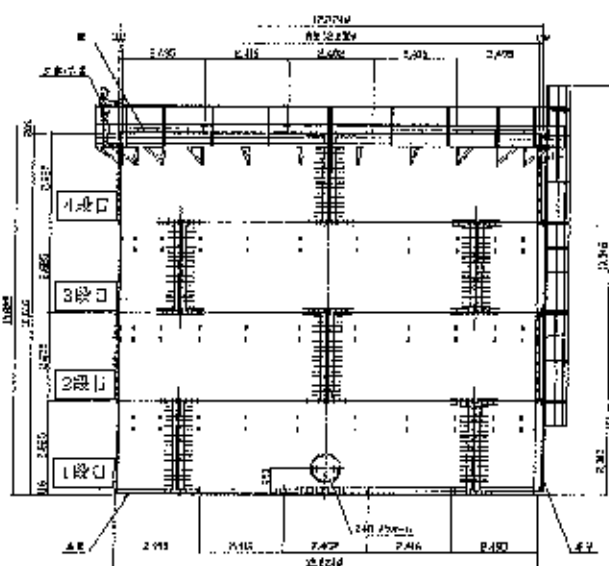
# 放射線管理記録

( 1/2 )

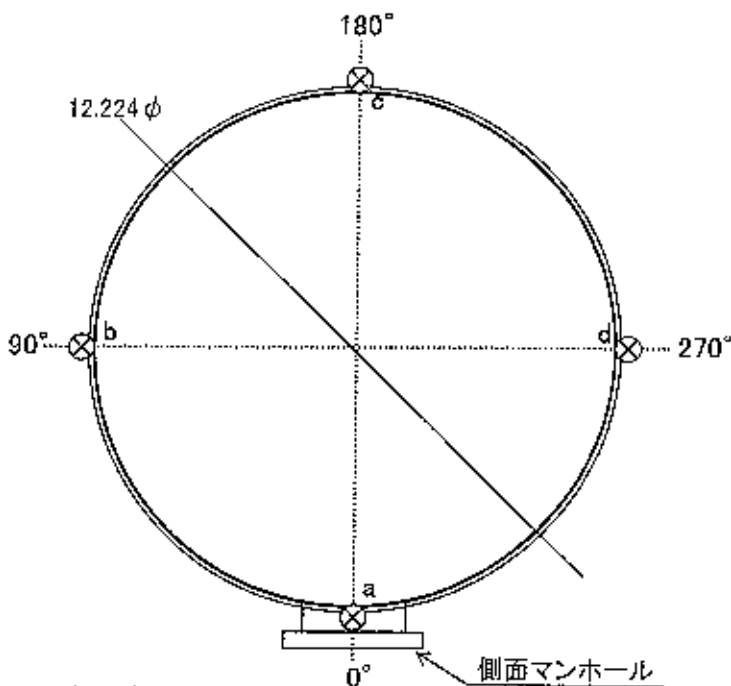
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H3-A002B-1 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 10 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライズ(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



H3エリアA002B-1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ	↑/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		リ			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW 停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイバック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H3エリアA002B-1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002B-1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.001
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

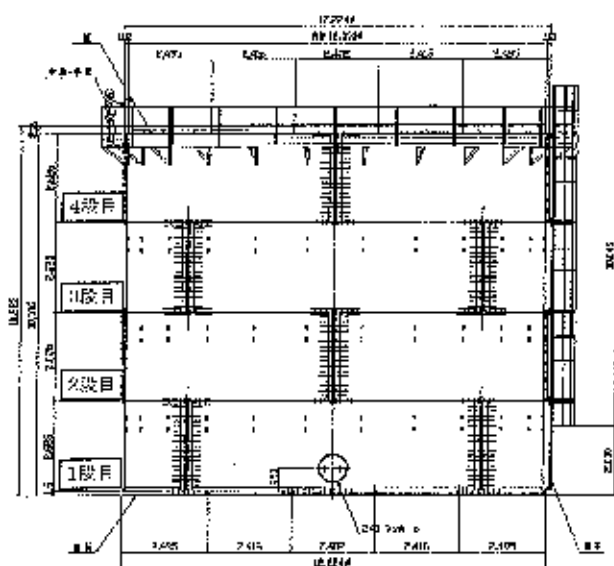
# 放射線管理記録

( 1/2 )

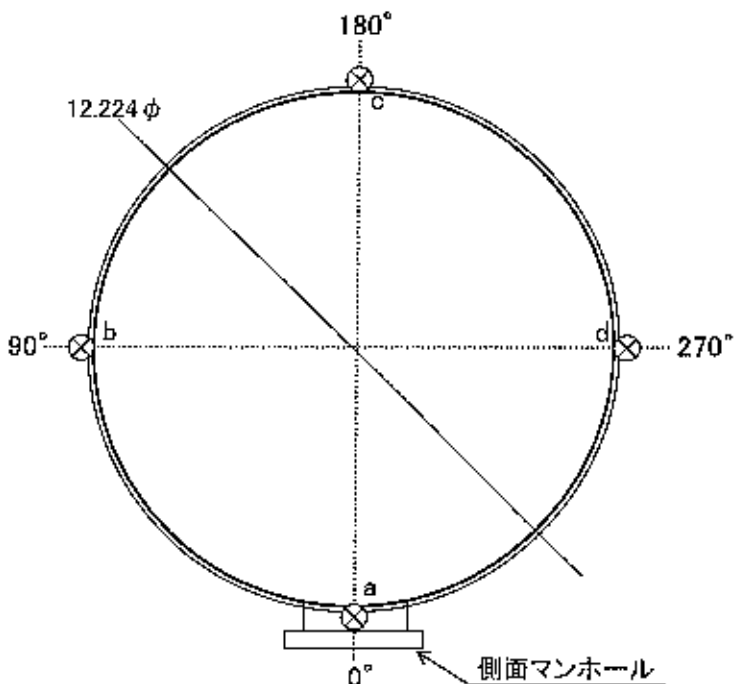
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H3-A002B-2 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 10 時 30 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



H3エリアA002B-2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ฝุ่น <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	測定者		
作業内容 (測定目的)		コード	測定器		
測定日時		平成 年 月 日 時 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
			防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H3エリアA002B-2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002B-2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
$\beta \gamma$ 線		0.001		
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

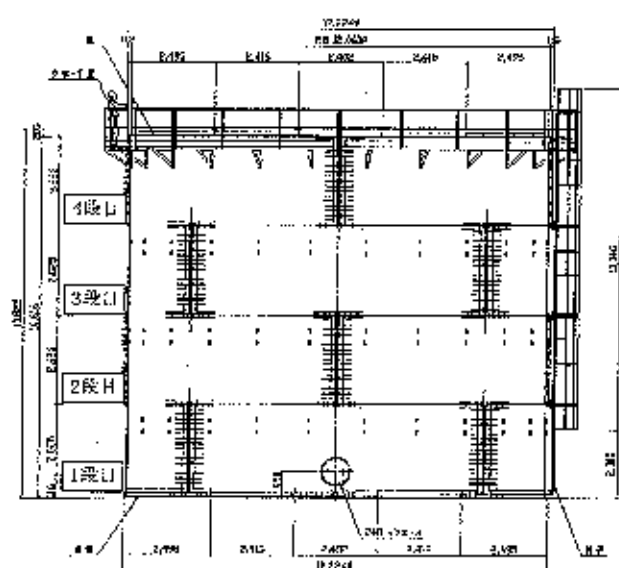
# 放射線管理記録

( 1/2 )

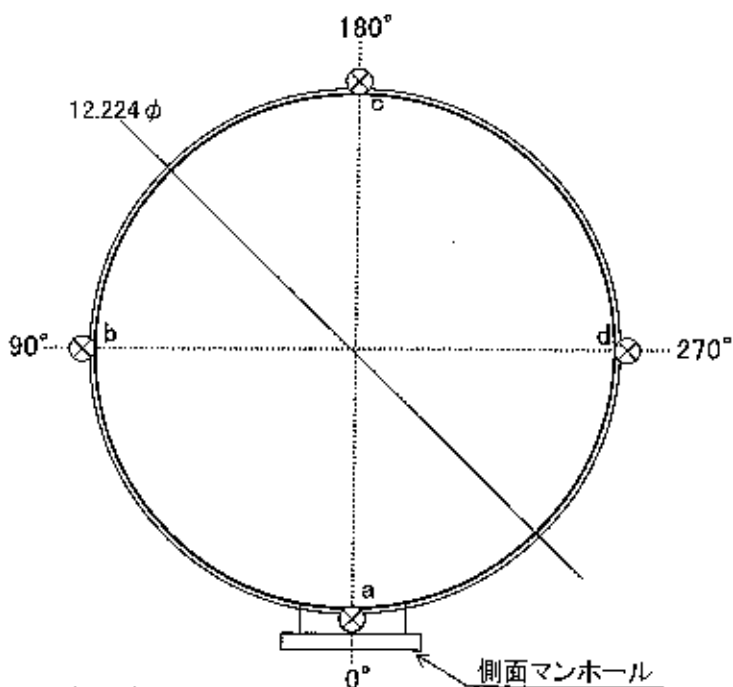
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア 室 117				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H3-A002B-3 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 10 時 20 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服: A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライ (上) (下) (マスク) (全面・フード)

X: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



H3エリアA002B-3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日		
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック フラック(上・下), マスク(全面・フット)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアA002B-3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002B-3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



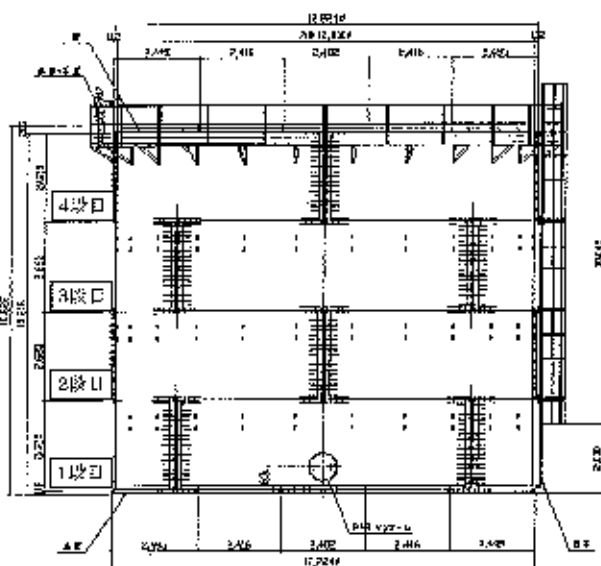
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

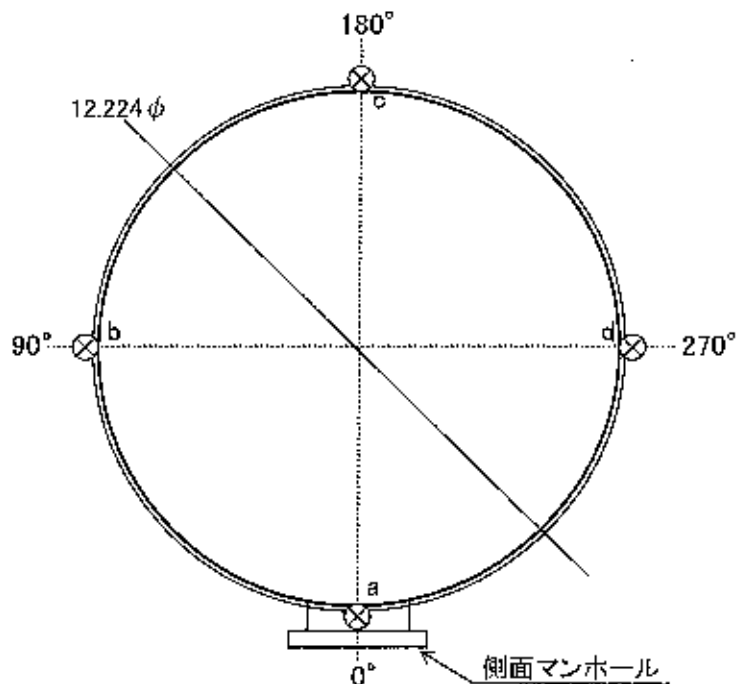
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア		室 I/F	コード H/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (H3-A002C-1 円筒フランジタンク、側面マンホール)				測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 10 時 10 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイラック アフラック (上), (下), (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク 立面図 (1/2) (m)



H3エリアA002C-1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日		
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H3エリアA002C-1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002C-1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.032
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
$\beta \gamma$ 線		0.008		
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

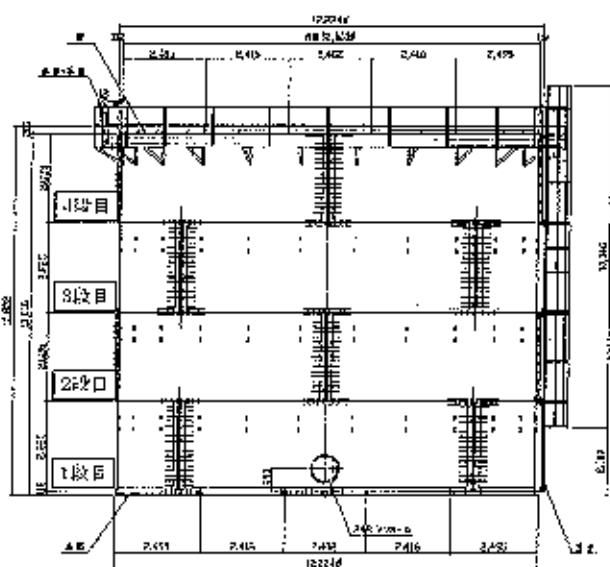
# 放射線管理記録

( 1/2 )

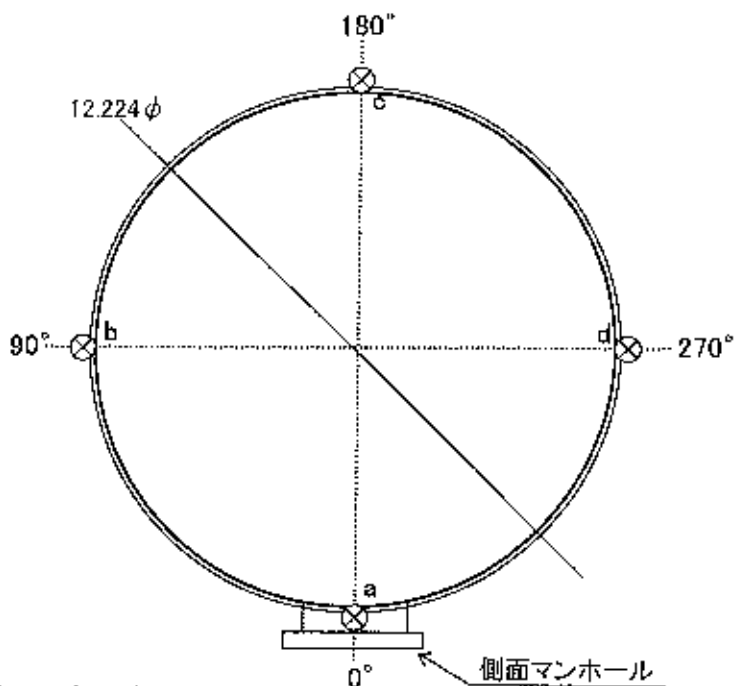
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア		室 I7A	コック #/B F.L.	測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H3-A002C-2 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 10 時 00 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



H3エリアA002C-2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアA002C-2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002C-2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.014
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004	
		$\beta \gamma$ 線	0.009	
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

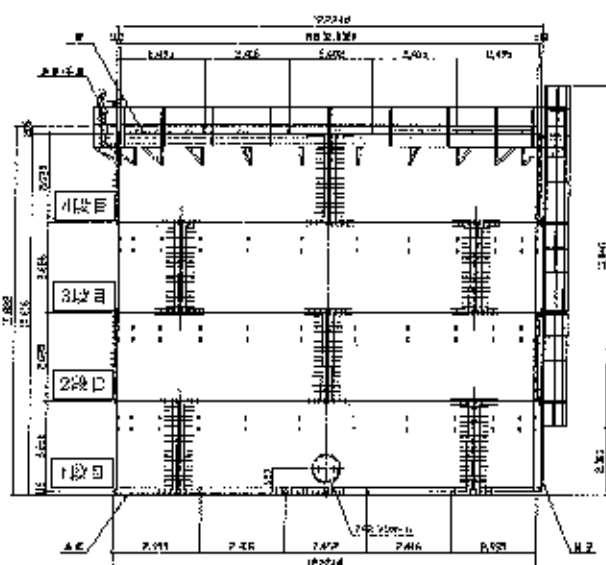
# 放射線管理記録

( 1/2 )

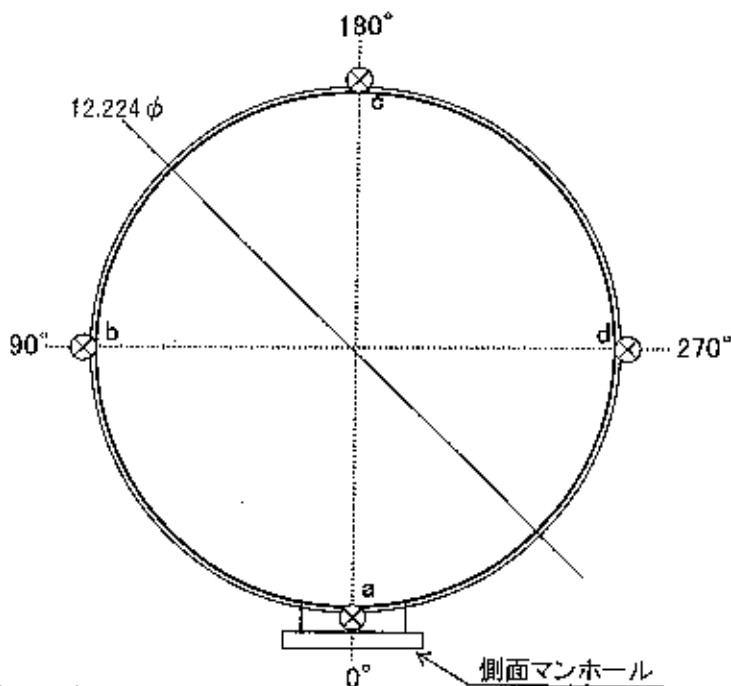
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H3エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H3-A002C-3 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-147
					測定器	F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 9 時 50 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 平面図 (単位:mm)



H3エリアA002C-3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					防護装備
					線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H3エリアA002C-3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H3	A002C-3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.030
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.009
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

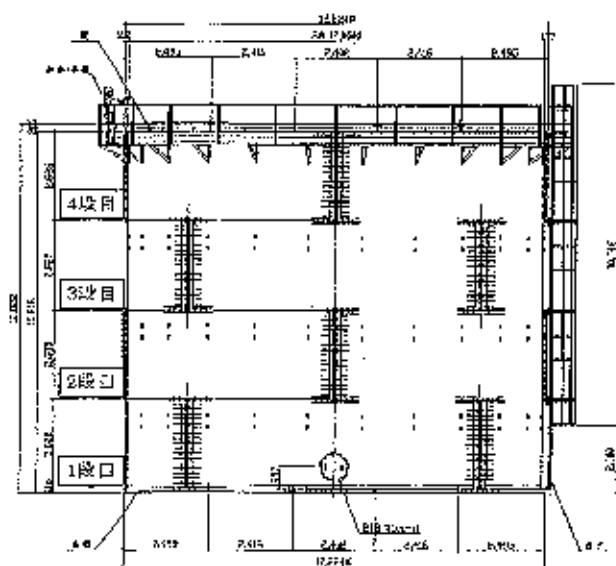
## 放射線管理記録H5エリア全23基

	放管	主技	担当
	2016.3.16	2016.3.14	2016.3.14
			(1/2)

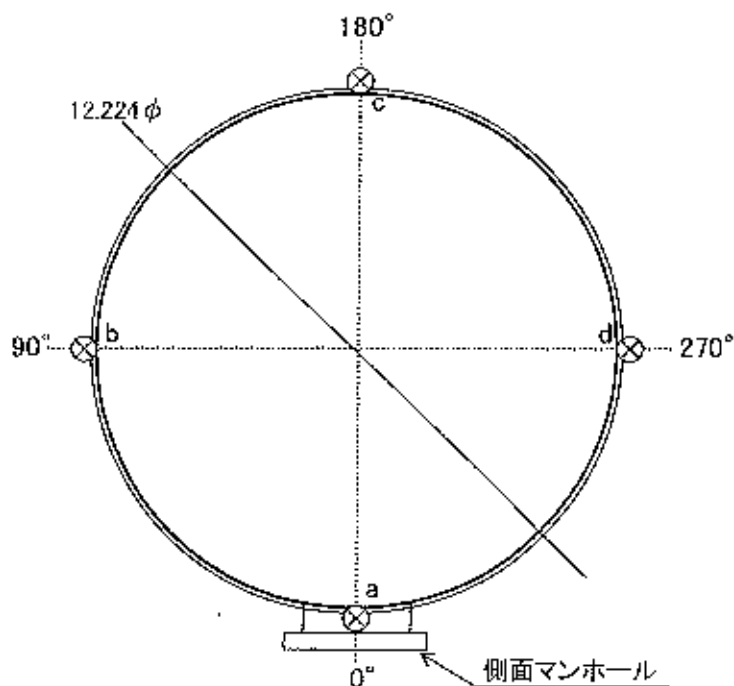
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (H5-A1 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年12月21日 12時20分			区域区分	線量-1, 2, 3 汚染-A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フット)

×: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (R1002)



H5エリア A1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

	放 管	主 技	担 当

## 放射線管理記録H5エリア全23基

2016.9.16(2016.8.19) 15:14  
(2/2)

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時 平成 年 月 日 時 分		区域区分		線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
防護装備				一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)	

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ( )：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H5エリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	A1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.032
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.029
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.016
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.032
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.026	
$\beta$ $\gamma$ 線		0.035		
測定時間	12:20~12:30			
タンク内水位	—%(554mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



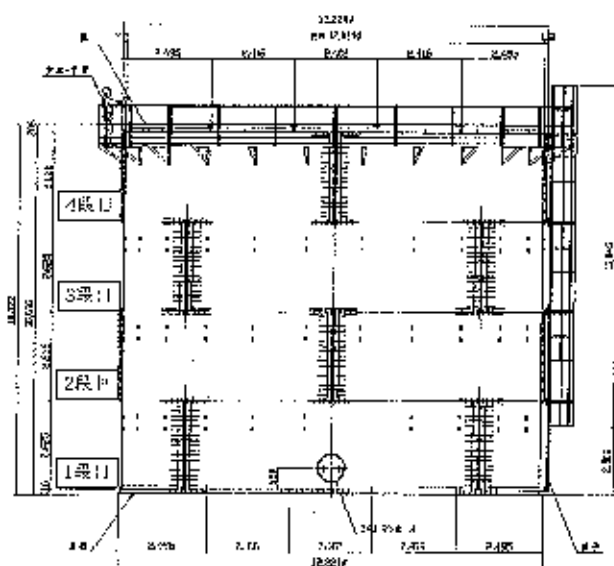
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

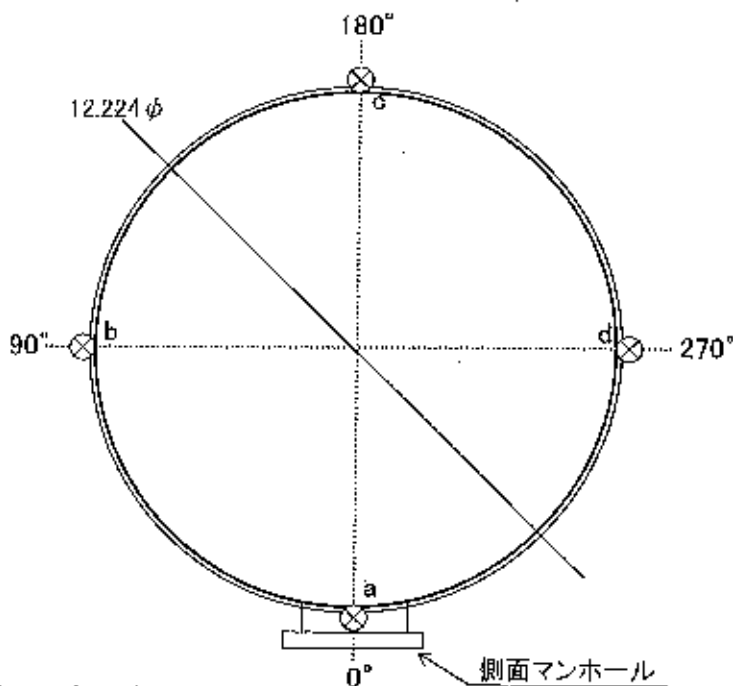
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目		<input checked="" type="checkbox"/> α <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		H5エリア		測定者			
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( H5-A2 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器		F1-ICW-160 F1-ICWBL-62	
測定日時		平成 27 年 12 月 21 日 12 時 30 分		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイフック アフラック(上), (下), マスク(全面), フット		

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



H5エリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> CM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	B	防護装備	
							線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック フラック(上・下), マスク(全滴・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.025
			$\beta \gamma$ 線	0.026
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.042
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.032
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.023	
$\beta \gamma$ 線		0.026		
測定時間	12:30~12:40			
タンク内水位	—%(127mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

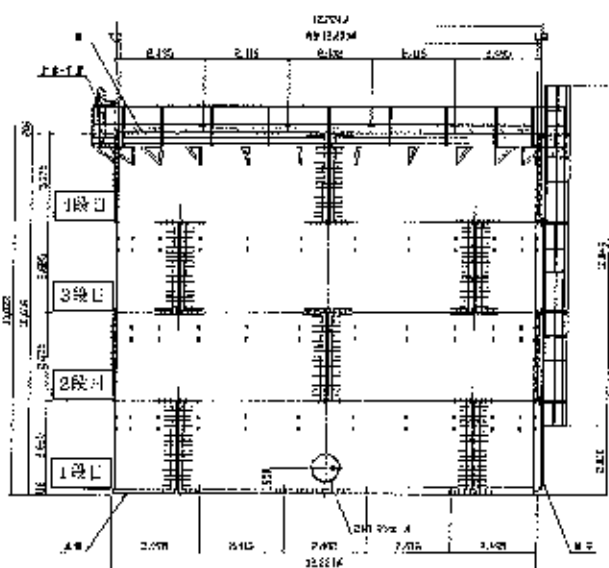
# 放射線管理記録

( 1/2 )

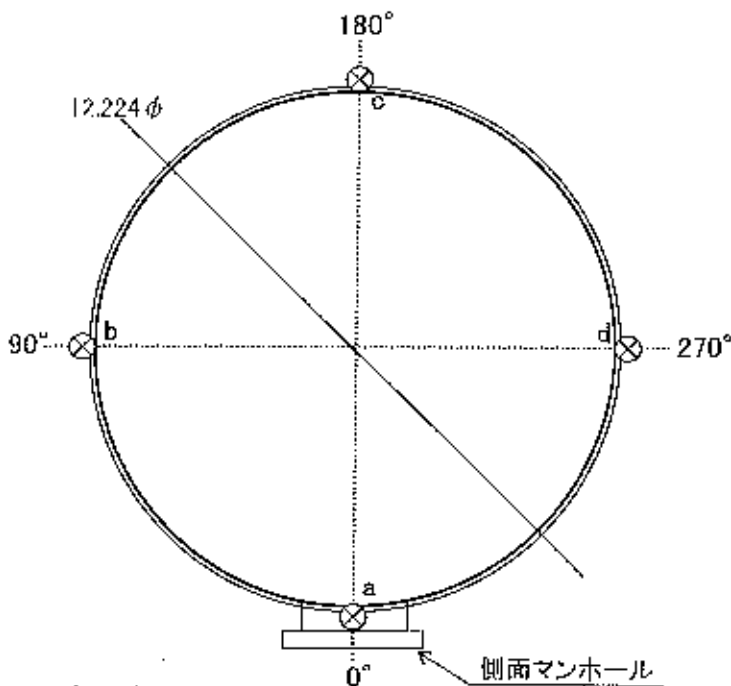
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H5エリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( H5-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時		平成 27 年 12 月 21 日 12 時 10 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ( ) : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク 立面図 (mm)



H5エリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定器	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
				区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
				防護装備	
				一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	A3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.025
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.035
			$\beta \gamma$ 線	0.037
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.033
			$\beta \gamma$ 線	0.033
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.035
			$\beta \gamma$ 線	0.038
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.030	
$\beta \gamma$ 線		0.032		
測定時間	12:10~12:20			
タンク内水位	—% (128mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

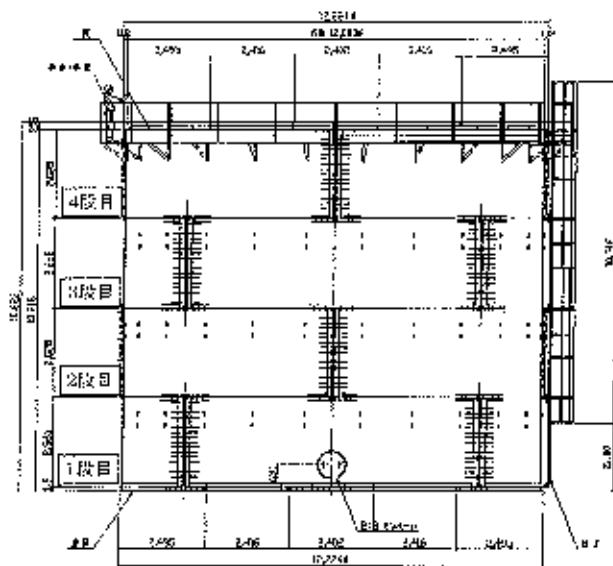
# 放射線管理記録

( 1/2 )

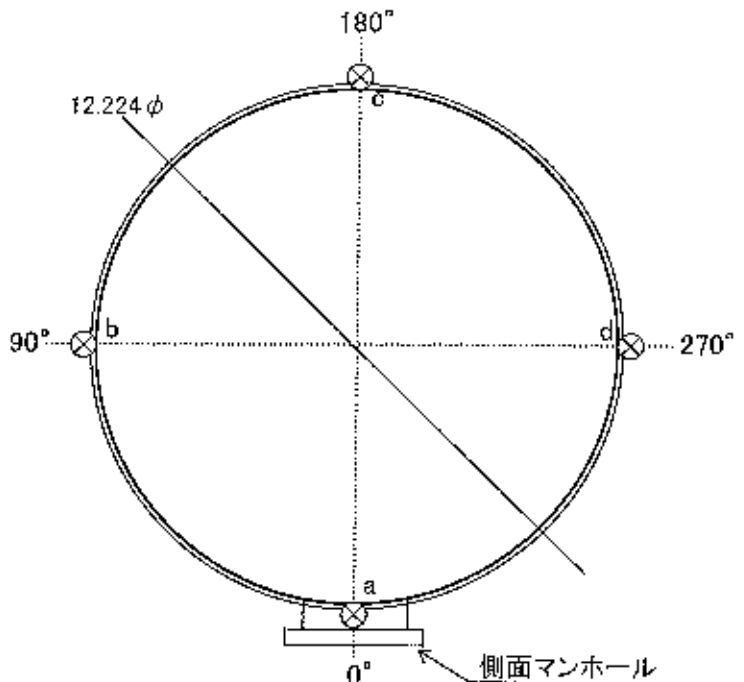
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H5-A4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 12 月 21 日 12 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイベック アブレッタ(上), 下, マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (200mm)



H5エリア A4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
区域区分						線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
防護装備						一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	A4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.022
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.052
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.046
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta \gamma$ 線	0.038
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.033	
$\beta \gamma$ 線		0.039		
測定時間	12:40~12:50			
タンク内水位	—%(127mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

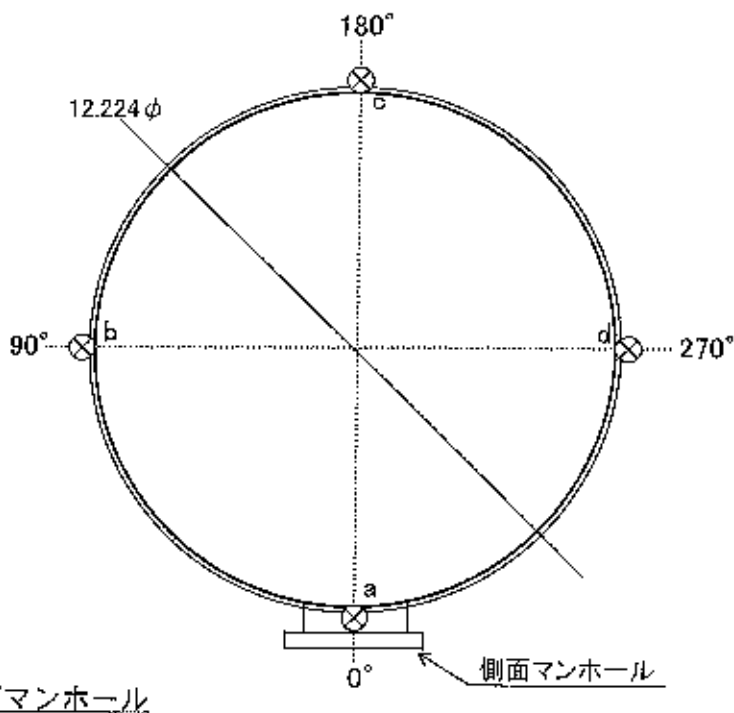
◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$\left( \frac{1}{2} \right)$ 

×: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

H5エリア B1タンク 平面図



雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。

側面マンホール

◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	B1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.019
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.024
			$\beta \gamma$ 線	0.029
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.024
			$\beta \gamma$ 線	0.034
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.021	
$\beta \gamma$ 線		0.025		
測定時間	12:10~12:20			
タンク内水位	—%(773mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



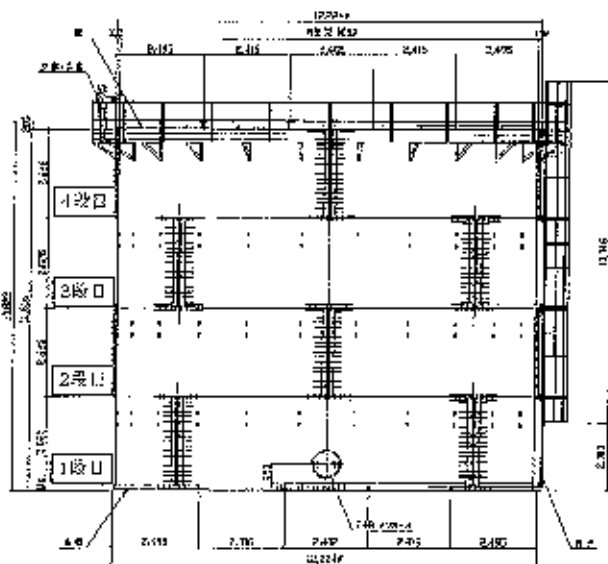
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

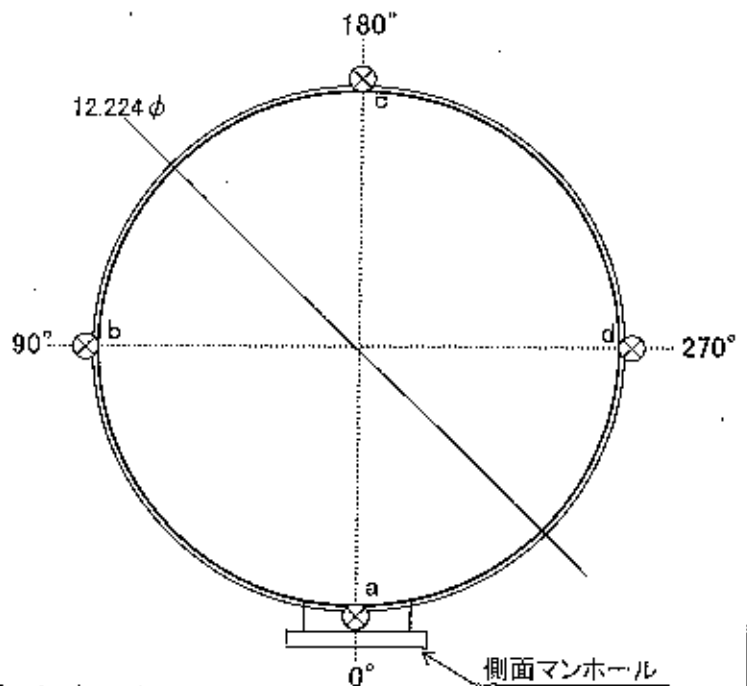
作業件名		1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ線 <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H5エリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 (H5-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール)		測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時		平成27年12月21日 12時00分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アブレッタ(上, 下), マスク(全面・フード)

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) (cm)



H5エリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ド #/B F L	測定者		
作業内容 (測定目的)		コ ド	測定器		
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.027
			$\beta \gamma$ 線	0.032
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.023
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.032
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.018	
$\beta \gamma$ 線		0.023		
測定時間	12:00~12:10			
タンク内水位	—%(326mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

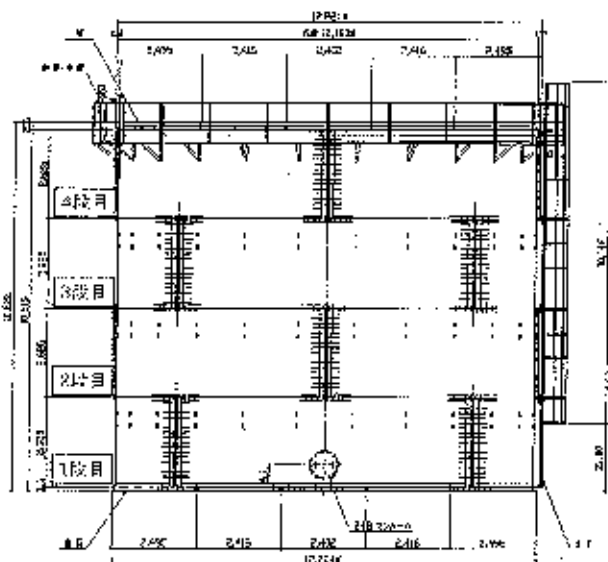
# 放射線管理記録

( 1/2 )

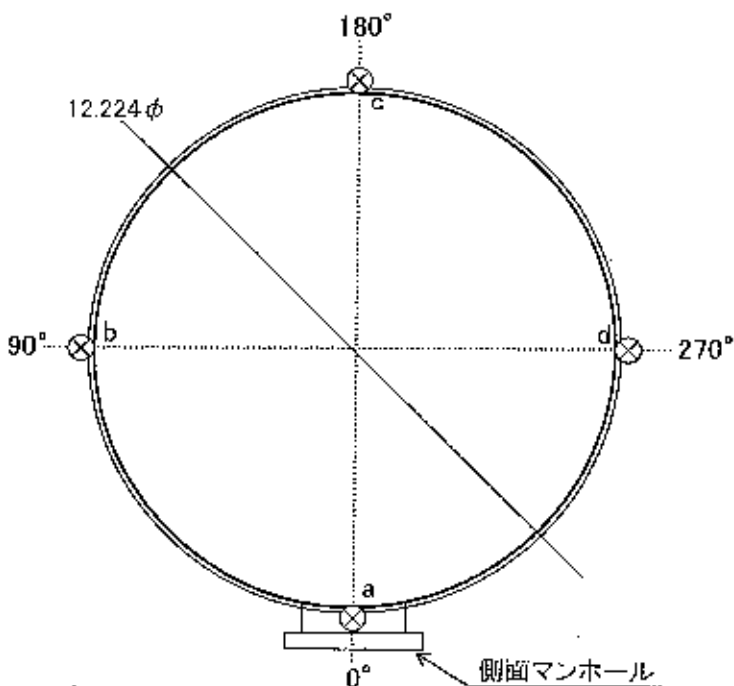
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (H5-B3 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 12 月 21 日 11 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上), (下), マスク(全面・フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



H5エリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コード	#/B	FL	測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H5エリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	B3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.039
			$\beta \gamma$ 線	0.039
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.033
			$\beta \gamma$ 線	0.033
		d (280° 付近)	$\gamma$ 線	0.025
			$\beta \gamma$ 線	0.025
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta \gamma$ 線	0.025
測定時間	11:50~12:00			
タンク内水位	—%(325mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

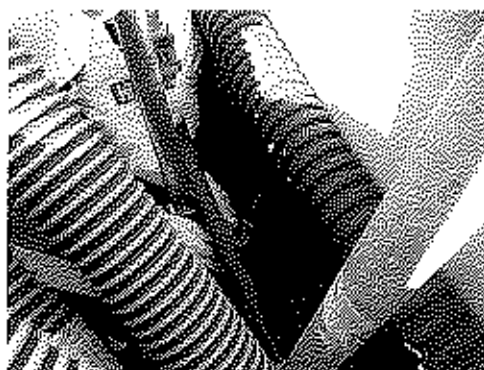
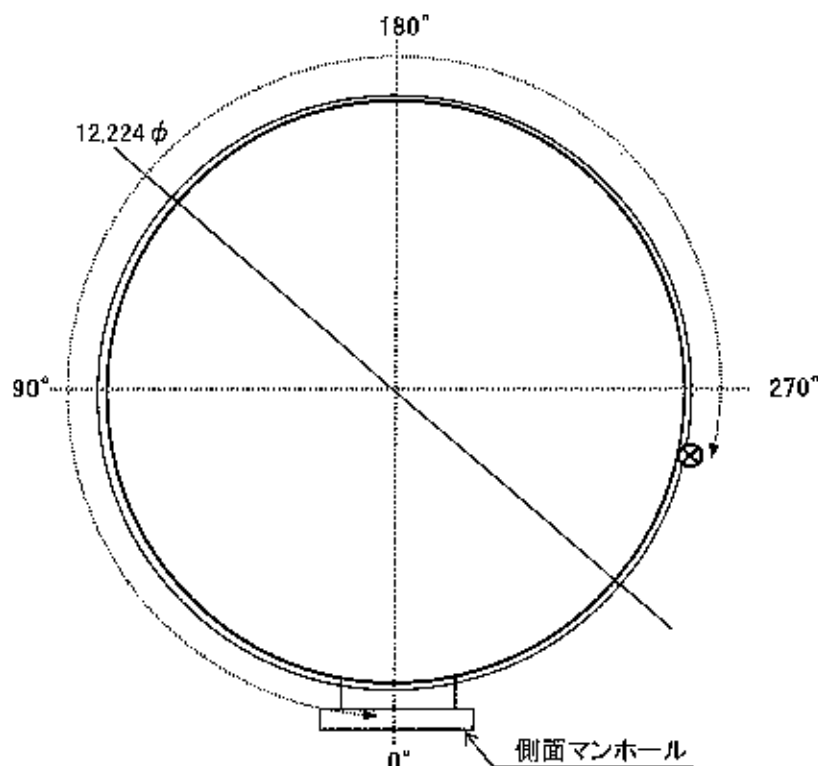
◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 280° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

## 検 査 記 録

発電所名	東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 1~4号機	東京電力㈱ 記録確認者	QC	主技	担当
対象機器	H5エリア B3タンク				
検査項目	線量測定	2016.3.17		2016.3.14	2016.3.14

H5エリア B3タンク 平面図



・測定ポイント270°付近において、エフレックス管  
カナフレックス管が密集して測定できなかった為、270°  
付近から側面マンホールへ約1M向かった地点で測定し  
放射線管理記録に記載しました。

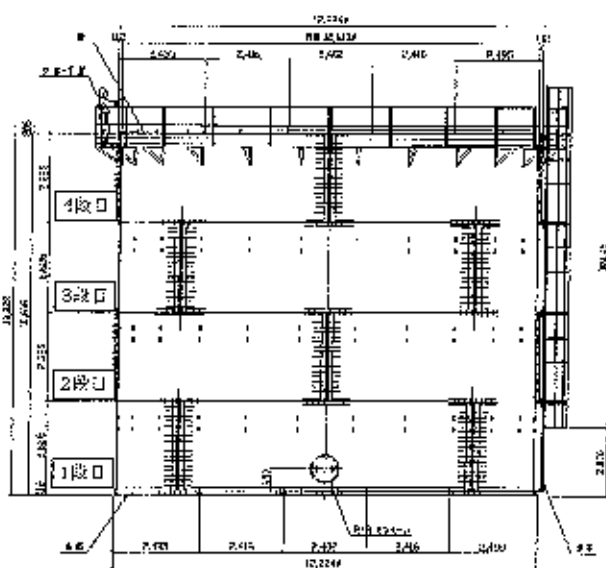
# 放射線管理記録

( 1/2 )

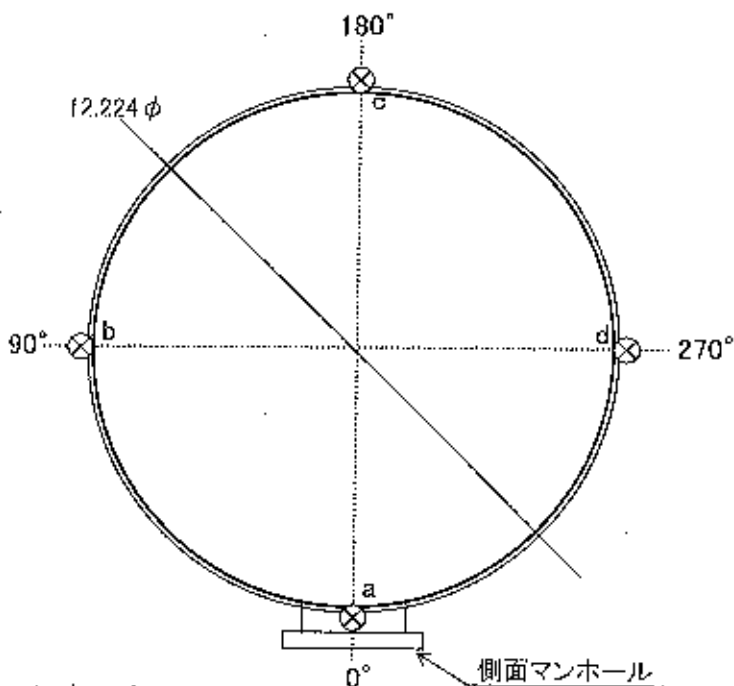
作業件名	1F 1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5-B4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 12 月 21 日 11 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライカ(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 正面図 (mm)



H5エリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
 ピニール袋(0.03mm)で養生実施。  
 また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D		
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	B
		防護装備			

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	B4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.046
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.044
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.032
			$\beta \gamma$ 線	0.036
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.064
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.036		
	$\beta \gamma$ 線	0.045		
測定時間	11:40~11:50			
タンク内水位	—%(129mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

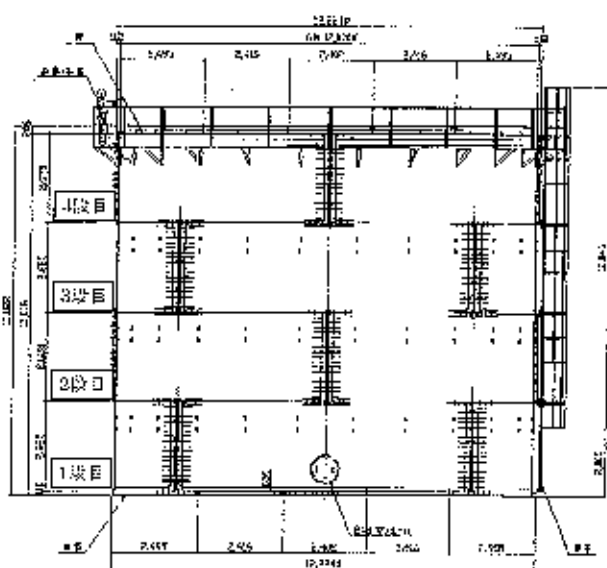
# 放射線管理記録

( 1/2 )

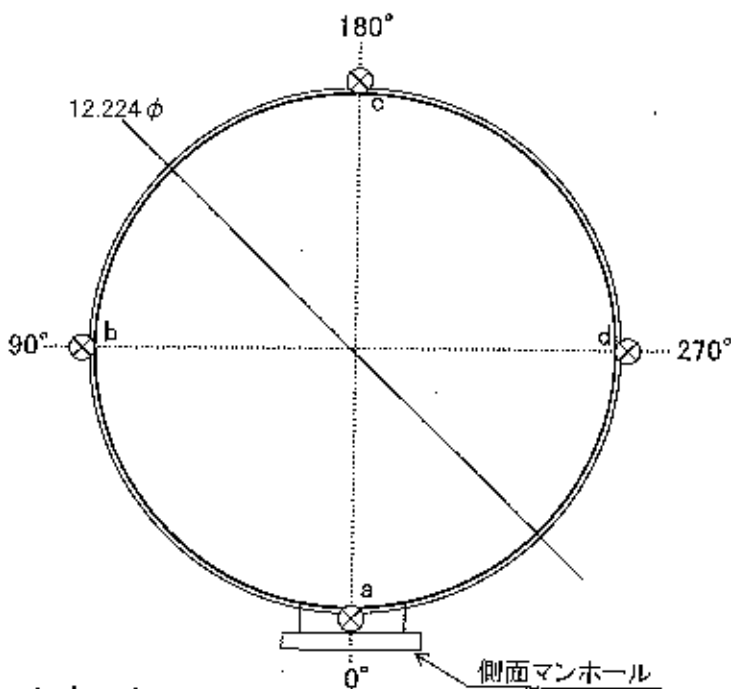
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5-B5 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 12 月 21 日 11 時 30 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイラック アライナー (上, 下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2000)



H5エリア B5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	B5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.046
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.044
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.032
			$\beta \gamma$ 線	0.036
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.064
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.036
			$\beta \gamma$ 線	0.045
測定時間	11:30~11:40			
タンク内水位	—%(126mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

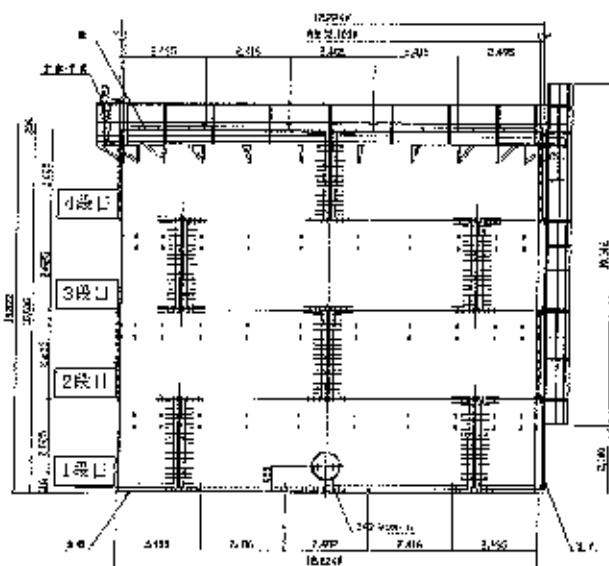
# 放射線管理記録

( 1/2 )

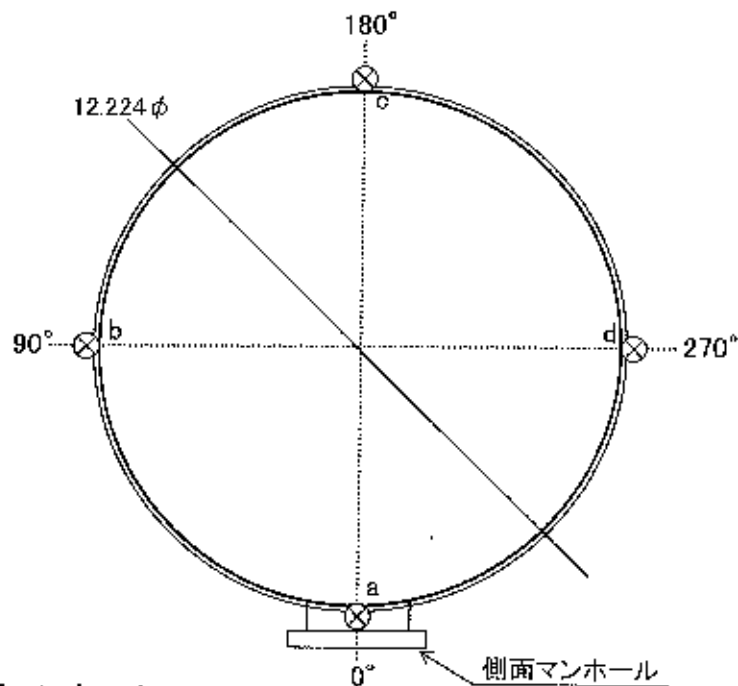
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (H5-C1 H筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年12月21日 12時40分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円型タンク 点検図 (mm)



H5エリア C1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備
						線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアC1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	C1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.060
			$\beta \gamma$ 線	0.062
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.090
			$\beta \gamma$ 線	0.091
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.041
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.075
			$\beta \gamma$ 線	0.076
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.065
			$\beta \gamma$ 線	0.080
測定時間	12:40~12:50			
タンク内水位	33.8%			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

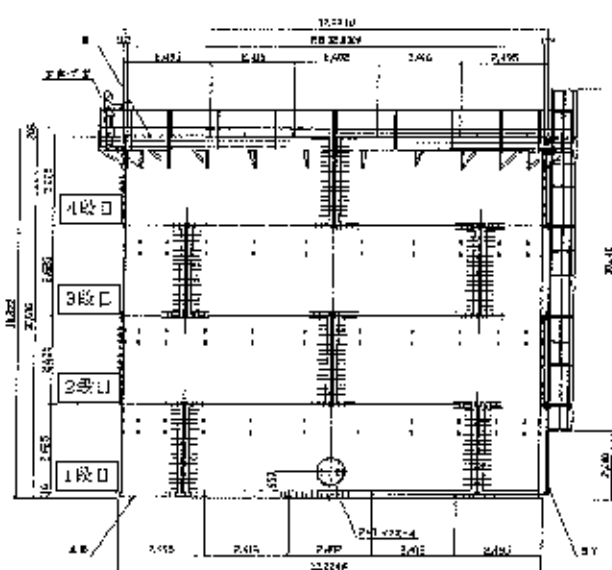
# 放射線管理記録

( 1/2 )

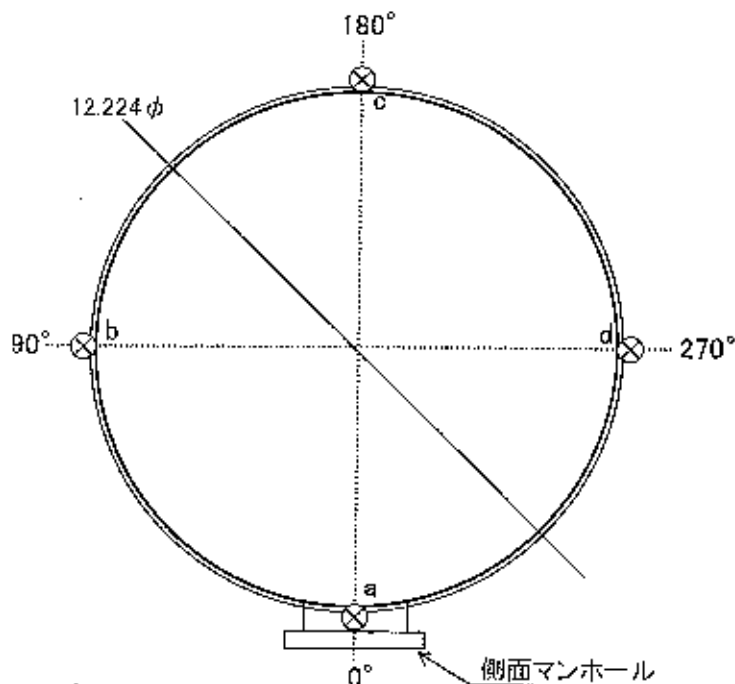
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5-C2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 12 月 21 日 12 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイツク ソックス(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 点検図 (2/2)



H5エリア C2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	V/B	F	L
作業内容 (測定目的)		測定者			
		測定器			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1. 2. 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアC2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	C2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.032
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.035
			$\beta \gamma$ 線	0.038
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.048
			$\beta \gamma$ 線	0.051
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.041	
$\beta \gamma$ 線		0.042		
測定時間	12:50~13:00			
タンク内水位	- % (200mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

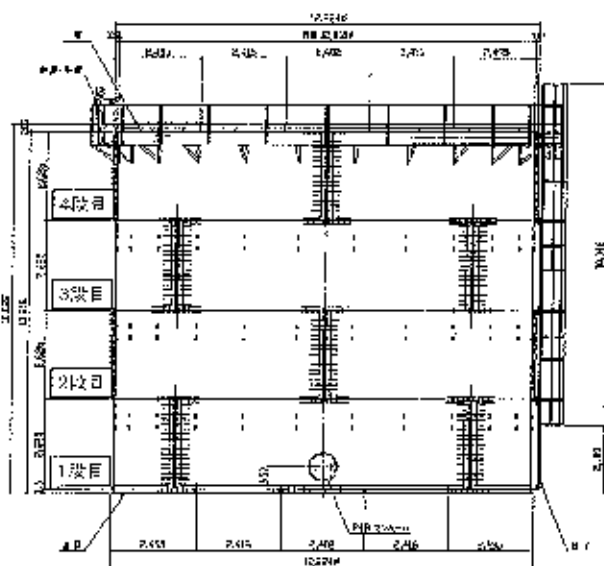
# 放射線管理記録

( 1/2 )

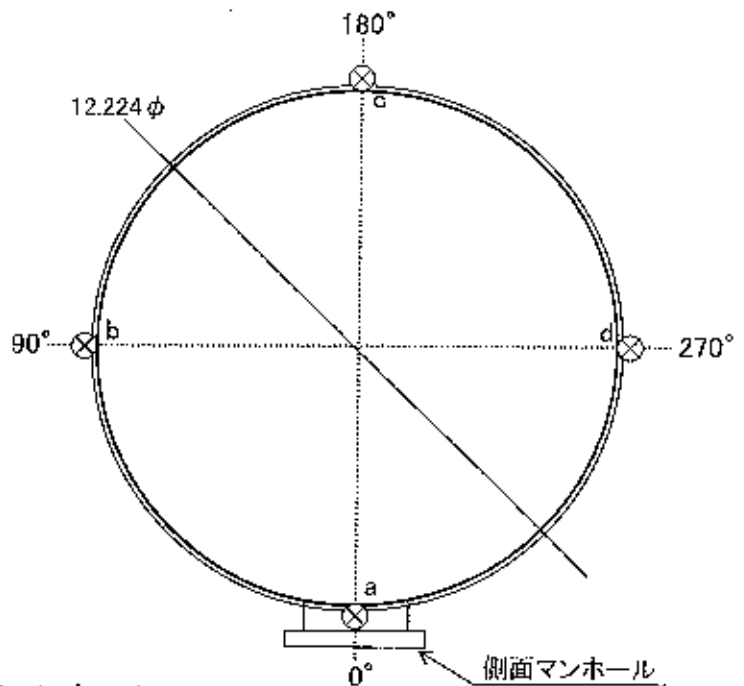
作業件名	1F 1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5-C3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 12 月 21 日 11 時 20 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック) (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 縦向き (単位: mm)



H5エリア C3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアC3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	C3	a (0° 側)	γ線	0.040
			β γ線	0.041
		b (90° 側)	γ線	0.035
			β γ線	0.037
		c (180° 側)	γ線	0.055
			β γ線	0.062
		d (270° 側)	γ線	0.047
			β γ線	0.058
	側面マンホール	γ線	0.045	
		β γ線	0.055	
測定時間	11:20~11:30			
タンク内水位	-%(287mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

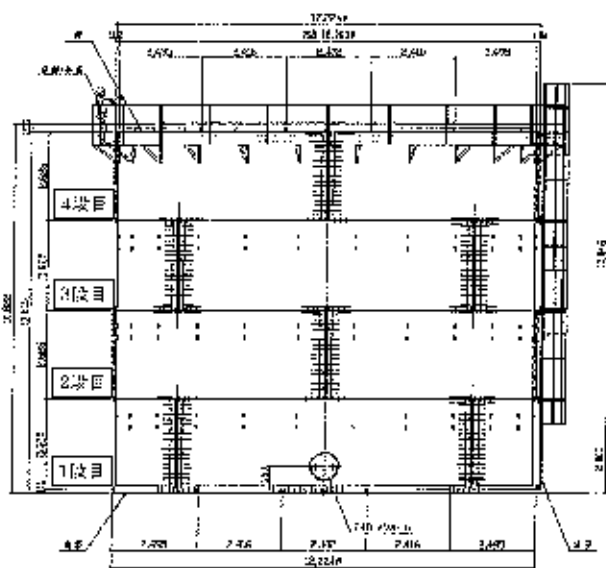
# 放射線管理記録

( 1/2 )

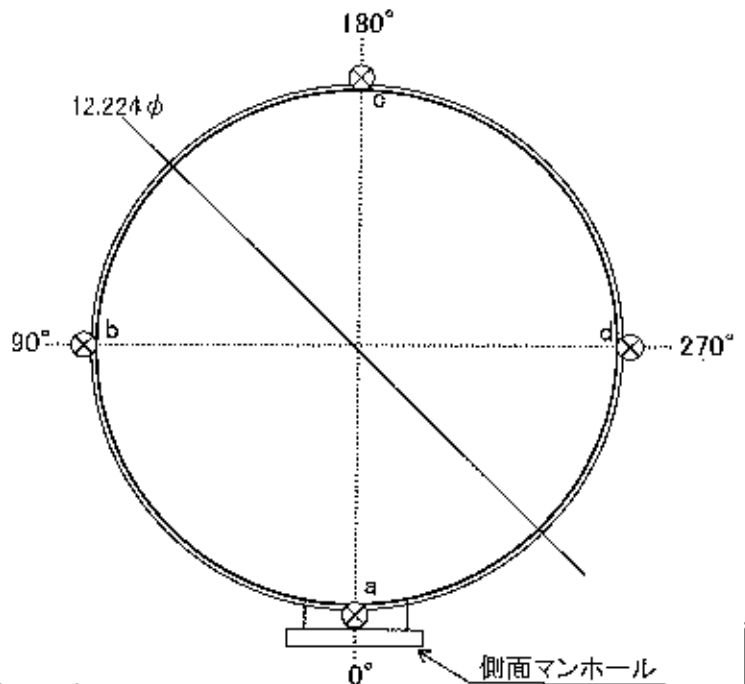
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5-C4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 12 月 21 日 11 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アノラック(上), (下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (ICWBL)



H5エリア C4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C 手袋, タイベック, タイラック アノラック(上・下), マスク(全面・フット)
コード	番号	出力	MW	停止後		

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H5エリアC4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	C4	a (0° 側)	γ線	0.040
			β γ線	0.042
		b (90° 側)	γ線	0.055
			β γ線	0.055
		c (180° 側)	γ線	0.060
			β γ線	0.081
		d (270° 側)	γ線	0.055
			β γ線	0.061
		側面マンホール	γ線	0.050
			β γ線	0.064
測定時間	11:10~11:20			
タンク内水位	- % (292mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

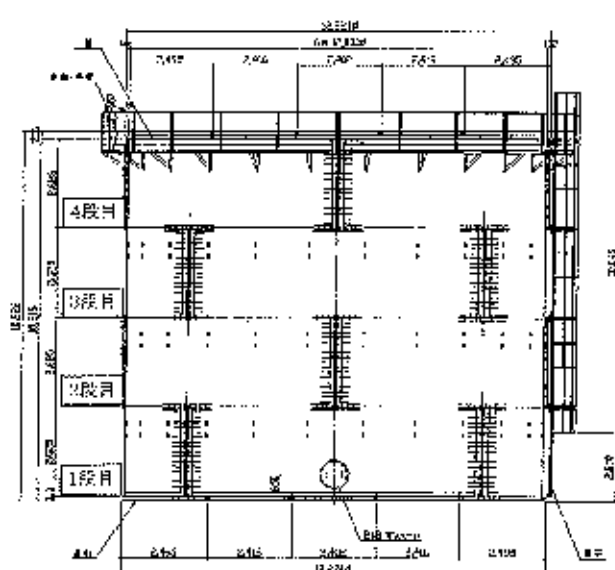
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

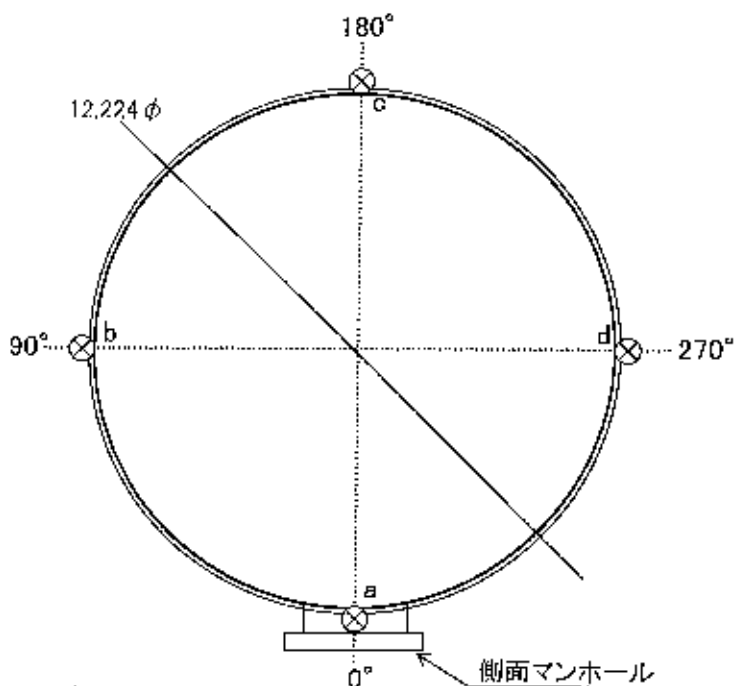
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (H5 C5 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年12月21日 11時00分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

×: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



H5エリア C5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ー ド	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		メ ー ス			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定器	
件名	RWA	電気	原子炉	区域区分	
コード	番号	出力	MW	線量 - 1, 2, 3	
			停止後	汚染 - A, B1, B2, C, D	
				一般作業服, A, B1, B2, C	
				ゴム手袋, タイベック, タラック	
				アラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H5エリアC5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	C5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.047
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.060
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.075
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.065
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.067
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.056
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.066
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.048
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.055
測定時間	11:00~11:10			
タンク内水位	- % (275mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

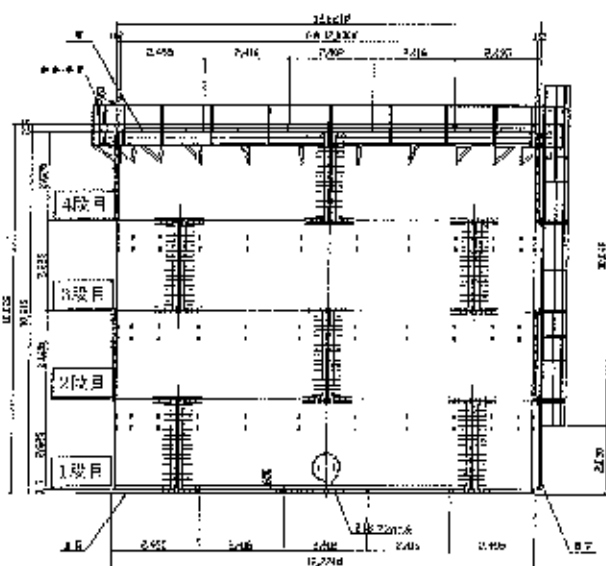
# 放射線管理記録

( 1/2 )

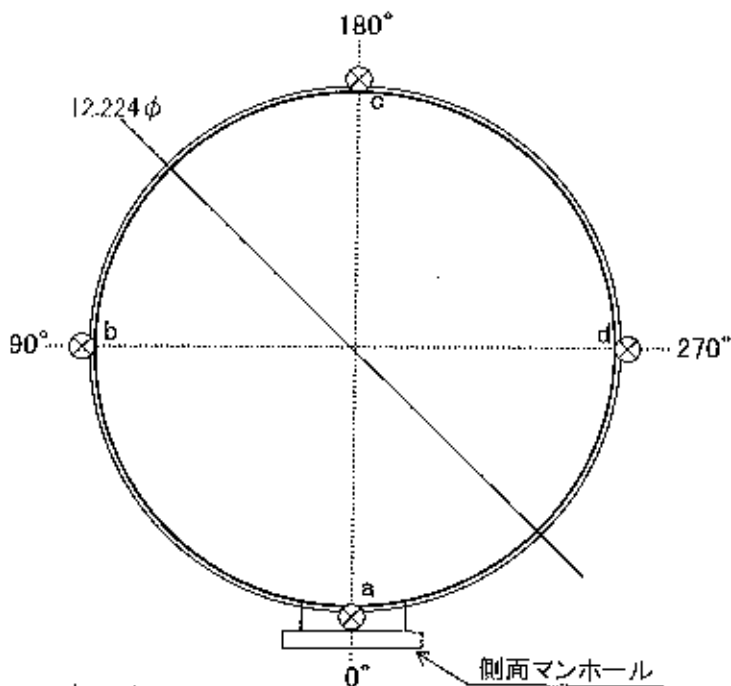
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5-C6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-160 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 12 月 21 日 10 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック グローブ(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 区画図 (1/2)



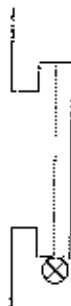
H5エリア C6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアC6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	C6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.042
			$\beta \gamma$ 線	0.043
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.045
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.072
			$\beta \gamma$ 線	0.077
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.065
			$\beta \gamma$ 線	0.092
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.064		
	$\beta \gamma$ 線	0.080		
測定時間	10:50~11:00			
タンク内水位	- % (288mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

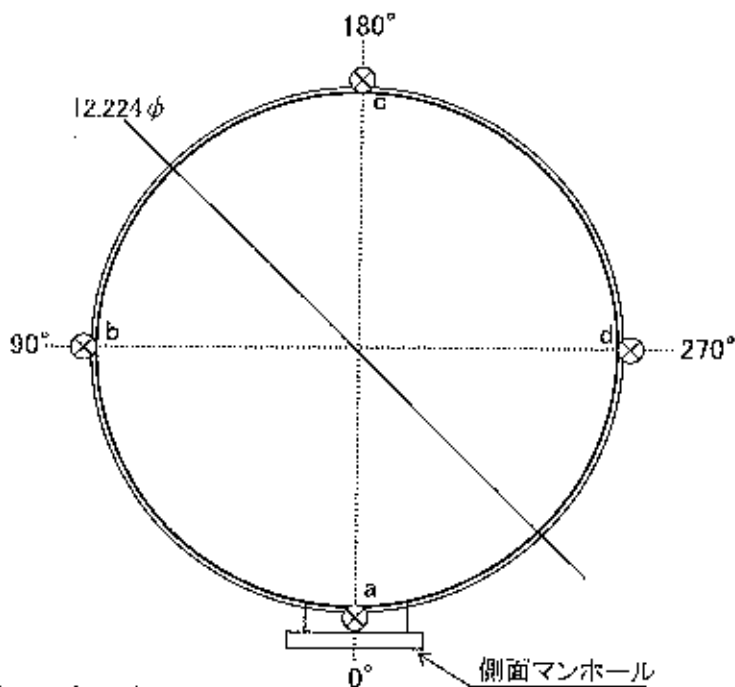
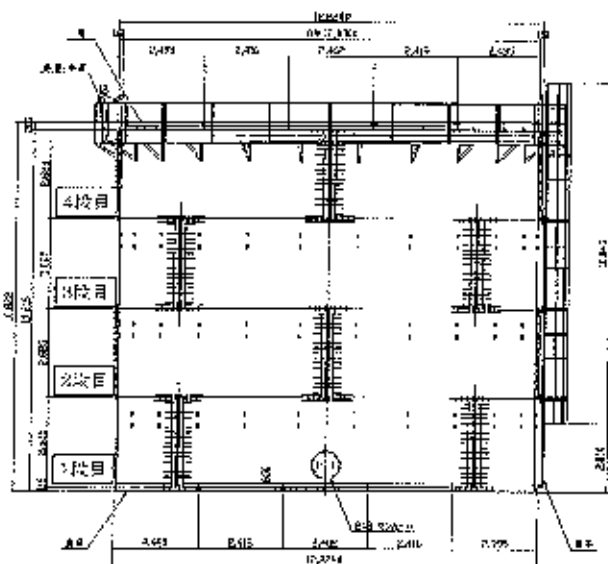
◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$(1/2)$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

H5エリア C7タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		Y			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
				一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック フラック(上・下), マスク(全面・フード)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアC7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	C7	a (0° 側)	γ線	0.038
			β γ線	0.045
		b (90° 側)	γ線	0.060
			β γ線	0.070
		c (180° 側)	γ線	0.060
			β γ線	0.078
		d (270° 側)	γ線	0.038
			β γ線	0.038
側面マンホール	γ線	0.047		
	β γ線	0.065		
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	-%(218mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

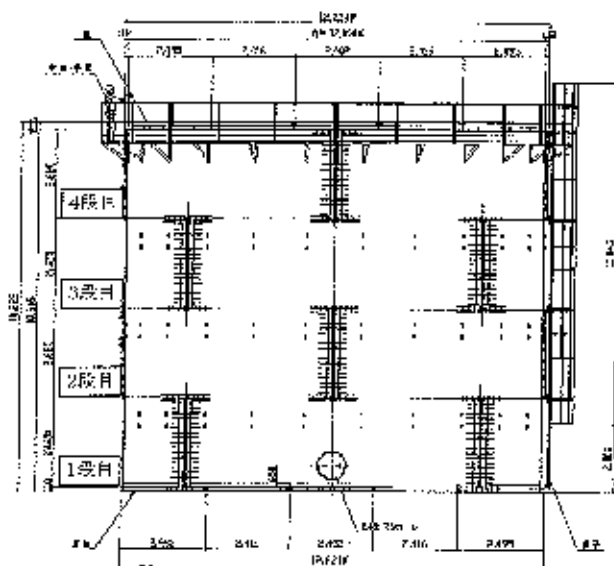
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

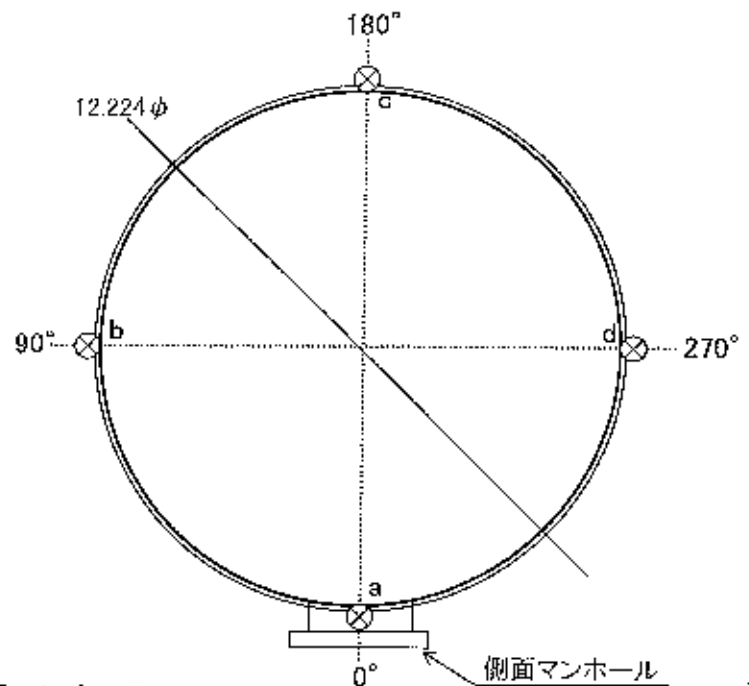
作業件名		1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H5エリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( H5 D1 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時		平成 27 年 11 月 30 日 9 時 40 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライツ (上, 下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (12.224)



H5エリア D1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW 停止後	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アブタ(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアD1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	D1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.026
			$\beta \gamma$ 線	0.033
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.035
			$\beta \gamma$ 線	0.041
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.042
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.035
			$\beta \gamma$ 線	0.049
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.050	
$\beta \gamma$ 線		0.055		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	0.1%			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

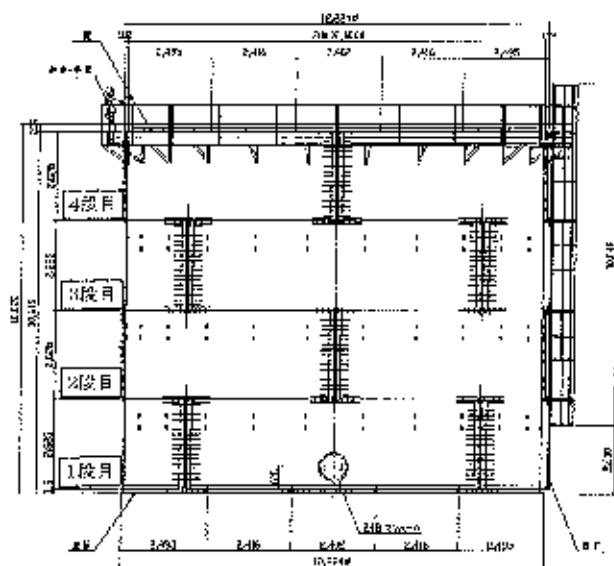
# 放射線管理記録

( 1/2 )

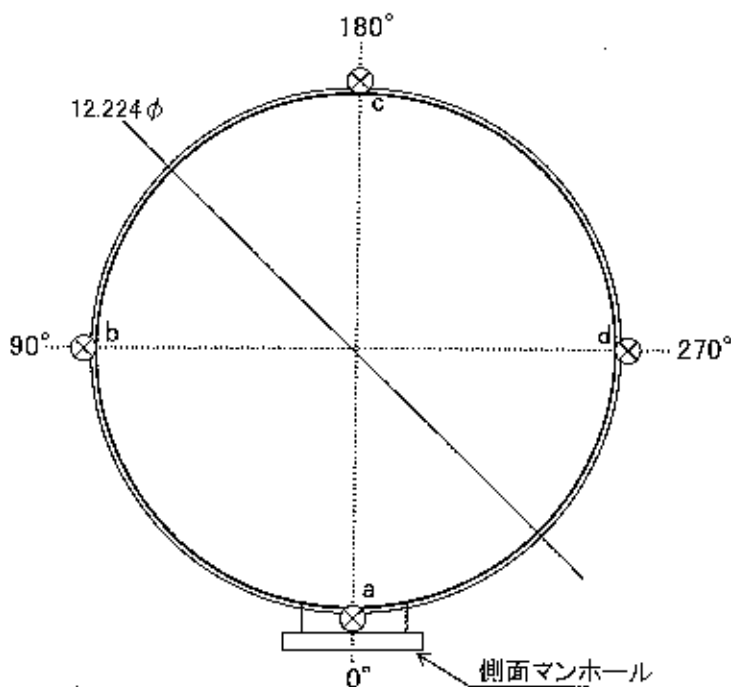
作業件名		1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H5エリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		線量率測定、目視検査 ( H5-D2 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時		平成 27 年 11 月 30 日 9 時 50 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) タイラック (アライズ) (上) (下), (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



H5エリア D2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック ブランク(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアD2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	D2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.046
			$\beta \gamma$ 線	0.049
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.060
			$\beta \gamma$ 線	0.074
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.075
			$\beta \gamma$ 線	0.075
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.073
			$\beta \gamma$ 線	0.081
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.060	
$\beta \gamma$ 線		0.077		
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	一% (125mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

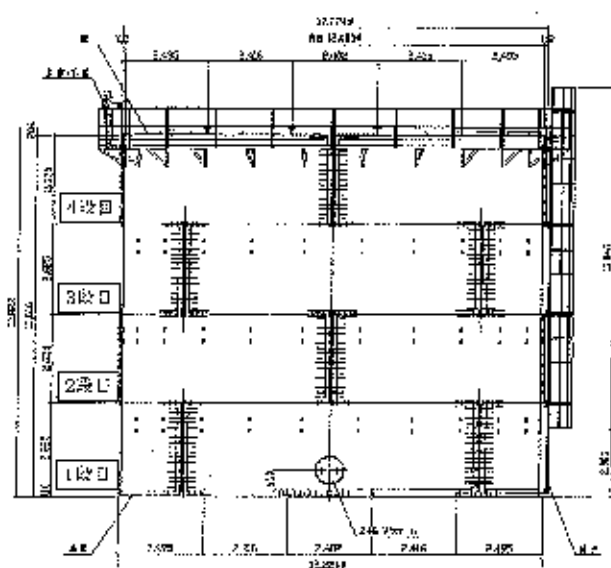
# 放射線管理記録

( 1/2 )

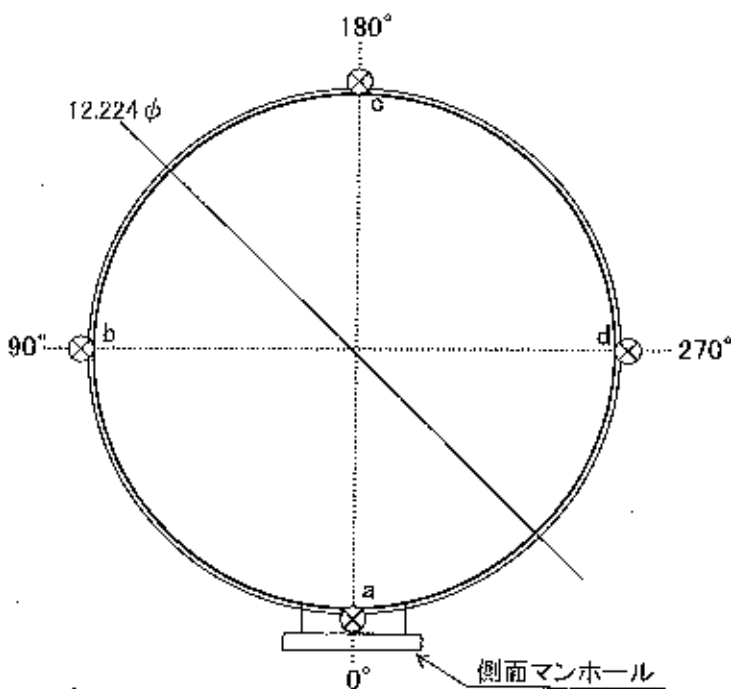
作業件名		1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H5エリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( H5-D3 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時		平成 27 年 11 月 30 日 10 時 00 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アライ) (上) (下), (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位: mm)



H5エリア D3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ イ ド	#/8	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コ イ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック フリック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアD3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	D3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.033
			$\beta \gamma$ 線	0.037
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.060
			$\beta \gamma$ 線	0.064
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.060
			$\beta \gamma$ 線	0.061
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.050
			$\beta \gamma$ 線	0.061
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.057	
$\beta \gamma$ 線		0.074		
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	- % (129mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

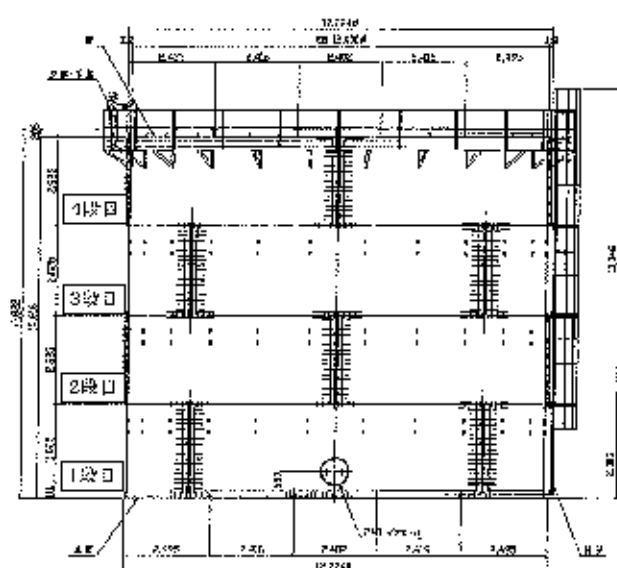
# 放射線管理記録

( 1/2 )

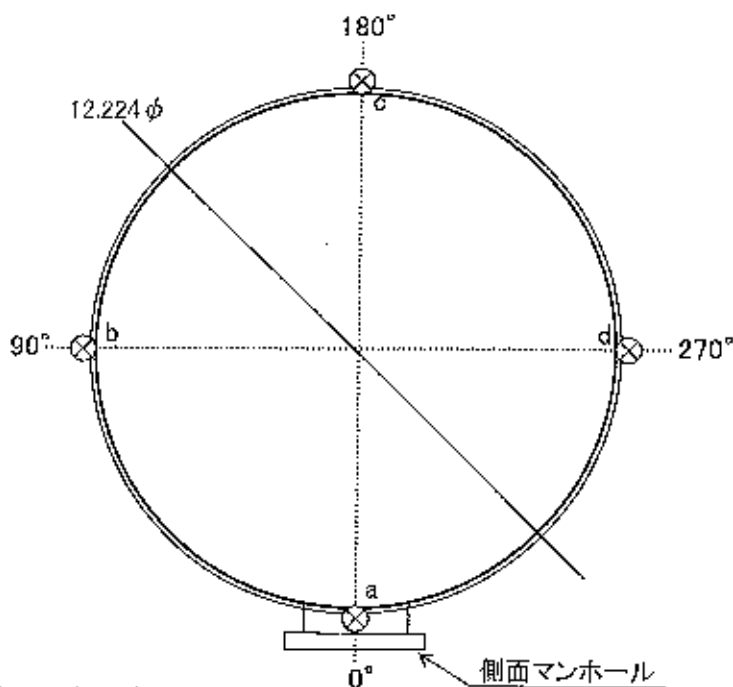
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H5-D4 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-147
					測定器	F1-ICWBL-46
測定日時	平成 27 年 11 月 30 日 10 時 20 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アライナー) (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

H5-D4タンク 縦断面図



H5エリア D4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## ( 2/2 )

## H5エリアD4タンク堰内線量率測定結果

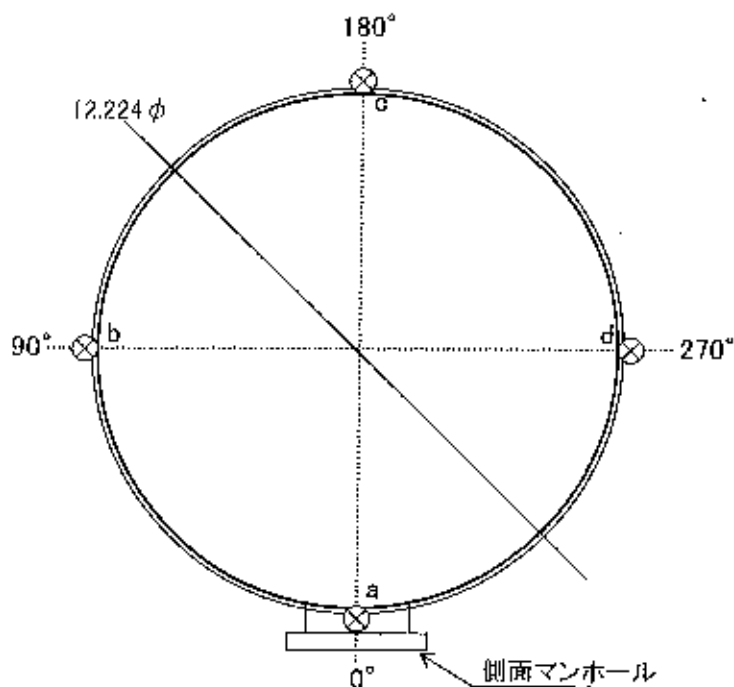
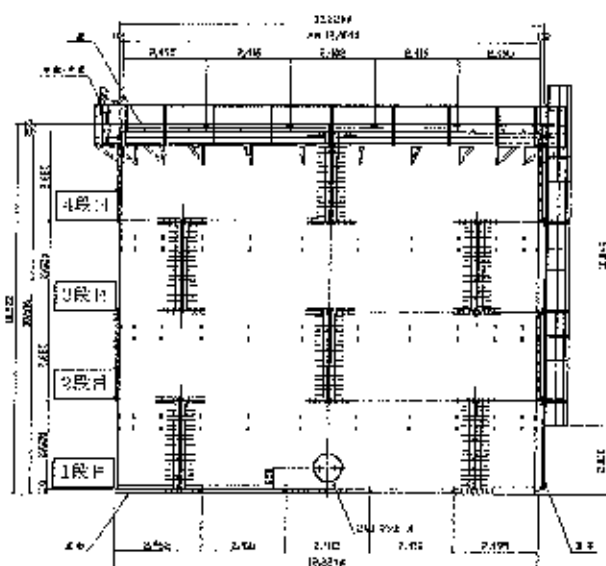
單位 (mSv/h)

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$(-1/2)$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

H5エリア D5タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ イ ラ	※/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ イ ラ			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定器	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアD5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	D5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.028
			$\beta \gamma$ 線	0.033
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.044
			$\beta \gamma$ 線	0.045
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.045
			$\beta \gamma$ 線	0.056
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.051		
	$\beta \gamma$ 線	0.060		
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	-%(126mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

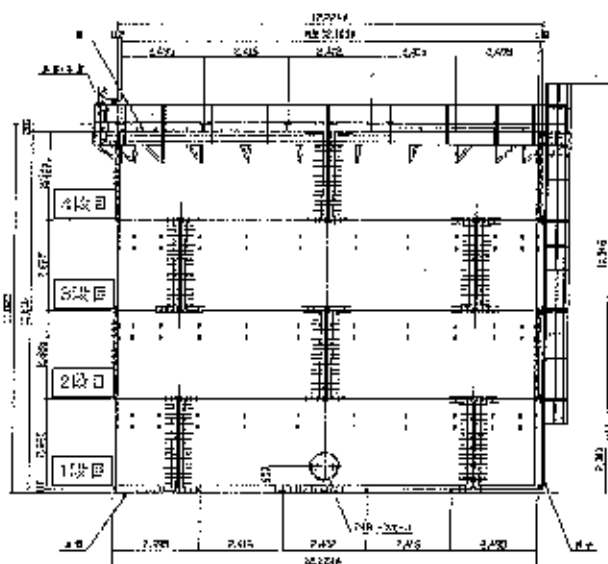
# 放射線管理記録

( 1/2 )

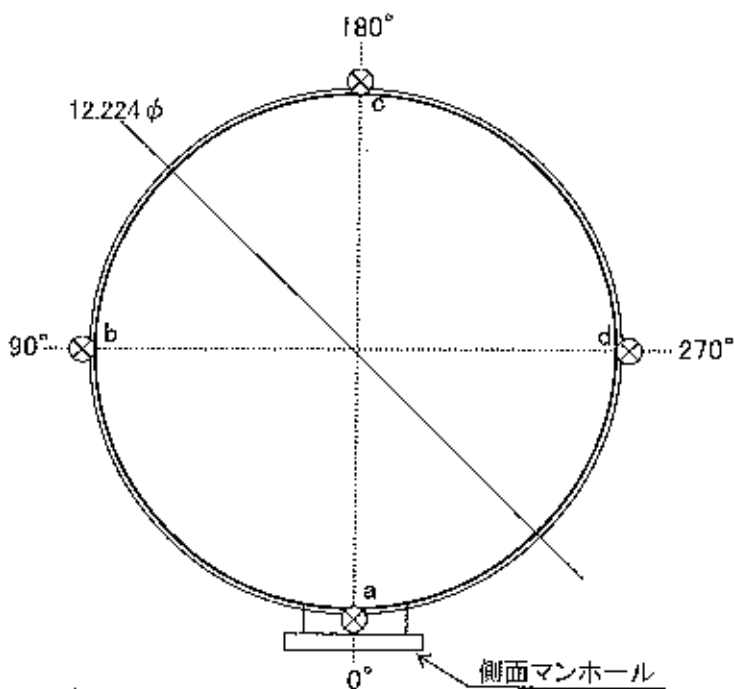
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H5エリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( H5-D6 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時		平成 27 年 11 月 30 日 10 時 40 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライズ(上) (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



H5エリア D6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					コード	測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器			
測定日時 平成 年 月 日 時 分					区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアD6タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	D6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.040
			$\beta \gamma$ 線	0.054
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.021
			$\beta \gamma$ 線	0.027
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.037
			$\beta \gamma$ 線	0.045
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.045	
$\beta \gamma$ 線		0.055		
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	-%(128mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

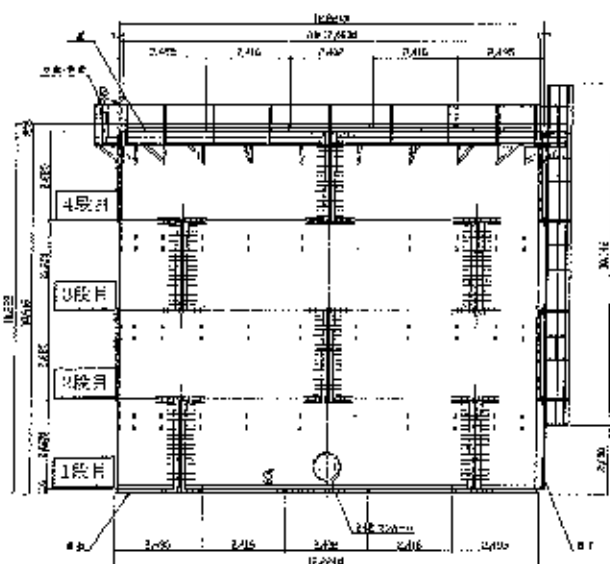
# 放射線管理記録

1/2

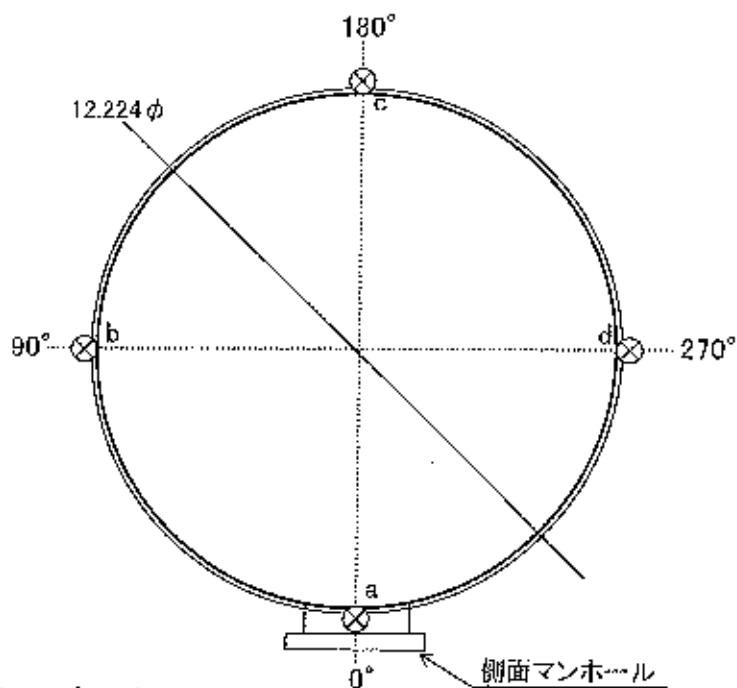
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (H5・D7円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-147 F1-ICWBL-46
測定日時	平成27年11月30日 10時50分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アレッグ(上, 下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm単位)



H5エリア D7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック P/ラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5エリアD7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5	D7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.018
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.037
			$\beta \gamma$ 線	0.042
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta \gamma$ 線	0.030
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.041
			$\beta \gamma$ 線	0.064
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.045	
$\beta \gamma$ 線		0.058		
測定時間	10:50~11:00			
タンク内水位	-%(126mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

## 放射線管理記録H5北エリア全8基

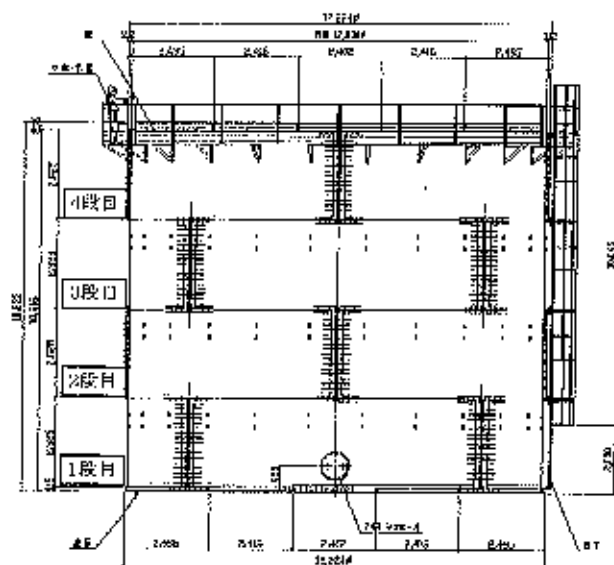
放管 主技 担当

2016.3.14 2016.3.14 2016.3.14  
( 1/2 )

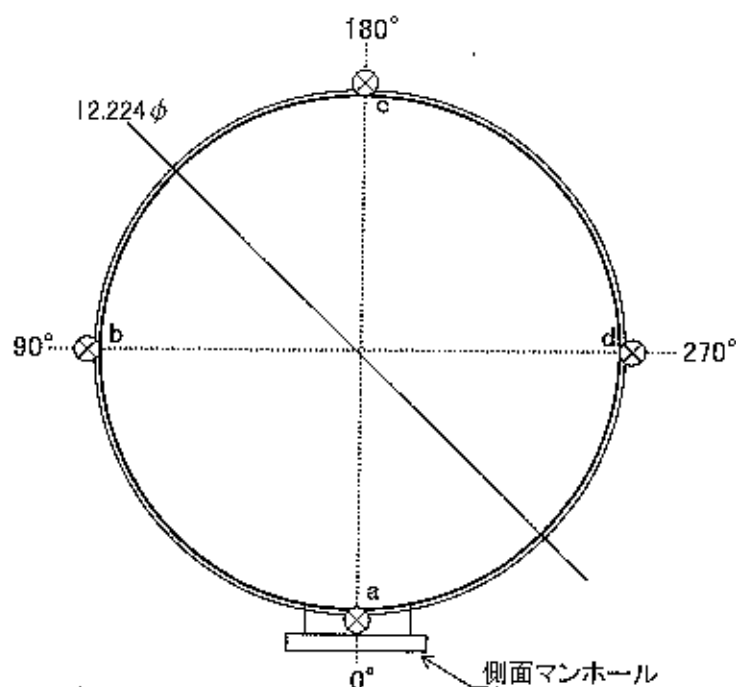
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5北エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H5N-A1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-071 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年11月25日 9時50分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック) (上) (下), (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 102032



H5Nエリア A1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録 H5 北エリア全 8 基

放 管	主 技	担 当

2014.3.14 2016.3.14 2018.3.14  
( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接			
測定場所					測定者				
作業内容 (測定目的)					測定器				
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)		

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H5NエリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5N	A1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.028
			$\beta \gamma$ 線	0.036
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.018
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.020
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.019
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.030	
$\beta \gamma$ 線		0.040		
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	86.5%			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

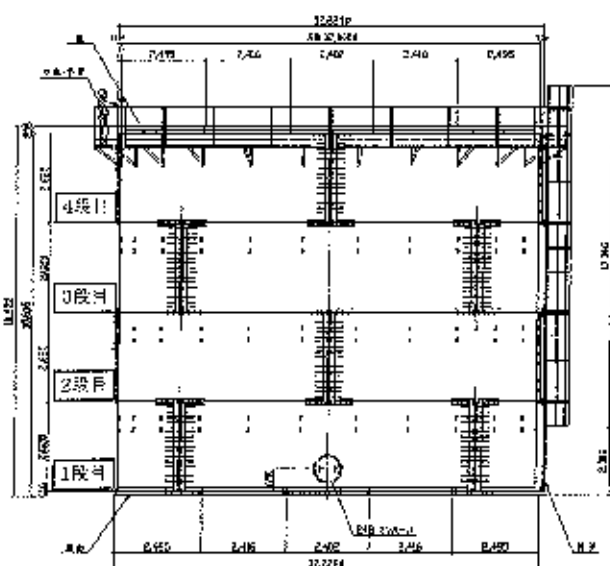
# 放射線管理記録

( 1/2 )

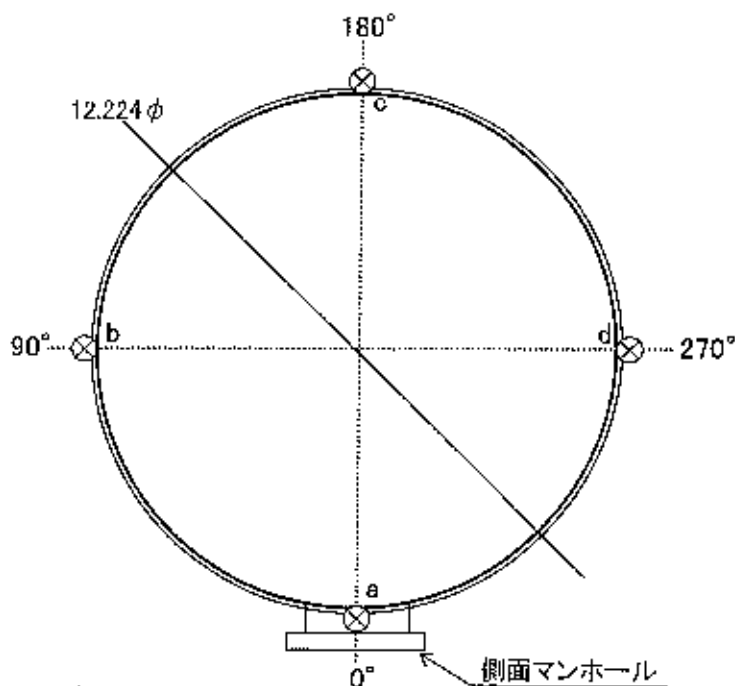
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5北エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5N-A2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-071 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年11月25日 10時20分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライナー(上), (下), マスク(全面・フード)

×: 空間線量当量率 ⊗: 表面線量当量率 ○: スミアポイント △: ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm単位)



H5Nエリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		IR	#/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コ			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	日
					線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5NエリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5N	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.018
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.016
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.014	
$\beta \gamma$ 線		0.016		
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	—%(326mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

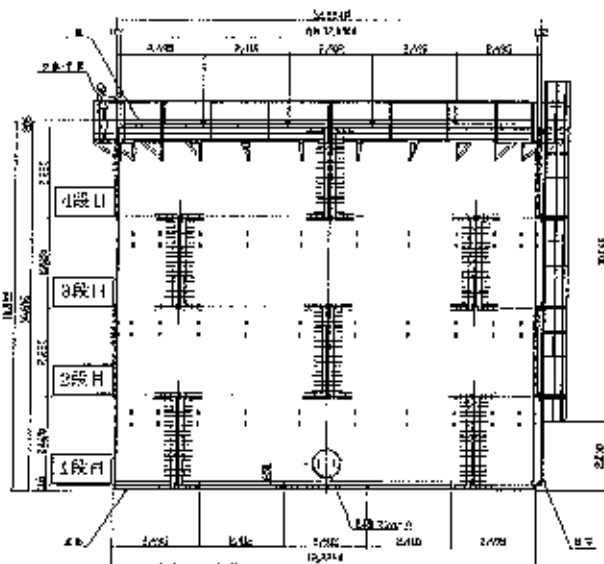
# 放射線管理記録

( 1/2 )

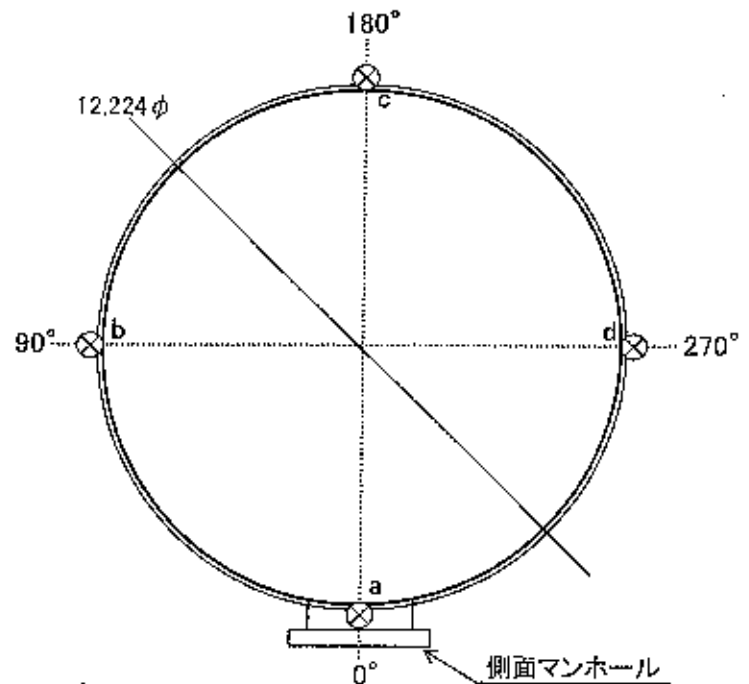
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H5北エリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( H5N-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-071 F1-ICWBL-62
測定日時		平成 27 年 11 月 25 日 10 時 10 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライツ(上), (下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm単位)



H5Nエリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接				
測定場所					コ ド	#/B	F L	測定者	
作業内容 (測定目的)					コ ド			測定器	
測定日時 平成 年 月 日 時 分					区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D				
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アブック(上・下), マスク(全面・フット)			

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5NエリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5N	A3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.018
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.021
			$\beta \gamma$ 線	0.025
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.014	
$\beta \gamma$ 線		0.016		
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	—%(325mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

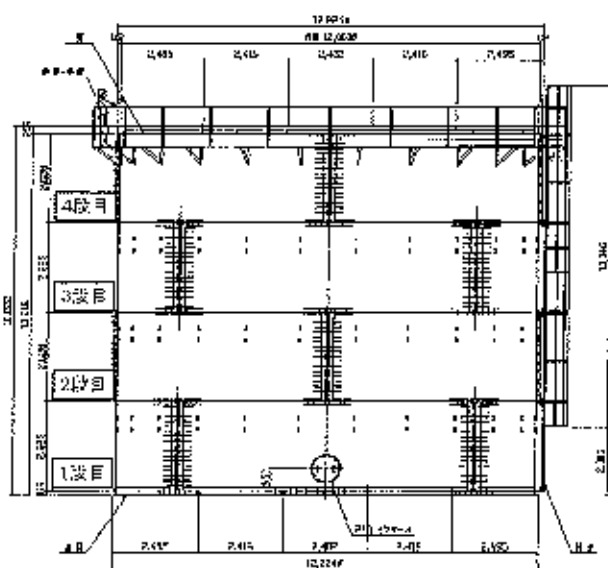
# 放射線管理記録

( 1/2 )

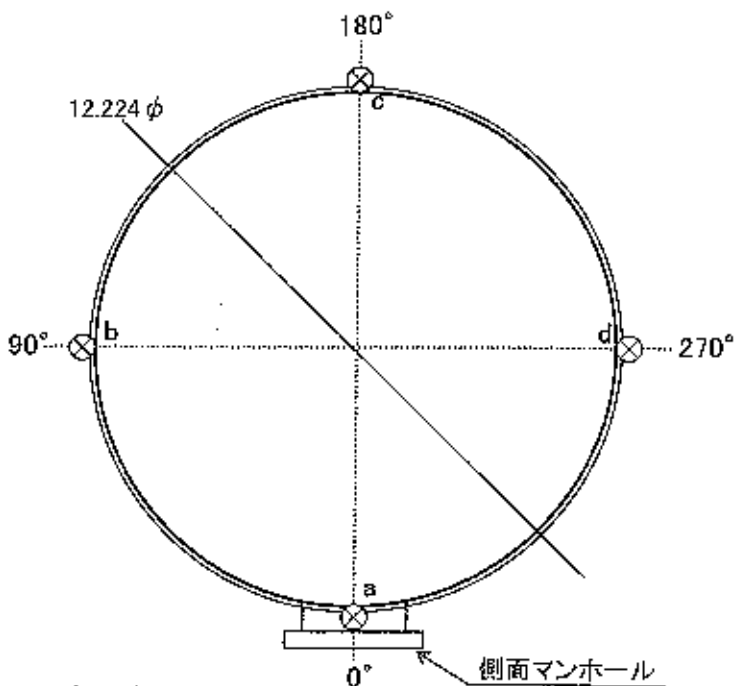
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5北エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5N-A4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-071 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 25 日 10 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アザック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位: mm)



H5Nエリア A4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
平成 年 月 日 時 分		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H5NエリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5N	A4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.033
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.049
			$\beta \gamma$ 線	2.300
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.018
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.006	
		$\beta \gamma$ 線	0.021	
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	—%(326mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP142検査記録参照  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

# 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所 1～4号機

記録確認者

QC

主技

担当

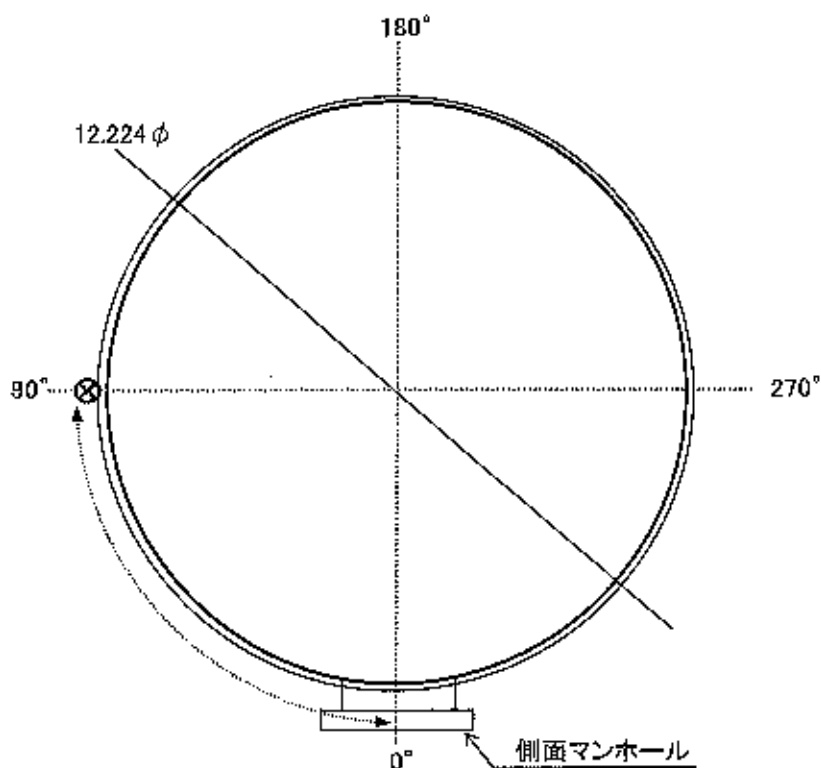
対象機器 H5Nエリア A4タンク

検査項目 目 視 検 査

2016.3.17

2016.3.14 2016.3.14

H5Nエリア A4タンク 平面図



測定器: リーシワ-071 F1-ICWBL-62

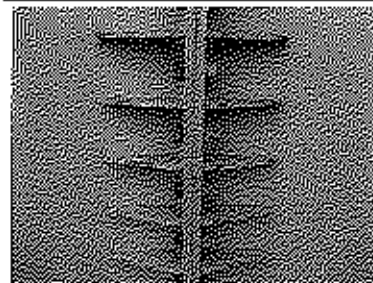
単位: mSv/h

No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	1段目縦フランジ(90° 付近)	0.054	3.2
②	1段目下部フランジ(90° 付近)	0.049	2.3

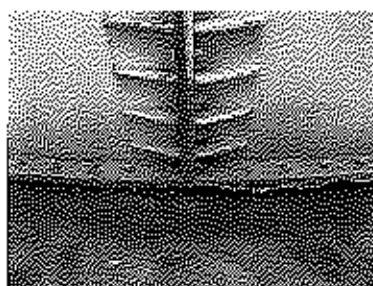
タンク内: 水深8cm(側面マンホール前にて測定)

・タンク内: 水位-φ127mm

1段目縦フランジ拡大図(90° 付近)



1段目下部フランジ拡大図(90° 付近)



◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に漏れ、にじみ等は確認されなかった。

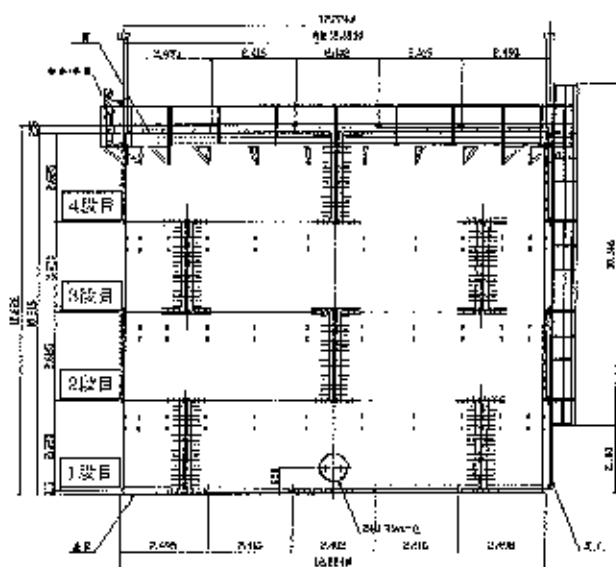
# 放射線管理記録

( 1/2 )

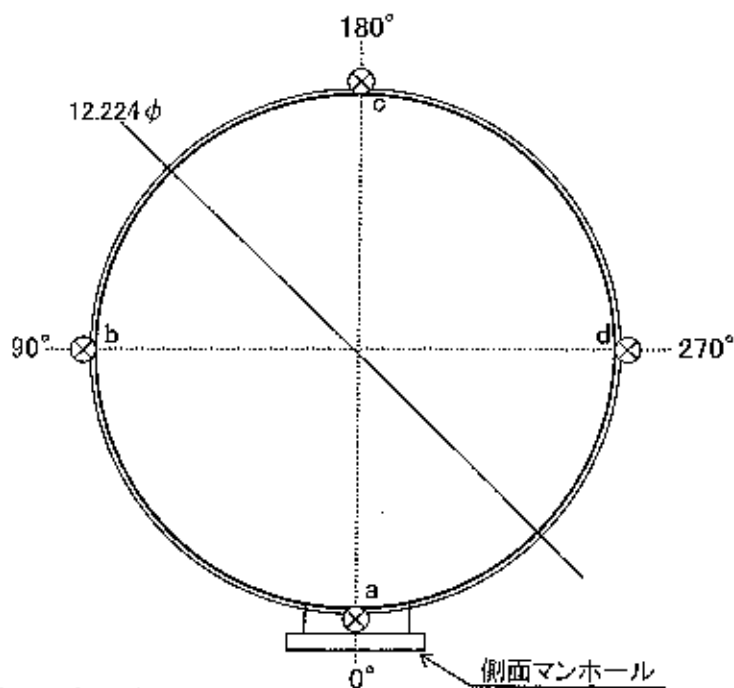
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5北エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H5N-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-071 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 25 日 9 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライツ(上), 下, マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (ICWBL)



H5Nエリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アノック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H5NエリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5N	B1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.022
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.025
			$\beta \gamma$ 線	0.027
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.027
			$\beta \gamma$ 線	0.027
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.024
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.017	
$\beta \gamma$ 線		0.018		
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	—% (550mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



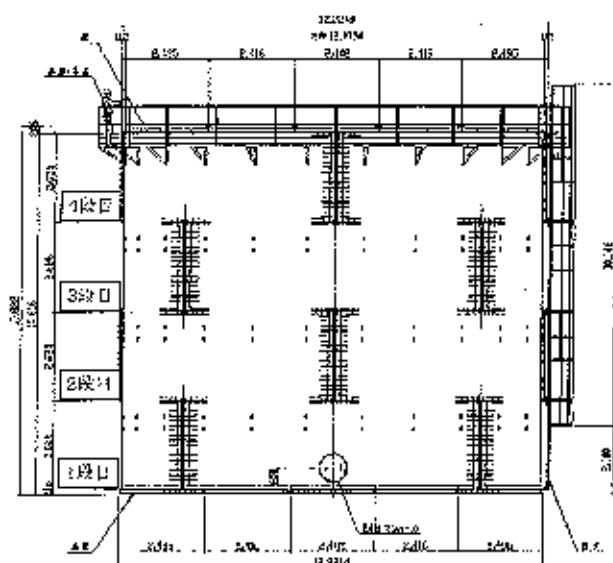
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

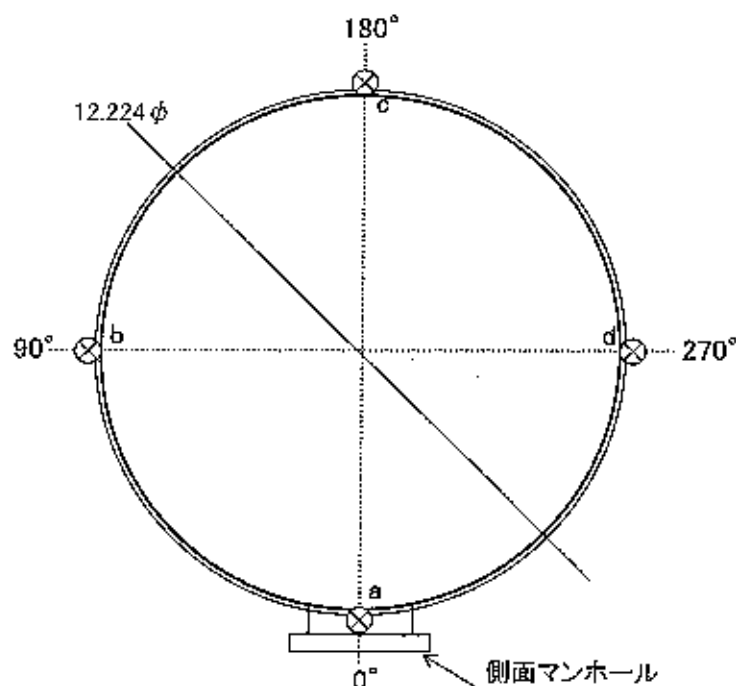
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5北エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (H5N-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-071 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年11月25日 9時20分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アノラック (上) (下), マスク (全箇) フード

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) 次紙参照



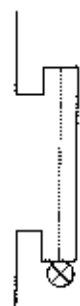
H5Nエリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW 停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H5NエリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5N	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.021
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.029
			$\beta \gamma$ 線	0.029
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.025
			$\beta \gamma$ 線	0.027
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.018
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.018		
	$\beta \gamma$ 線	0.019		
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	—% (127mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

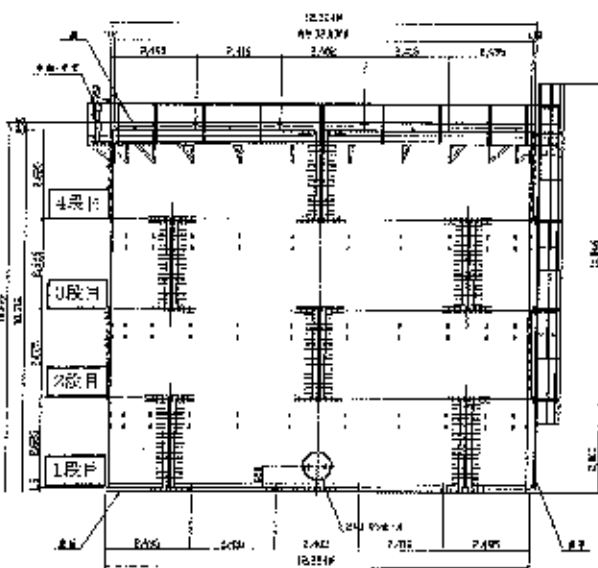
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

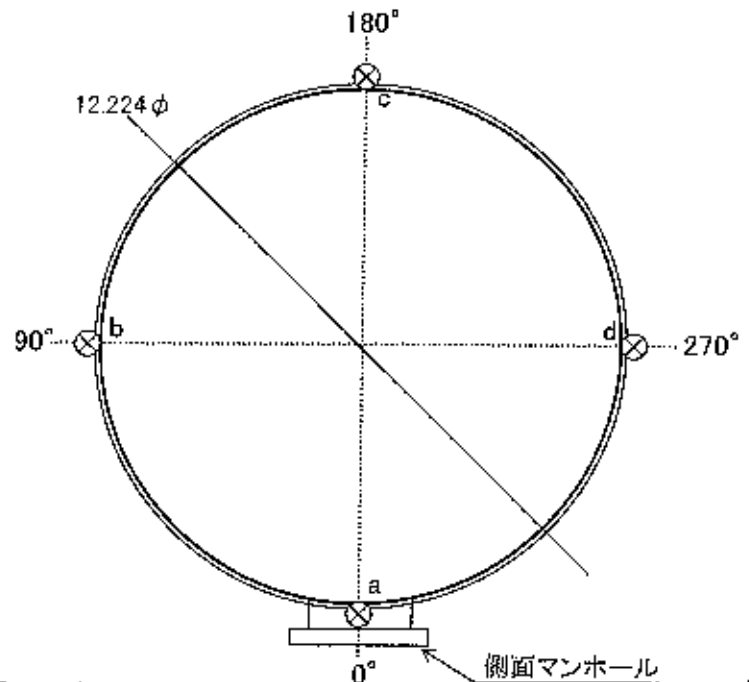
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5北エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (H5N-B3 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-071 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年11月25日 9時10分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライカ(上, 下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク立面図 (mm単位)



H5Nエリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ イ ド	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ イ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
				日	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック アライク(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5NエリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5N	B3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.025
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.025
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.030
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.025
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.023	
$\beta \gamma$ 線		0.023		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	—%(126mm)			
タンク堰内水深	8cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

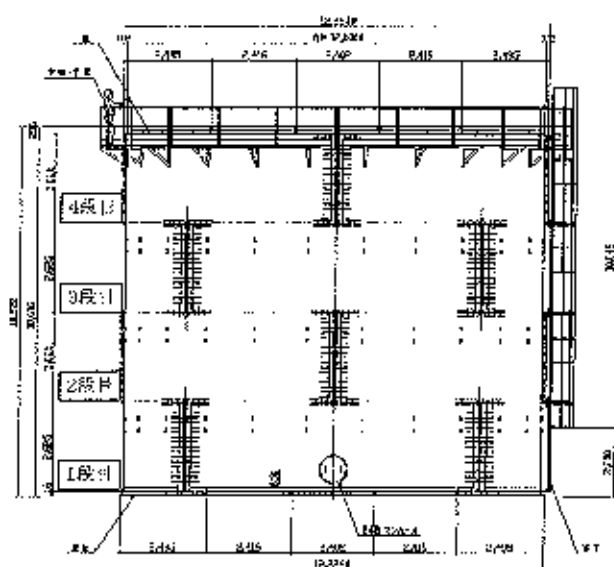
# 放射線管理記録

( 1/2 )

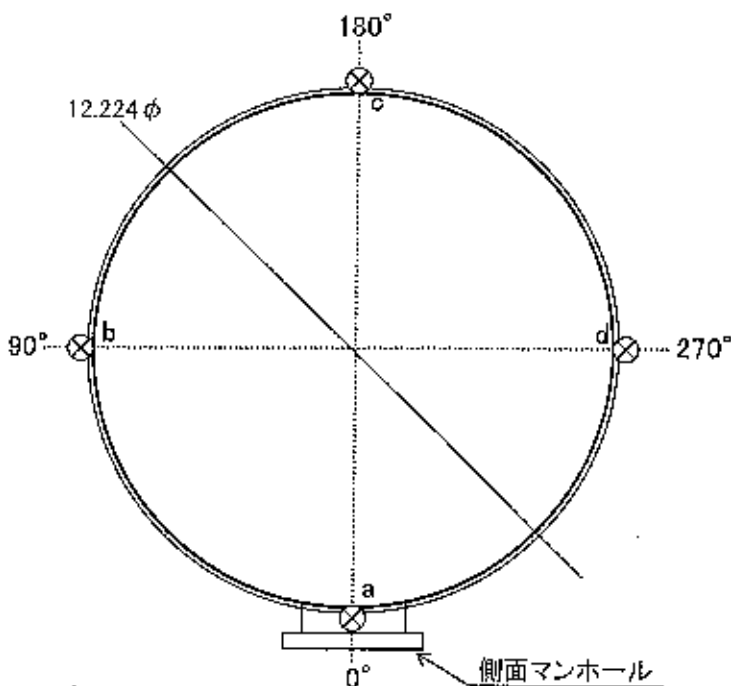
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H5北エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H5N-B4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-071
				測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 25 日 9 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アフラック) (上) (下) (マスク) (全面・フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) 次紙参照



H5Nエリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定器	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H5NエリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

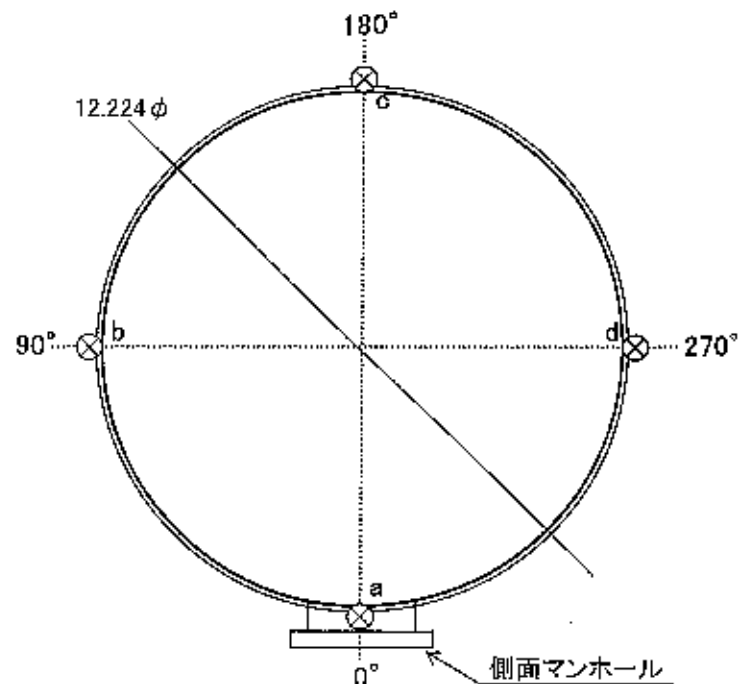
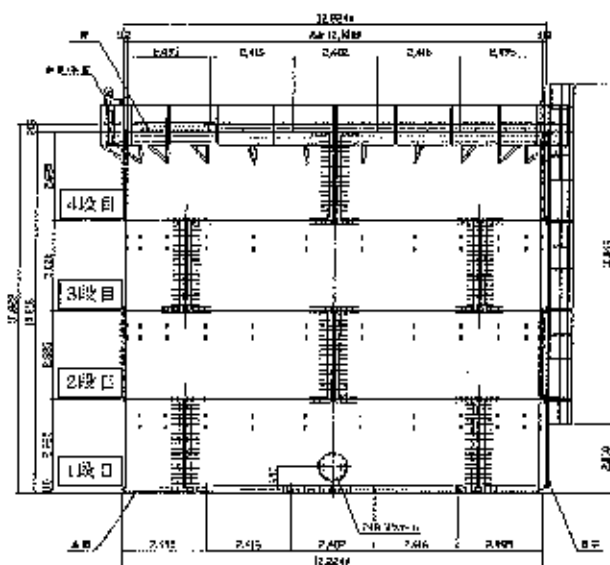
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H5N	B4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.032
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.025
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.028
			$\beta \gamma$ 線	0.028
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.018	
$\beta \gamma$ 線		0.019		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	—% (127mm)			
タンク堰内水深	8cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

H9エリア A1タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

	放 管	主 技	担 当
	2016. 9. 14/2016. 9. 14 12時 - 13時 ( 2/2 )		

## 放射線管理記録 H 9 エリア全 5 基

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所					測定者				
作業内容 (測定目的)					測定器				
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分	線量 ~ 1, 2, 3 汚染 ~ A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)		

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)

### H9エリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9	A1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
側面マンホール		$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
		$\beta \gamma$ 線	0.002	
測定時間	9:50～10:00			
タンク内水位	78.3%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

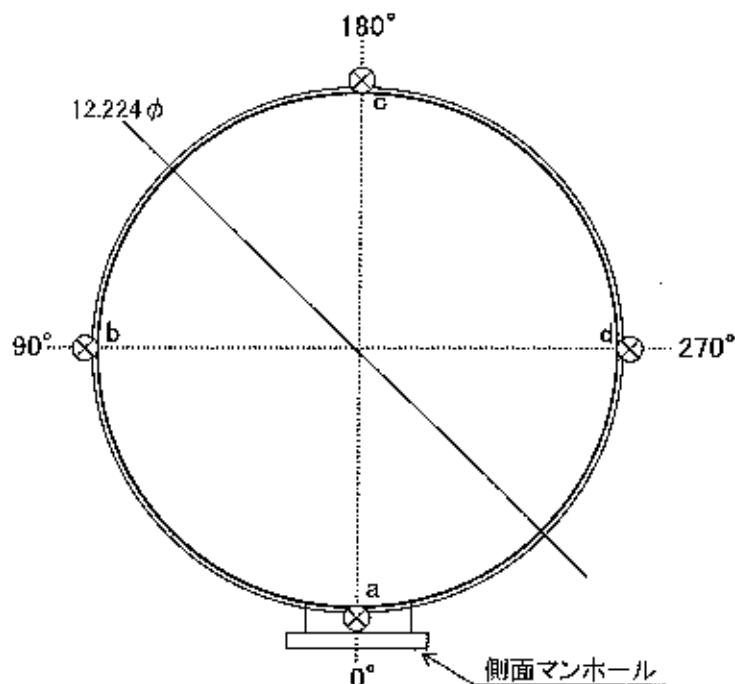
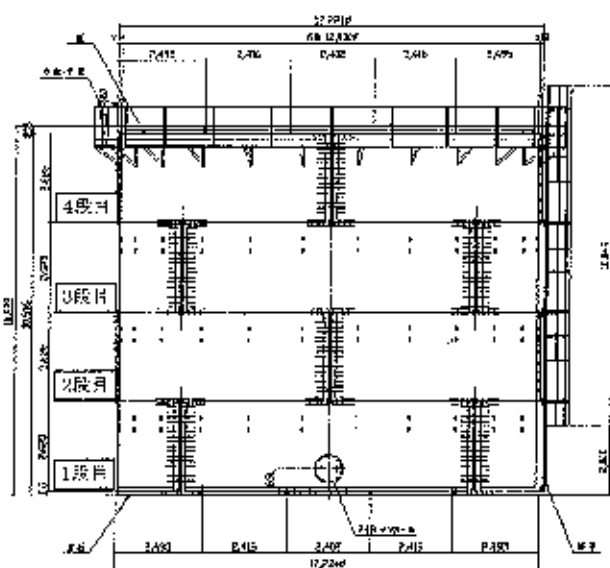
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



$\{1/2, 1\}$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

H9エリア A2タンク 平面図



側面マンホール

また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	4/B	F/L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイベック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H9エリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
$\beta \gamma$ 線		0.001		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	79.0%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

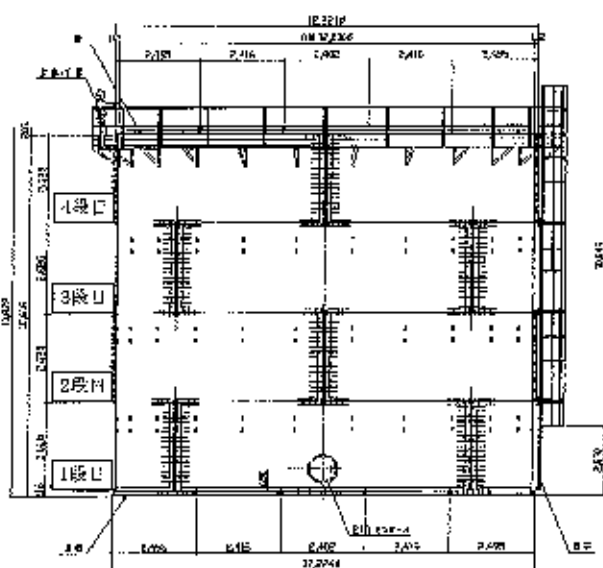
# 放射線管理記録

( 1/2 )

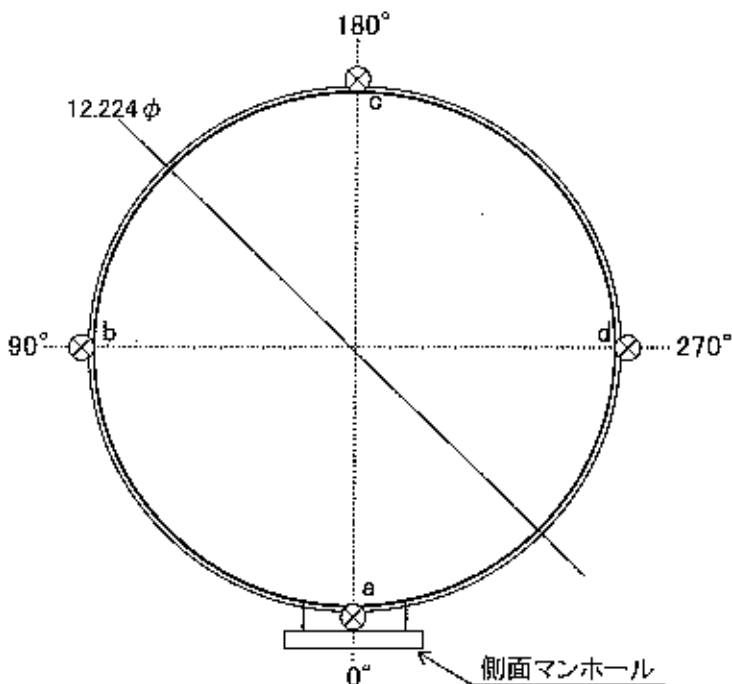
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H9エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H9・A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 26 日 9 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイラック アライカ (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク立面図 (mm)



H9エリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## ＜測定条件＞

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名				測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所				コ ド	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)				コ ド			
測定日時 平成 年 月 日 時 分				区域区分			
件名				線量 - 1, 2, 3			
RWA				汚染 - A, B1, B2, C, D			
番号				防護装備			
電気出力				一般作業服, A, B1, B2, C			
MW				ゴム手袋, タイベック, タイラック			
原子炉停止後				アラック(上・下), マスク(全面・フード)			
日							

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H9エリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9	A3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$		
	$\beta \gamma$ 線	0.003		
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	79.0%			
タンク堰内水深	5cm (側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

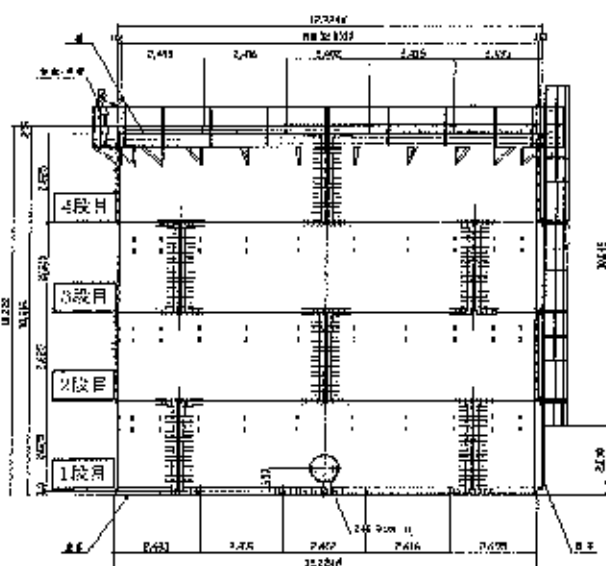
# 放射線管理記録

( 1/2 )

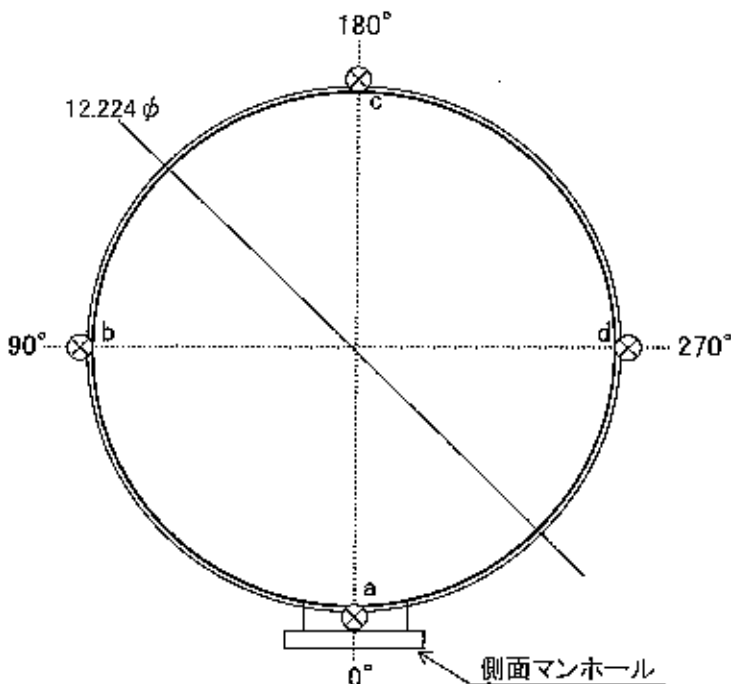
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H9エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H9-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-CW-031 F1-CWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 26 日 9 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック) (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 平面図 (mm)



H9エリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)					測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					日
				防護装備	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服 - A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック フラック(上・下), マスク(全面・フード)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H9エリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9	B1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.003
側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$		
	$\beta \gamma$ 線	0.005		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	78.7%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

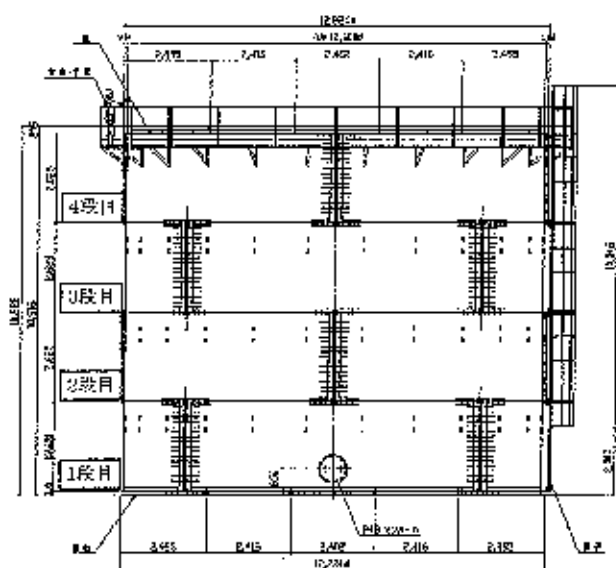
# 放射線管理記録

( 1/2 )

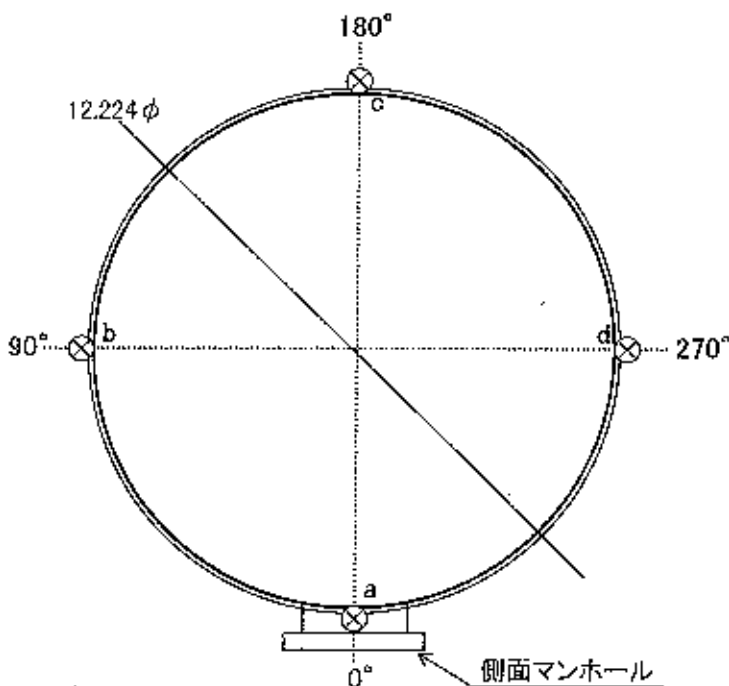
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H9エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H9 B2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-031 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年11月26日 9時20分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライメント(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (200mm)



H9エリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ イ ド	↑/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ イ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H9エリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	79.0%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。





	放 管	主 技	担 当

## 放射線管理記録H9西エリア全7基

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> γ <input type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所					測定者				
作業内容 (測定目的)					測定器				
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック T/ラック(上・下), マスク(全面・フット)		

×: 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △: ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H9WエリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9W	A1	a (0° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.001
		b (90° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.001
		c (180° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.001
		d (270° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.001
		側面マンホール	γ線	≦0.001
			β γ線	0.001
測定時間	10:30～10:40			
タンク内水位	80.4%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

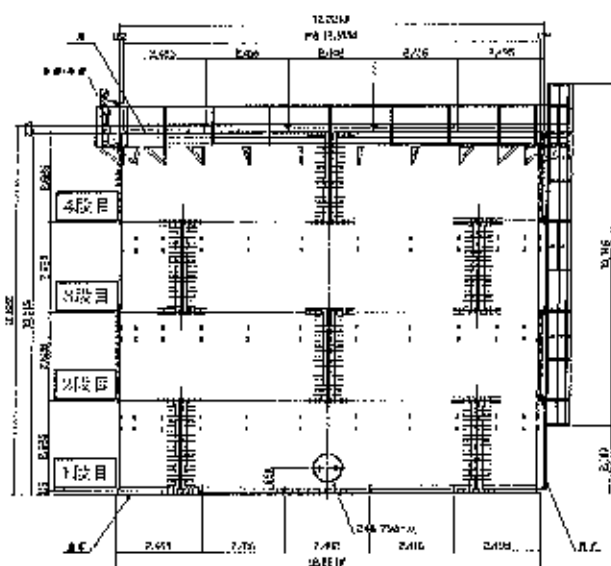
# 放射線管理記録

( 1/2 )

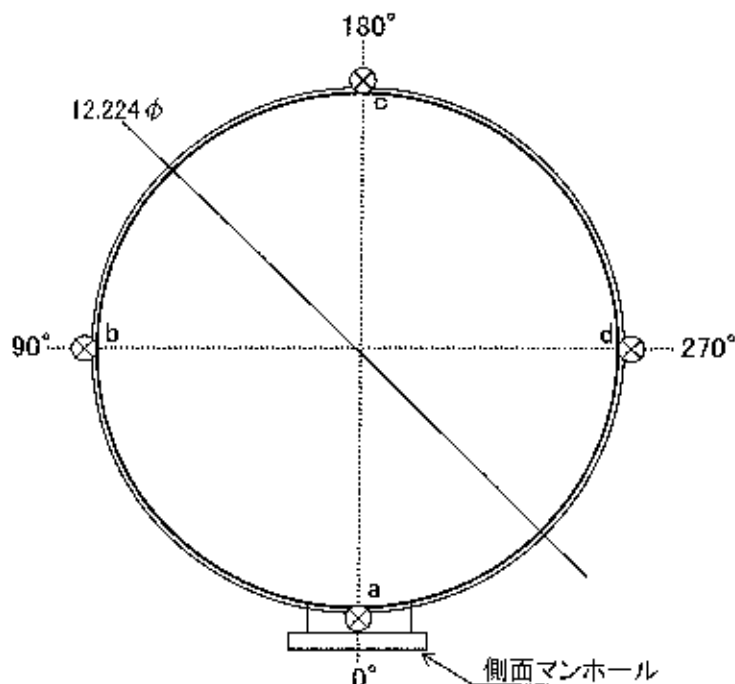
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H9Wエリア		測定者	—
作業内容 (測定目的)		線量率測定、目視検査 ( H9W-A2 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時		平成 27 年 11 月 27 日 10 時 20 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライメント(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円型タンク 立面図 (mm)



H9Wエリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
平成 年 月 日 時 分 件名 RWA 電気 原子炉 コード 番号 出力 MW 停止後 日		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック フラック(上・下), マスク(全面・フット)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H9WエリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9W	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	81.3%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

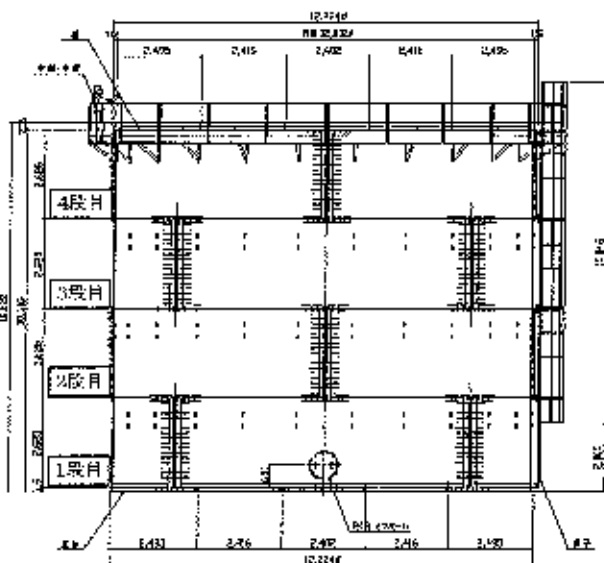
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

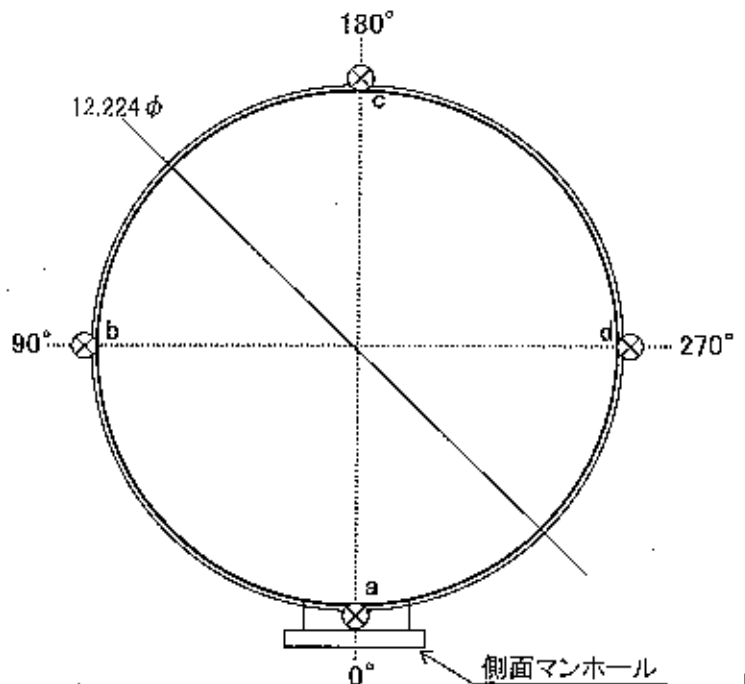
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H9Wエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (H9W-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成27年11月27日 10時30分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), 下, マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (cm)



H9Wエリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定器	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
				防護装備	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ジム手袋, タバック, タイヤック ノラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H9WエリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9W	B1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	80.6%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

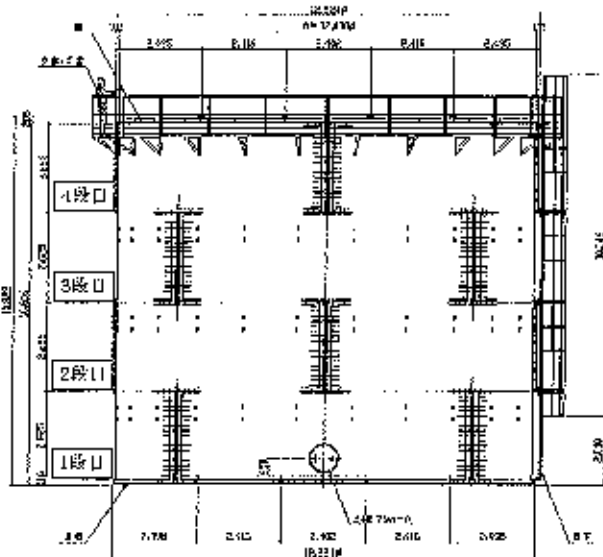
# 放射線管理記録

( 1/2 )

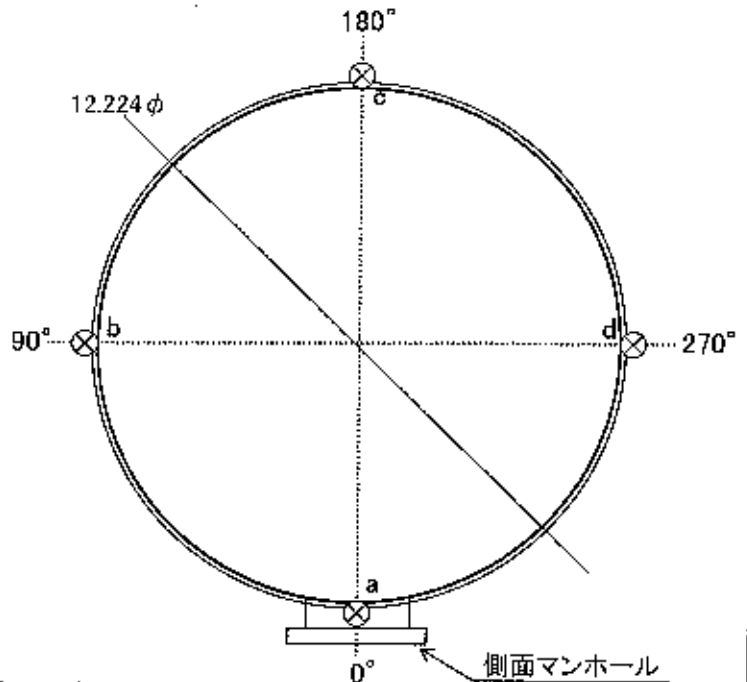
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H9Wエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H9W-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 10 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アザック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) (2/2)



H9Wエリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名				測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所				コ ド	4/B	F	L
作業内容 (測定目的)				コ ド			
測定日時 平成 年 月 日 時 分				区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D			
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H9WエリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9W	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
		$\beta \gamma$ 線	0.002	
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	81.5%			
タンク堰内水深	5cm (側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



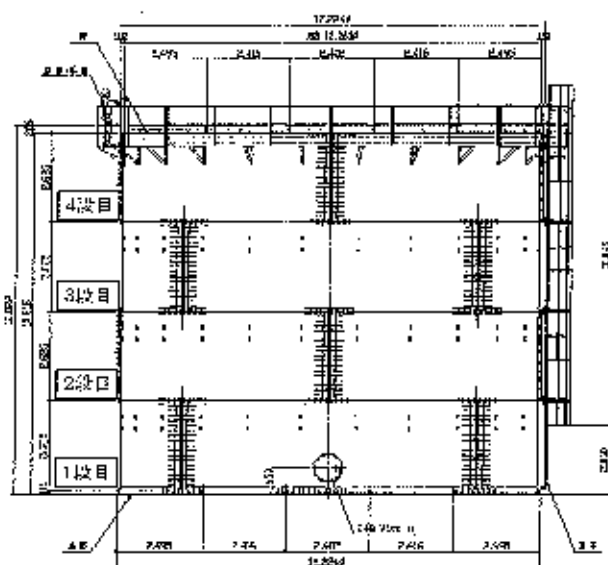
# 放射線管理記録

( 1/2 )

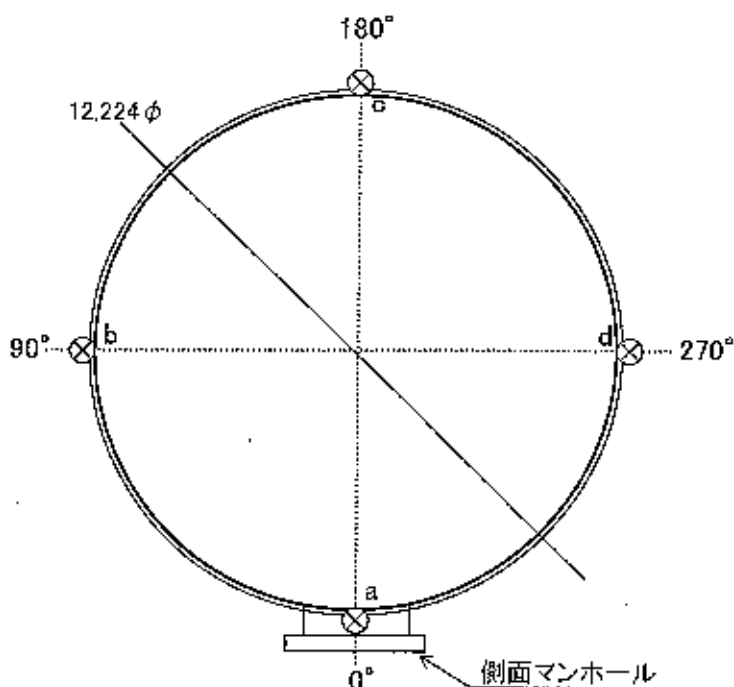
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H9Wエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( H9W-B3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 9 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライツ(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2mm)



H9Wエリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ー ド	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ ー ド			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					日
		防護装備		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## H9WエリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9W	B3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	81.1%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

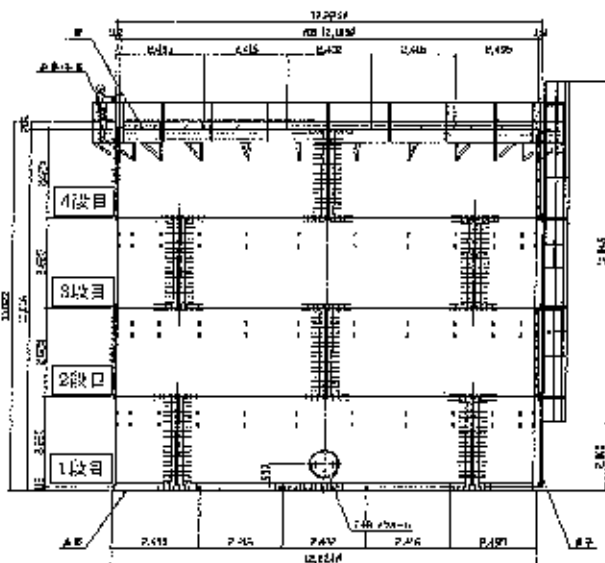
# 放射線管理記録

( 1/2 )

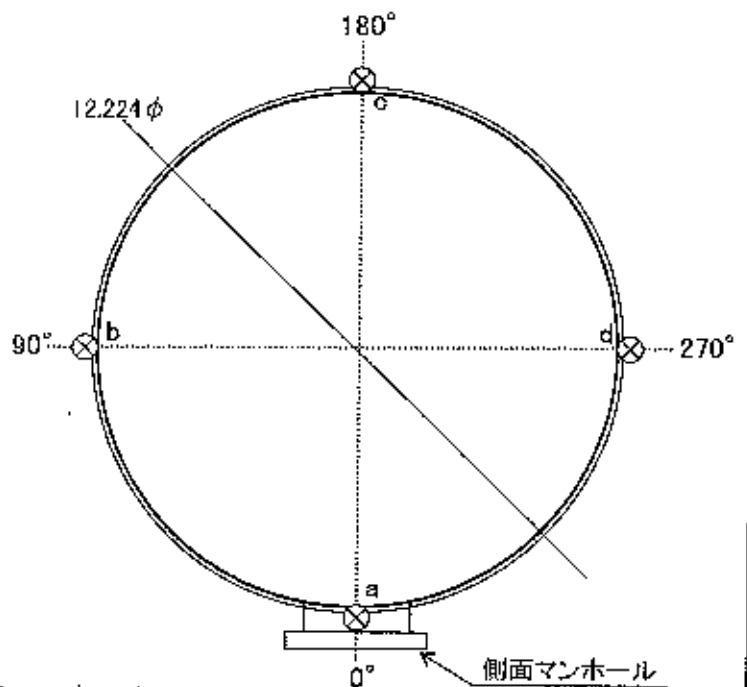
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		H9Wエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		線量率測定、目視検査 ( H9W-B4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-42
測定日時		平成 27 年 11 月 27 日 9 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライツ(上), (下), マスク, 全面・フード

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



H9Wエリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	計/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ( ) : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H9WエリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9W	B4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
		$\beta \gamma$ 線	0.002	
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	81.5%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

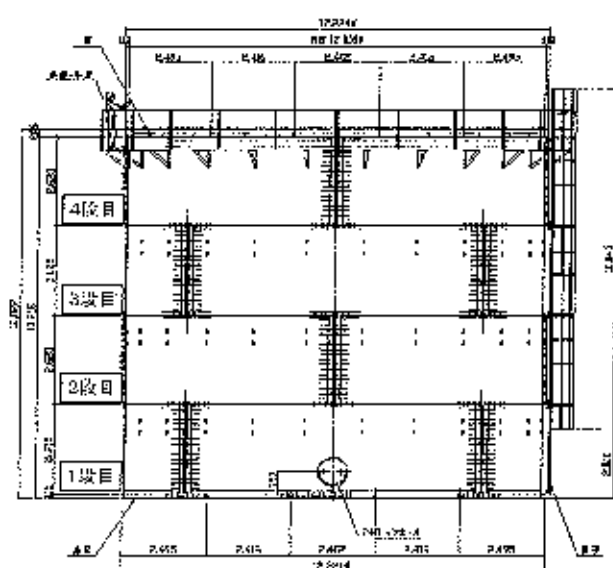
# 放射線管理記録

( 1/2 )

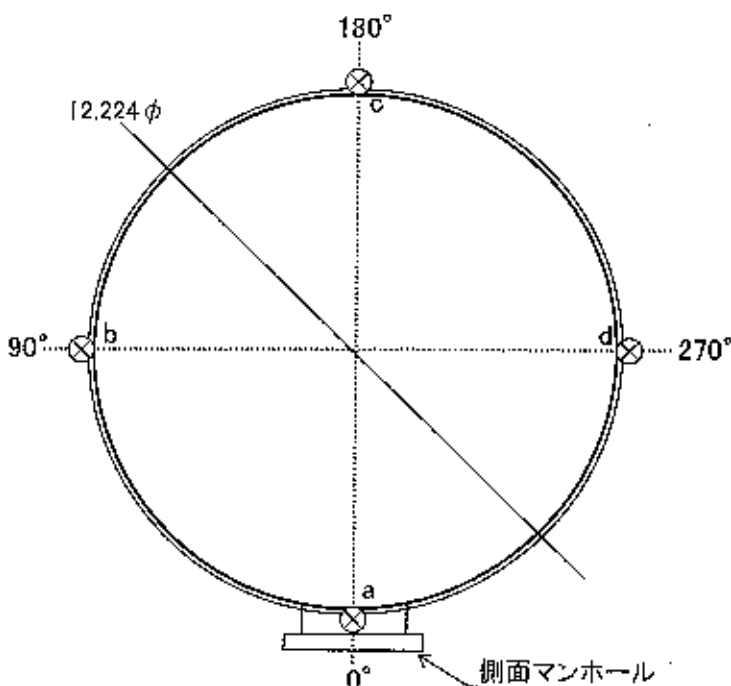
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	H9Wエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( H9W-B5 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140
				測定器	F1-ICWBL-42
測定日時	平成 27 年 11 月 27 日 10 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



H9Wエリア B5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ロ ド	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		作 業 中			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					防護装備
					線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック ブーツ(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## H9WエリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
H9W	B5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	81.3%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

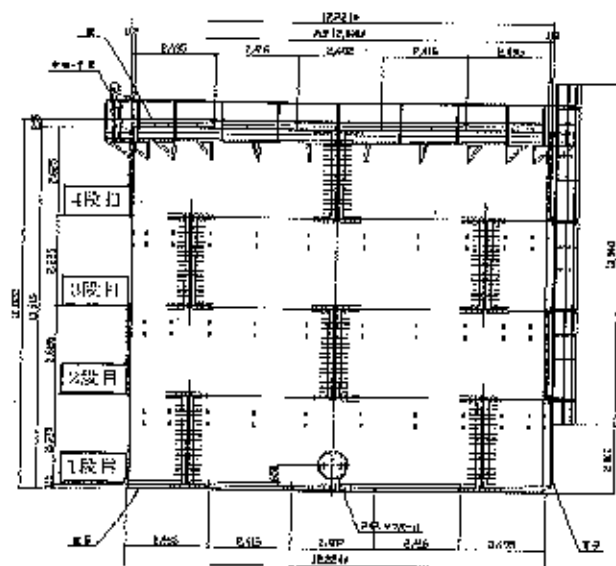
## 放射線管理記録 G 4 エリア全 2 3 基

放 管	主 技	担 当
2016.3.14/2016.3.14 2016.3.14		

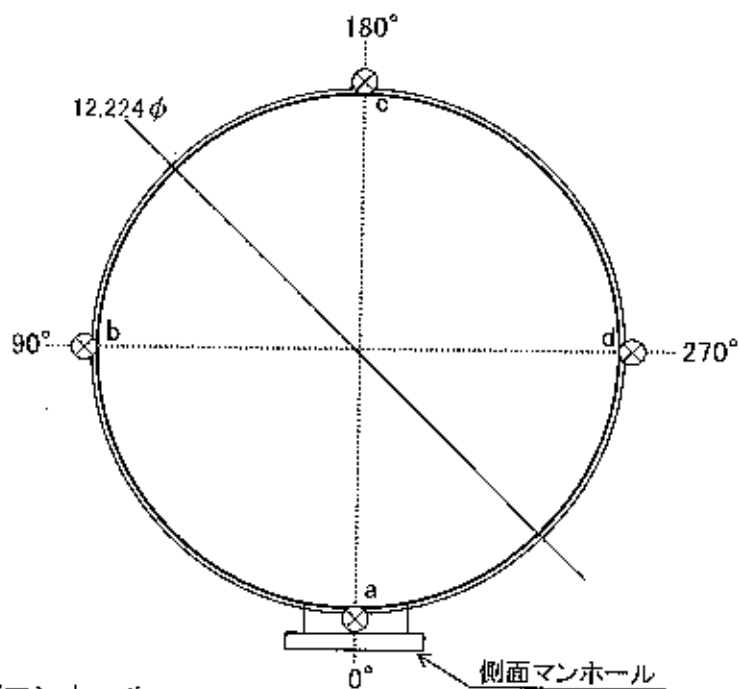
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G 4 エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G 4 - A 1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 8 時 15 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



G 4 エリア A 1 タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器 (ICW, ICWBL) 損傷防止のため、  
 ビニール袋 (0.03mm) で養生実施。  
 また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録 G 4 エリア全 2 3 基

作業件名						測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	室 I/F					測定者	
作業内容 (測定目的)	コ ド					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

### G4エリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)				
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	A1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004	
		$\beta \gamma$ 線	0.004	
測定時間	8:15~8:30			
タンク内水位	32.3%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



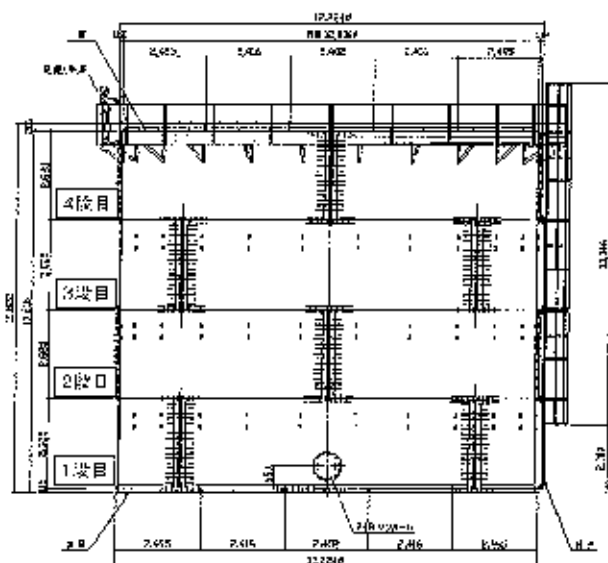
# 放射線管理記録

( 1/2 )

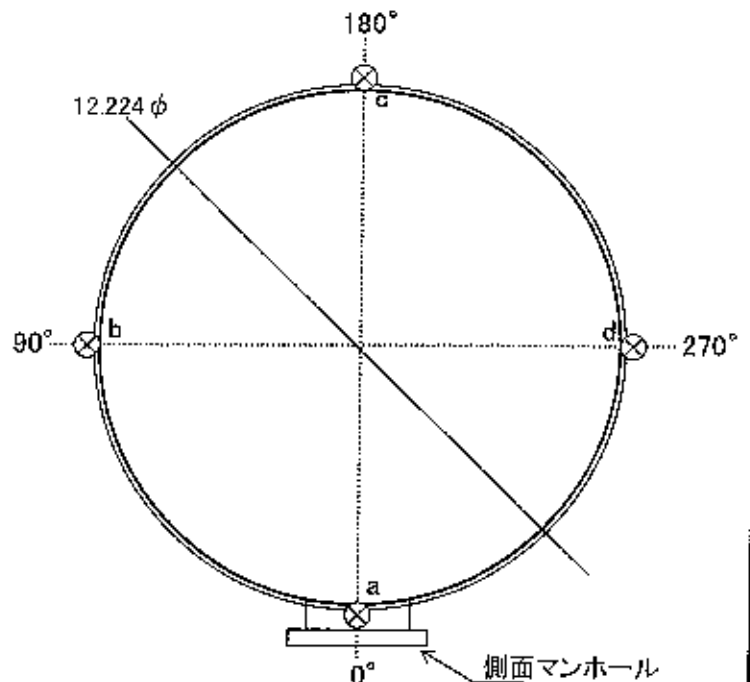
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G4-A2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 8 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライヤ(上), 下, マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 点検図 (2025.11.09)



G4エリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名				測定項目				<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所				測定者							
作業内容 (測定目的)				測定器							
測定日時				区域区分				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D			
防護装備				一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タバック アラック(上・下), マスク(全面・フット)							
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	時	分	秒	日	時	分	秒

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.002	
$\beta \gamma$ 線		0.003		
測定時間	8:30~8:40			
タンク内水位	28.7%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

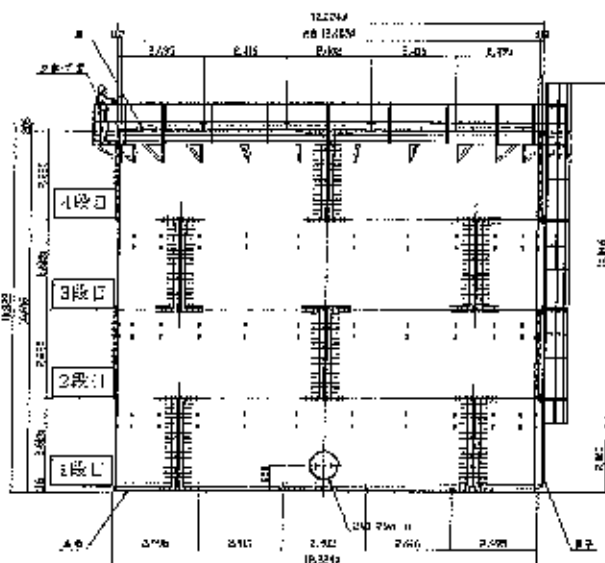
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

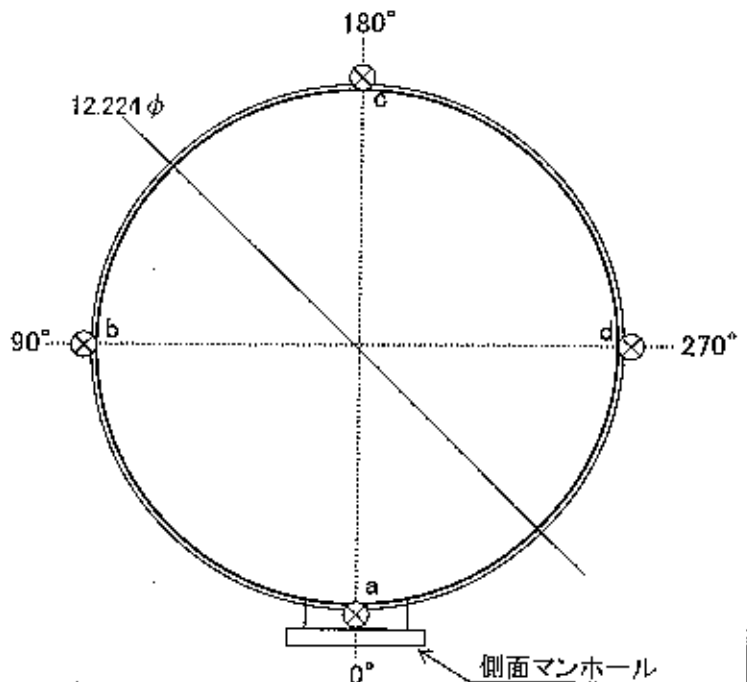
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G4-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 8 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アバック(上), 下, マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (m)



G4エリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div> <div>コ</div> <div>ン</div> <div>#/B</div> <div>F L</div> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div> <div>イ</div> <div>ード</div> </div>				測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック ア/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	A3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.002		
	$\beta \gamma$ 線	0.003		
測定時間	8:40~8:50			
タンク内水位	28.6%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

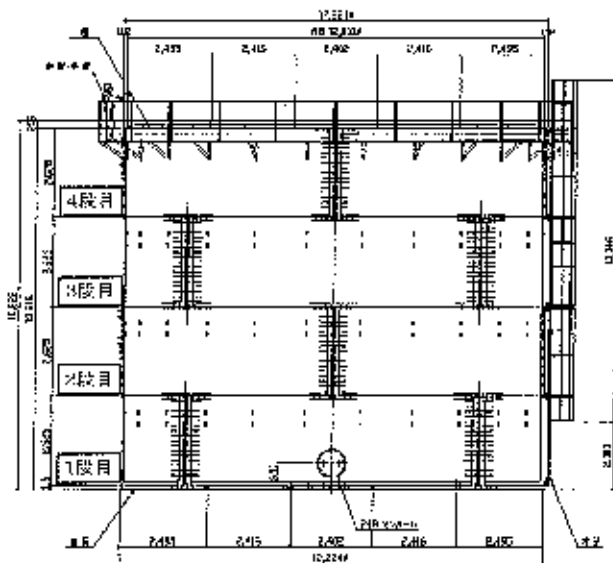
# 放射線管理記録

( 1/2 )

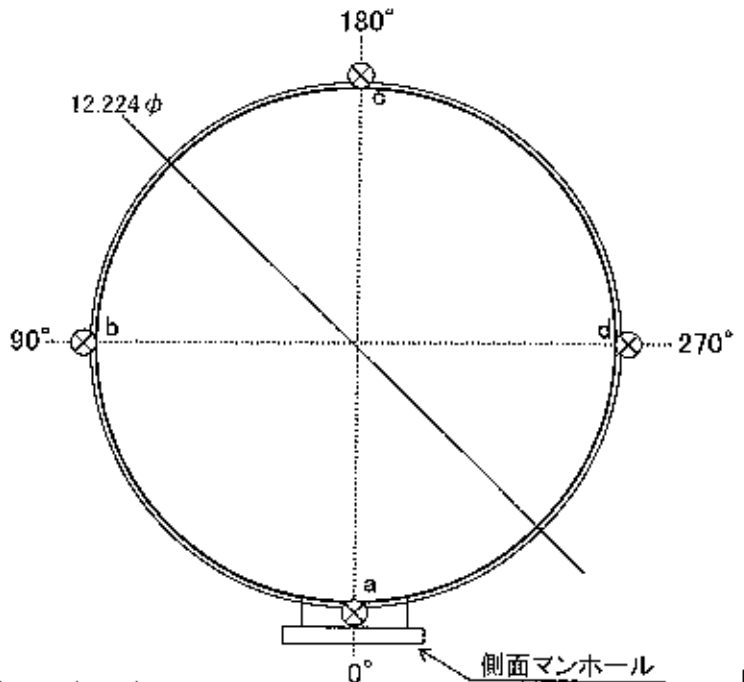
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G4-A4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 8 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック 7/5224(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (cm)



G4エリア A4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ア/ラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	A4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	28.6%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段自下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

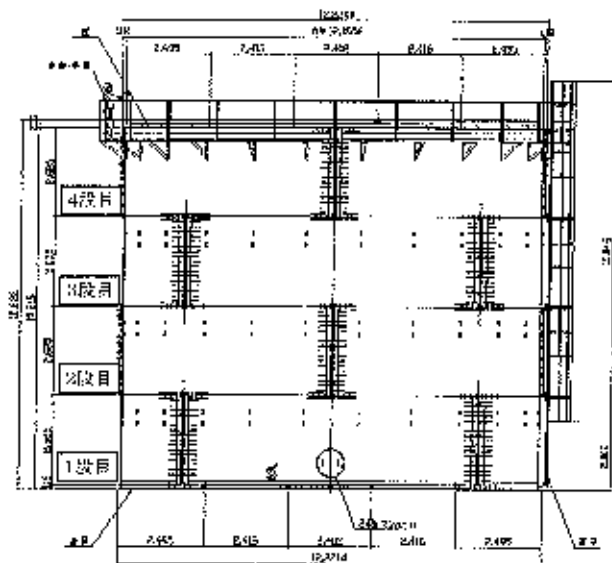
# 放射線管理記録

( 1/2 )

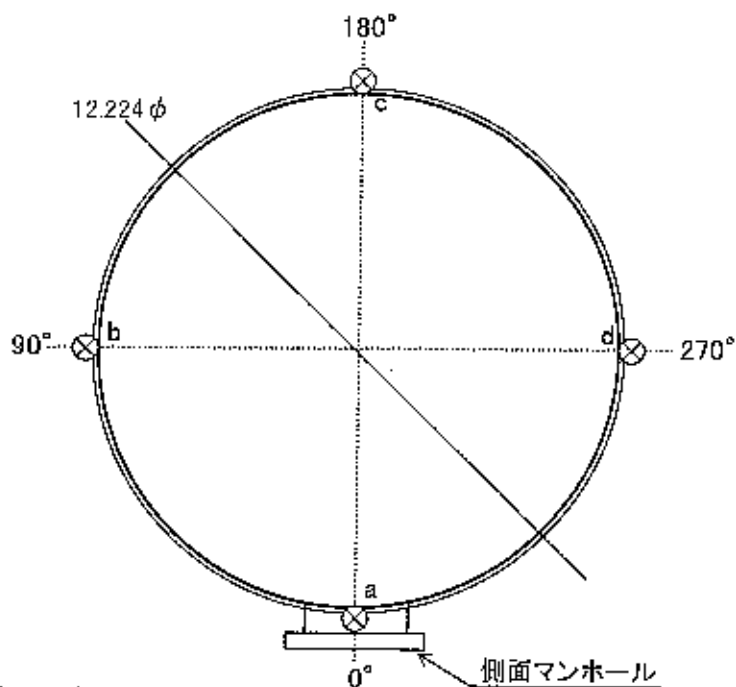
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G4-A5 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 9 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アライズ(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (c-vw)



G4エリア A5タンク 平面図

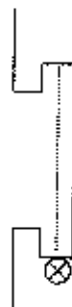


側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。

も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ー ド	1/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ ー ド			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定器	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイベック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアA5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	A5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.005	
$\beta \gamma$ 線		0.005		
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	0.0% (128mm)			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



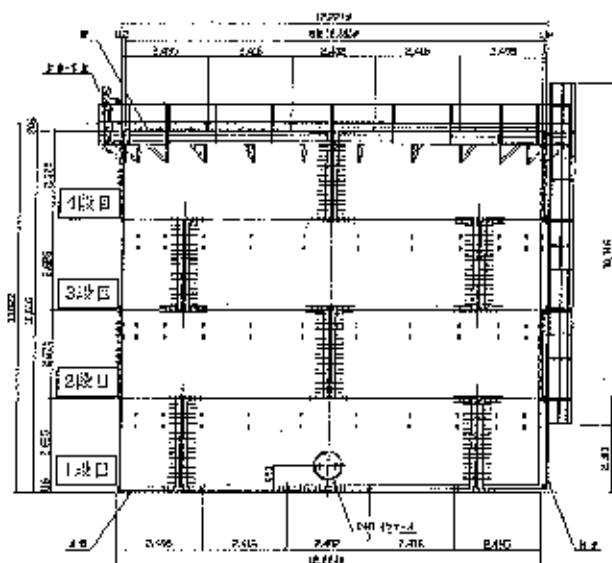
# 放射線管理記録

( 1/2 )

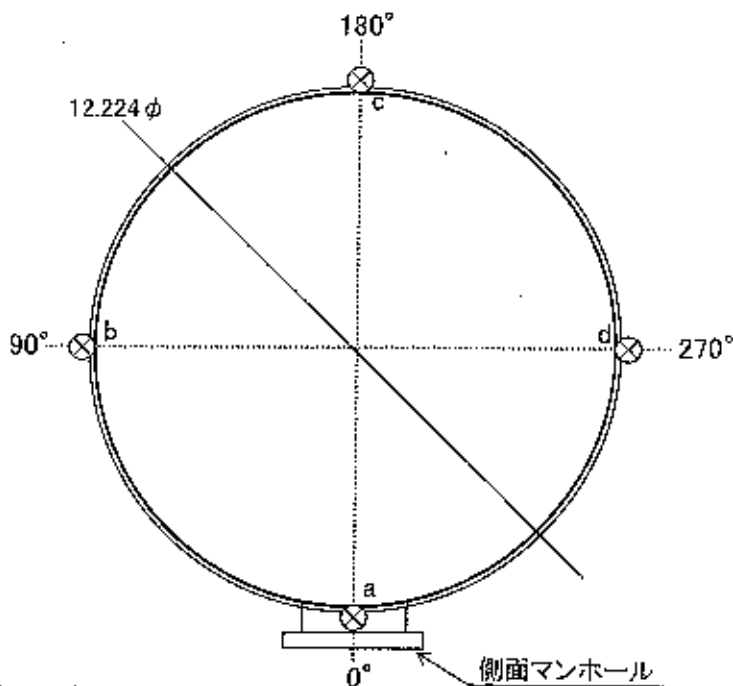
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G4-A6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 9 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アライカ(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



G4エリア A6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名				測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所				コ ド	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)				コ ミ ス			測定器
測定日時 平成 年 月 日 時 分				区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D			
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後		日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアA6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

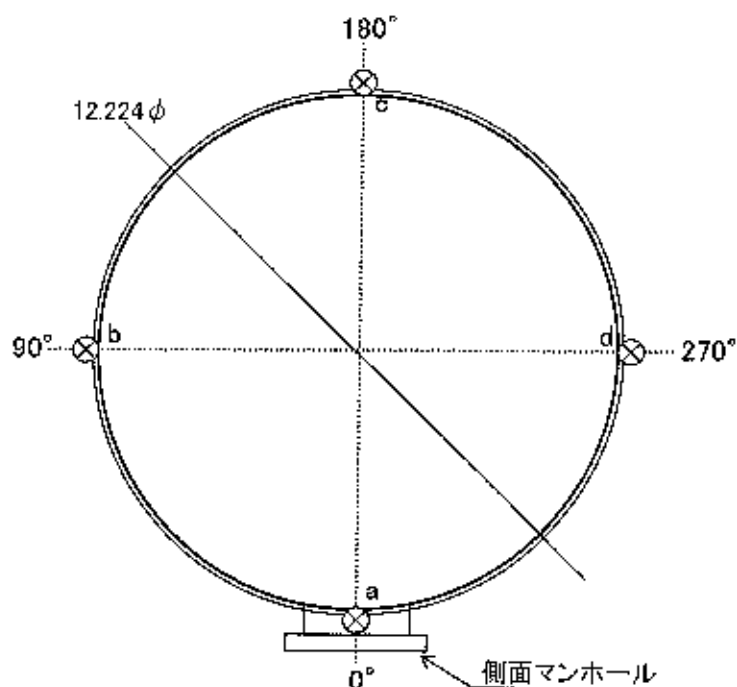
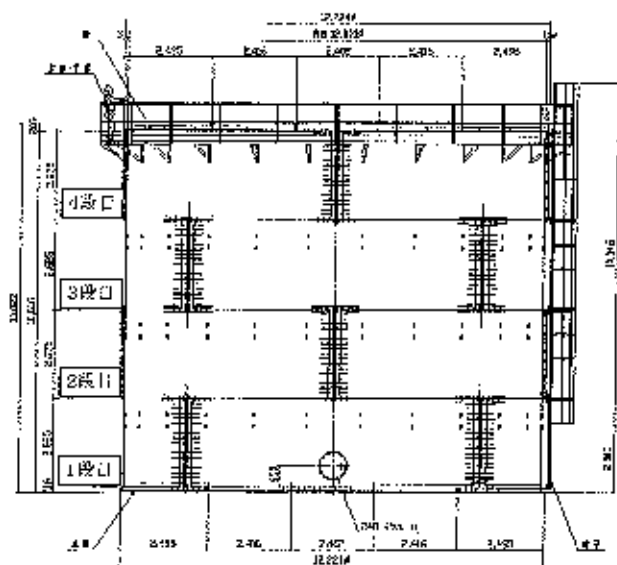
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	A6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.001
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.001	
$\beta \gamma$ 線		0.002		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	0.0% (125mm)			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$(-1/2, 1)$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

G4エリア B1タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日		時 分	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック フラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	B1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004	
$\beta \gamma$ 線		0.005		
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	32.3%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

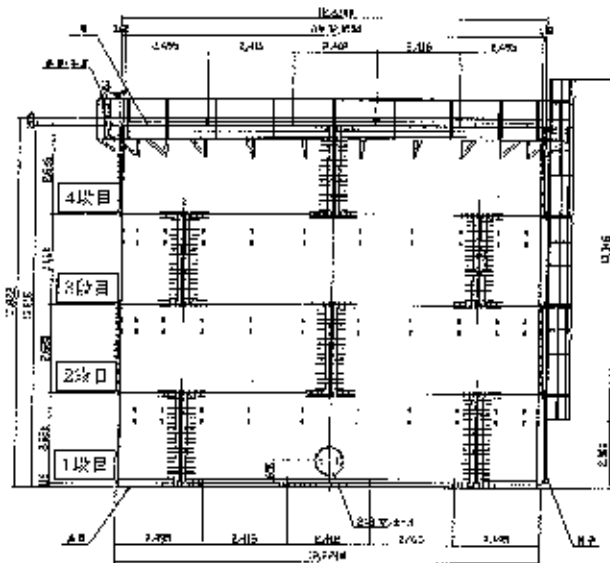
# 放射線管理記録

( 1/2 )

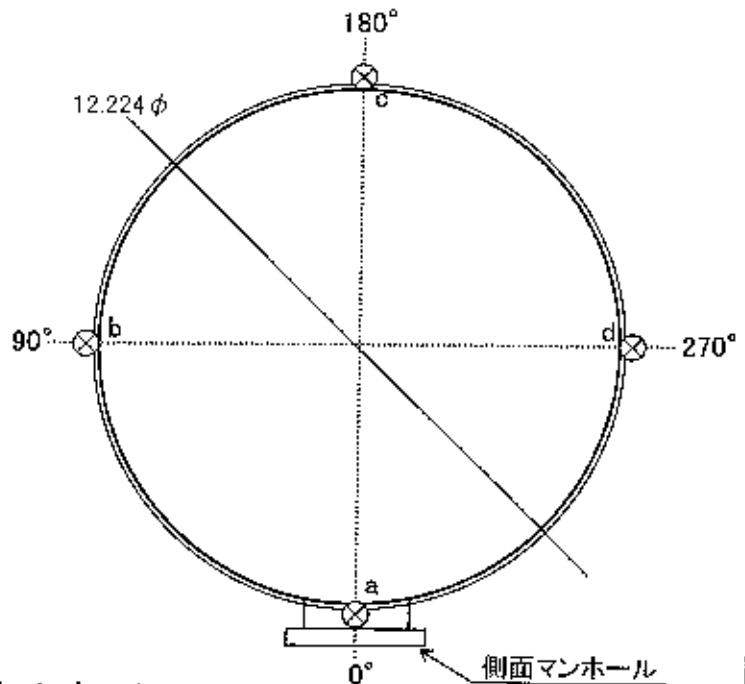
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G4-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 10 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイヤック ア/ラック (上, 下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



G4エリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		コ ロ ド	U/B	F/L	測定者	
作業内容 (測定目的)		コ ロ ド			測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)
コード	番号	出力	MW	停止後	日	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	28.7%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

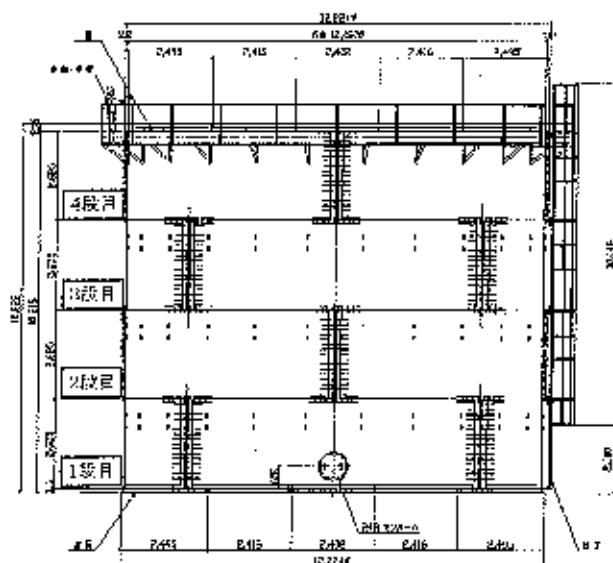
# 放射線管理記録

( 1/2 )

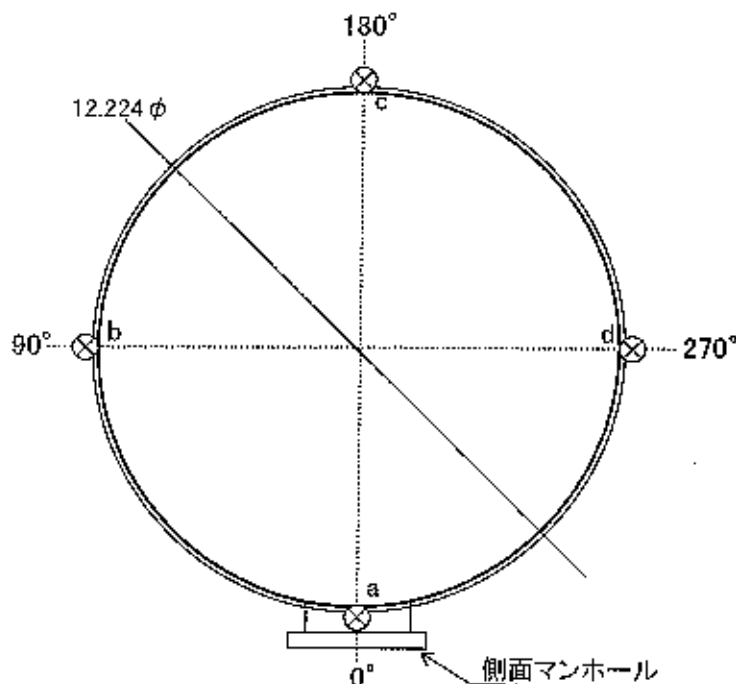
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G4-B3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 9 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図



G4エリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		測定者			
		測定器			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G4エリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	B3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	28.8%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



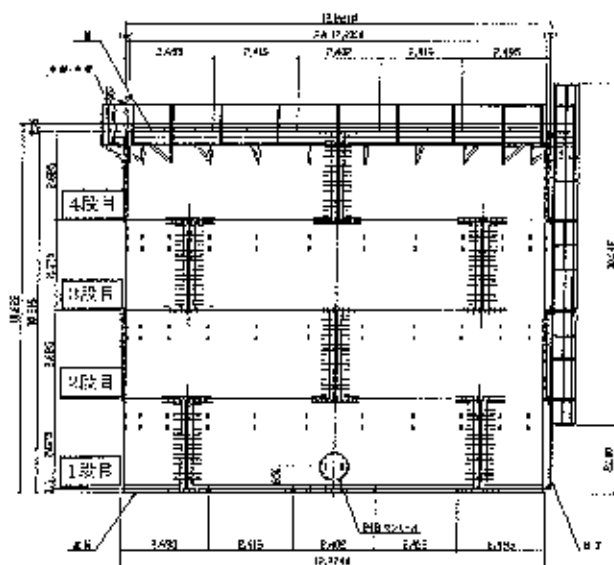
# 放射線管理記録

( 1/2 )

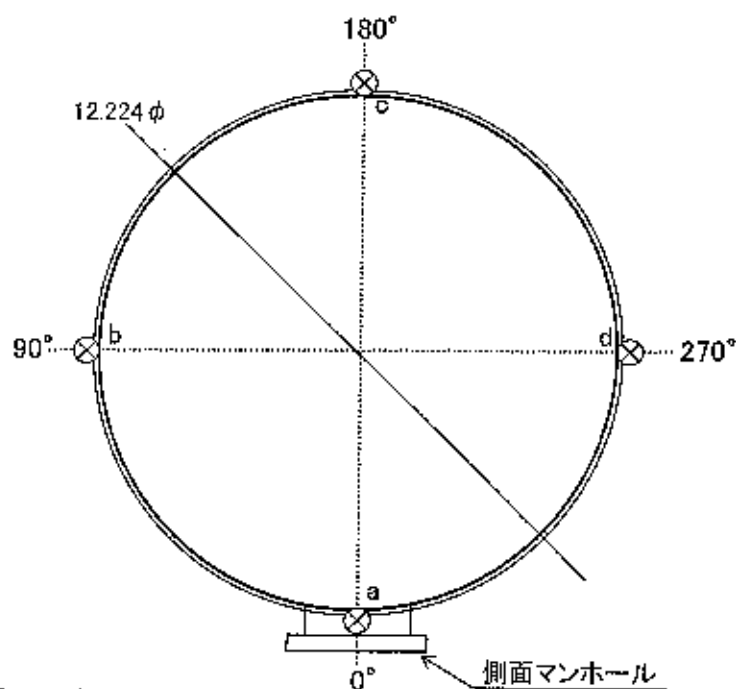
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G4・B4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 9 日 9 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上), (下), (マスク), (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) 次紙参照



G4エリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。

◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		測定者			
		測定器			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G4エリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	B4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003		
	$\beta \gamma$ 線	0.004		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	28.7%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

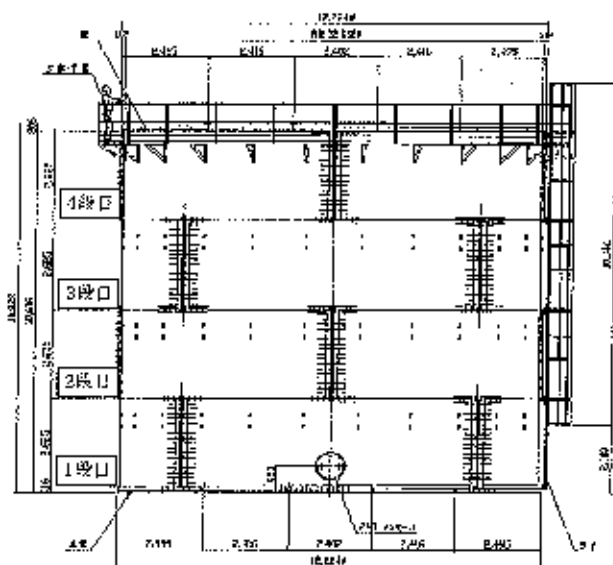
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

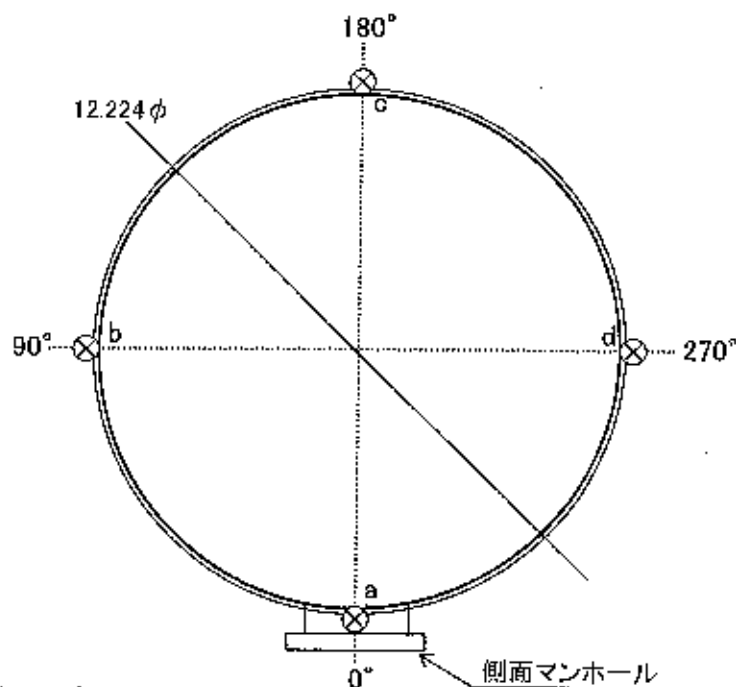
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		線量率測定、目視検査 ( G4-B5 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時		平成27年11月9日 9時30分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック) (上) (下) (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円型タンク 立面図 (cm)



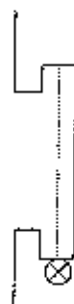
G4エリア B5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日		時 分	区域区分
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ( ) : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G4エリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	B5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	37.2%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

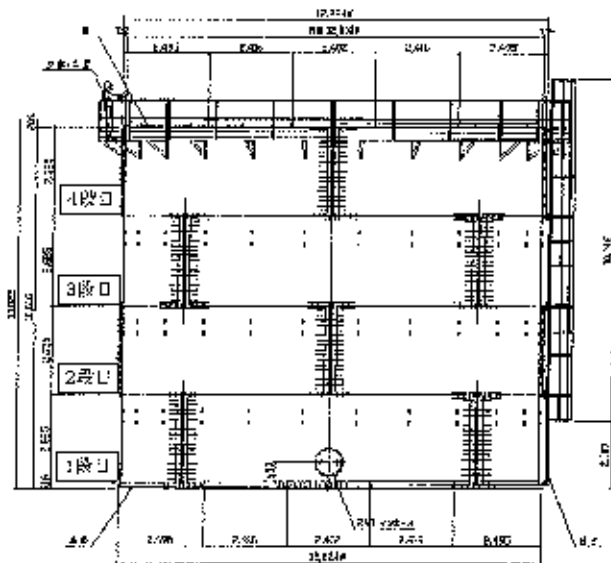
# 放射線管理記録

( 1/2 )

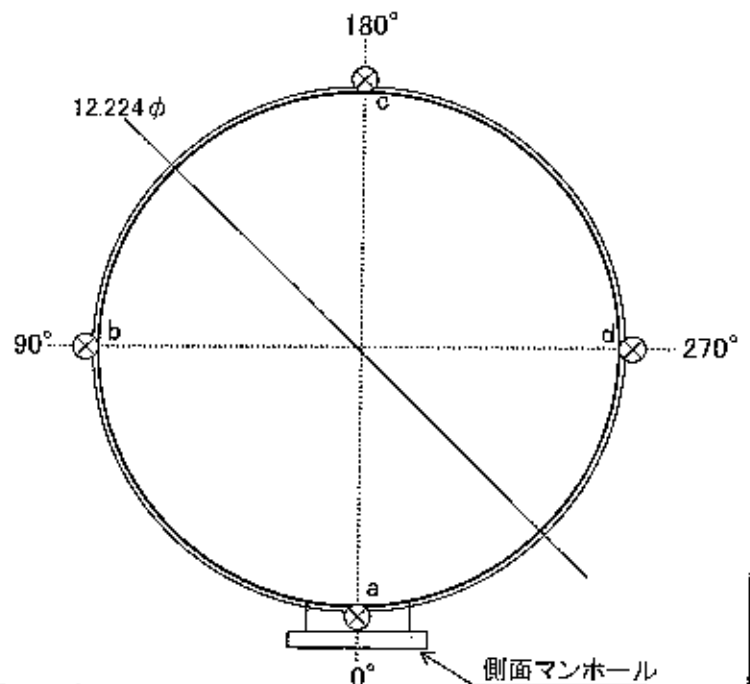
作業件名		1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		G4エリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( G4-C1 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-62
測定日時		平成 27 年 11 月 10 日 9 時 35 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック (ア/ラック) (上, 下), (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 正面図 (単位:mm)



G4エリア C1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G4エリアC1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	C1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003	
$\beta \gamma$ 線		0.005		
測定時間	9:35~9:45			
タンク内水位	36.2%			
タンク堰内水深	5cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

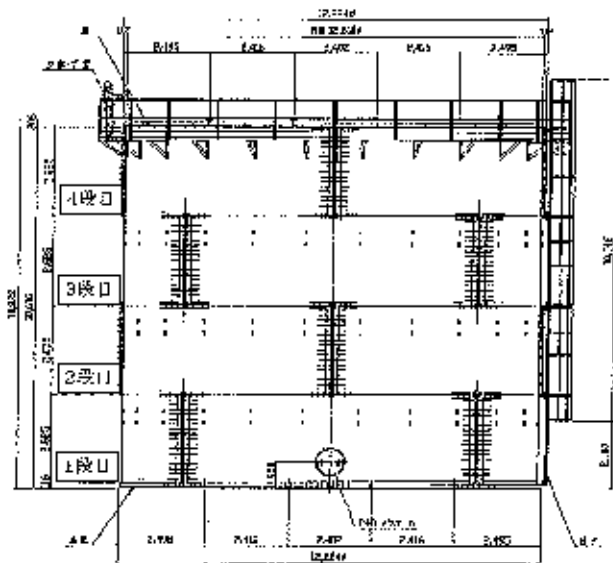
# 放射線管理記録

( 1/2 )

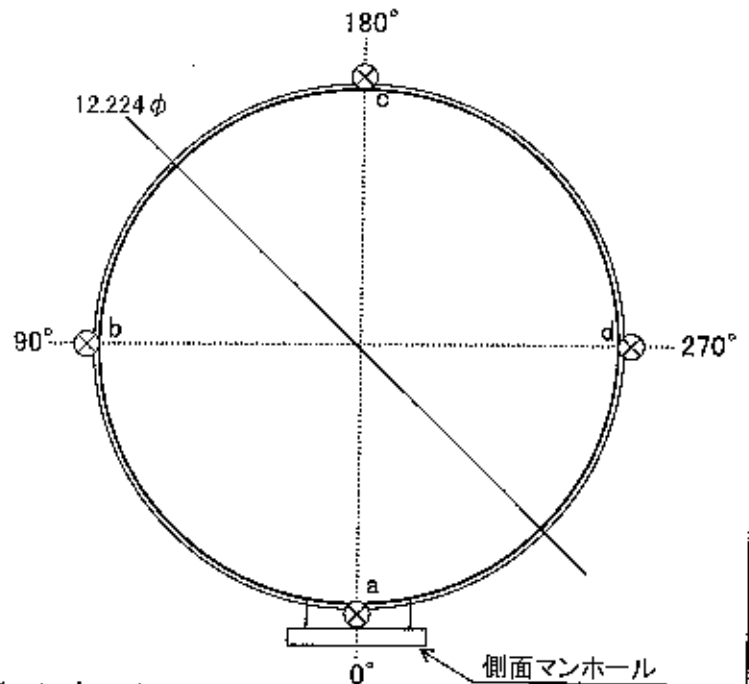
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G4-C2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-62
測定日時	平成27年11月10日 9時20分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイツック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



G4エリア C2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。

◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	↑/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名	RWA	電気	原子炉		
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タバック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアC2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	C2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.005	
$\beta \gamma$ 線		0.005		
測定時間	9:20~9:35			
タンク内水位	28.7%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



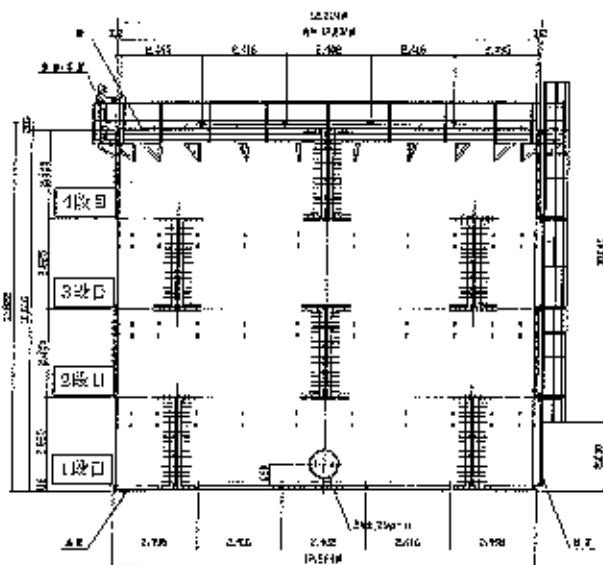
# 放射線管理記録

( 1/2 )

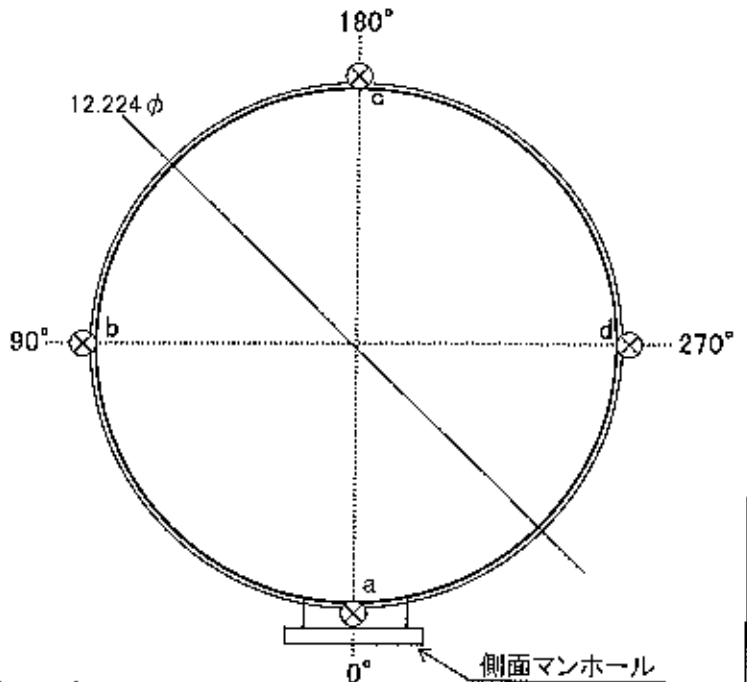
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G4-C3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 10 日 9 時 10 分			区域区分	線量 ~ 1, 2, 3 汚染 ~ A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイヤック アライ (上, 下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (R/W側)



G4エリア C3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	※/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック ブランク(上・下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアC3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

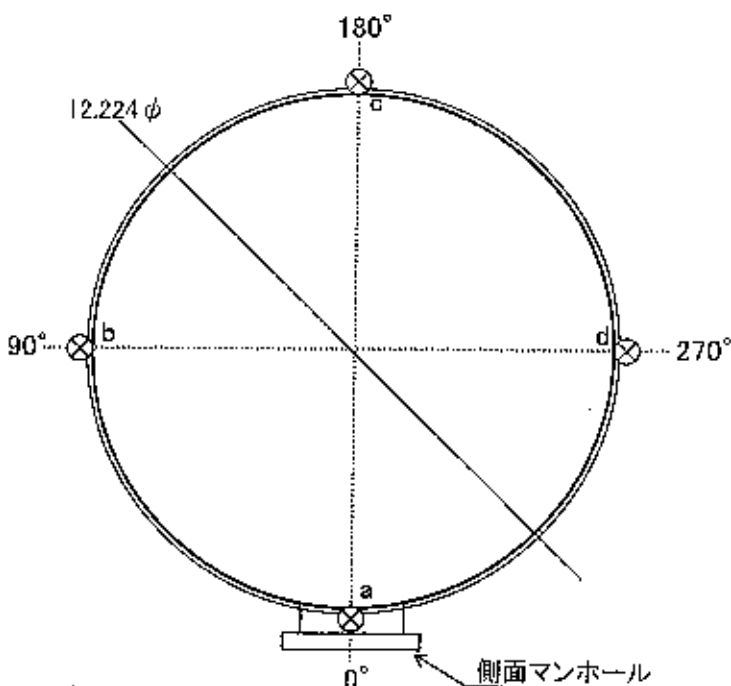
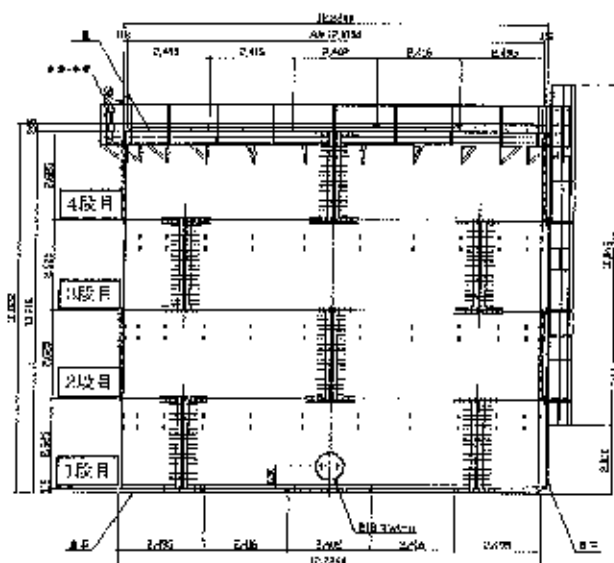
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	C3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.006
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	28.7%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$(-1/2)$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

G4エリア C4タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/7ツク(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアC4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	C4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	28.8%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段自下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

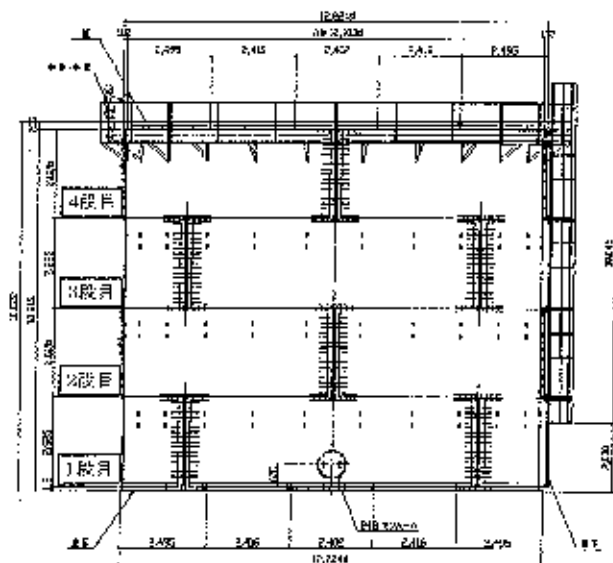
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

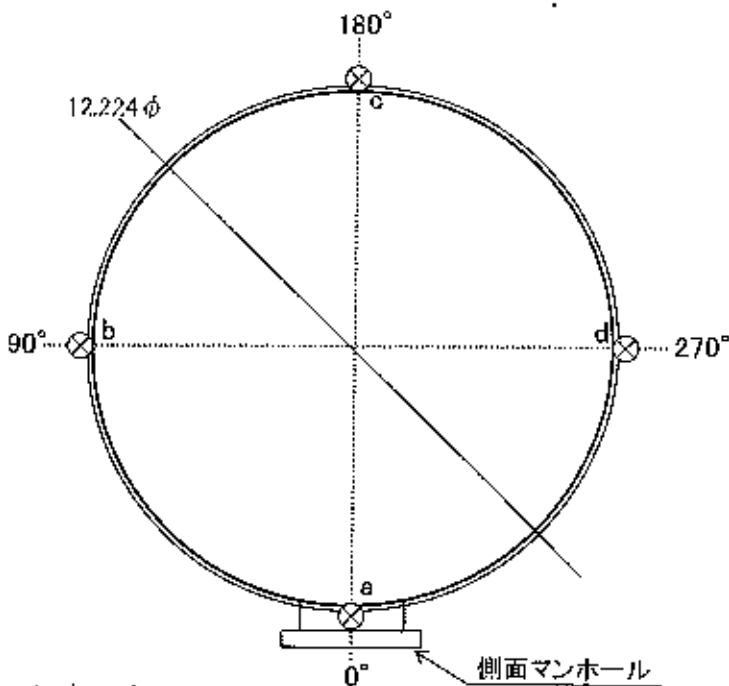
作業件名		IF-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( G4-C5 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-62
測定日時		平成27年11月10日 8時50分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋), (タイベック), タイラック (アライ), (上), (下), (マスク), (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (2008)



G4エリア C5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック フラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアC5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	C5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003	
$\beta \gamma$ 線		0.005		
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	28.6%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

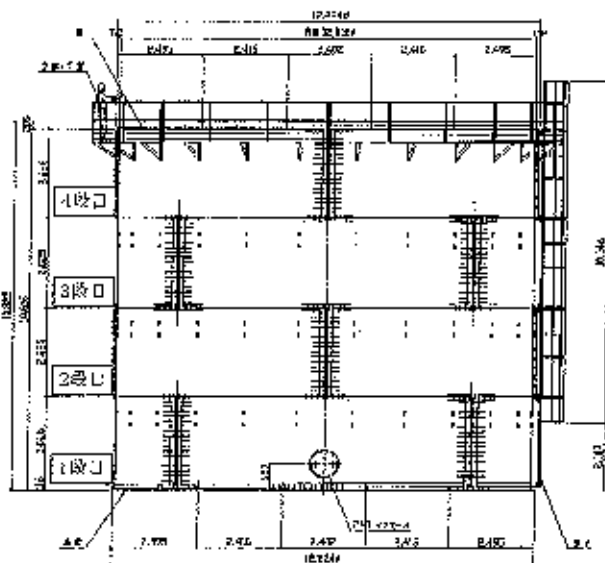
# 放射線管理記録

( 1/2 )

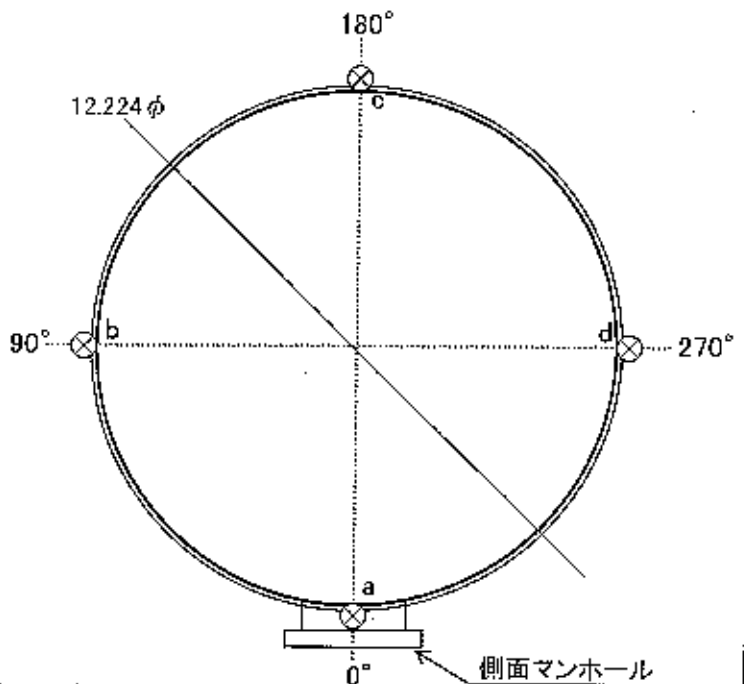
作業件名		1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		線量率測定、目視検査 ( G4-C6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-116
測定日時		平成27年11月9日 9時20分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) タイラック (アライズ) (上) (下), (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 平面図 (2/2) (1/2)



G4エリア C6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ド	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ミ			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					防護装備
					線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アブラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアC6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	C6	a (0° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
		b (90° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.003
		c (180° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.003
		d (270° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.005
		側面マンホール	γ線	0.004
			β γ線	0.004
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	28.9%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



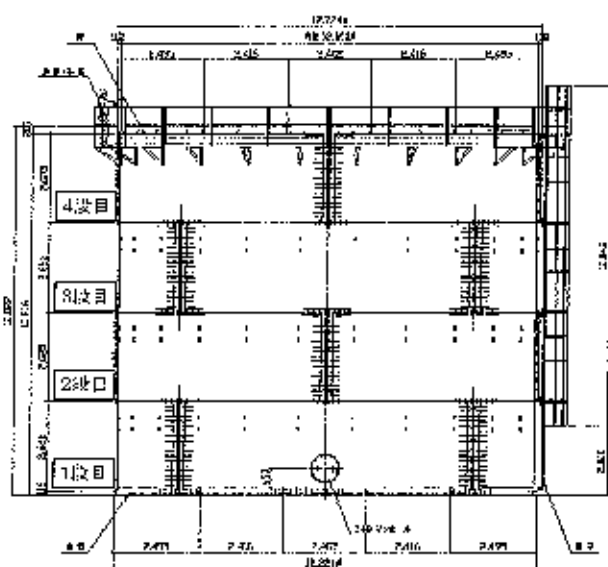
# 放射線管理記録

( 1/2 )

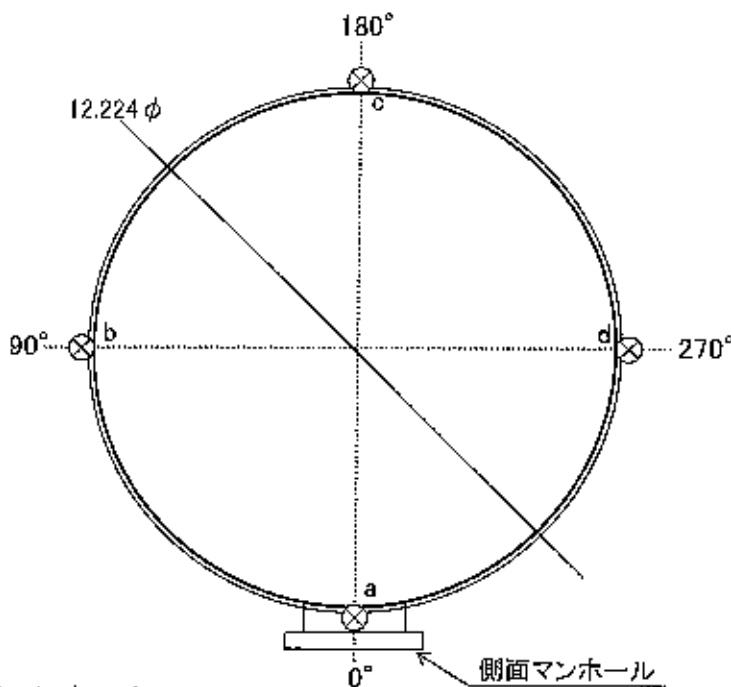
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G4-D1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310 FI-ICWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 10 時 05 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



G4エリア D1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名				測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所				コ ン タ イ ナ ー	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)				測定器			
測定日時 平成 年 月 日 時 分				区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D			
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアD1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	D1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	10:05~10:15			
タンク内水位	96.7%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

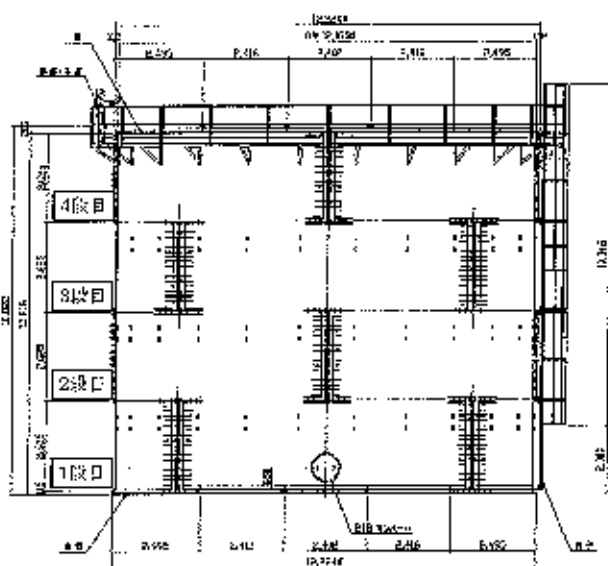
# 放射線管理記録

( 1/2 )

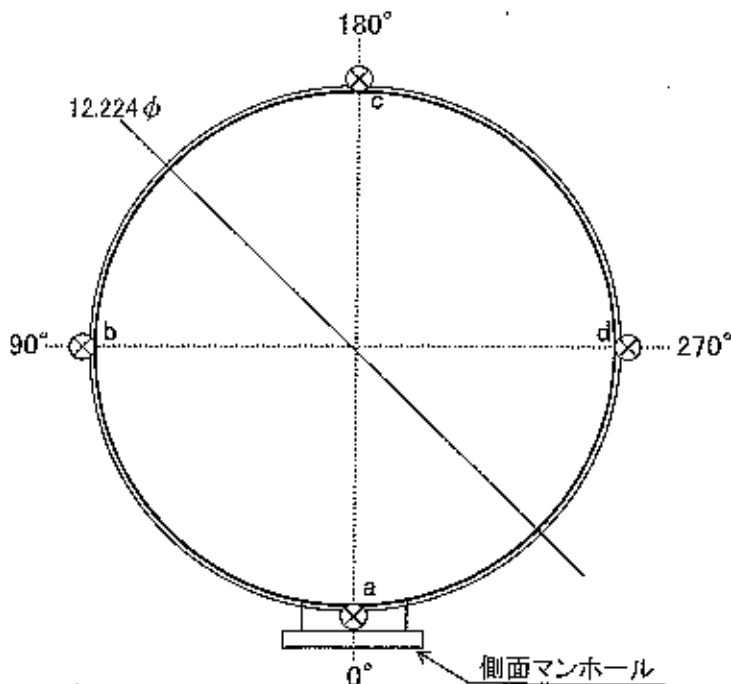
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G4-D2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 9 時 15 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライ(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



G4エリア D2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW 停止後	防護装備
					線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック フラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアD2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	D2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	9:15～9:25			
タンク内水位	21.9%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

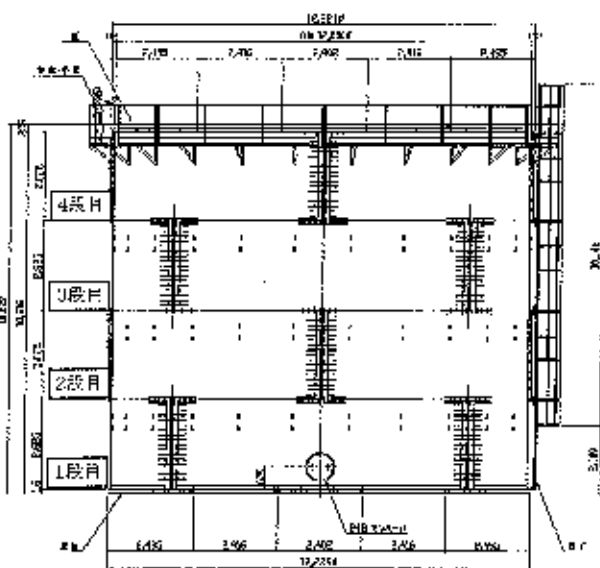
# 放射線管理記録

( 1/2 )

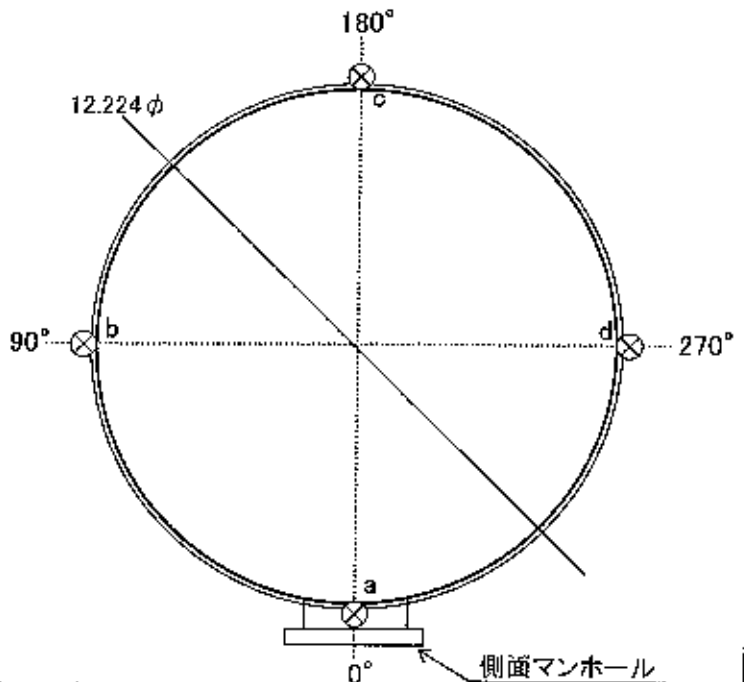
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G4-D3 内筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 9 時 25 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイヤック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

内筒タンク 立面図 (mm)



G4エリア D3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ	イ	イ	測定者
作業内容 (測定目的)		イ	イ	イ	測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード		番号	出力	MW	停止後
					線量 - 1, 2, 3
					汚染 - A, B1, B2, C, D
					一般作業服, A, B1, B2, C
					ゴム手袋, タイベック, タラック
					アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアD3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	D3	a (0° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.001
		b (90° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.001
		c (180° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	≦0.001
		d (270° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	≦0.001
	側面マンホール	γ線	≦0.001	
β γ線		≦0.001		
測定時間	9:25～9:35			
タンク内水位	91.9%			
タンク堰内水深	4cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

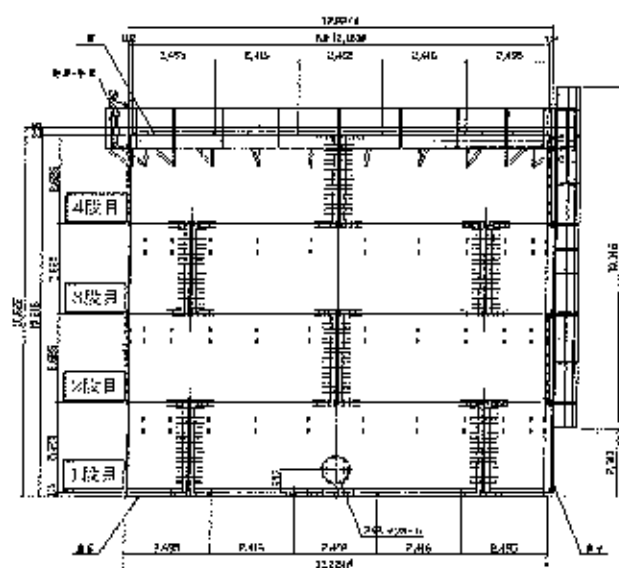
# 放射線管理記録

( 1/2 )

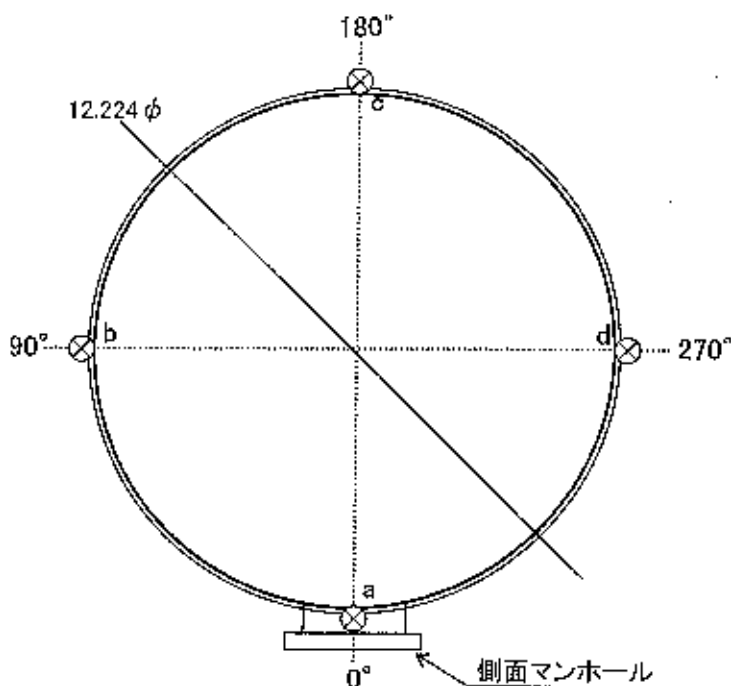
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G4-D4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310
				測定器	FI-ICWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 9 時 35 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm単位)



G4エリア D4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時 平成 年 月 日 時 分		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアD4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	D4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
		$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$	
測定時間	9:35~9:45			
タンク内水位	91.7%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



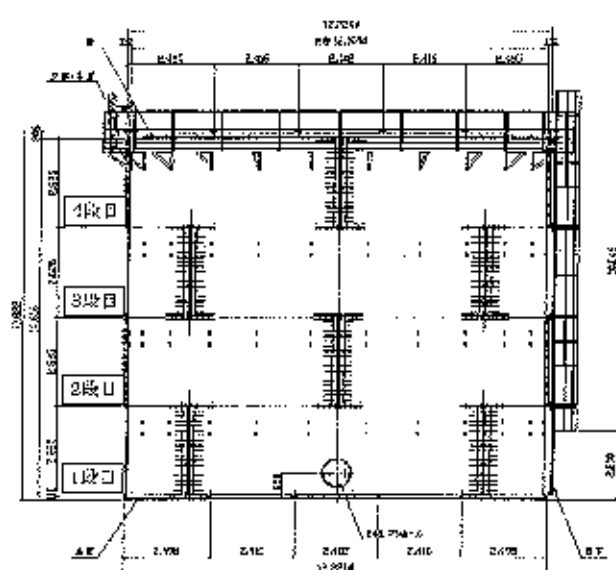
# 放射線管理記録

( 1/2 )

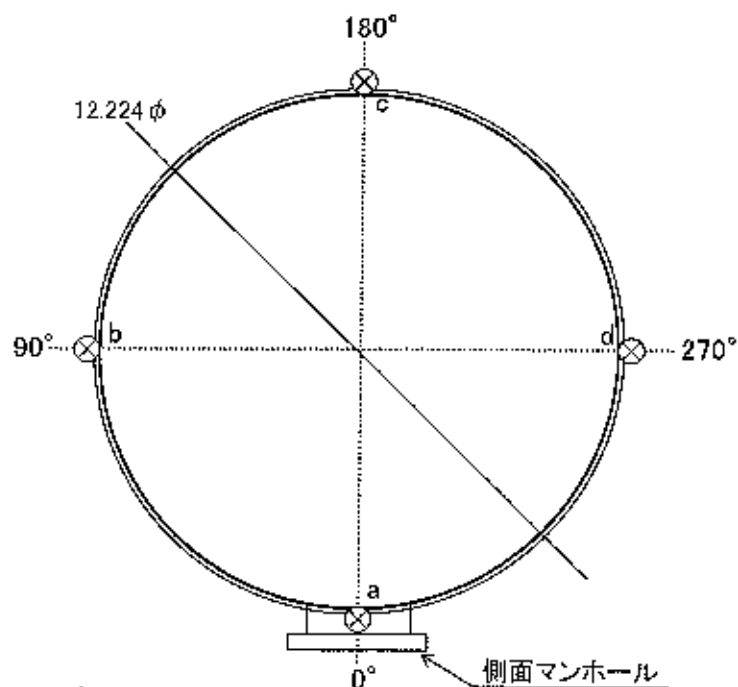
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G4-D5 内筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 9 時 45 分			区域区分	線量 ~ 1, 2, 3 汚染 ~ A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フード)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク 立面図 (mm)



G4エリア D5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		コード	#/B	F/L	測定者	
作業内容 (測定目的)		コード			測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)
コード	番号	出力	MW	停止後	日	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G4エリアD5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	D5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
$\beta \gamma$ 線		$\leq 0.001$		
測定時間	9:45～9:55			
タンク内水位	91.6%			
タンク堰内水深	4cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

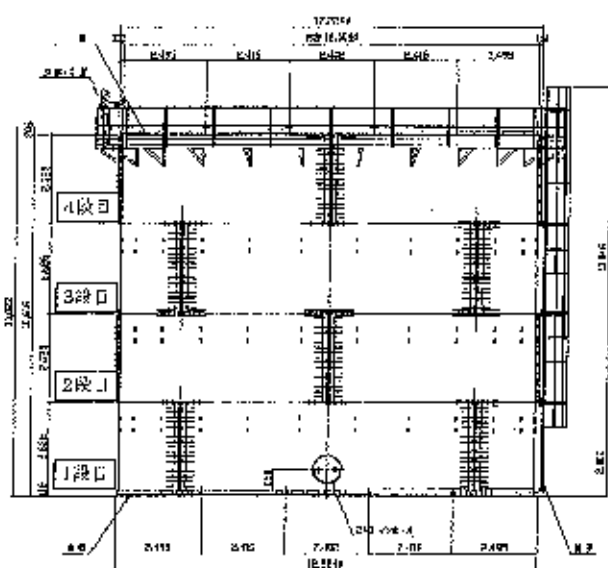
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

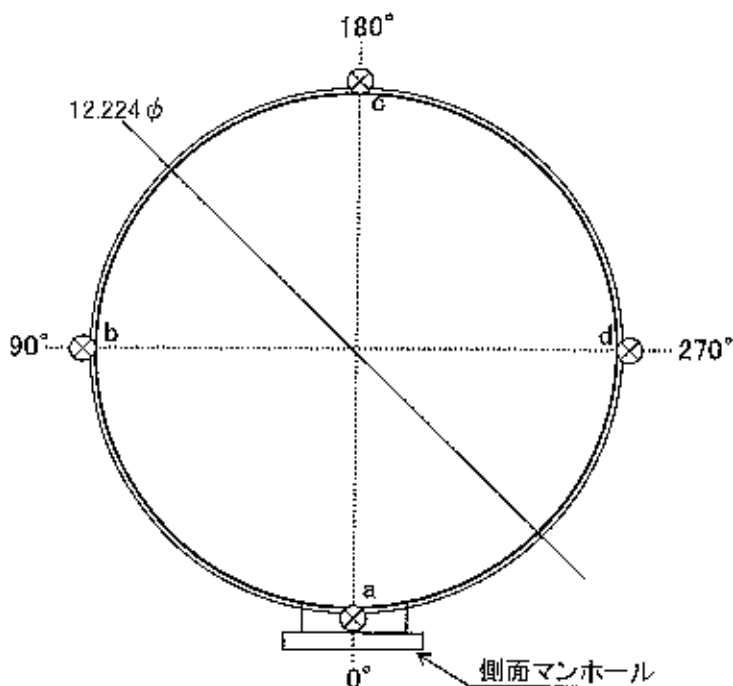
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G4エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G4-D6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 9 時 55 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (参照)



G4エリア D.6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		計測	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		測定者			
		測定器			
測定日時		平成	年	月	日 時 分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G4エリアD6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G4	D6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	9:55~10:05			
タンク内水位	91.8%			
タンク堰内水深	5cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

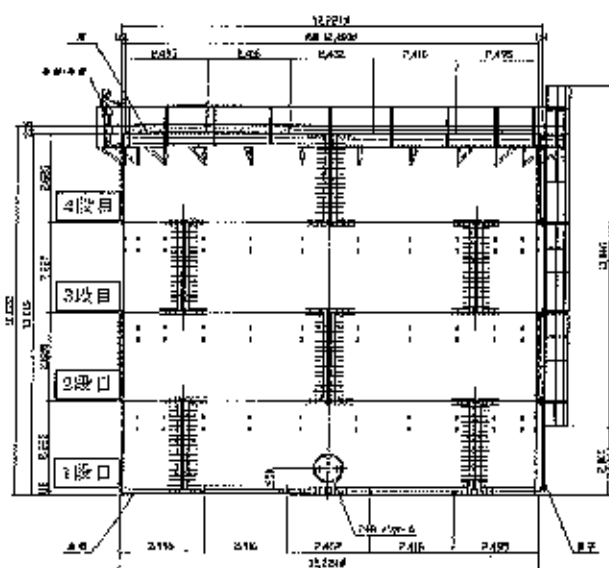
## 放射線管理記録 G 5 エリア全 1 7 基

	放 管	主 技	担 当
	2016.3.14	2016.3.14	2016.3.14
	{ 1/2 }		

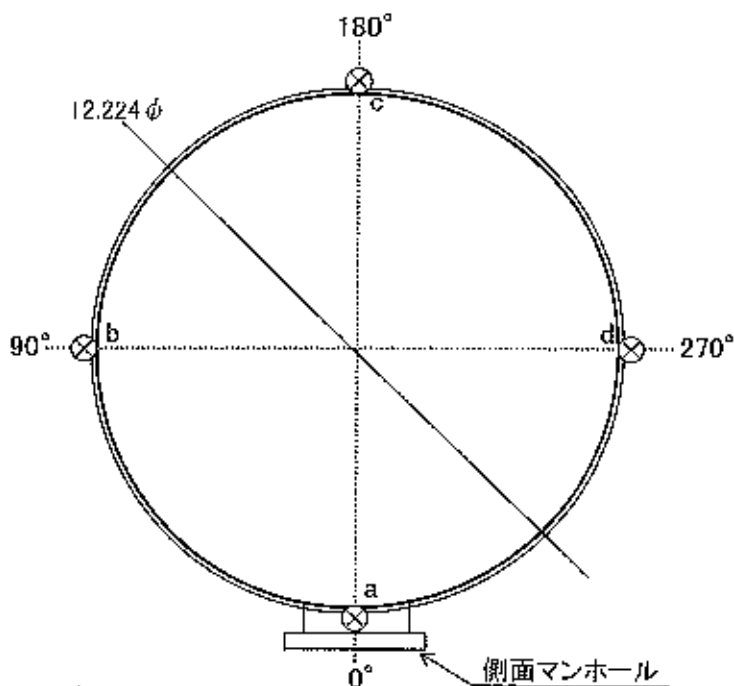
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G 5 エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G 5 - A 1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-315 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 9 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 12000L



G 5 エリア A 1 タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

	放 管	主 技	担 当
	2016. 8. 14 (水) 8:14 ~ 2016. 8. 14 (水) 14:22		

# 放射線管理記録 G 5 エリア全 1 7 基

作業件名						測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所						測定者		
作業内容 (測定目的)						測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アジャック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)				
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	A1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
		$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$	
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	96.8%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

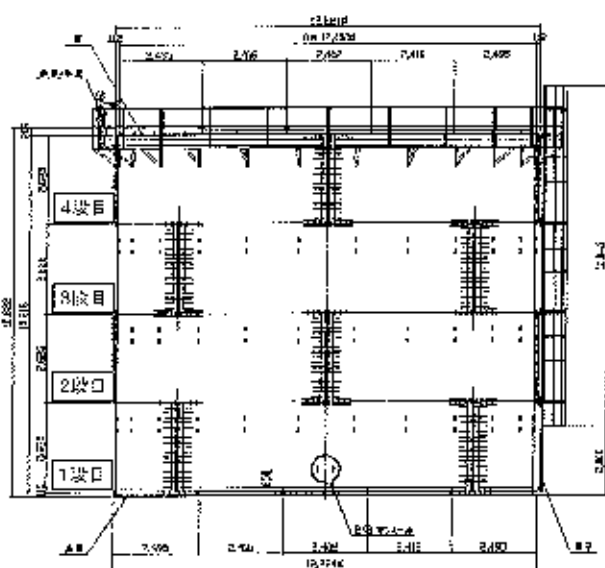
# 放射線管理記録

( 1/2 )

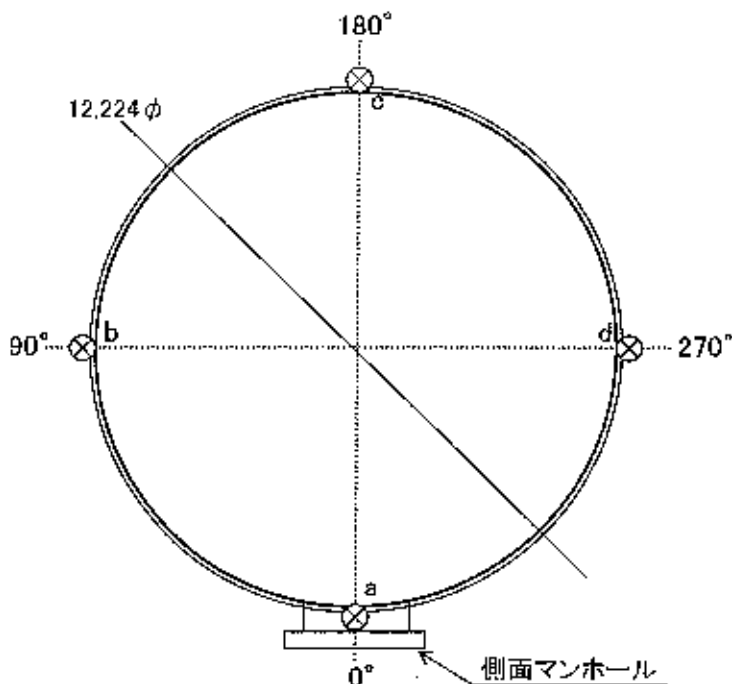
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直検
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G5-A2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-315
				測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 9 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アライナー(上, 下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (200%)



G5エリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ ( <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直検)	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	測 定 者		
作業内容 (測定目的)		測 定 器			
測定日時		平成 年 月 日 時 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
			防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイツ アフラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	A2	a (0° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	≦0.001
		b (90° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	≦0.001
		c (180° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	≦0.001
		d (270° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	≦0.001
		側面マンホール	γ線	≦0.001
			β γ線	≦0.001
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	91.0%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



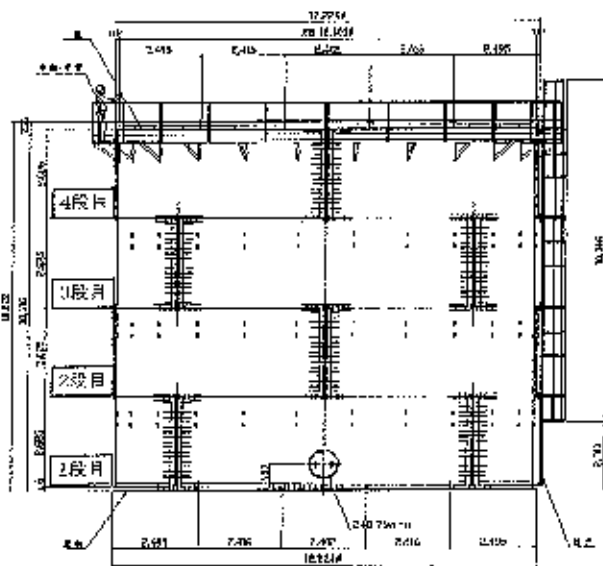
# 放射線管理記録

( 1/2 )

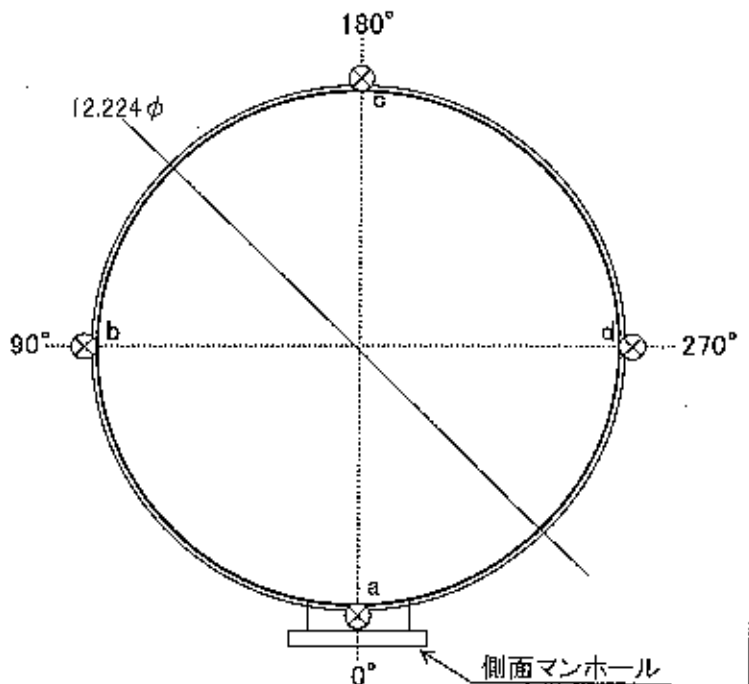
作業件名	1F--1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G5-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-315 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 9 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm単位)



G5エリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	測定者		
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー	測定器		
測定日時		平成 年 月 日 時 分	区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック ア/バック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	A3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	90.7%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

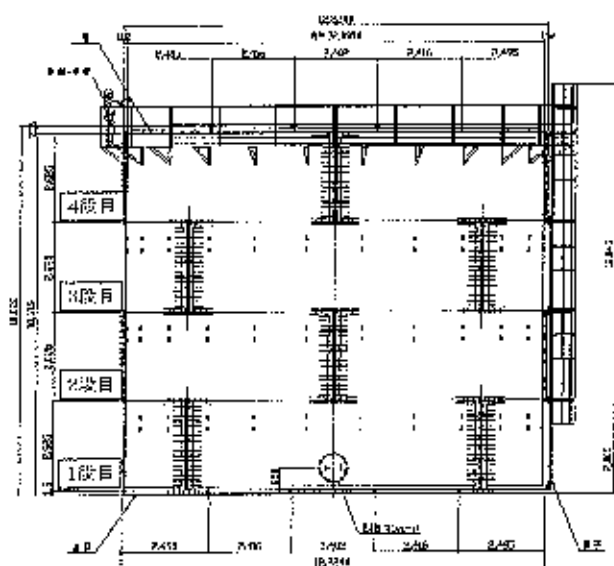
# 放射線管理記録

( 1/2 )

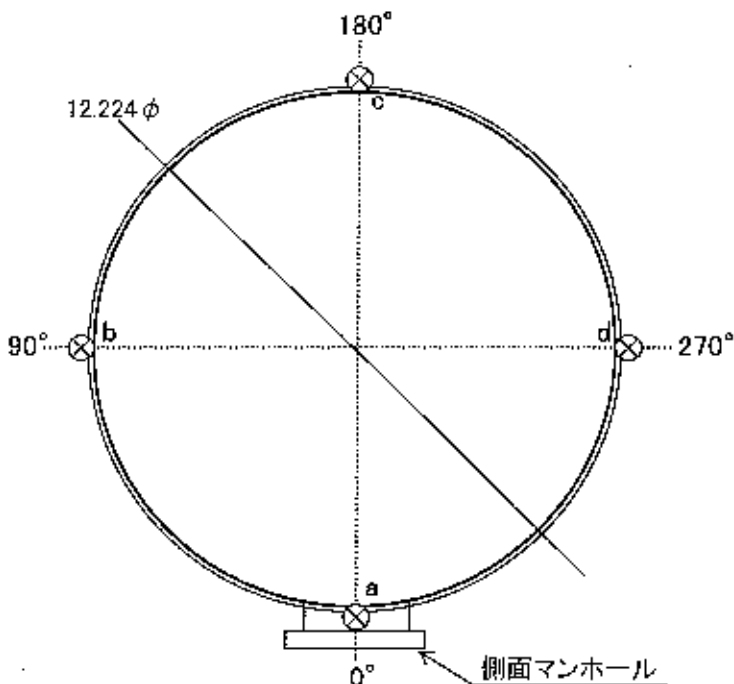
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-A4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-315 F1-CWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 9 時 20 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライメント (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



G5エリアA4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

[ 2/2 ]

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後		日	防護装備

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	A4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	90.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

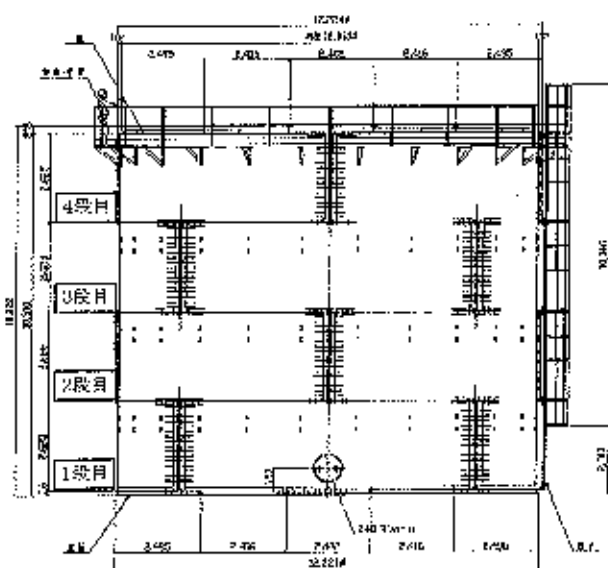
# 放射線管理記録

( 1/2 )

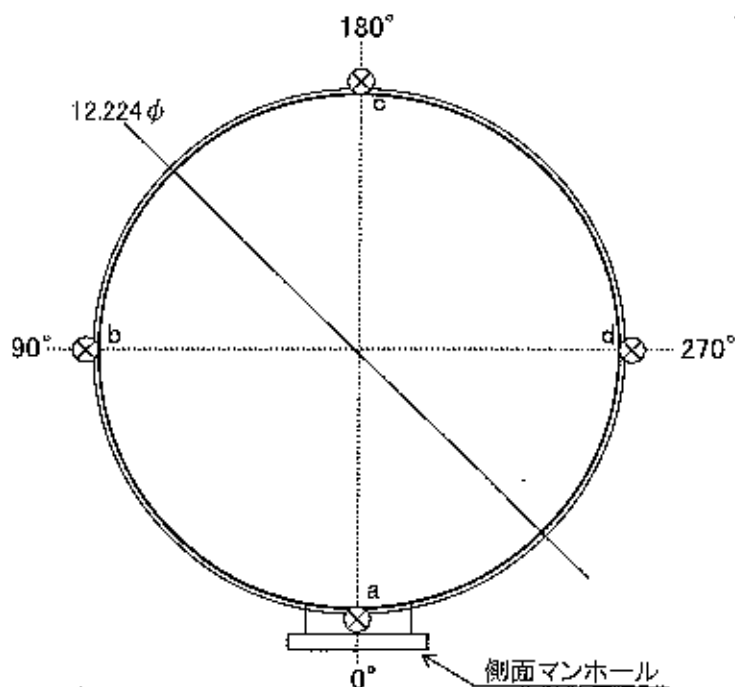
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G5-A5 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-315 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 9 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ア/ラック(上, 下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



G5エリアA5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
防護装備		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック アブソルク(上・下), マスク(全面・フット)	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアA5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	A5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	90.7%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

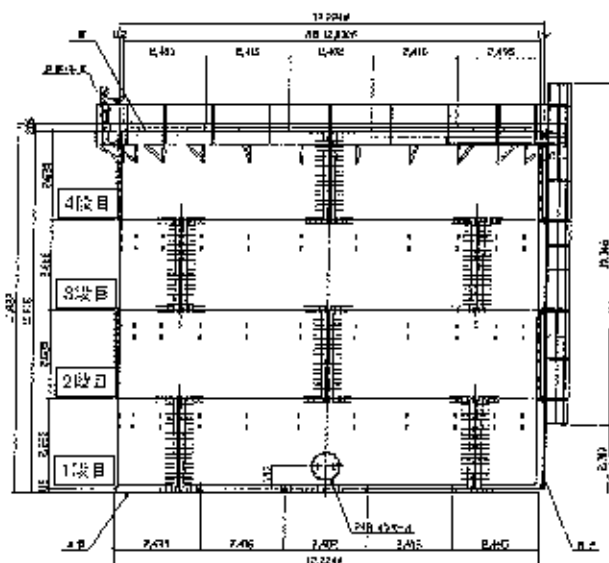
# 放射線管理記録

( 1/2 )

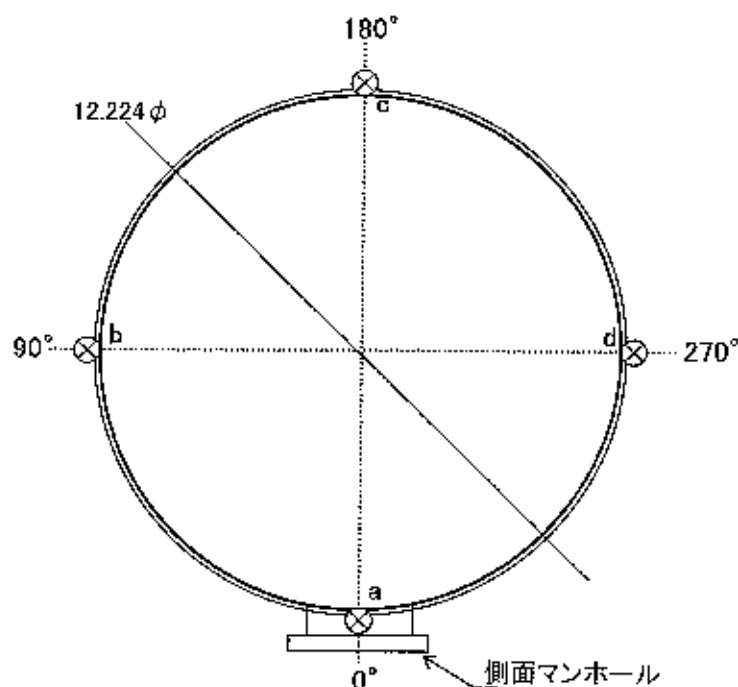
作業件名	1F～1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-315 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 10 時 00 分			区域区分	線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック メガネ (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



G5エリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F.L.	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アブックス(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G5エリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	B1	a (0° 側)	γ 線	≦0.001
			β γ 線	≦0.001
		b (90° 側)	γ 線	≦0.001
			β γ 線	≦0.001
		c (180° 側)	γ 線	≦0.001
			β γ 線	0.001
		d (270° 側)	γ 線	≦0.001
			β γ 線	≦0.001
側面マンホール	γ 線	≦0.001		
	β γ 線	≦0.001		
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	97.1%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



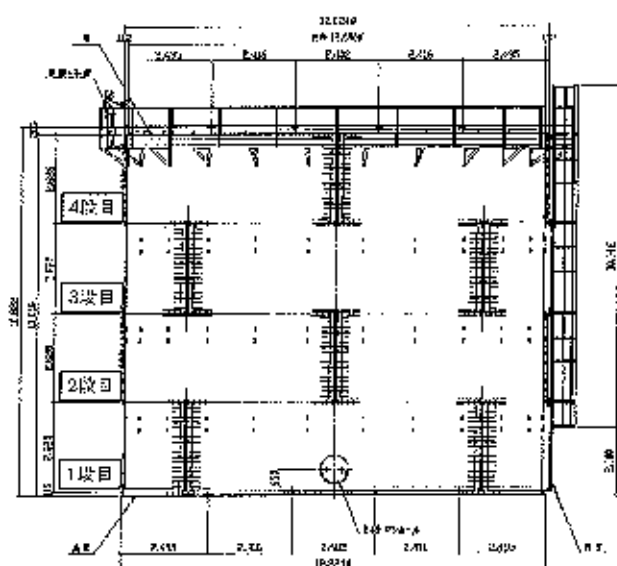
# 放射線管理記録

( 1/2 )

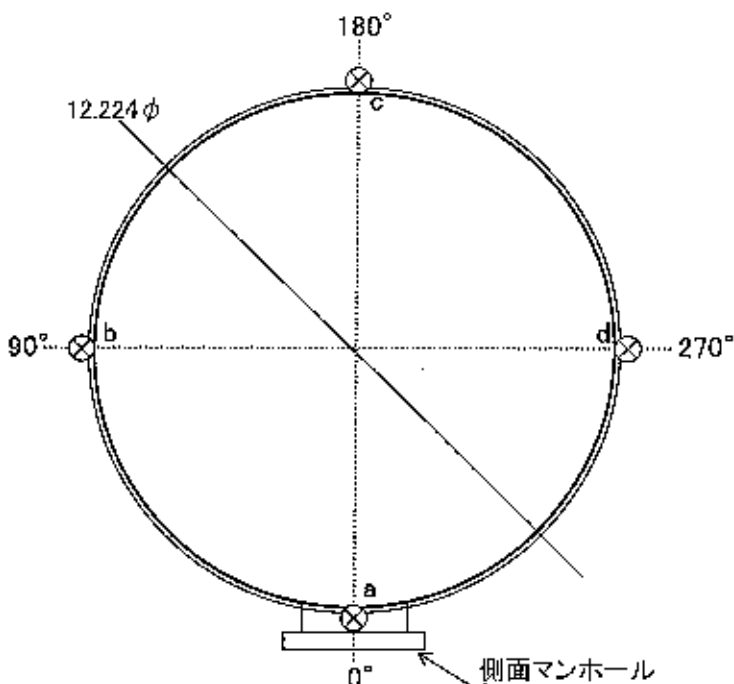
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-315 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 10 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイラック アフラック (上, 下), マスク (全面・フート)

X: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 平面図 (2/2) 次紙参照



G5エリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タバック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	91.2%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

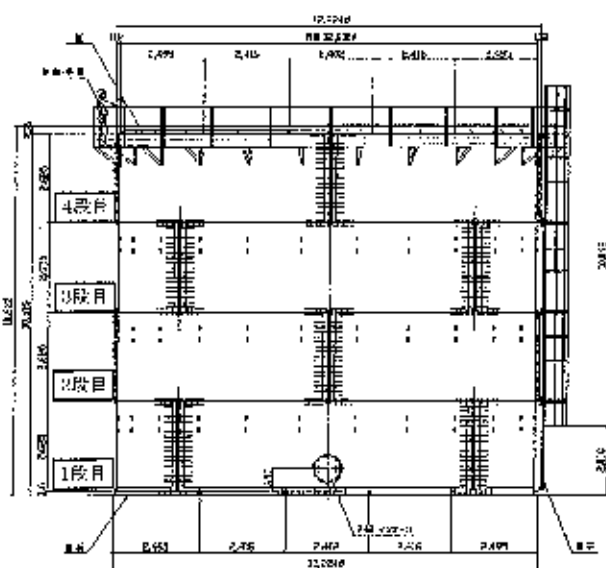
# 放射線管理記録

( 1/2 )

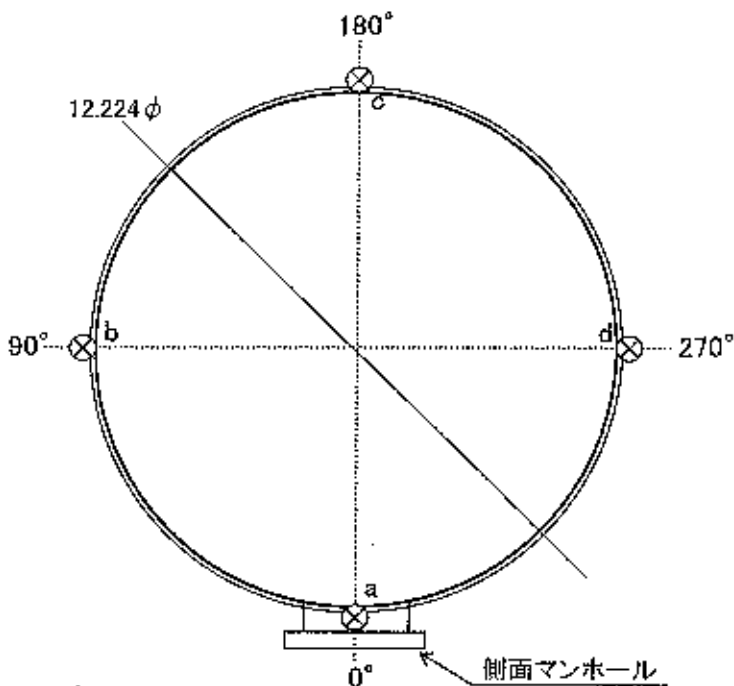
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-B3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-315 F1-CWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 10 時 20 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 直測図 (mm)



G5エリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接			
測定場所					測定者				
作業内容 (測定目的)					測定器				
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アパック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	B3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
$\beta \gamma$ 線		$\leq 0.001$		
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	91.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

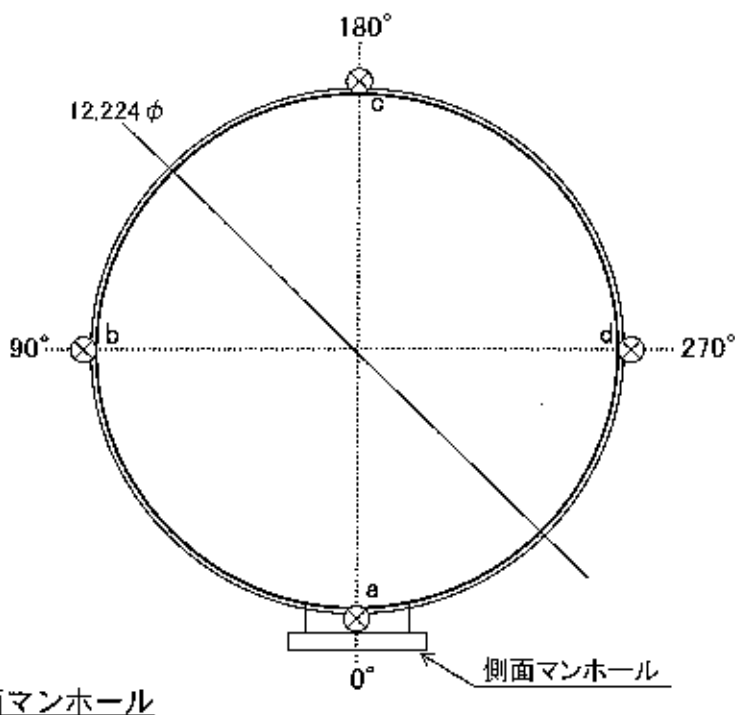
◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$\{ 1/2 \}$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

G5エリア B4タンク 平面図



雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		D/B F/L	測定者		
作業内容 (測定目的)		T/K F/L	測定器		
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G5エリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	B4	a (0° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.001
		b (90° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.002
		c (180° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.002
		d (270° 側)	γ線	≦0.001
			β γ線	0.003
	側面マンホール	γ線	≦0.001	
β γ線		≦0.001		
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	91.3%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

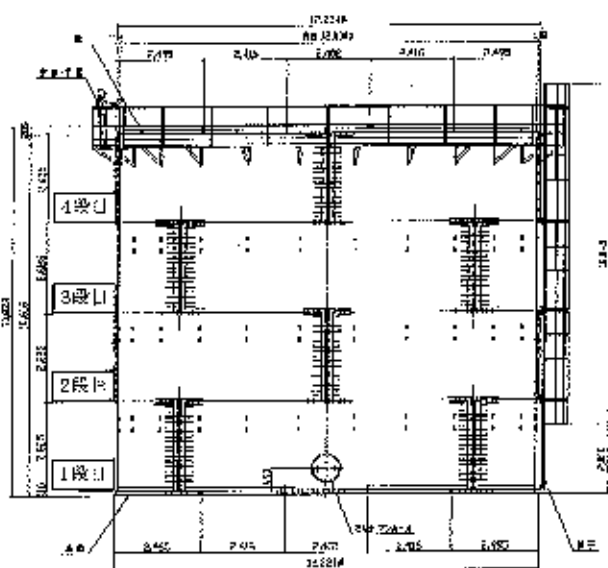
# 放射線管理記録

( 1/2 )

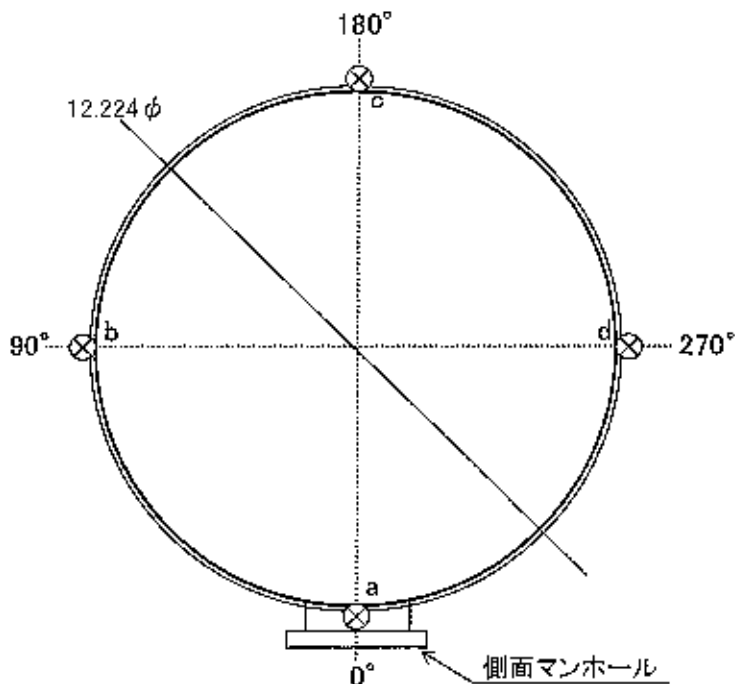
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G5-B5 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310
				測定器	F1-ICWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 8 時 55 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライズ(上, 下), マスク(全面・フード)
コード	番号	出力	MW 停止後		

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm単位)



G5エリア B5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	※/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成	年	月	日
					時
					分
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	日
					線量 - 1, 2, 3
					汚染 - A, B1, B2, C, D
					一般作業服, A, B1, B2, C
					ゴム手袋, タバック, タイヤック
					アフラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	B5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
測定時間	8:55~9:05			
タンク内水位	91.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



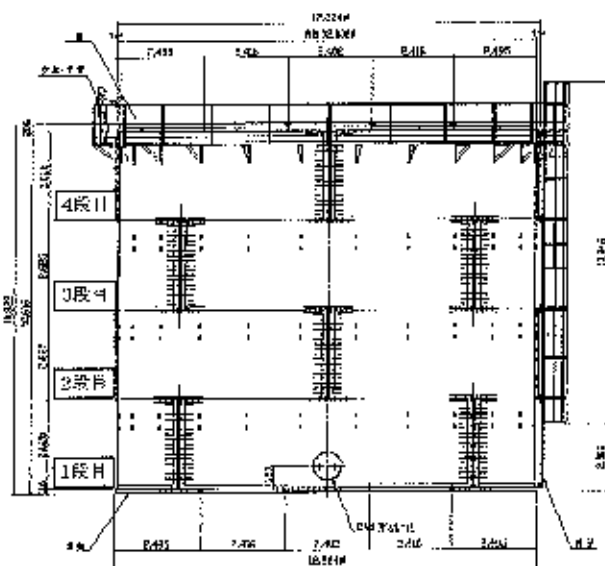
# 放射線管理記録

( 1/2 )

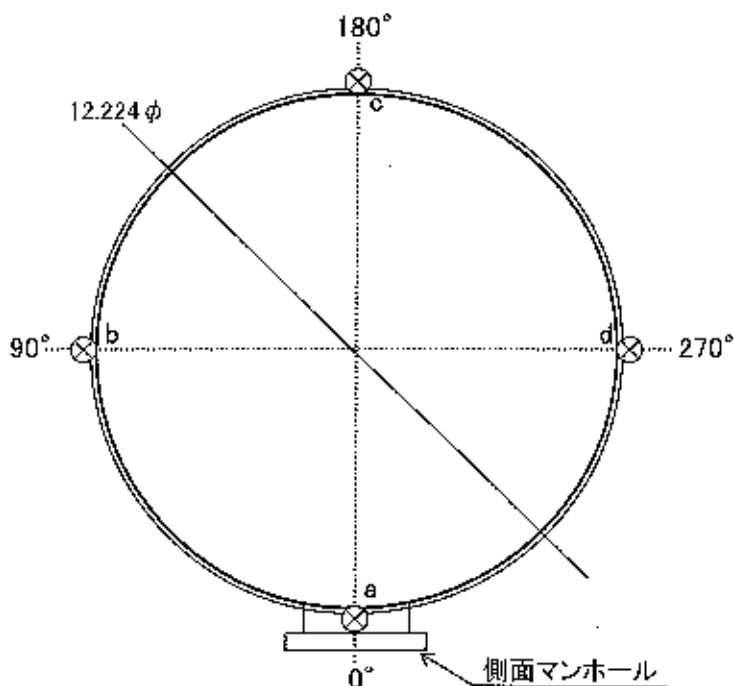
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-B6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 Fi-CWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 8 時 15 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アノラック (E) (下), (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (参考)



G5エリア B6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック アブレッグ(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアB6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	B6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
測定時間	8:15~8:25			
タンク内水位	91.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

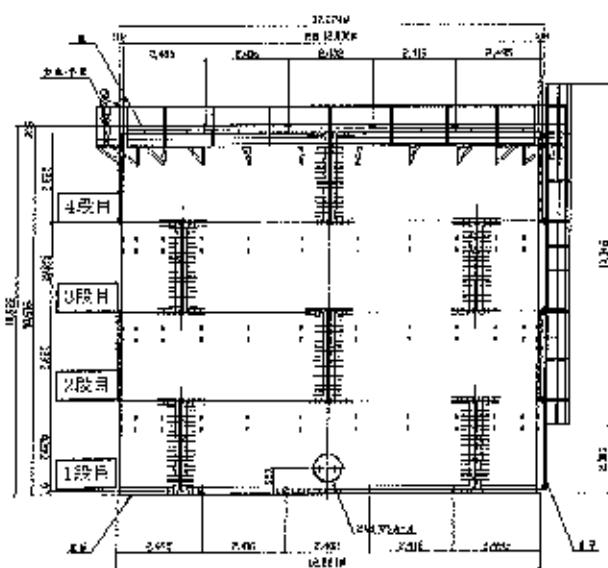
# 放射線管理記録

( 1/2 )

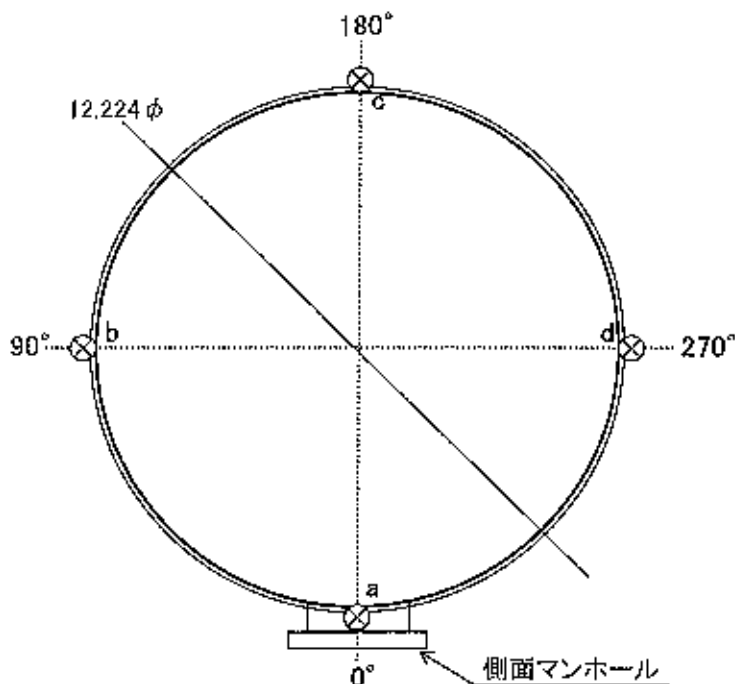
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-C1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 8 時 45 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(E), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 120x382



G5エリア C1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G5エリアC1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	C1	a (0° 側)	γ 線	≦0.001
			β γ 線	≦0.001
		b (90° 側)	γ 線	≦0.001
			β γ 線	≦0.001
		c (180° 側)	γ 線	≦0.001
			β γ 線	≦0.001
		d (270° 側)	γ 線	≦0.001
			β γ 線	≦0.001
	側面マンホール	γ 線	≦0.001	
		β γ 線	0.001	
測定時間	8:45～8:55			
タンク内水位	96.9%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

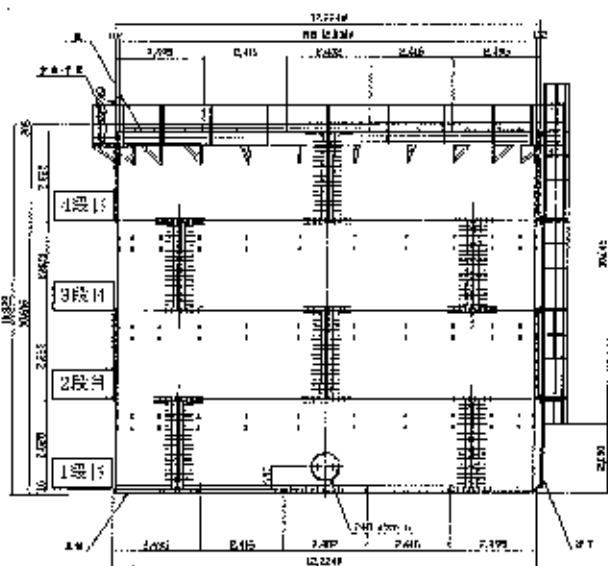
# 放射線管理記録

( 1/2 )

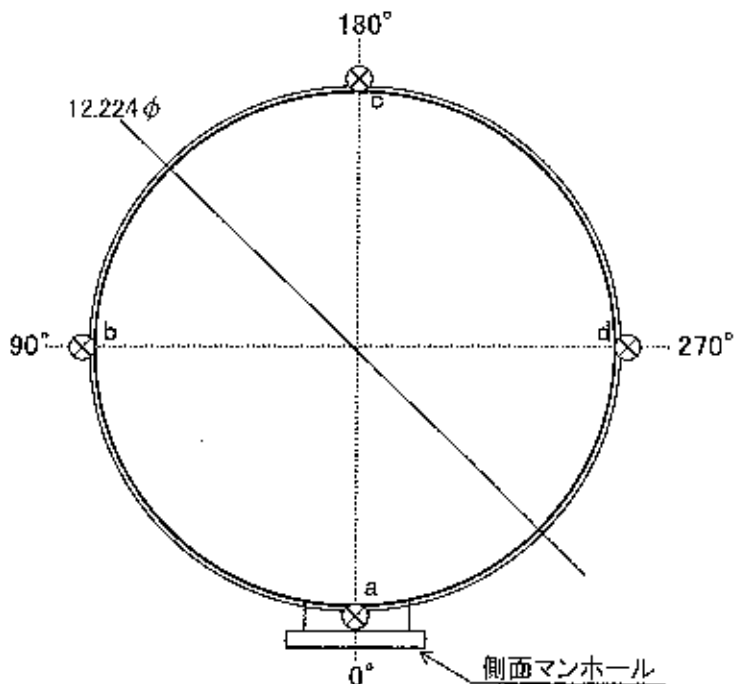
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G5-C2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-109
測定日時	平成 27 年 11 月 6 日 8 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全周・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 断面図 (mm単位)



G5エリア C2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	日	月	年
作業内容 (測定目的)		コード	日	月	年
測定日時		平成		年	月 日 時 分
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック プラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G5エリアC2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	C2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	8:30~8:40			
タンク内水位	91.7%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

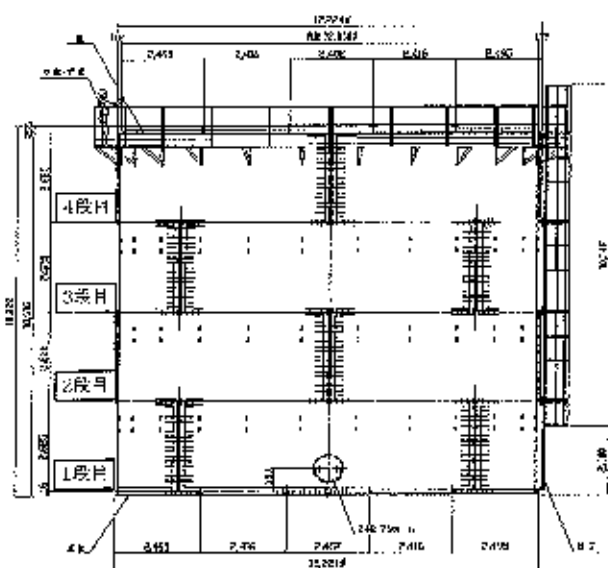
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

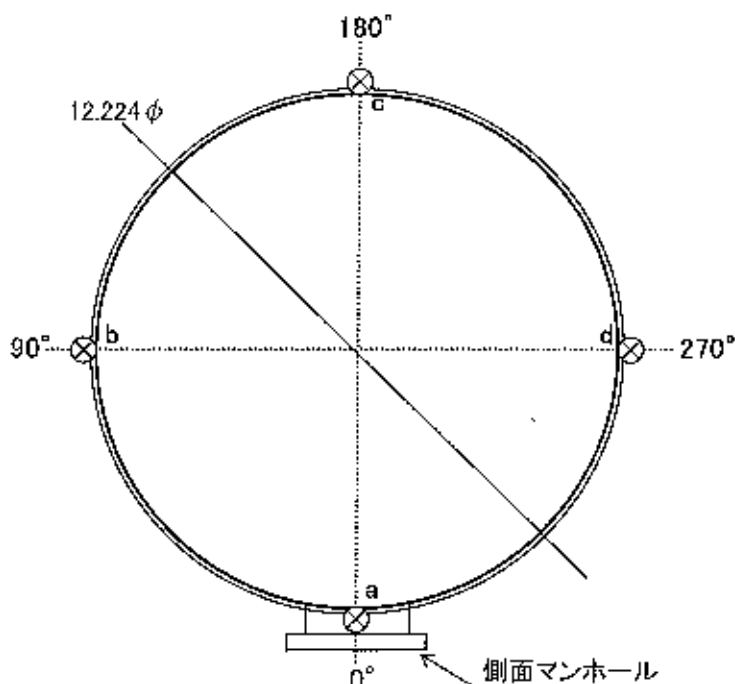
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (G5-C3 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	リ-CW-315 F1-CWBL-62
測定日時	平成27年11月5日 10時50分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)

×: 空間線量当量率 ⊗: 表面線量当量率 ○: スミアポイント △: ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



G5エリア C3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ド	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ ド			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					防護装備
					線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G5エリアC3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	C3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	0.002
	側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$	
$\beta \gamma$ 線		0.001		
測定時間	10:50~11:00			
タンク内水位	91.5%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



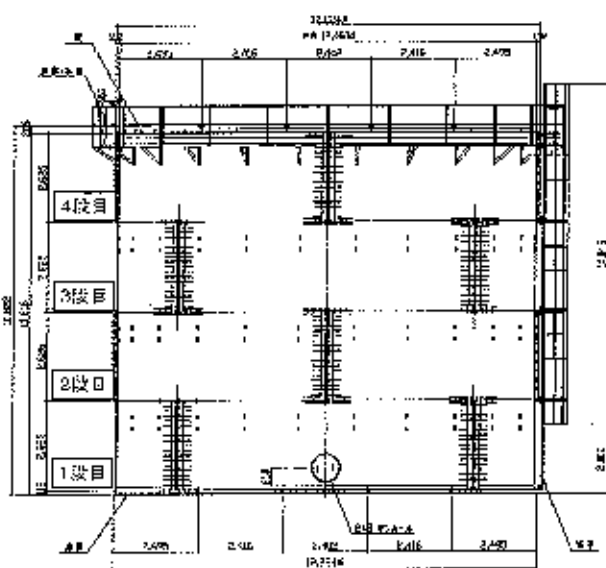
# 放射線管理記録

( 1/2 )

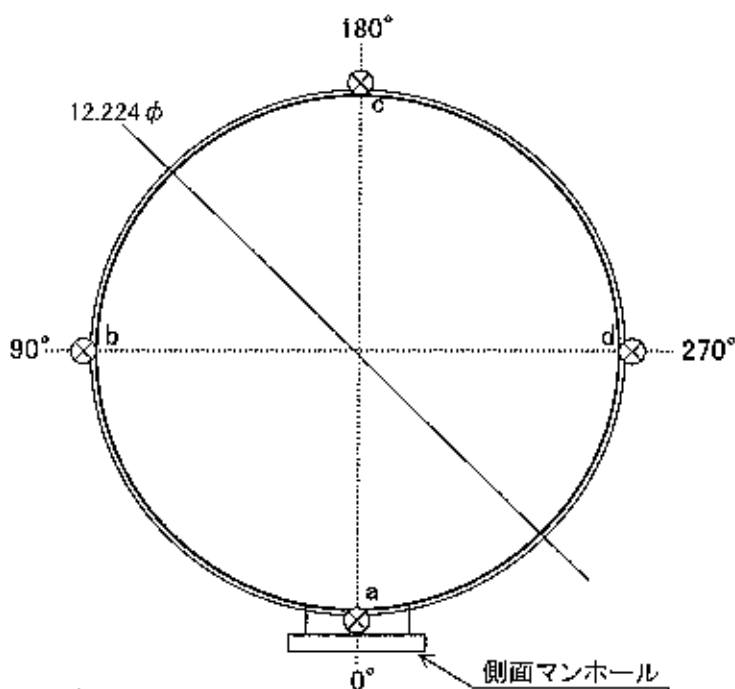
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-C4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-315 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 10 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(E), (下), (マス), (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



G5エリア C4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイベック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G5エリアC4タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	C4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.001
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.002
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.002
側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$		
	$\beta$ $\gamma$ 線	0.001		
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	91.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

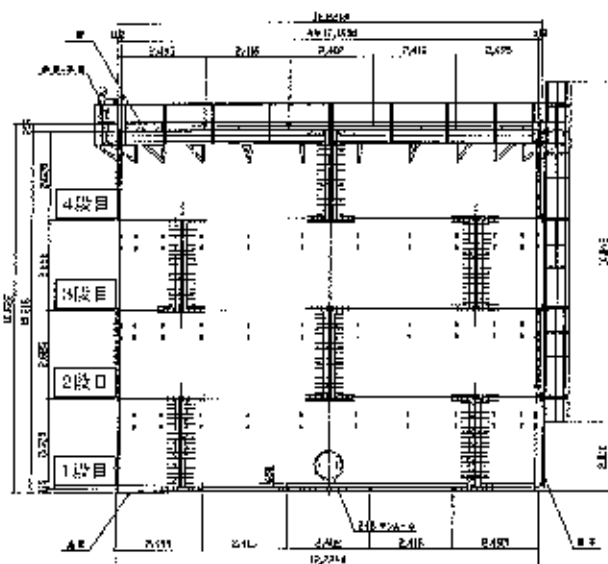
# 放射線管理記録

( 1/2 )

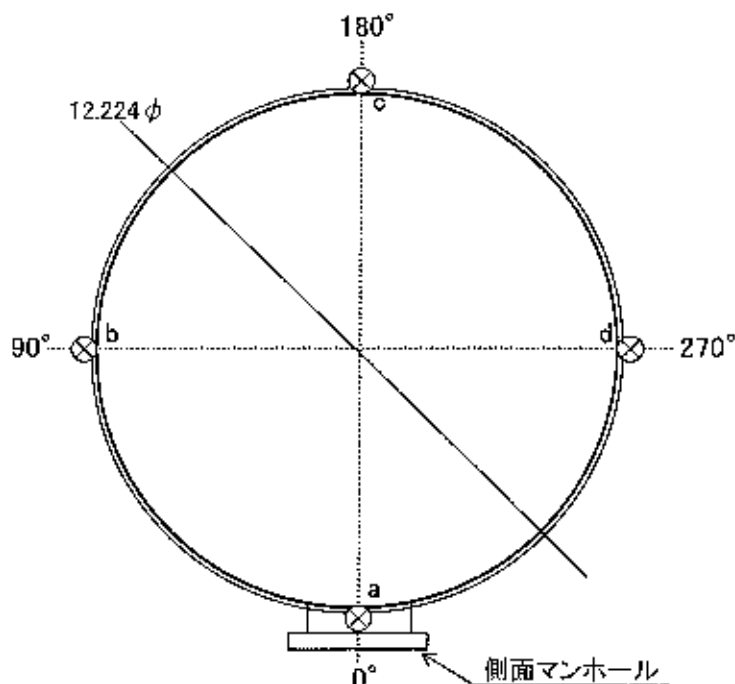
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-C5 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-315
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 9 時 00 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



G5エリア C5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	
コード	番号	出力	MW	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック フランク(上・下), マスク(全面・フット)	
			停止後		

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアC5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	C5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	91.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

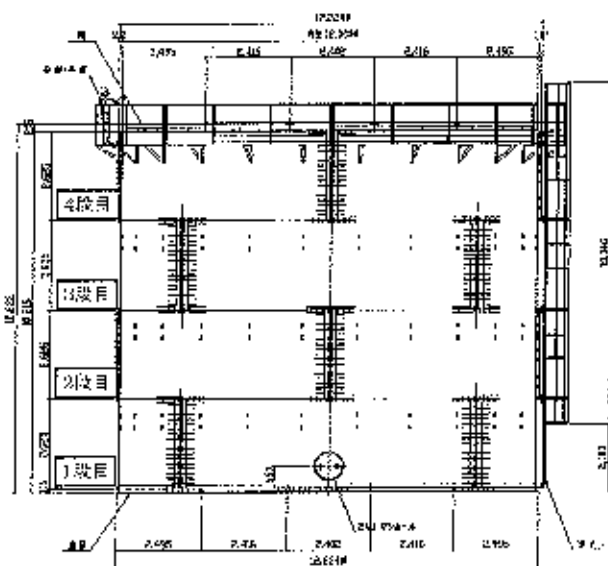
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

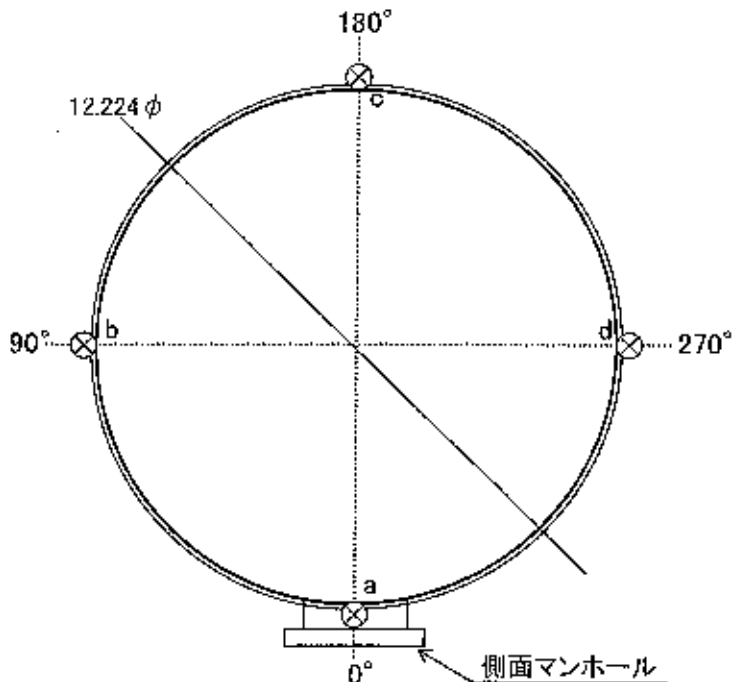
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G5-C6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-315 F1-CWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 5 日 8 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (4/6)



G5エリア C6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	1/8	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					防護装備
					線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G5エリアC6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

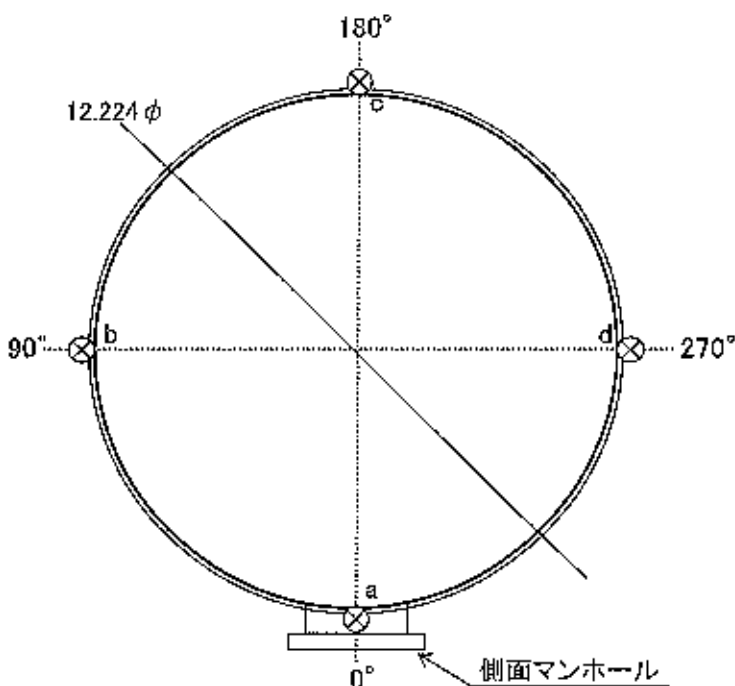
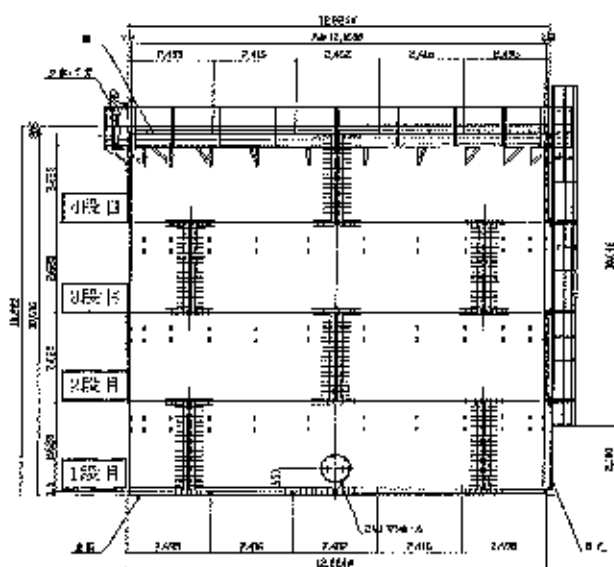
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G5	C6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
		側面マンホール	$\gamma$ 線	$\leq 0.001$
			$\beta \gamma$ 線	$\leq 0.001$
測定時間	8:30~9:00			
タンク内水位	91.5%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

G6エリア A1タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録 G 6 エリア全 3 8 基

	放 管	主 技	担 当

2016.2.14 2016.3.14

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	室 1F				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック ブランク(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	67.1%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



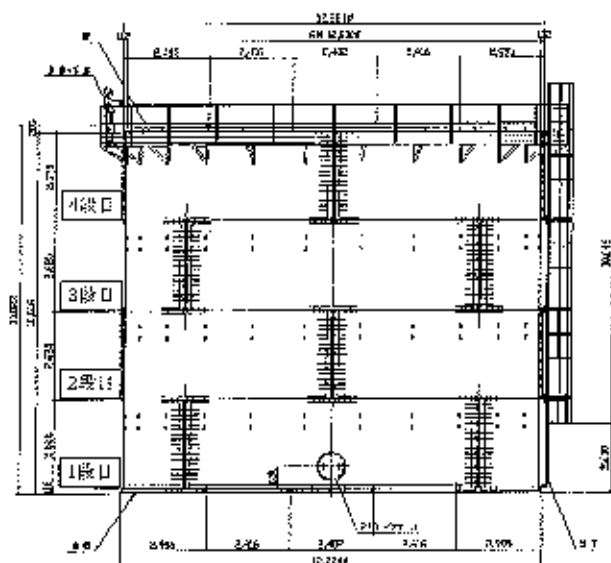
# 放射線管理記録

( 1/2 )

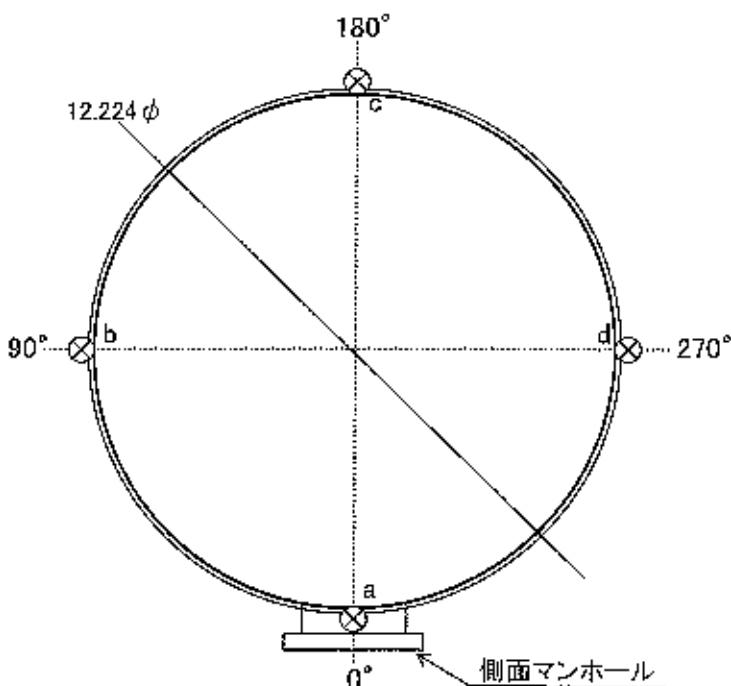
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6 A2 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104
					測定器	F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 13 日 9 時 20 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (E) (下), マスク (全面・フット) タイベック, タイラック

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



G6エリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>室 177</span> <span>コ 177</span> <span>177</span> <span>177</span> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック アライク(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003	
$\beta \gamma$ 線		0.006		
測定時間	9:20～9:30			
タンク内水位	66.5%			
タンク堰内水深	3cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

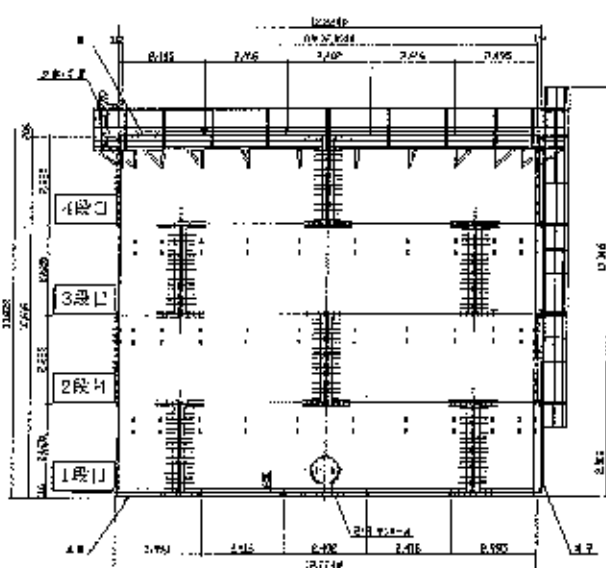
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

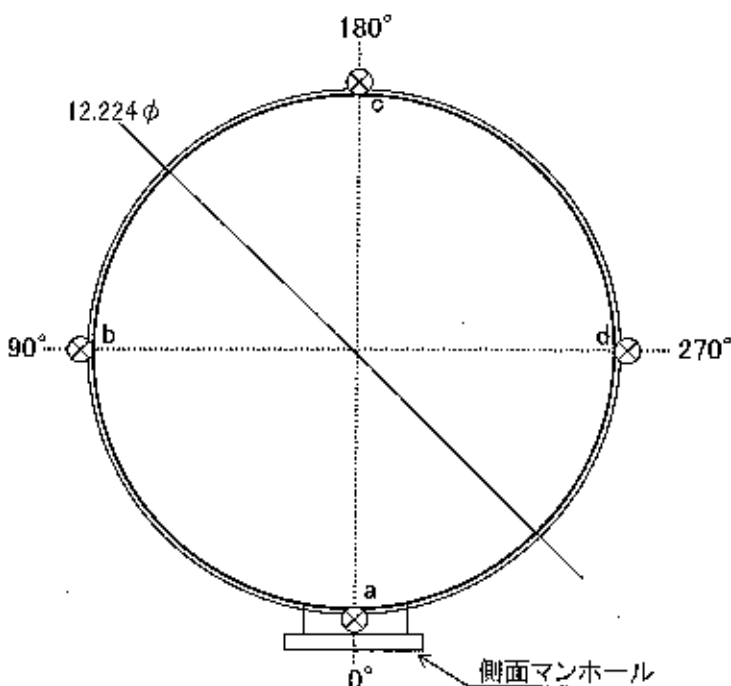
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	G6エリア				測定者		
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104	
					測定器	F1-ICWBL-116	
測定日時	平成 27 年 11 月 13 日 9 時 50 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライメント (上) (下) (マスク) (全面・フード)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位: mm)



G6エリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		IF-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		室 17A		フロア 1	測定者			
作業内容 (測定目的)					測定器			
測定日時		平成 年 月 日		時 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D		
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アブソルク(上・下), マスク(全面・フット)		

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.009
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.007	
$\beta \gamma$ 線		0.009		
測定時間	9:50～10:00			
タンク内水位	0.0%(水抜き運用中)			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP261検査記録参照

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

# 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所 1～4号機

対象機器 G6エリア A3タンク

検査項目 目視検査

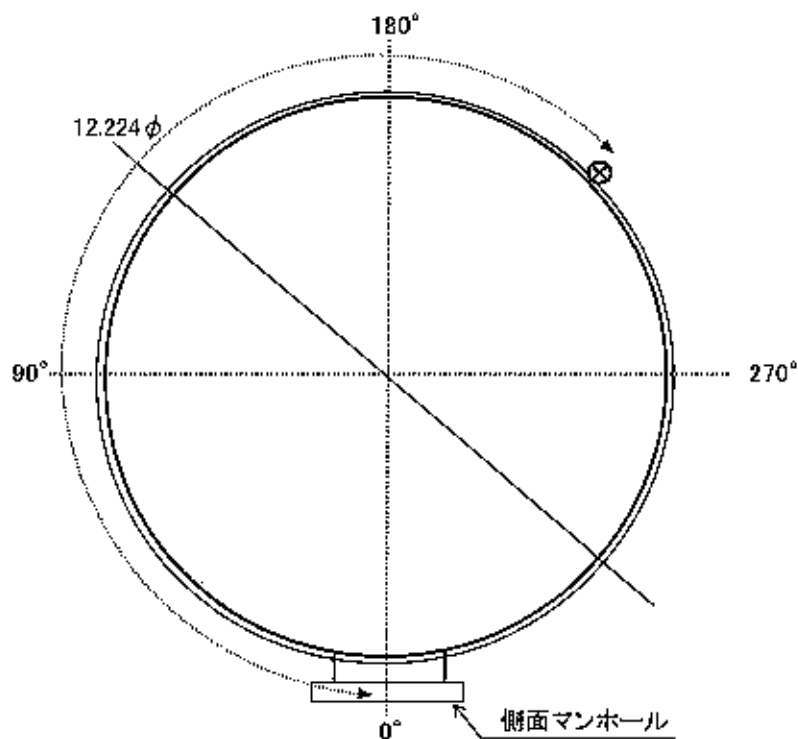
東京電力(株)  
記録確認者

QC 主技 担当

2016.3.17

2016.3.14 2016.3.14

G6エリア A3タンク 平面図



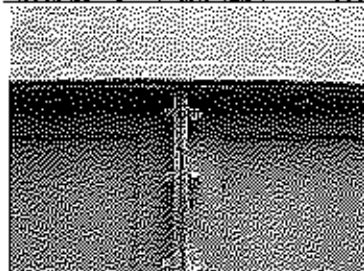
測定器: リー(CW-160 F1-ICWBL-42

単位: mSv/h

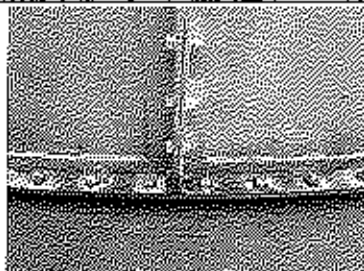
No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	2段目横フランジ(225° 付近)	0.013	1.3
②	1段目下部フランジ(225° 付近)	0.007	0.13

- ・タンク堰内: 水深30m(側面マンホール前にて測定)
- ・タンク内: 水位-%(水抜き運用中)

2段目横フランジ拡大図(225° 付近)



1段目下部フランジ拡大図(225° 付近)



◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に漏れ、にじみ等は確認されなかった。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		室 1F	フロア A	#/B 1	F.L. 1	測定者	
作業内容 (測定目的)						測定器	
測定日時		平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タンク アラック(上・下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003		
	$\beta \gamma$ 線	0.005		
測定時間	10:00～10:10			
タンク内水位	66.7%			
タンク堰内水深	3cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

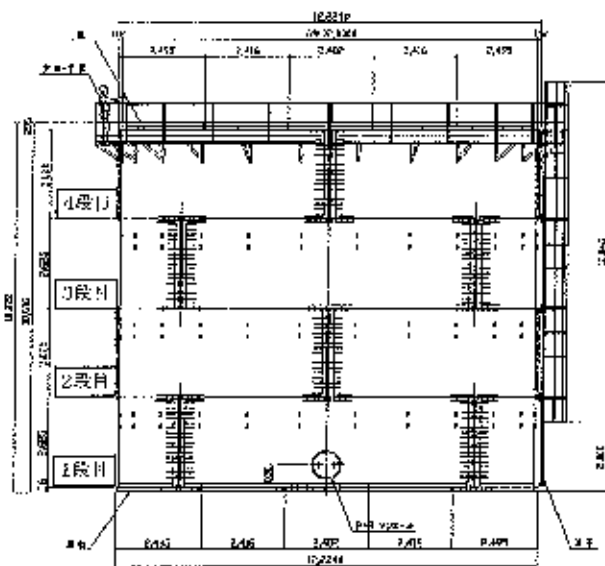
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

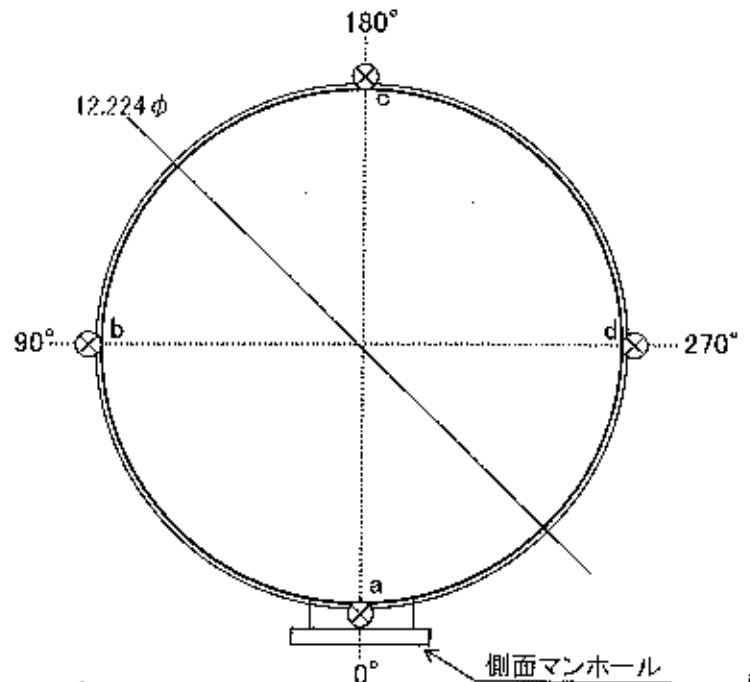
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 I7	#/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-A5 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-152 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 16 日 8 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服: A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下) マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



G6エリア A5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>室 I/A</div> <div>コ 1/B</div> <div>コ F/L</div> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A5	a (0° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
		b (90° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
		c (180° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.004
		d (270° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.003
	側面マンホール	γ線	0.003	
β γ線		0.005		
測定時間	8:40～8:50			
タンク内水位	66.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



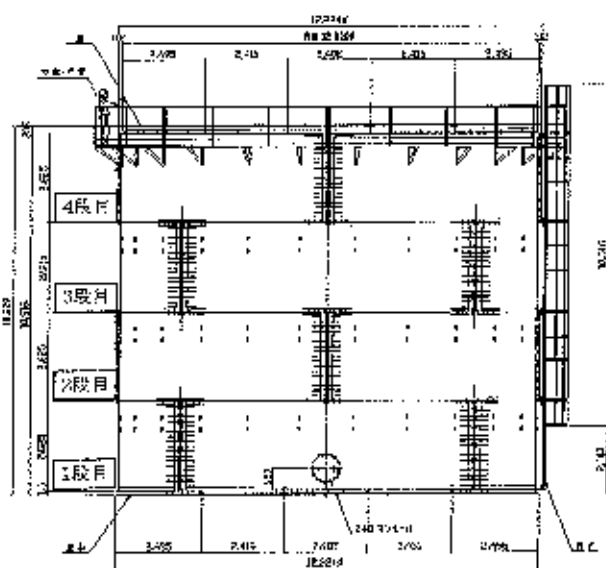
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

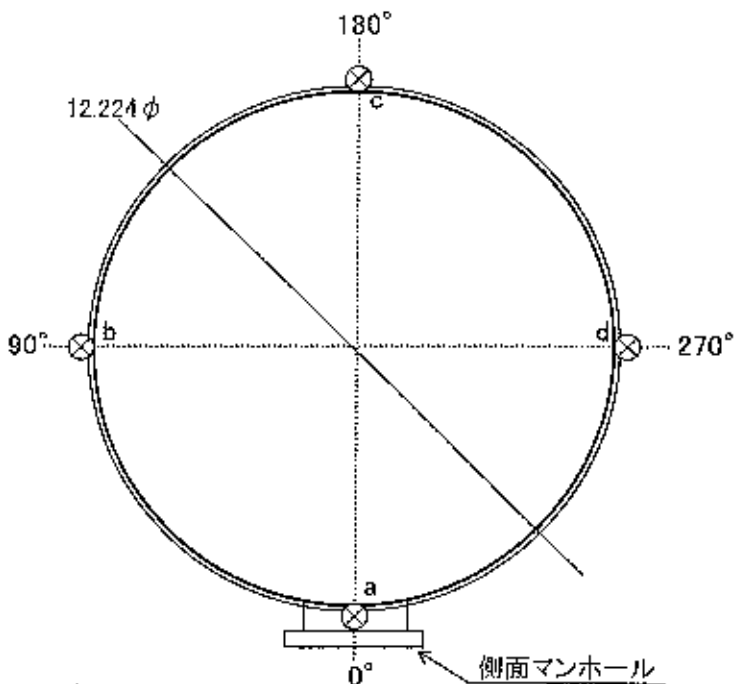
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G5エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G5-A6 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-152
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 16 日 8 時 50 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)
コード	番号	出力	MW 停止後	日		

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

フランジタンク 立面図 (mm)



G5エリア A6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>室</span> <span>1/B</span> <span>F/L</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>IIA</span> <span></span> <span></span> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイバック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A6	a (0° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.005
		b (90° 側)	γ線	0.006
			β γ線	0.007
		c (180° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.007
		d (270° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.006
		側面マンホール	γ線	0.004
			β γ線	0.006
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	66.5%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

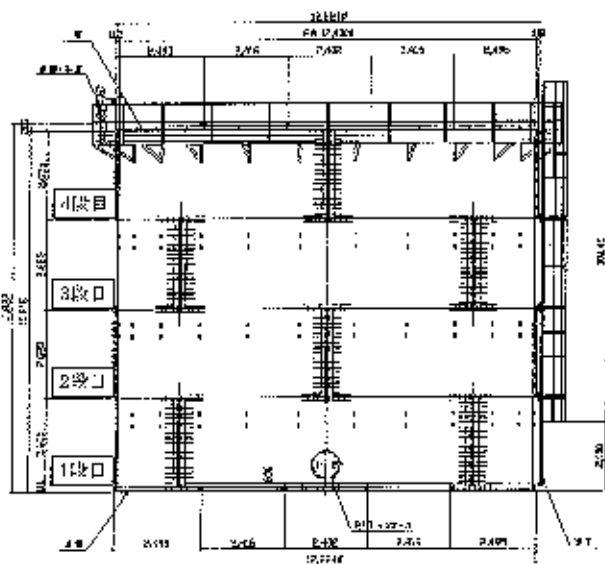
# 放射線管理記録

( 1/2 )

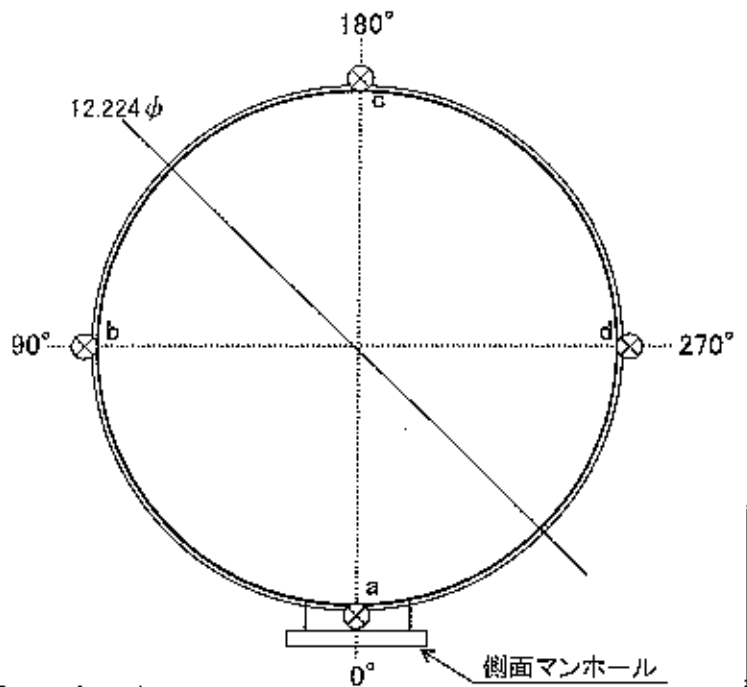
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 I/A7	コード #/B FL	測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G6・A7 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-152 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 16 日 9 時 00 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フット) タイバック, タラック

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



G6エリア A7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		室 I/A		コ イ ク	H/B	F	L	測定者
作業内容 (測定目的)				コ イ ク				測定器
測定日時		平成 年 月 日		時 分		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アタック(上・下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA7タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.013
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.015		
	$\beta \gamma$ 線	0.016		
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	66.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP270検査記録参照  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

# 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
 福島第一原子力発電所 1~4号機  
 対象機器 G6エリア A7タンク  
 検査項目 目視検査

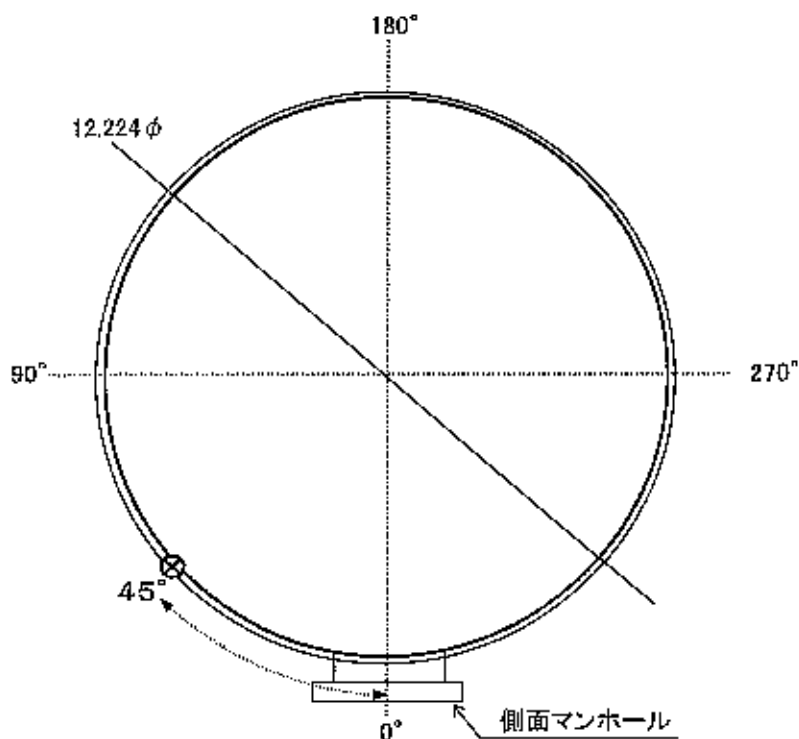
東京電力(株)  
 記録確認者

QC | 主 技 担 当

2016.3.17

2016.3.14 2016.3.14

G6エリア A7タンク 平面図

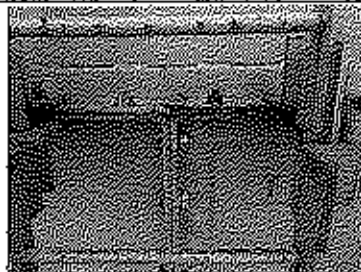


測定器: F1-ICW-160 F1-ICWBL-62  
 単位: mSv/h

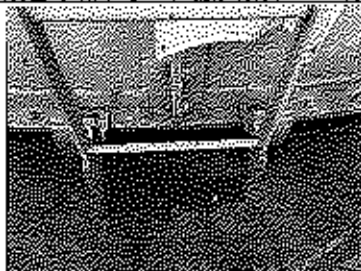
No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	1段目上部フランジ(45° 付近)	0.2	18
②	1段目下部フランジ(45° 付近)	0.01	0.6

- ・タンク内: 水深3cm(側面マンホール前にて測定)
- ・タンク内: 水位-96127mm

1段目上部フランジ拡大図(45° 付近)



1段目下部フランジ拡大図(45° 付近)

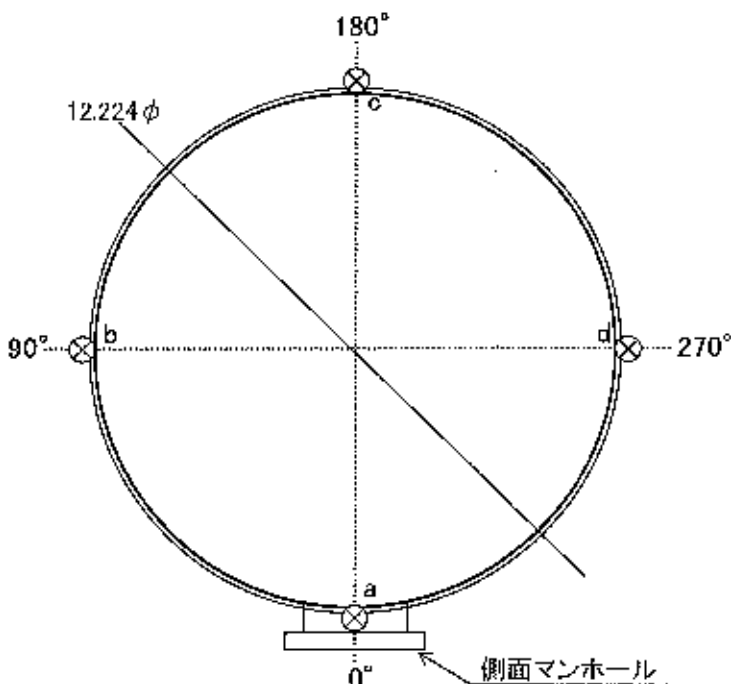
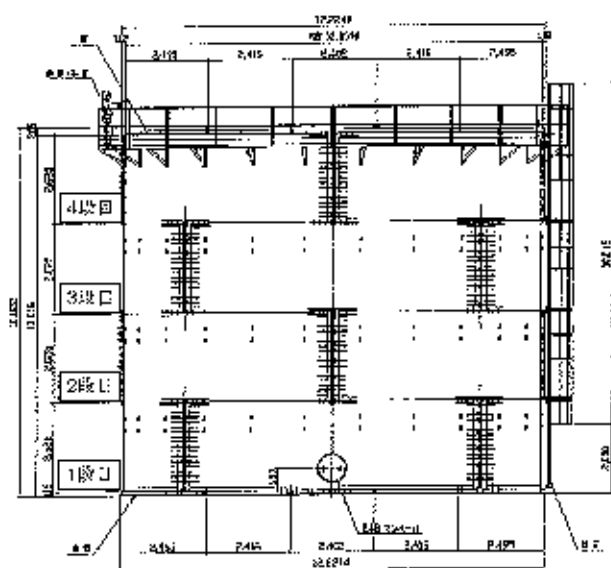


◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に漏れ、にじみ等は確認されなかった。

$(1/2)$ 

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

G6エリア A8タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接		
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>室</span> <span>コード</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>1/F</span> <span>1/B</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>FL</span> <span></span> </div>				測定者			
作業内容 (測定目的)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>コード</span> <span></span> </div>				測定器			
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A8	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.007
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.009	
$\beta \gamma$ 線		0.011		
測定時間	8:30～8:40			
タンク内水位	66.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

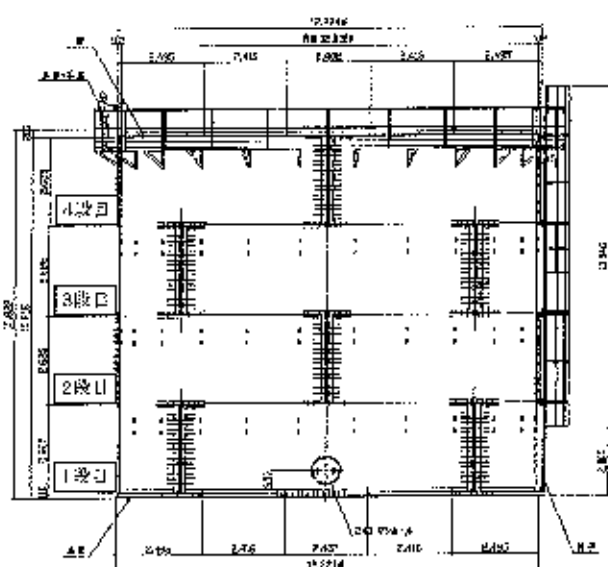
# 放射線管理記録

( 1/2 )

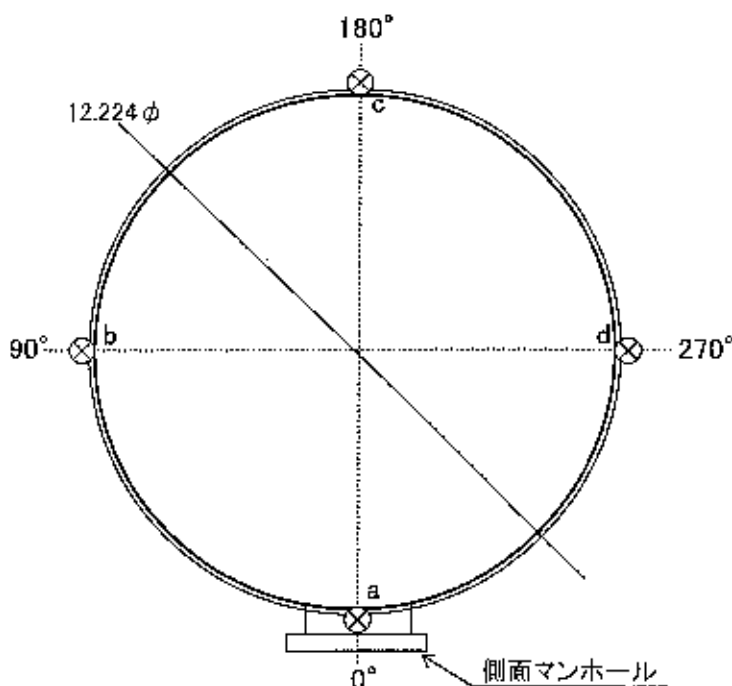
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 IR7	コード #/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-A9 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-152 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 16 日 8 時 20 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アラック (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm) (mm)



G6エリア A9タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>室 I/A</div> <div>↑/B ↓/F</div> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>コード</div> <div></div> </div>				測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
区域区分						線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
防護装備						一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ア/ラック(上・下), マスク(全面・フ・ホ)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA9タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A9	a (0° 側)	γ線	0.005
			β γ線	0.004
		b (90° 側)	γ線	0.007
			β γ線	0.008
		c (180° 側)	γ線	0.006
			β γ線	0.006
		d (270° 側)	γ線	0.005
			β γ線	0.005
	側面マンホール	γ線	0.004	
β γ線		0.005		
測定時間	8:20～8:30			
タンク内水位	66.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

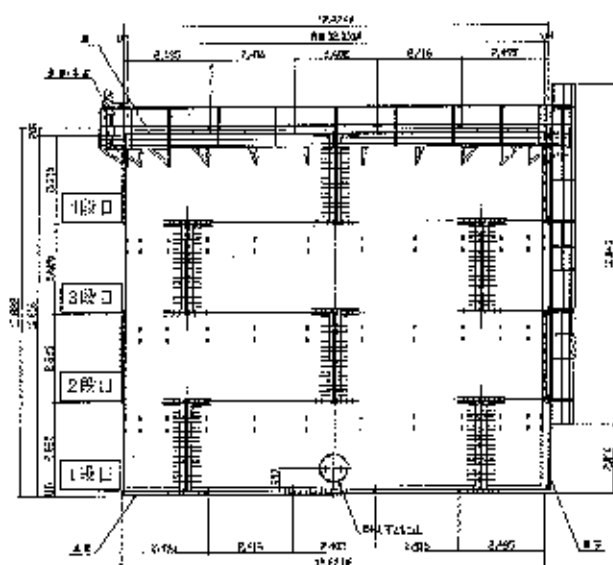
# 放射線管理記録

( 1/2 )

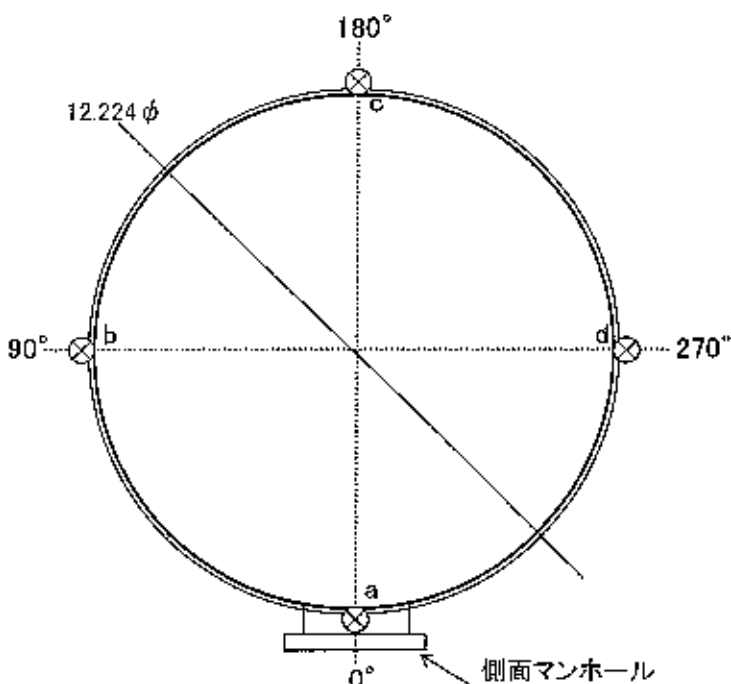
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 17A	コード #/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G6-A10 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 13 日 9 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上), (下), マスク(全面・ファット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 点検側 (2/2) 次紙参照



G6エリア A10タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>室 I/F</div> <div>4/R F L</div> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>コード</div> <div></div> </div>				測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアA10タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	A10	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.004
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003		
	$\beta \gamma$ 線	0.004		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	66.5%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

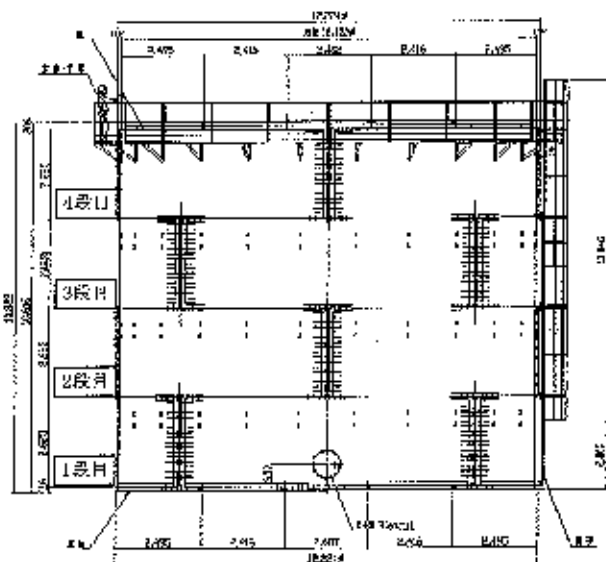
# 放射線管理記録

( 1/2 )

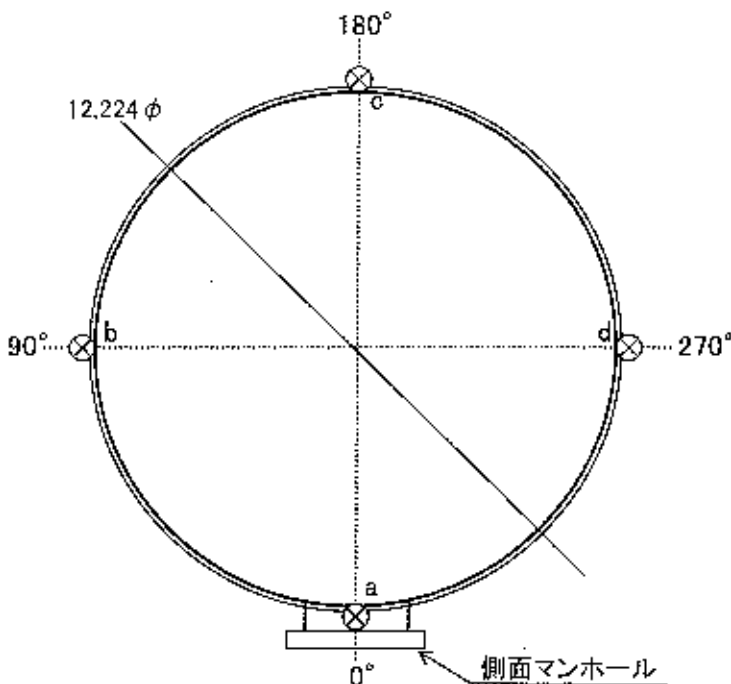
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア 室 177				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 13 日 9 時 00 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アノラック) (上) (下), (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 位置図 (ICWBL)



G6エリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	室 1F				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G6エリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.007
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.007	
$\beta \gamma$ 線		0.010		
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	67.0%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

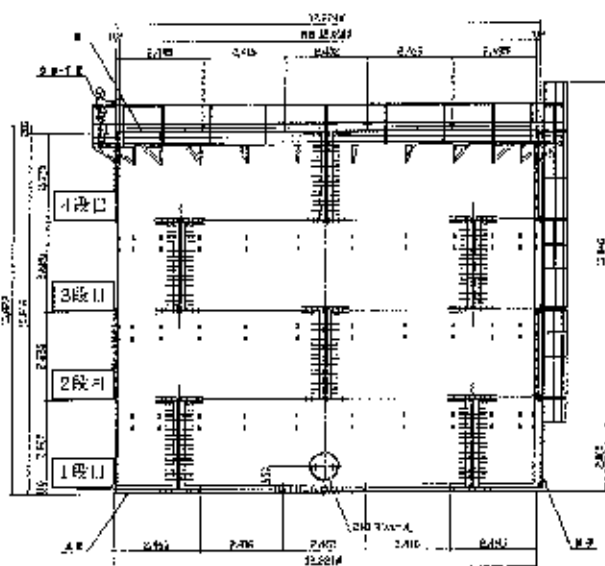
# 放射線管理記録

( 1/2 )

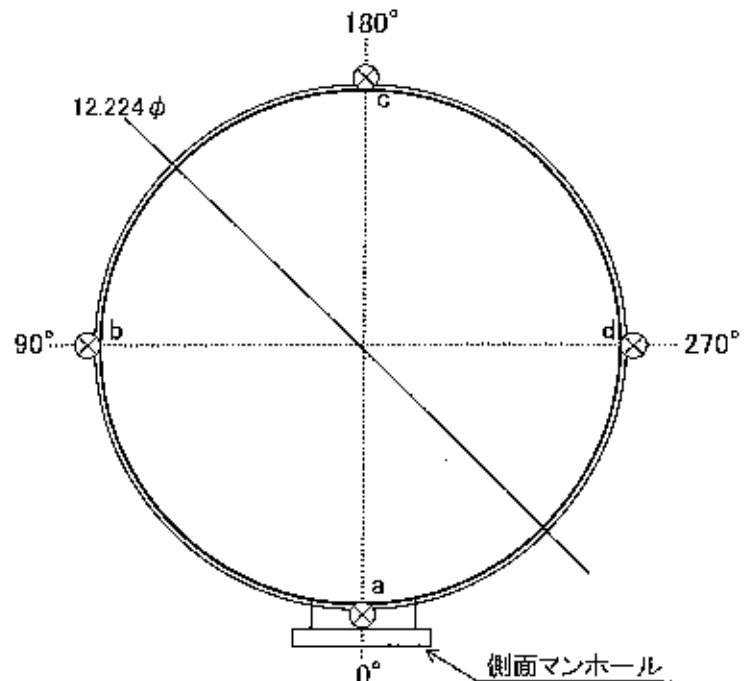
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 1F7	コード #/B F/L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 10 時 00 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック (アフラック) (上) (下) (マスク) (全顔・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (m:1/100)



G6エリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託					測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>コ</div> <div>#/B</div> <div>F L</div>					測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>1</div> <div>1</div>					測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

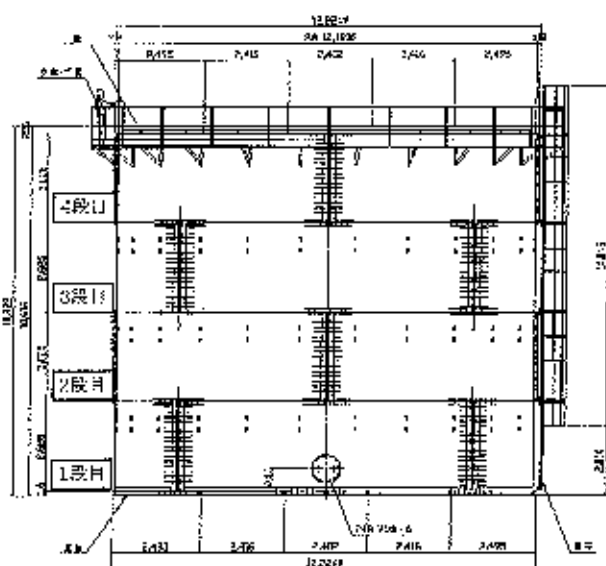
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.014
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.015		
	$\beta \gamma$ 線	0.021		
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	66.4%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

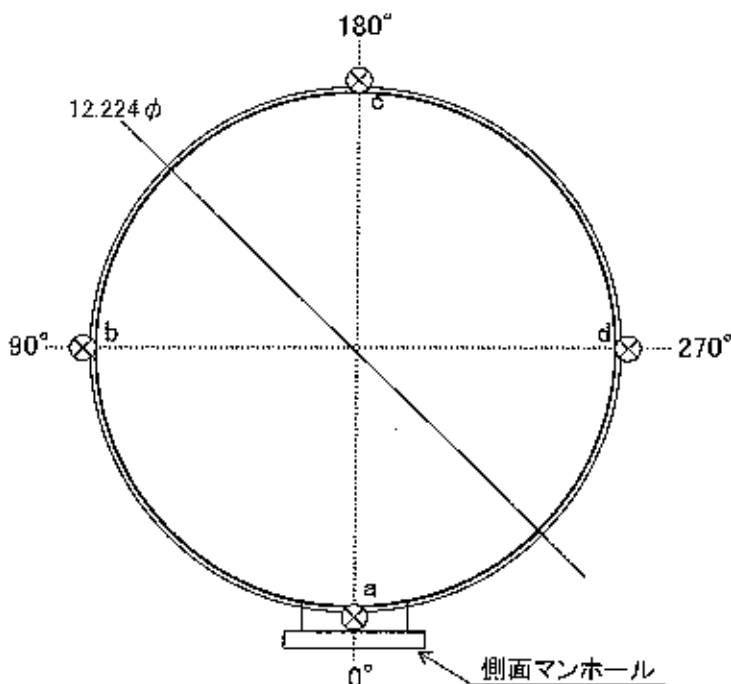
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$(-1/2)$ 

同型シンク 立座型 (100mm)



G 6エリア B 3タンク 平面図



側面マンホール

また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	室 エリア	フロア	↓/8	F L	測定者	
作業内容 (測定目的)		コード			測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B3	a (0° 側)	γ線	0.005
			β γ線	0.005
		b (90° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.005
		c (180° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
		d (270° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
側面マンホール	γ線	0.007		
	β γ線	0.007		
測定時間	9:50～10:00			
タンク内水位	66.5%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

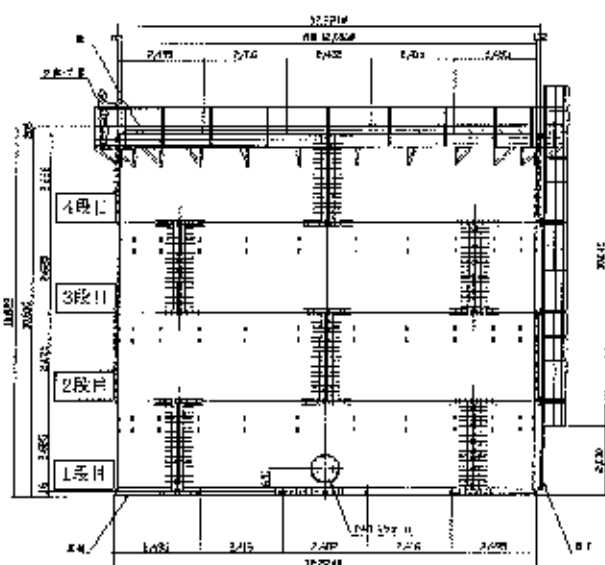
# 放射線管理記録

( 1/2 )

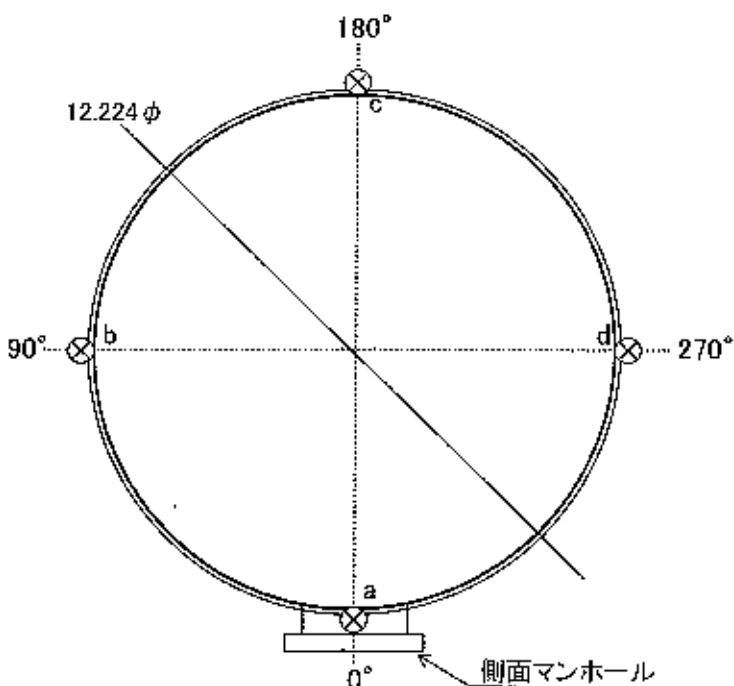
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	G6エリア				測定者		
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-B4 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20	
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 10 時 30 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下), マスク (全面・フード)	

×: 空間線量当量率 ⊗: 表面線量当量率 ○: スミアポイント △: ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立図図 (mm)



G6エリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	<div>室</div> <div>117</div> <div>コ</div> <div>ド</div> <div>U/B</div> <div>F L</div>				測定者		
作業内容 (測定目的)	<div>コ</div> <div>ド</div>				測定器		
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アノック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B4	a (0° 側)	γ 線	0.004
			β γ 線	0.006
		b (90° 側)	γ 線	0.003
			β γ 線	0.005
		c (180° 側)	γ 線	0.003
			β γ 線	0.005
		d (270° 側)	γ 線	0.004
			β γ 線	0.004
	側面マンホール	γ 線	0.005	
		β γ 線	0.006	
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	66.4%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

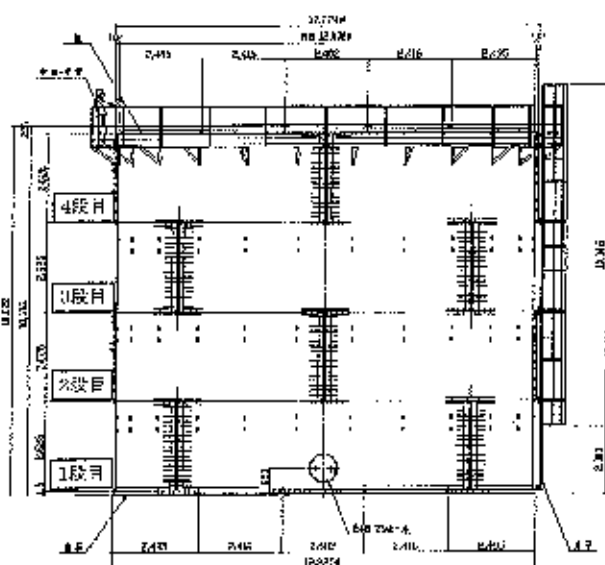
# 放射線管理記録

( 1/2 )

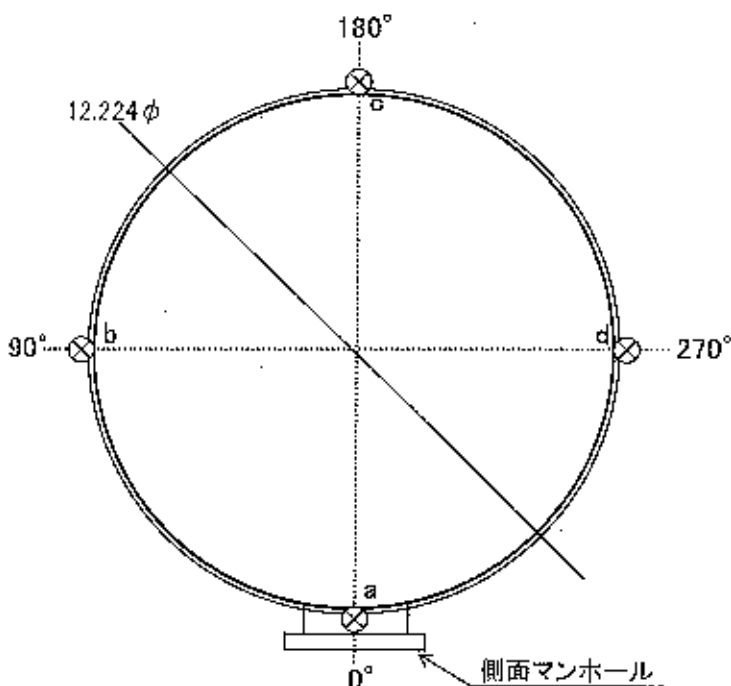
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 1F	コード #/B F/L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-B5 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 10 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上, 下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm単位)



G6エリア B5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託					測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>コード</div> <div>号/B</div> <div>F/L</div>					測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コード</div>					測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック ブランク(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ☒ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	66.5%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

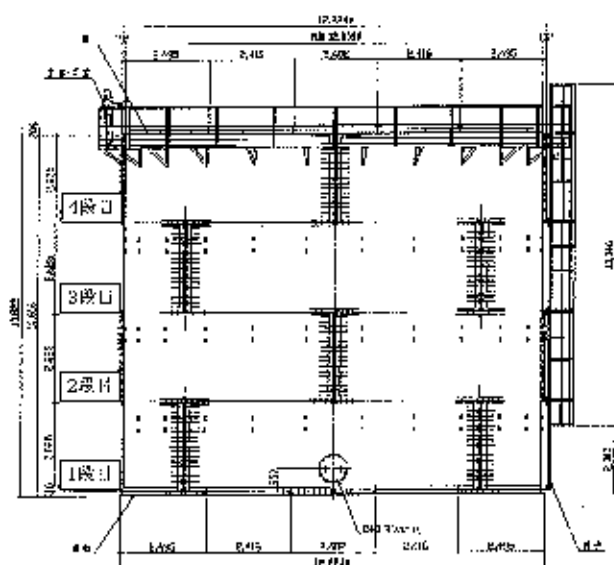
# 放射線管理記録

( 1/2 )

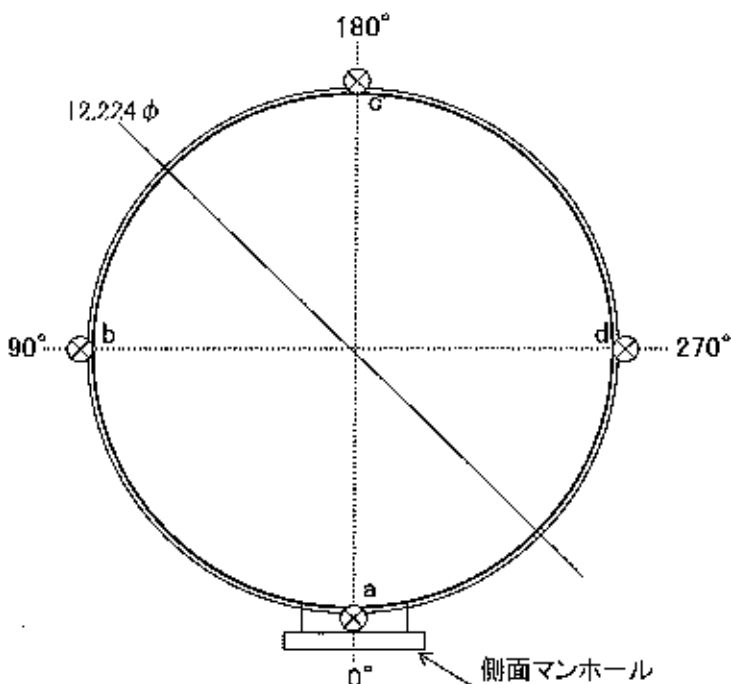
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 エリア	コード I/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-B6 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 10 時 20 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック 7/5ツ (上) (下) (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Bエリア B6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	室 11A	コード 11A	#/B 11A	F/L 11A	測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイツック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G6エリアB6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	66.4%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

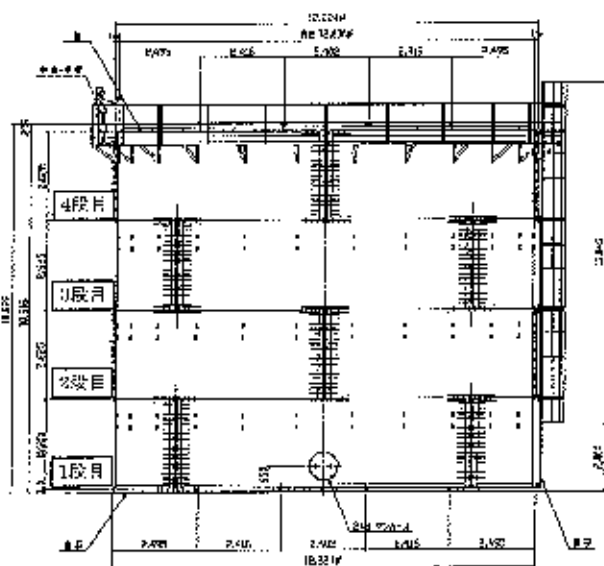
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

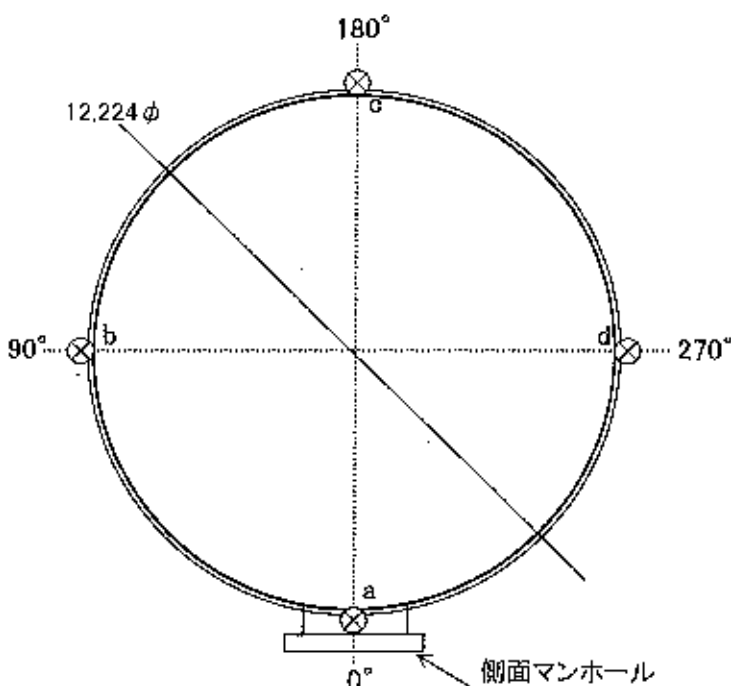
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 I7	#/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G6-B7 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 13 日 8 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (E) (F), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 断面図



G6エリア B7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>1F</div> <div>4/B</div> <div>F.L.</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コ</div> <div>1F</div>				測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアB7タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.085
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.002
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.014
測定時間	8:40~8:50			
タンク内水位	66.7%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

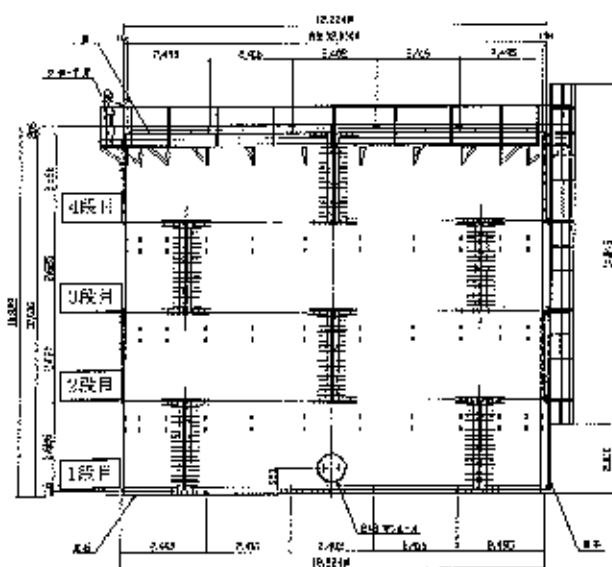
# 放射線管理記録

( 1/2 )

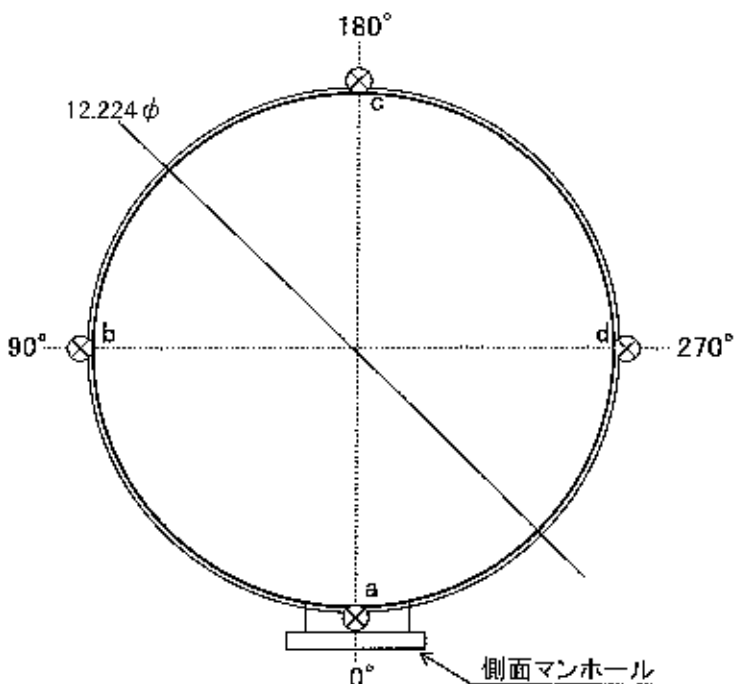
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	G6エリア		室 1F7	コード #/B FL	測定者		
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-B8 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-116	
測定日時	平成 27 年 11 月 13 日 9 時 30 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイラック アフラック (上) (下), (マスク (全面・フット))	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (G6-VW02)



G6エリア B8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>コ</div> <div>#/B</div> <div>F I</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コ</div> <div>ド</div>				測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアB8タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B8	a (0° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.005
		b (90° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.004
		c (180° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
		d (270° 側)	γ線	0.005
			β γ線	0.006
		側面マンホール	γ線	0.004
			β γ線	0.006
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	66.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

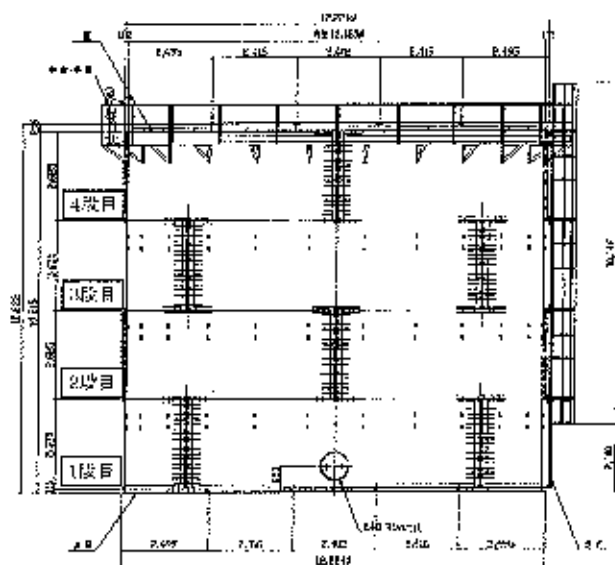
# 放射線管理記録

( 1/2 )

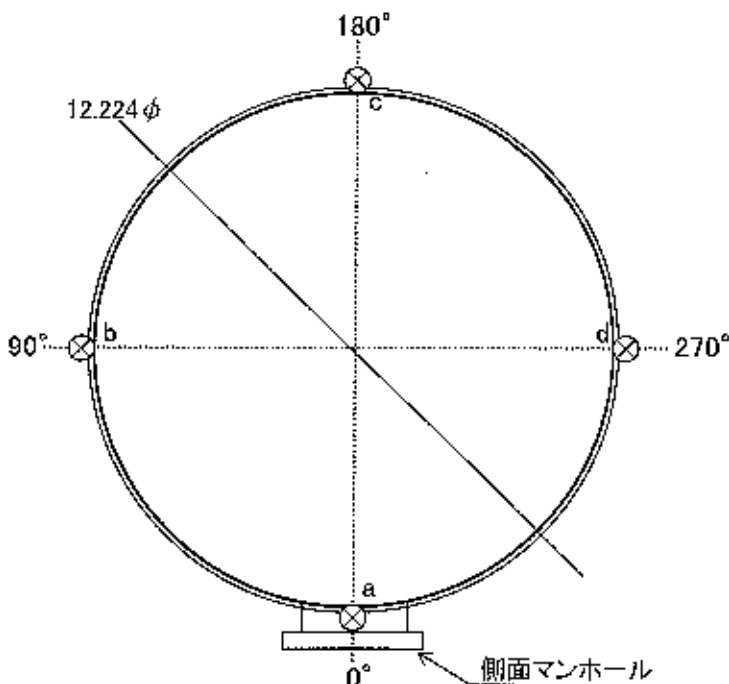
作業件名	1F、1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 エリア	コード #/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-B9 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-116
測定日時	平成 27 年 11 月 13 日 8 時 50 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アノラック (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (copy)



G6エリア B9タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>室 I/F</div> <div>コード #/B</div> <div>FL</div> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>コード</div> <div></div> <div></div> </div>				測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ツラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアB9タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B9	a (0° 側)	γ線	0.010
			β γ線	0.014
		b (90° 側)	γ線	0.007
			β γ線	0.010
		c (180° 側)	γ線	0.009
			β γ線	0.013
		d (270° 側)	γ線	0.010
			β γ線	0.012
		側面マンホール	γ線	0.015
			β γ線	0.016
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	66.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

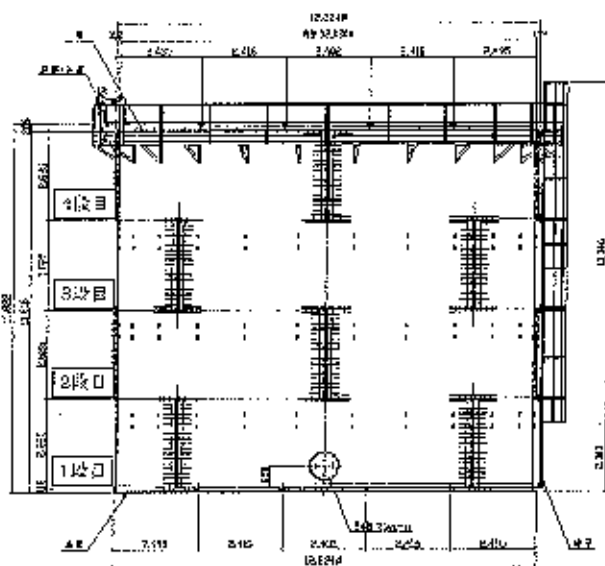
# 放射線管理記録

( 1/2 )

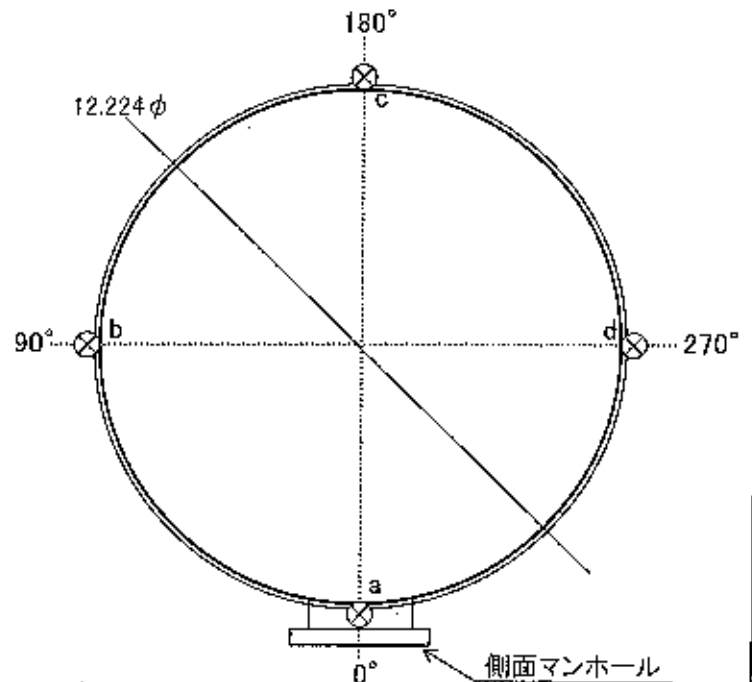
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 117	コード #/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-B10 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 10 時 10 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服: A, B1, B2, C ゴム手袋 (E) (F) (G) (H) (I) (J) (K) (L) (M) (N) (O) (P) (Q) (R) (S) (T) (U) (V) (W) (X) (Y) (Z) タイベック (E) (F) (G) (H) (I) (J) (K) (L) (M) (N) (O) (P) (Q) (R) (S) (T) (U) (V) (W) (X) (Y) (Z) マスク (全面) (フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク 立面図 12.224φ



G6エリア B10タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>室</span> <span>4/B</span> <span>F.I.</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>17</span> <span></span> <span></span> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイツ フック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G6エリアB10タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	B10	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.085
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.009
測定時間	10:10～10:20			
タンク内水位	66.4%			
タンク堰内水深	2cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

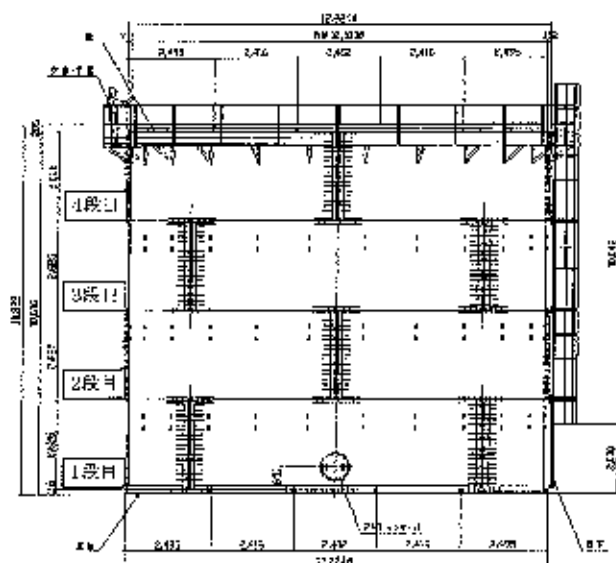
# 放射線管理記録

( 1/2 )

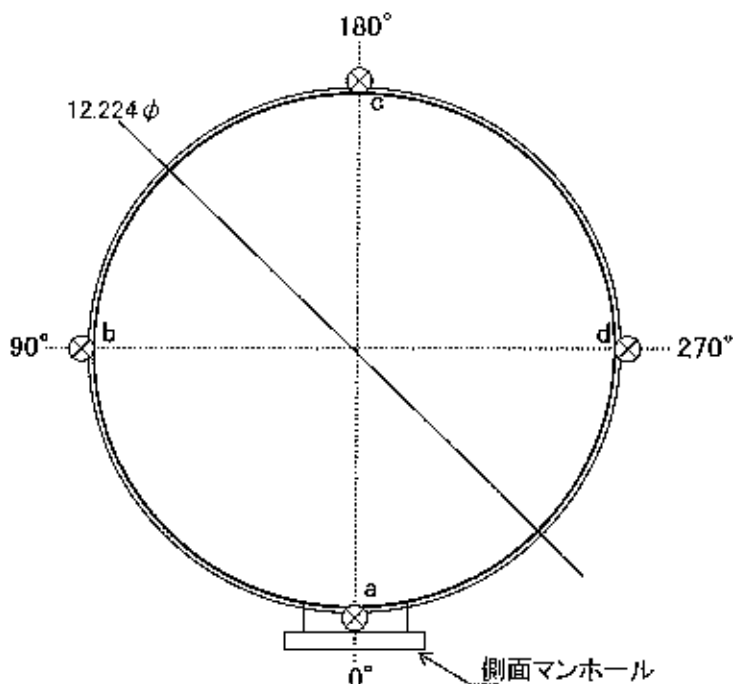
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 I/F	コード #/B	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-C1 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20
測定日時	平成 27 年 11 月 11 日 9 時 25 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライズ(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク 立面図 (200mm)



G6エリア C1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

| 2/2 |

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	<div>室</div> <div>コード</div> <div>ILJ</div> <div>ILJ</div> <div>ILJ</div> <div>ILJ</div>				測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイベック プラック(上・下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアC1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	C1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.006
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.005
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.005
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.005	
		$\beta$ $\gamma$ 線	0.006	
測定時間	9:25～9:35			
タンク内水位	71.5%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

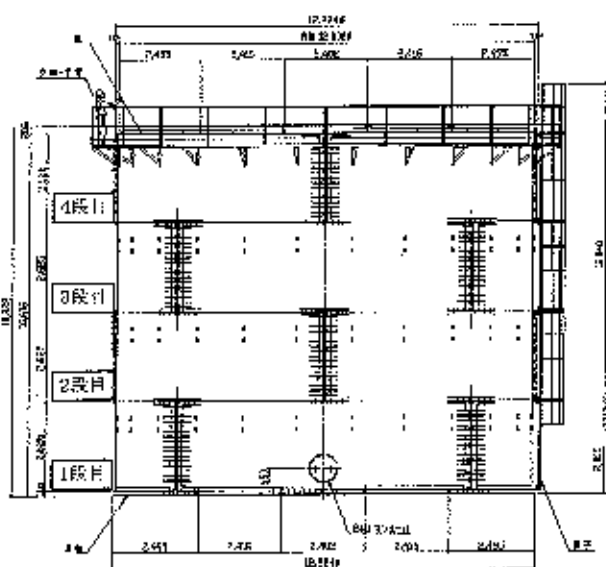
# 放射線管理記録

( 1/2 )

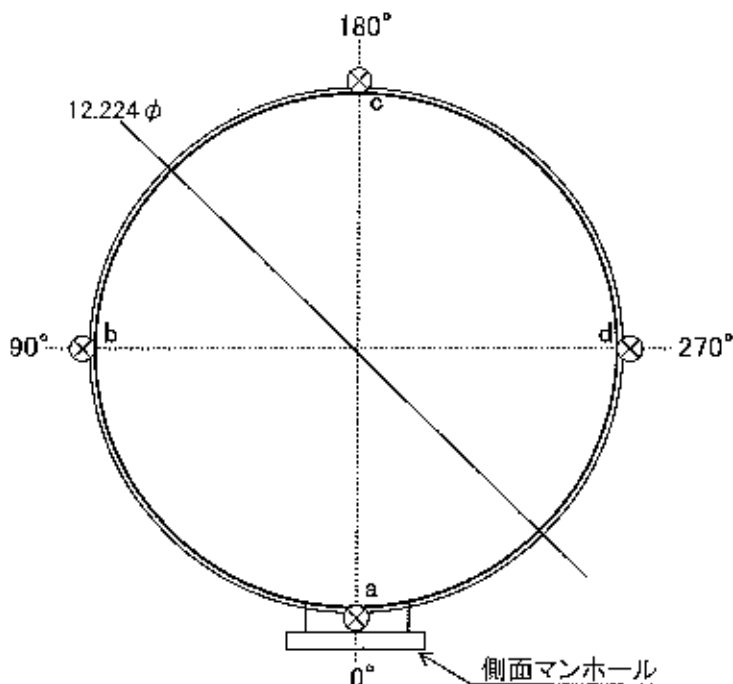
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 17A	コード #/B FL	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-C2 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-CW-315 F1-CWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 9 時 00 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (ノラック) (上) (下), (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



G6エリア C2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>117</div> <div>#/B</div> <div>F L</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コード</div> <div></div>				測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/5ツツ(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアC2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	C2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.001
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.001
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.007	
$\beta \gamma$ 線		0.009		
測定時間	9:00～9:10			
タンク内水位	71.3%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

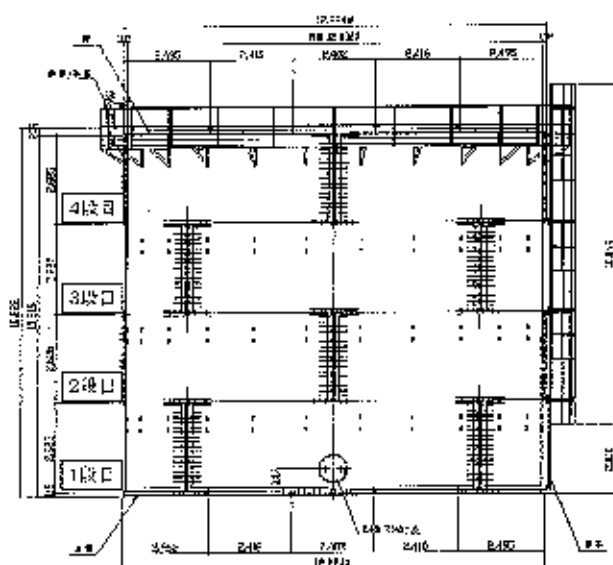
# 放射線管理記録

( 1/2 )

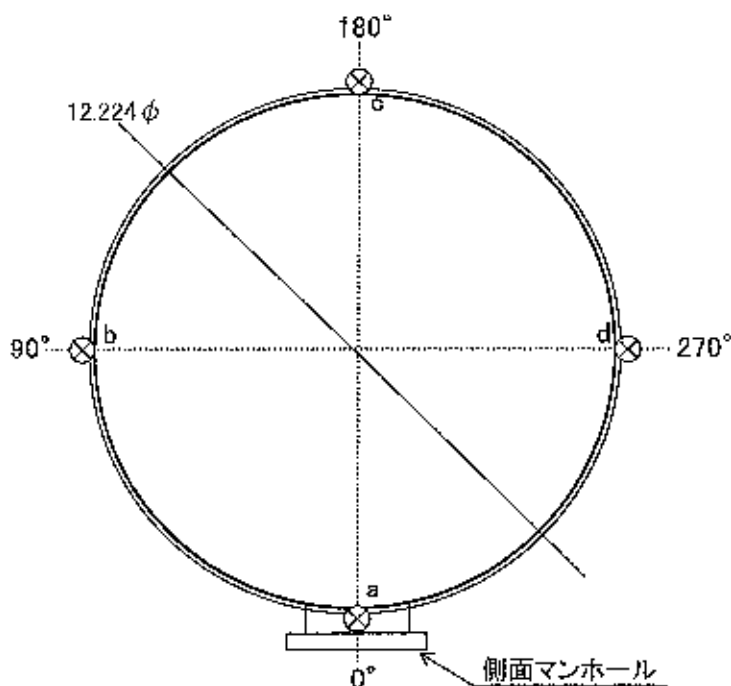
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	G6エリア				測定者		
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-C3 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-315	
						F1-ICWBL-62	
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 8 時 50 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アノラック, (上), (下), (マスク), (全面・フット)	
コード	番号	出力	停止後	日			

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



G6エリア C3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input checked="" type="checkbox"/> 1.1ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>117</div> <div>コ</div> <div>117</div> <div>W/B</div> <div>FL</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
						区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイバック, タイラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G6エリアC3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	C3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.100
			$\beta \gamma$ 線	1.000
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.009		
	$\beta \gamma$ 線	0.012		
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	71.3%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP303検査記録参照  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

# 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所 1～4号機

対象機器 G6エリア C3タンク

検査項目 目視検査

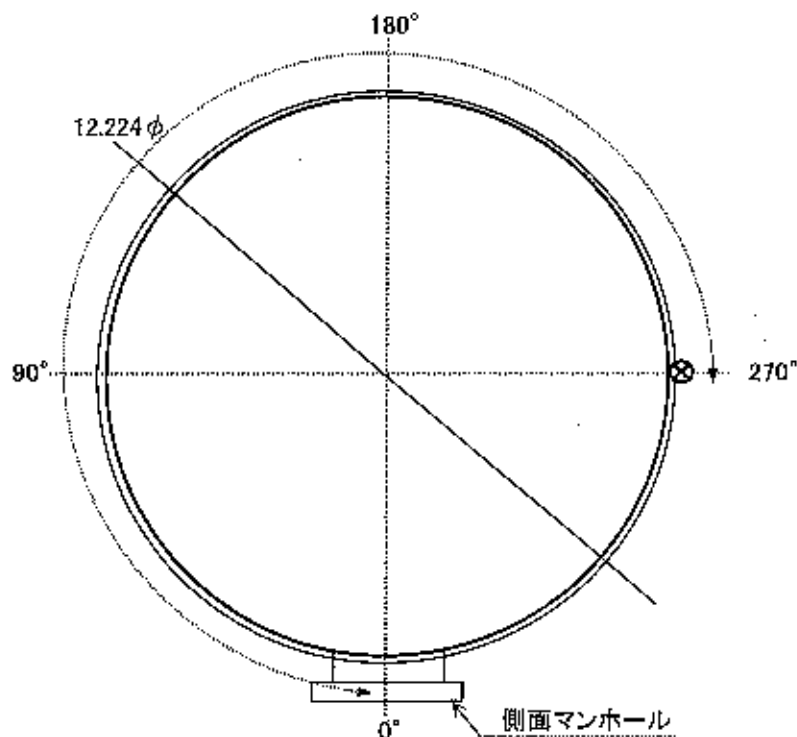
東京電力(株)  
記録確認者

QC | 主技 | 担当

2016.3.17

2016.3.14 2016.3.14

G6エリア C3タンク 平面図



測定器: リーICW-160 F1-ICWBL-62

単位: mSv/h

No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	2段目縦フランジ(270° 付近)	0.13	6
②	1段目下部フランジ(270° 付近)	0.1	1

- ・タンク堀内: 水深3cm(側面マンホール前にて測定)
- ・タンク内: 水位-φ127mm

2段目縦フランジ拡大図(270° 付近)



1段目下部フランジ拡大図(270° 付近)



◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に漏れ、にじみ等は確認されなかった。

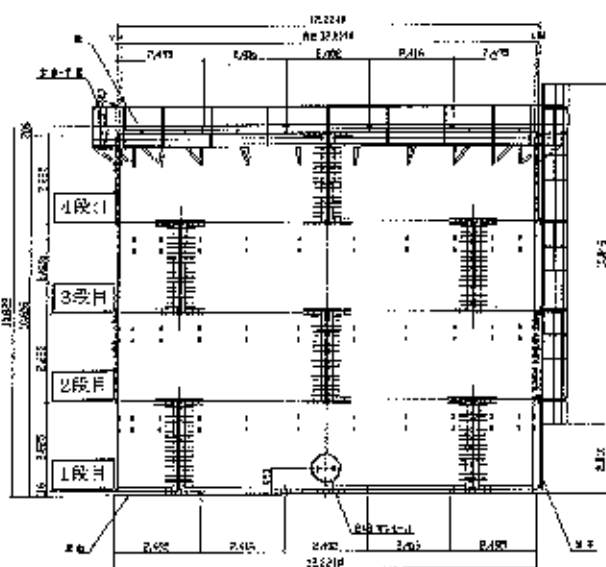
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

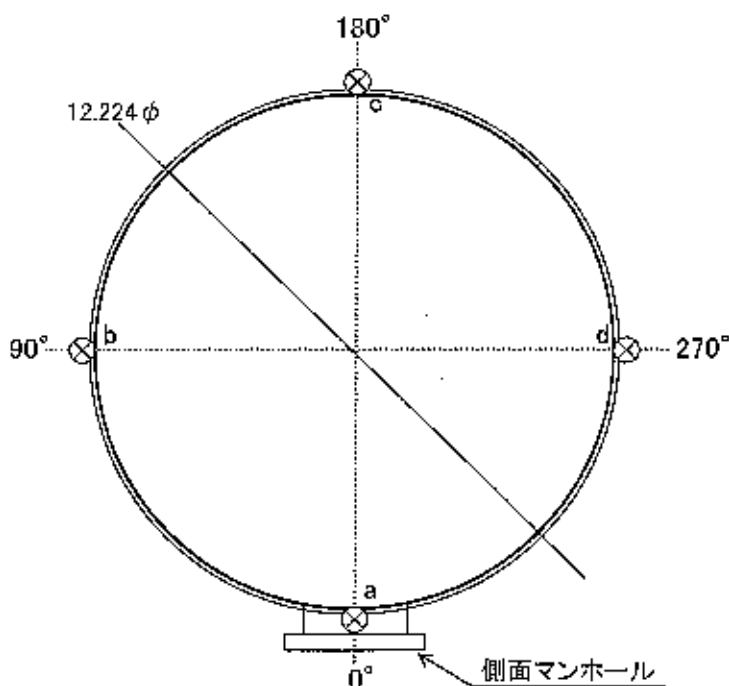
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-C4 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-315
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 8 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Ba/cm<sup>3</sup>)

出射タンク 立面図 (2/2) 参照



G6エリア C4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div> <div>室</div> <div>コード</div> <div>号/B</div> <div>F/L</div> </div> 1F7				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアC4タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	C4	a (0° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.005
		b (90° 側)	γ線	0.006
			β γ線	0.008
		c (180° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.006
		d (270° 側)	γ線	0.005
			β γ線	0.006
	側面マンホール	γ線	0.006	
β γ線		0.007		
測定時間	8:40～8:50			
タンク内水位	71.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。





# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		室	コ	#/B	F L	測定者	
作業内容 (測定目的)		17	コ			測定器	
測定日時		平成	年	月	日	時	分
件名	RWA	電気	原子炉			防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)
コード	番号	出力	MW	停止後	日		

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアC5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	C5	a (0° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
		b (90° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
		c (180° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.003
		d (270° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.002
側面マンホール	γ線	0.004		
	β γ線	0.005		
測定時間	9:45～9:55			
タンク内水位	70.7%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

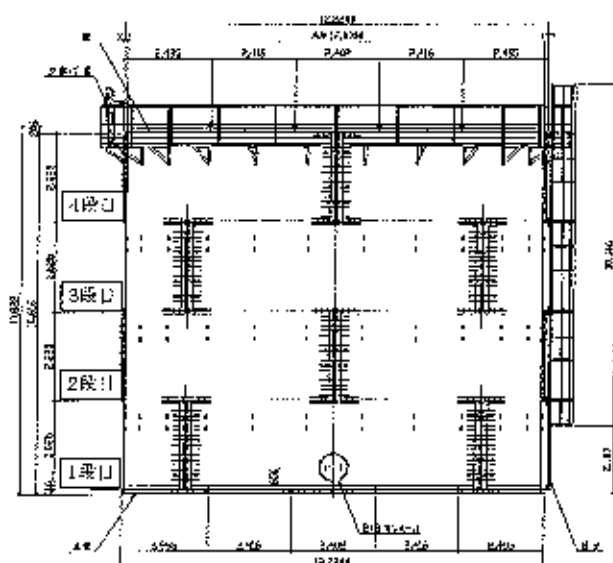
# 放射線管理記録

( 1/2 )

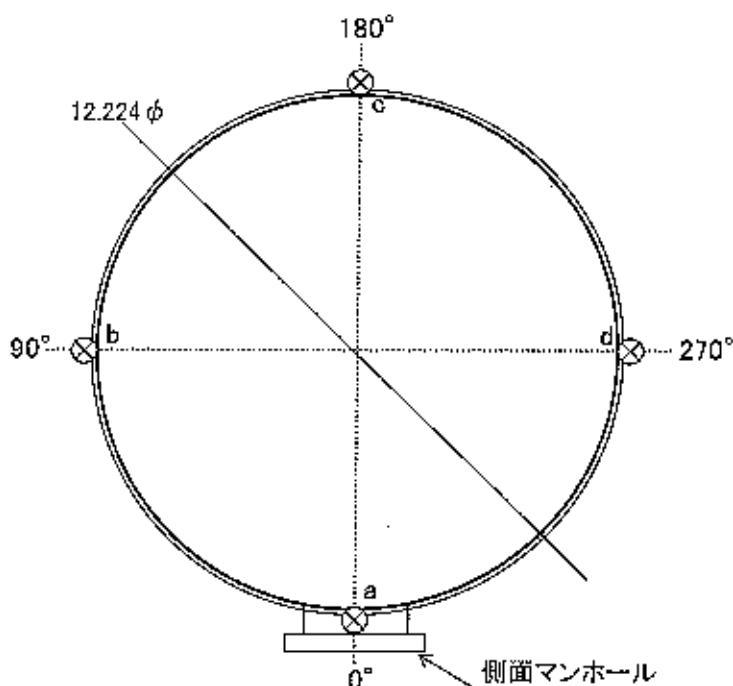
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 エリア	コ ロ ド #/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-C6 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-CW-315 F1-CWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 9 時 30 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mV002)



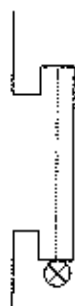
G6エリア C6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## ( 2/2 )

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## 單位(mSv/h)

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

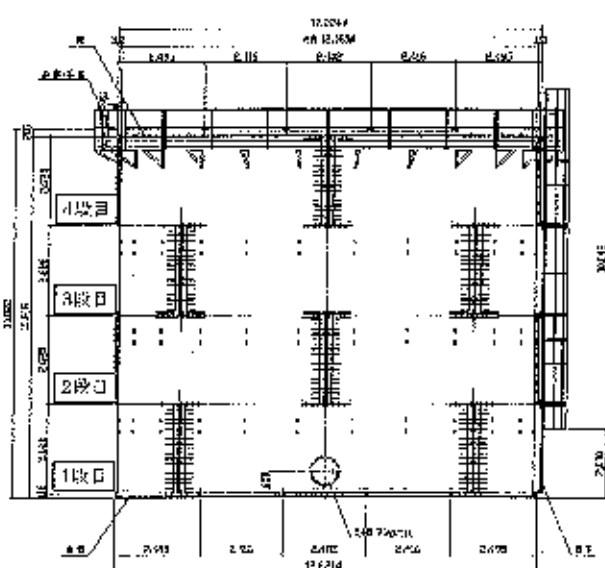
# 放射線管理記録

( 1/2 )

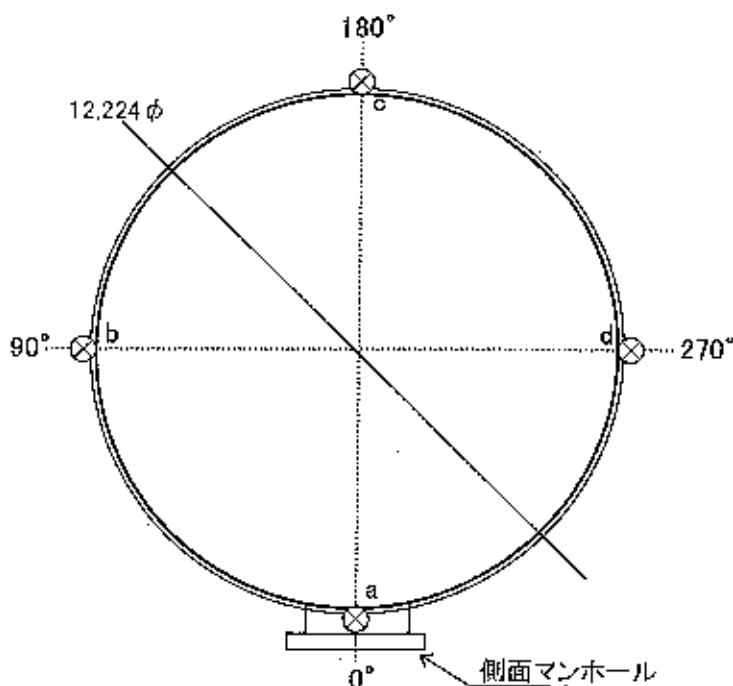
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G6-C7円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-315 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 9 時 20 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下) (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



G6エリア C7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		室	コード	#/B	F/L	測定者	
作業内容 (測定目的)			コード			測定器	
測定日時		平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	線量… 1, 2, 3 汚染… A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアC7タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	C7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.007
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.005
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.005
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.007
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.006	
$\beta$ $\gamma$ 線		0.008		
測定時間	9:20～9:30			
タンク内水位	71.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

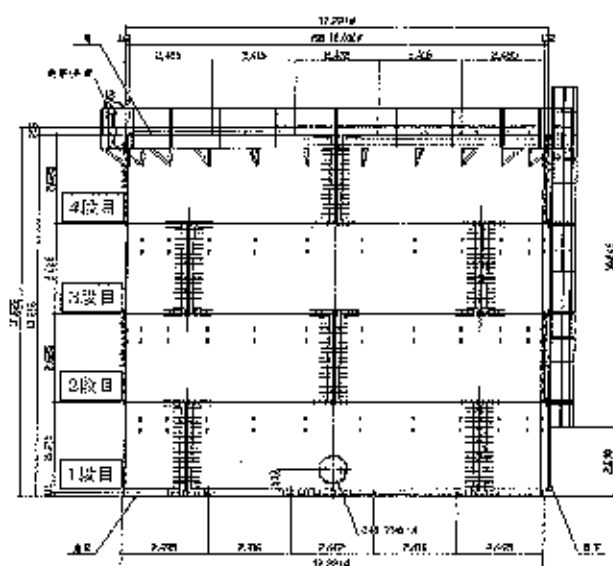
# 放射線管理記録

( 1/2 )

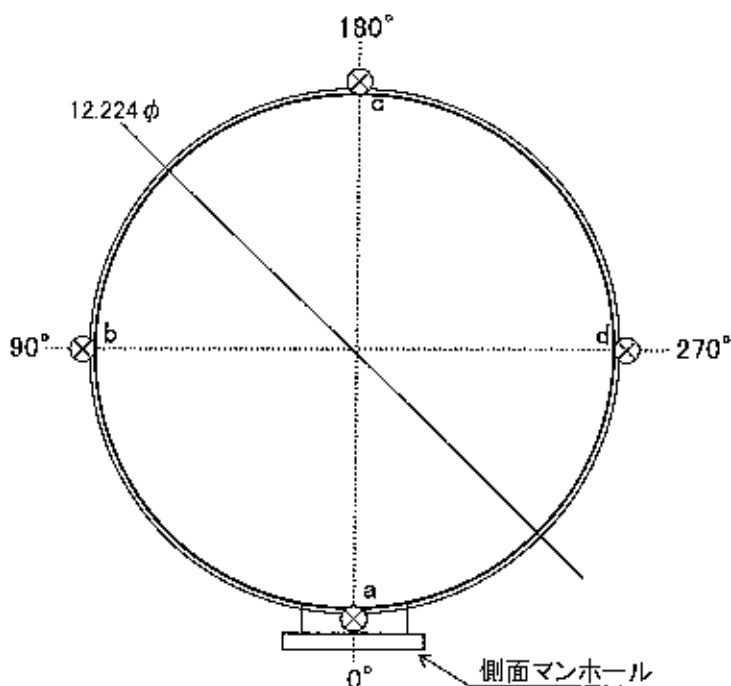
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 I17	コ #/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G6-C8円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-315 FI-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 12 日 9 時 10 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライツ (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 平面図 (1/2/10)



G6エリア C8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>室 I/F</div> <div>コ ド</div> <div>3/B</div> <div>F L</div> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>コ ド</div> <div></div> </div>				測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック ブラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアC8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	C8	a (0° 側)	γ 線	0.004
			β γ 線	0.009
		b (90° 側)	γ 線	0.004
			β γ 線	0.005
		c (180° 側)	γ 線	0.006
			β γ 線	0.007
		d (270° 側)	γ 線	0.006
			β γ 線	0.008
		側面マンホール	γ 線	0.004
			β γ 線	0.012
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	71.3%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



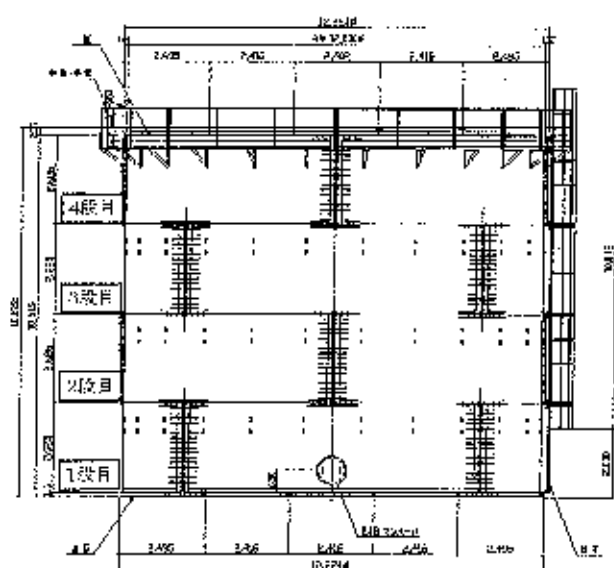
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

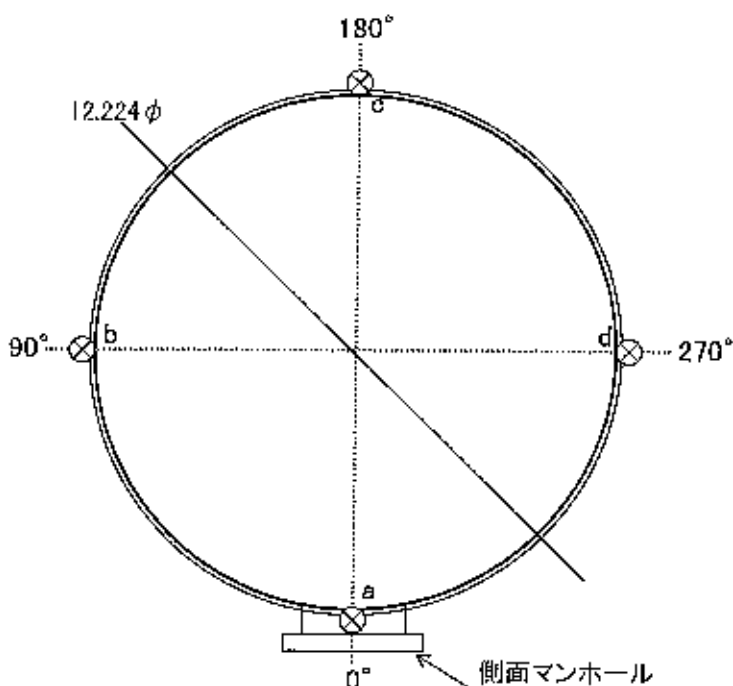
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-D1 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192
					測定器	F1-ICWBL-20
測定日時	平成 27 年 11 月 11 日 9 時 35 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アラック (上) (下) (マスク) (全面・フット)	
コード	番号	出力	MW	停止後	日	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) (2013)



G6エリア D1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>エリア</div> <div>1F</div> <div>4/3</div> <div>F.L.</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コード</div> <div></div>				測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアD1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004	
		$\beta \gamma$ 線	0.006	
測定時間	9:35～9:45			
タンク内水位	71.1%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

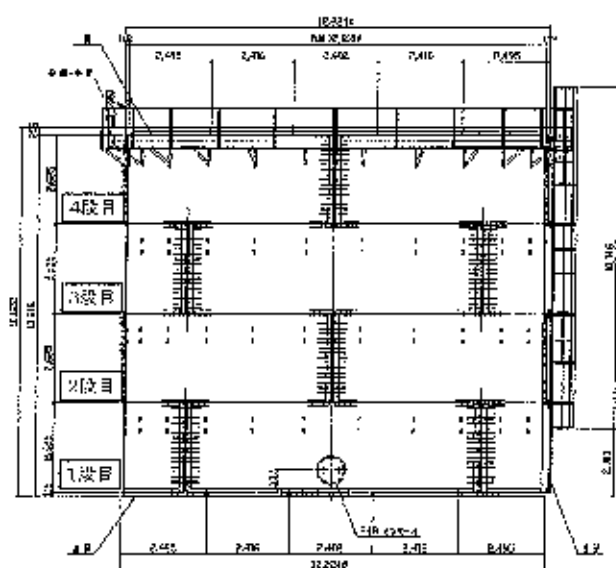
# 放射線管理記録

( 1/2 )

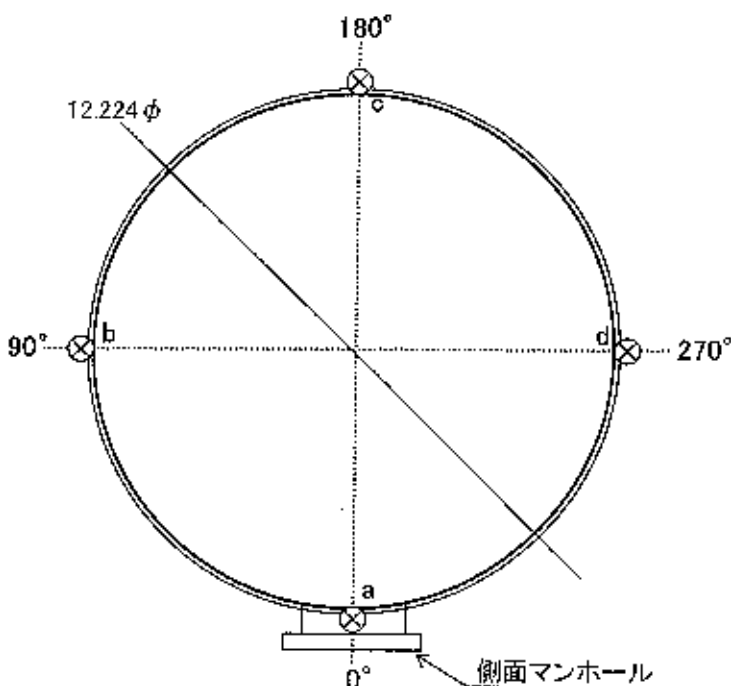
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	G6エリア				測定者		
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-D2 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192	
					測定器	F1-ICWBL-20	
測定日時	平成 27 年 11 月 11 日 9 時 15 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下) (マスク) (全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立切図 (1/2) (2/2)



G6エリア D2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>コード</div> <div>号</div> <div>FL</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ブラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G6エリアD2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D2	a (0° 側)	γ 線	0.002
			β γ 線	0.004
		b (90° 側)	γ 線	0.003
			β γ 線	0.004
		c (180° 側)	γ 線	0.003
			β γ 線	0.004
		d (270° 側)	γ 線	0.003
			β γ 線	0.004
側面マンホール	γ 線	0.002		
	β γ 線	0.004		
測定時間	9:15~9:25			
タンク内水位	70.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

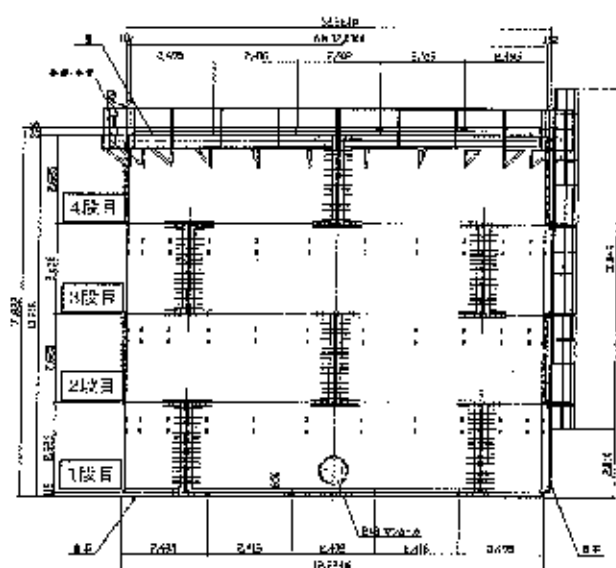
# 放射線管理記録

( 1/2 )

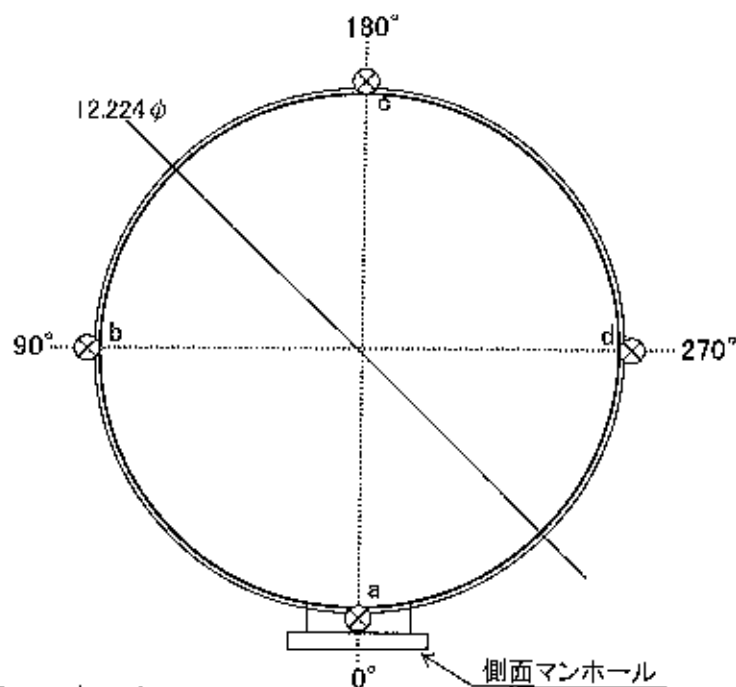
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	G6エリア		室 17F	コード 17F	測定者		
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-D3 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20	
測定日時	平成 27 年 11 月 11 日 9 時 05 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アノック(上), (下), マスク(全面・フード)	

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 正面図 (270°側)



G6エリア D3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F 1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>コ</div> <div>#/B</div> <div>F L</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コ</div> <div>リ</div> <div>ド</div>				測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアD3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003	
$\beta \gamma$ 線		0.005		
測定時間	9:05～9:15			
タンク内水位	70.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

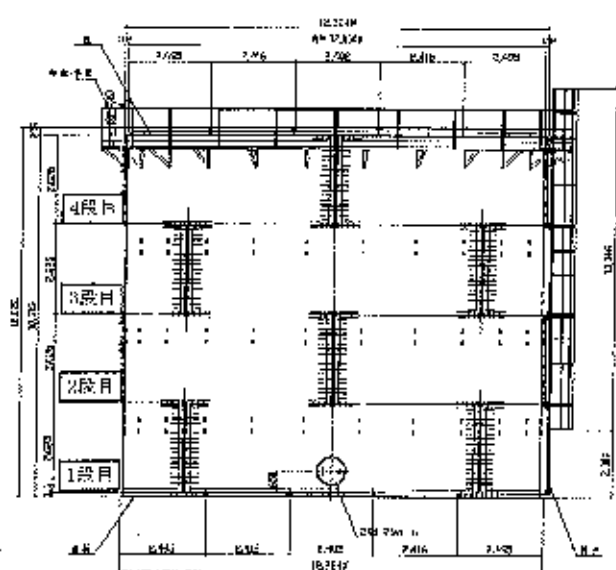
# 放射線管理記録

( 1/2 )

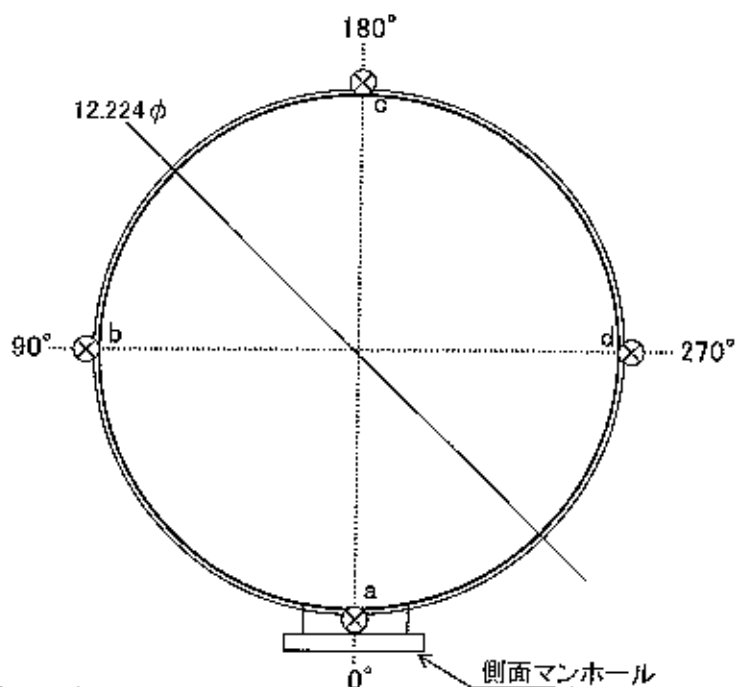
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接		
測定場所	G6エリア		室 I/F	コ ド	#/B	FL	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-D4 円筒フランジタンク、側面マンホール )				コ ド		測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20
測定日時	平成 27 年 11 月 11 日 8 時 55 分						区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	日	防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下) (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



G6エリア D4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>室 I/F</span> <span>コ ン タ イ ナ ー</span> <span>W/B</span> <span>F/L</span> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤ ソックス(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアD4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.007	
$\beta \gamma$ 線		0.009		
測定時間	8:55~9:05			
タンク内水位	71.0%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



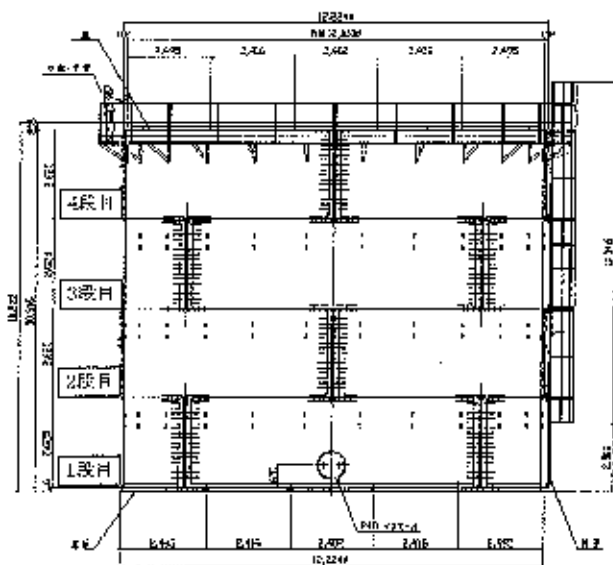
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

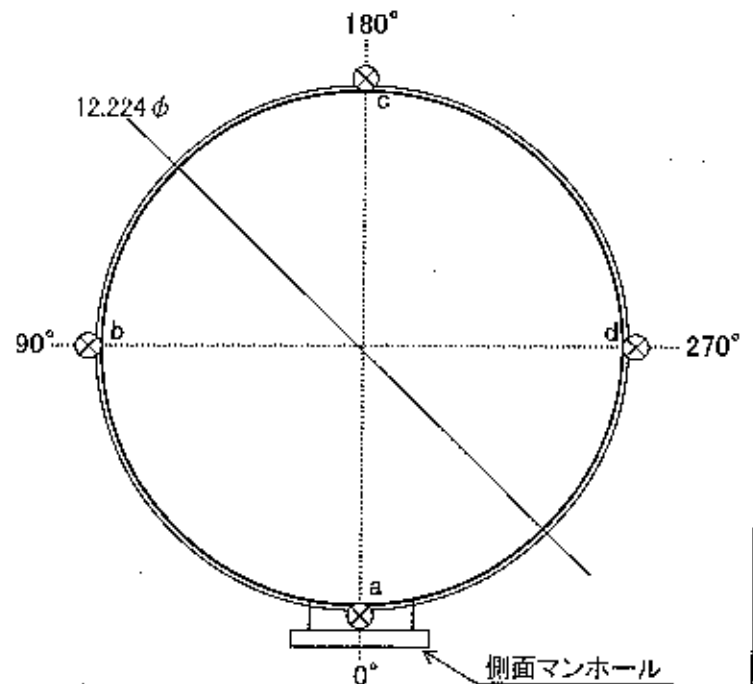
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-D5 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-192 F1-ICWBL-20
測定日時	平成 27 年 11 月 11 日 8 時 45 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック) (上) (下), (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



G6エリア D5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託					測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	室 I/F					測定者	
作業内容 (測定目的)	コ イ ト					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ア/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアD5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003	
$\beta \gamma$ 線		0.004		
測定時間	8:45～8:55			
タンク内水位	70.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

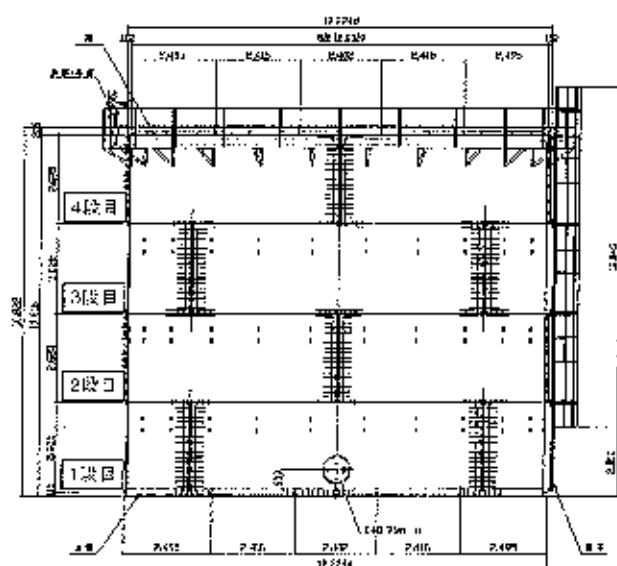
# 放射線管理記録

( 1/2 )

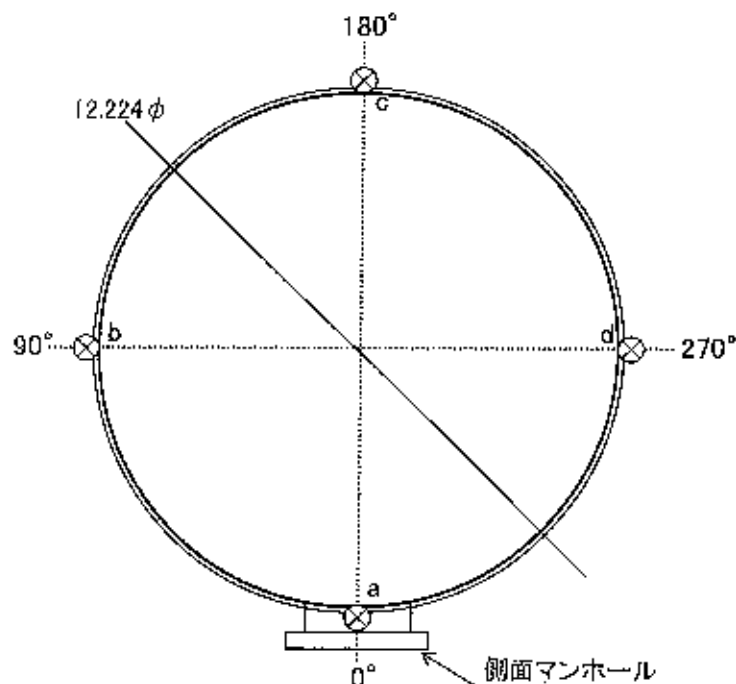
作業件名	1F--1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア		室 I/F	コード #/B F L	測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G6-D6 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-140 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 10 日 10 時 05 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アラック (上) (下), マスク (全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

出型タンク 立面図 (単位:mm)



G6エリア D6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託					測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>エリア</div> <div>コード</div> <div>W/B</div> <div>F/L</div>					測定者	
作業内容 (測定目的)						測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック フック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアD6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004	
$\beta \gamma$ 線		0.005		
測定時間	10:05～10:15			
タンク内水位	70.8%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

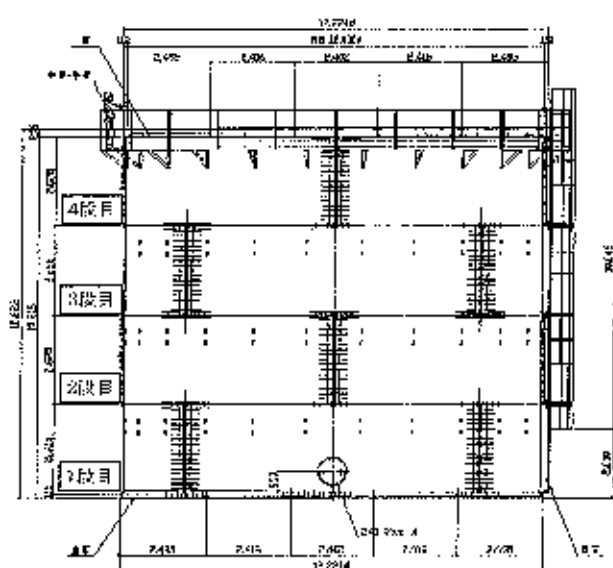
# 放射線管理記録

( 1/2 )

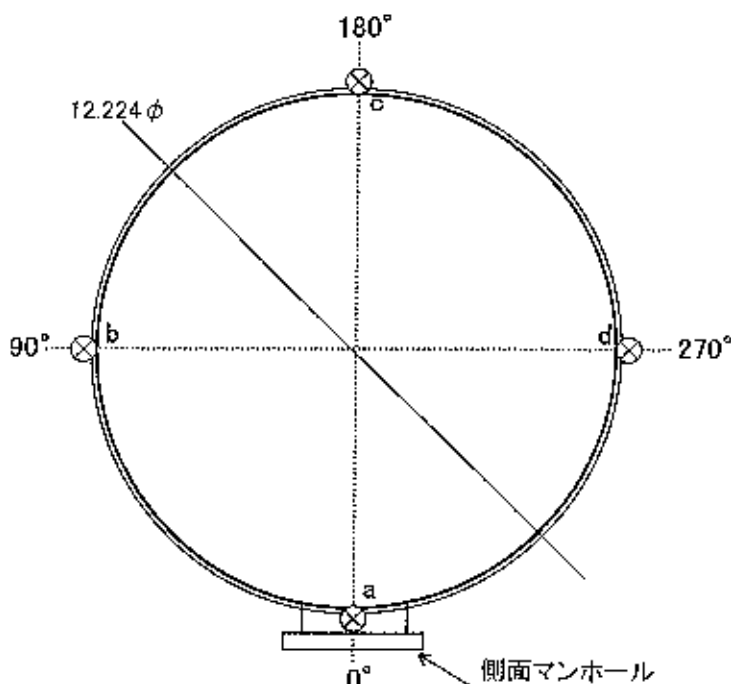
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-D7 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-140
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 10 日 10 時 15 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライツ (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



G6エリア D7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>エリア</div> <div>#/8</div> <div>F L</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コード</div>				測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック フロッグ(上・下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## G6エリアD7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D7	a (0° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
		b (90° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.005
		c (180° 側)	γ線	0.005
			β γ線	0.007
		d (270° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.004
	側面マンホール	γ線	0.004	
β γ線		0.005		
測定時間	10:15～10:25			
タンク内水位	70.7%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

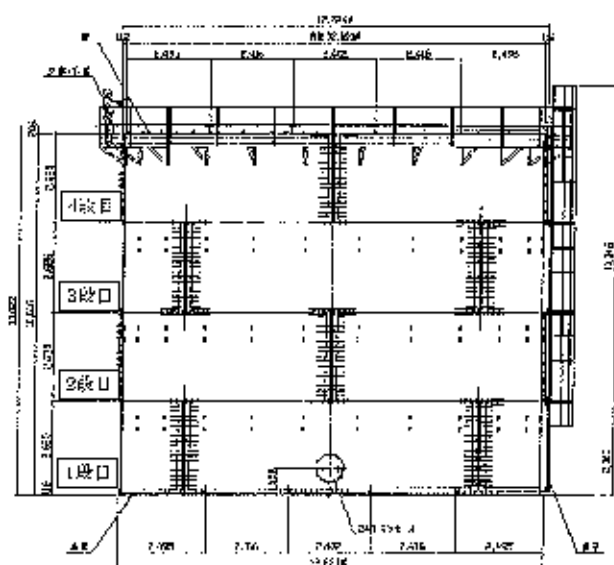
# 放射線管理記録

( 1/2 )

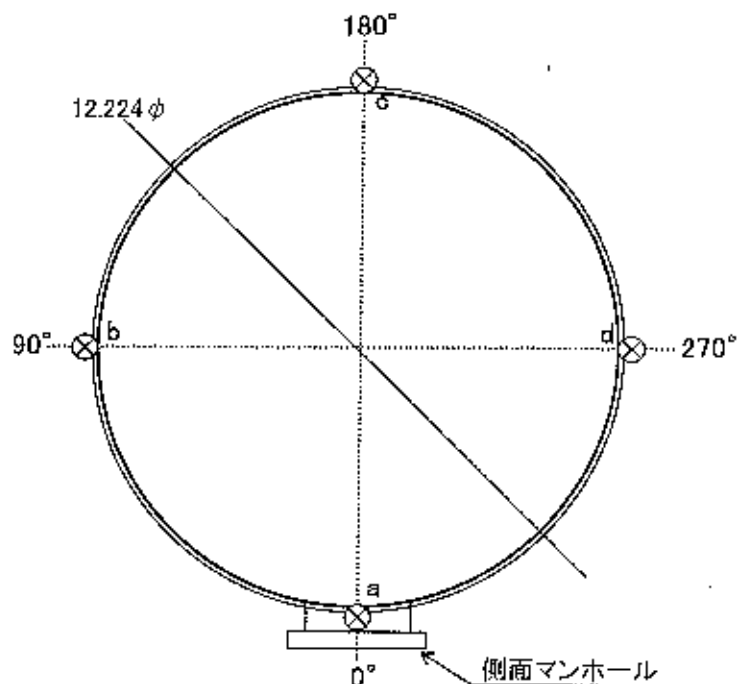
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6-D8 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-140
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 10 日 10 時 25 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



G6エリア D8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		室 エリア	コード #	B	F L	測定者	
作業内容 (測定目的)						測定器	
測定日時		平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G6エリアD8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D8	a (0° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.005
		b (90° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.005
		c (180° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.005
		d (270° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.005
側面マンホール	γ線	0.005		
	β γ線	0.006		
測定時間	10:25～10:35			
タンク内水位	70.7%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



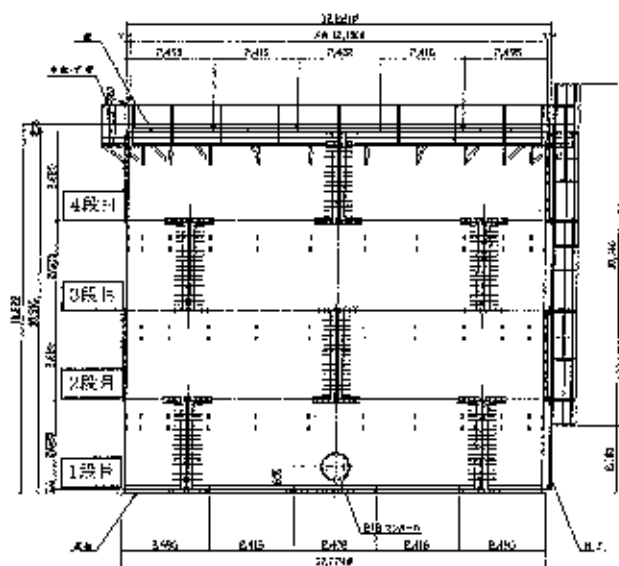
# 放射線管理記録

( 1/2 )

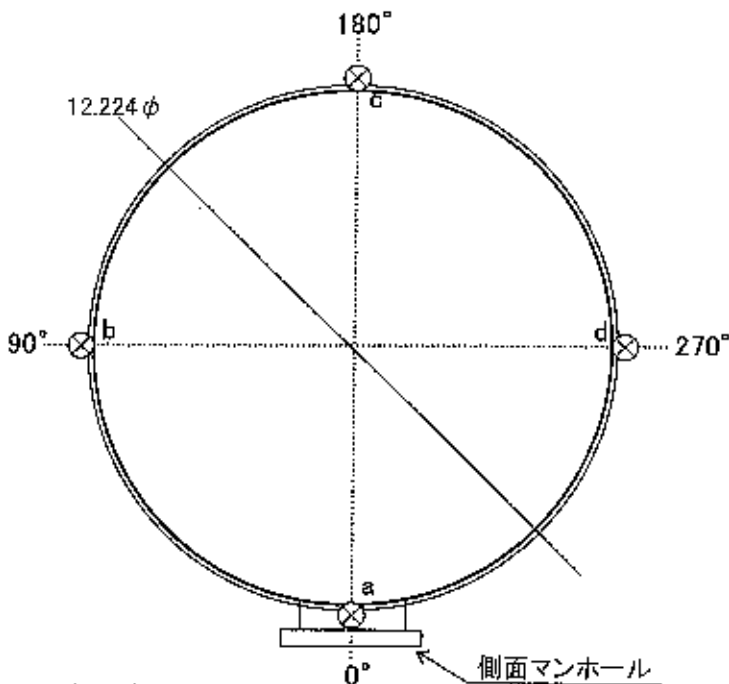
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直検
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( G6 D9 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-140
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 10 日 10 時 35 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アノラック, (上), (下), マスク, (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (参考図)



G6エリア D9タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託					測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>117</div> <div>#/B</div> <div>F L</div>					測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コード</div>					測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G6エリアD9タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D9	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.005
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004	
$\beta \gamma$ 線		0.006		
測定時間	10:35～10:45			
タンク内水位	70.9%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

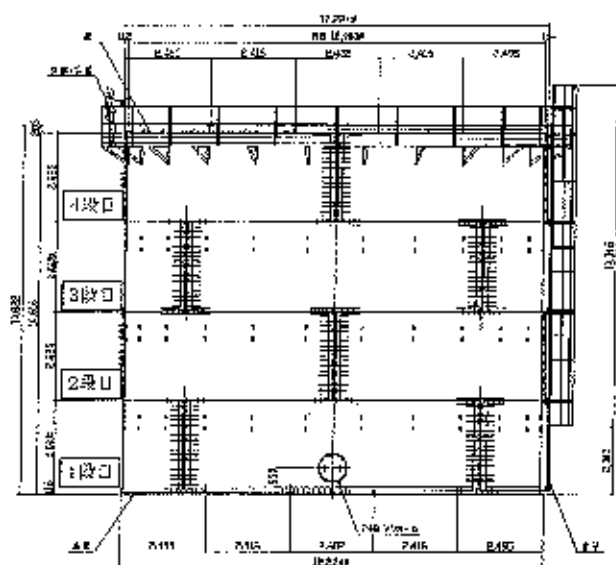
# 放射線管理記録

( 1/2 )

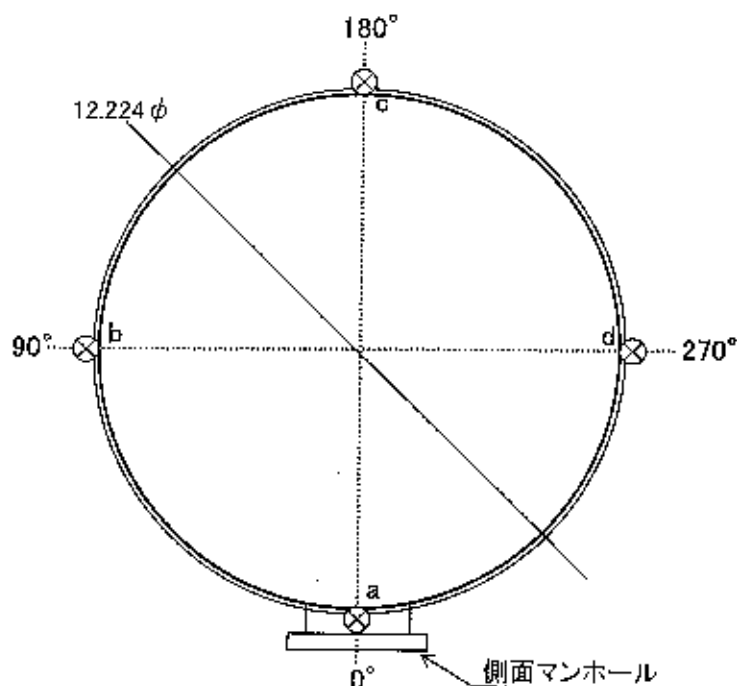
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	G6エリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( G6-D10 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-140
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 27 年 11 月 10 日 10 時 45 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライズ(上), (下), マスク(全面・フード)
コード	番号	出力	MW	停止後	日	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



G6エリア D10タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div>室</div> <div>17</div> <div>4/B</div> <div>F L</div>				測定者	
作業内容 (測定目的)	<div>コ</div> <div>ド</div>				測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アバック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
(mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)

## G6エリアD10タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
G6	D10	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.003	
		$\beta \gamma$ 線	0.005	
測定時間	10:45～10:55			
タンク内水位	70.9%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

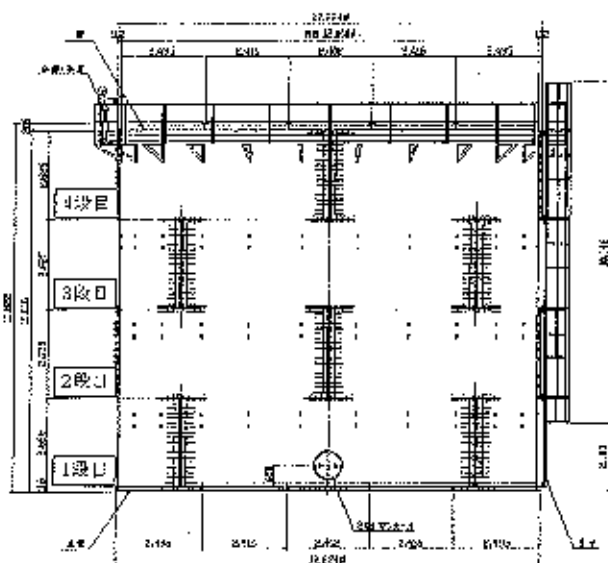
	放管	主枝	担当
	2016.3.16	2016.3.16	2016.3.16
	( 1/2 )		

## 放射線管理記録Cエリア全13基

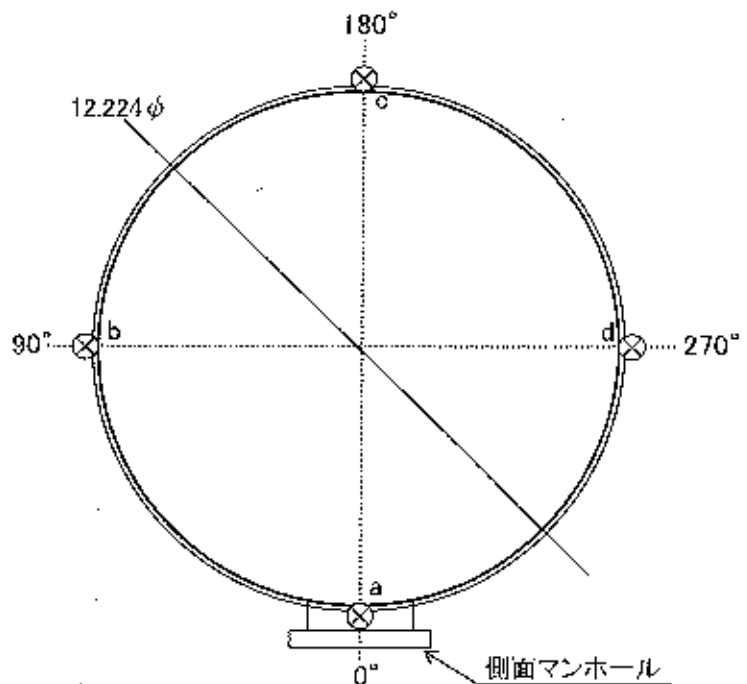
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託	測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア	測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( C-A1 円筒フランジタンク、側面マンホール )	測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-19
測定日時	平成28年3月11日 10時00分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後
		MW	停止後
			日
防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック 7/1772(上), (下), マスク, (全面・フード)		

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

汚染タンク 立面図 (cm/mm)



Cエリア A1タンク 平面図



側面マンホール

### 《測定条件》

雨天時の測定器 (ICW, ICWBL) 損傷防止のため、  
ビニール袋 (0.03mm) で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録Cエリア全13基

放 管 主 技 担 当

2016.3.16 2016.3.16 2016.3.16 2016.3.16

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ア/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## CエリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)				
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	A1	a (0° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.004
		b (90° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.007
		c (180° 側)	γ線	0.007
			β γ線	0.007
		d (270° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.005
	側面マンホール	γ線	0.005	
		β γ線	0.005	
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	70.3%			
タンク堰内水深	0 cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

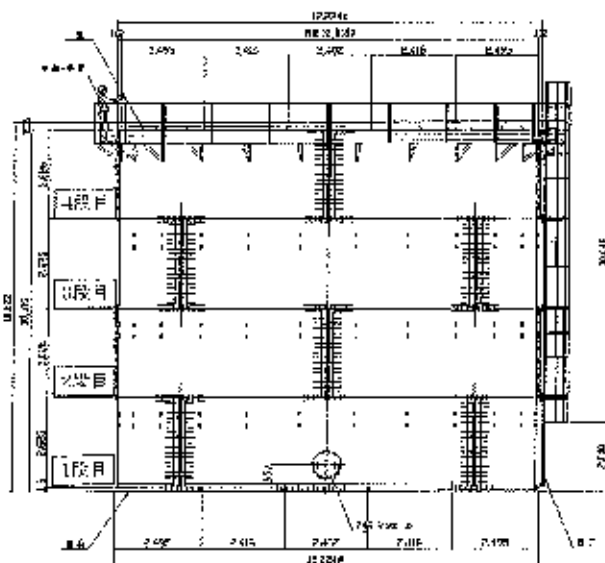
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

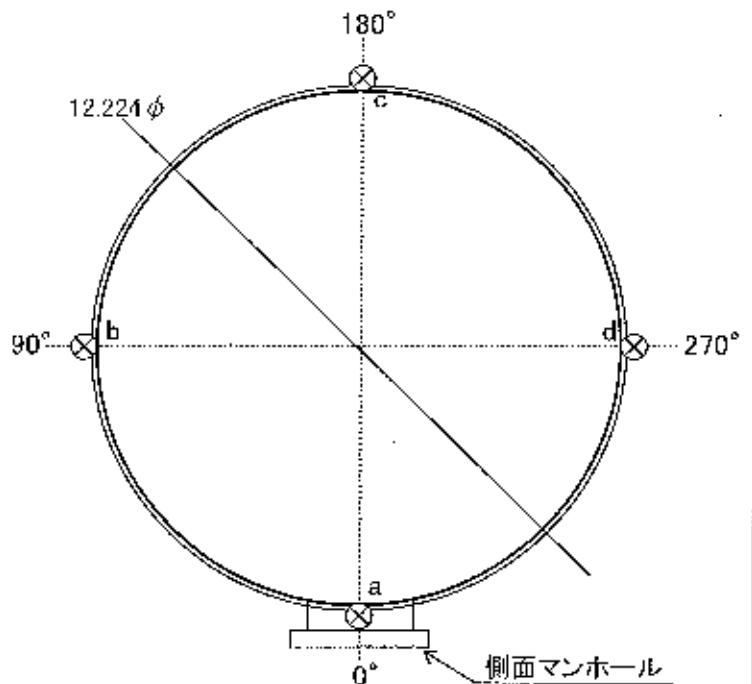
作業件名	1F 1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( C-A2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-19
測定日時	平成28年3月11日 10時10分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アライズ(上, 下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

出望タンク 平面図 (mm)



Cエリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	H/B	F/L	測定者
作業内容 (測定目的)		11月			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					防護装備

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
 (mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## CエリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		側面マンホール	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.006
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	71.5%			
タンク堰内水深	0 cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



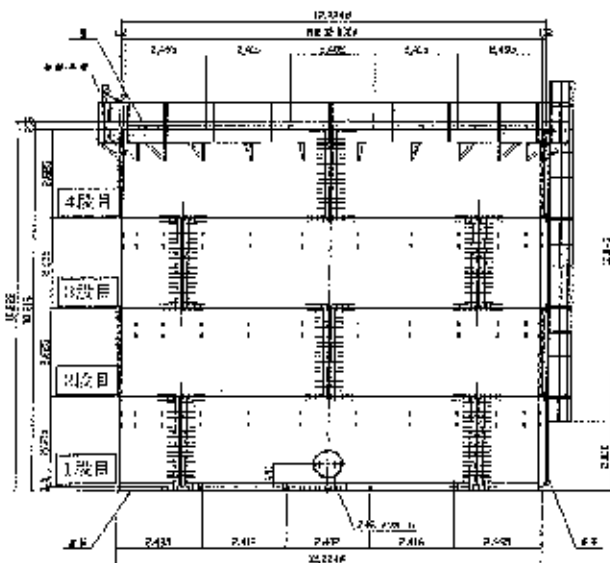
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

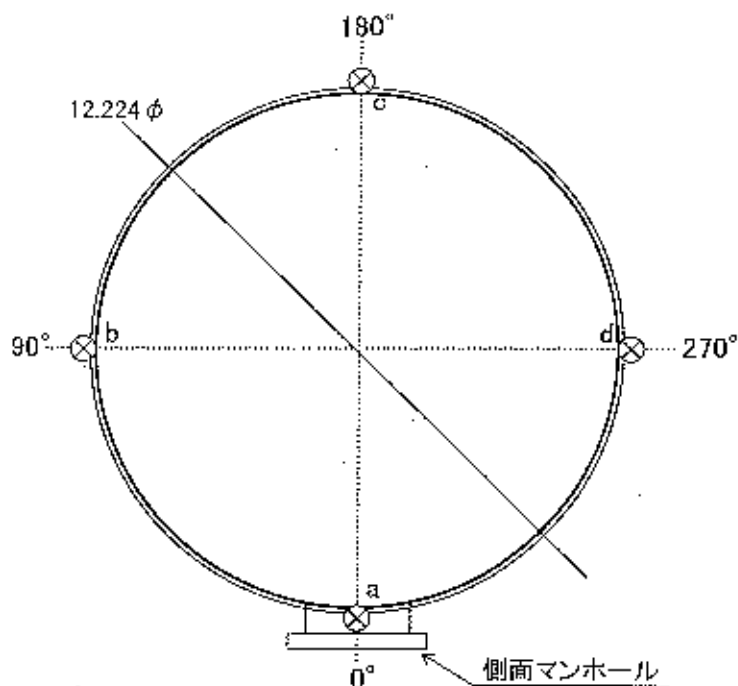
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (C-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-19
測定日時	平成28年3月11日 10時20分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 断面図 (mm)



Cエリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

$$\left( \frac{2}{2} \right)$$

### CエリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	A3	a (0° 側)	γ線	0.005
			β γ線	0.007
		b (90° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.006
		c (180° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.005
		d (270° 側)	γ線	0.003
			β γ線	0.006
側面マンホール	γ線	0.008		
	β γ線	0.009		
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	71.3%			
タンク堰内水深	0 cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

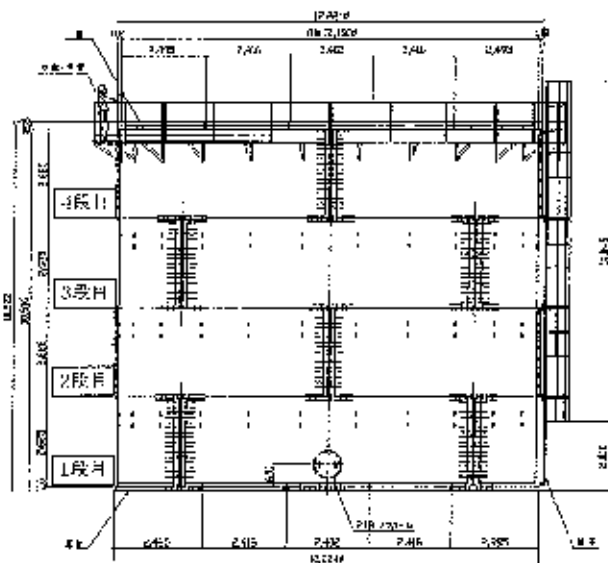
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

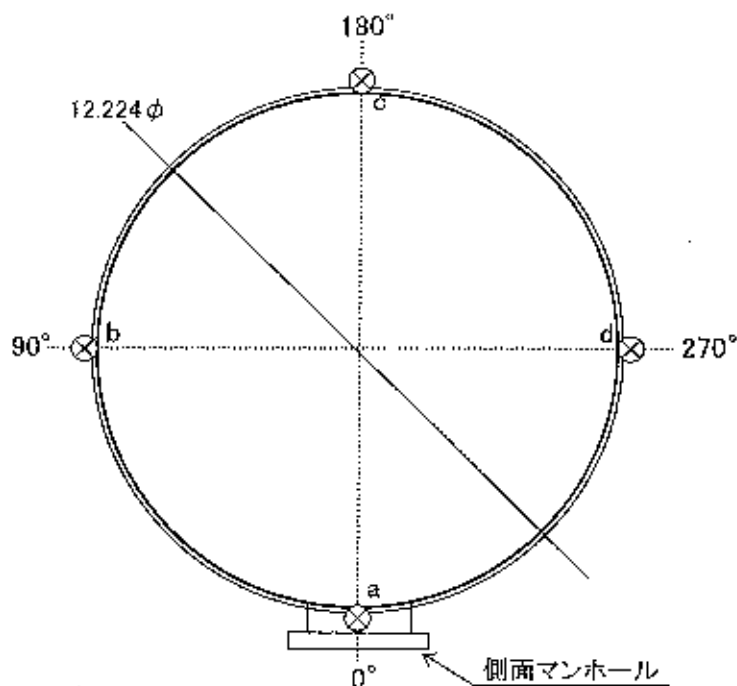
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	Cエリア			コード	#/B	FL	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査			コード			
	(C-A4 円筒フランジタンク、側面マンホール)						
測定日時	平成28年3月11日 10時30分					測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-19
区域区分						線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
防護装備						一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アブゾ(上), (下), マスク(全面), フット	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	日		

×：空間線量当量率 (nSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm)



Cエリア A4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## CエリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo.	測定ポイント	線種	表面
C	A4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.006
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.007		
	$\beta \gamma$ 線	0.007		
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	71.0%			
タンク堰内水深	0 cm (側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

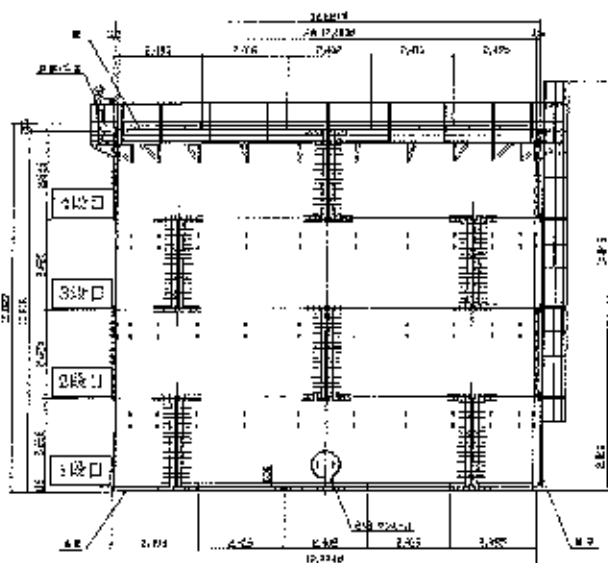
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

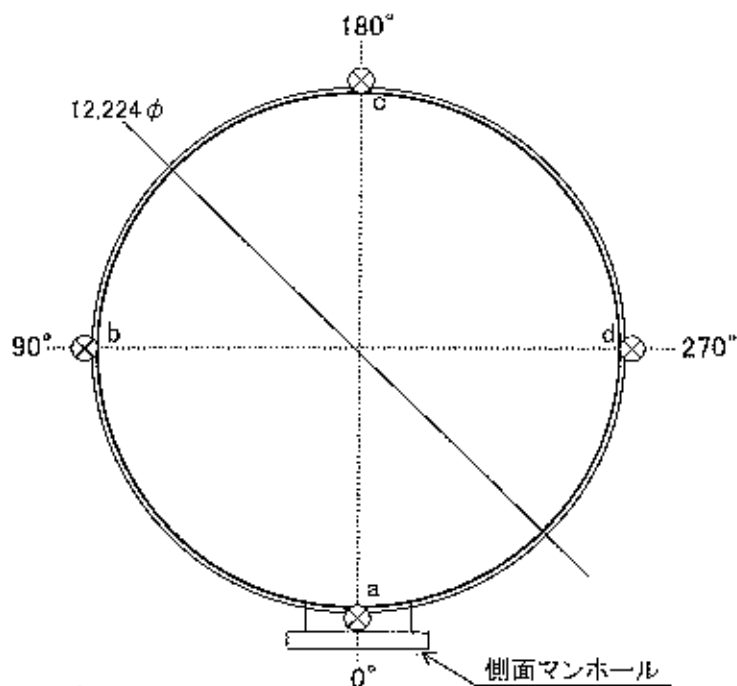
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( C A5 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-19
測定日時	平成28年3月11日 10時40分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック)(上) (下), (マスク(全面・フット))

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (縮尺 1/200)



Cエリア A5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
測定日時	平成	年	月	日	時	分	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	B	防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤ 7/ラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント  
(Bq/cm<sup>2</sup>)

## CエリアA5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	A5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.001
			$\beta \gamma$ 線	0.003
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.006		
	$\beta \gamma$ 線	0.007		
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	71.3%			
タンク堰内水深	0 cm (側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

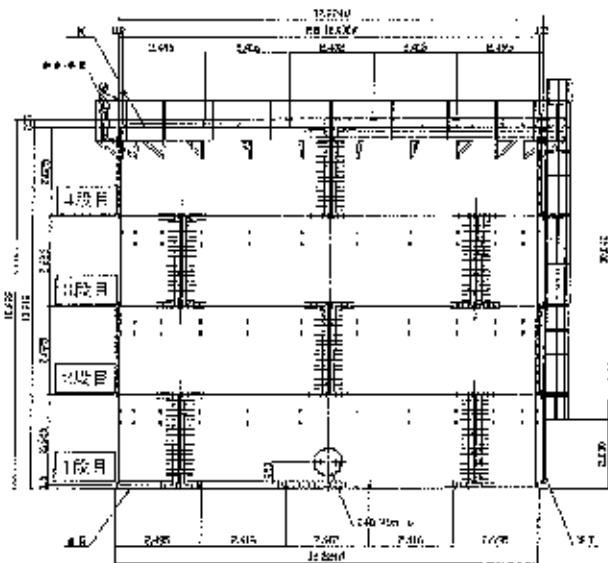
# 放射線管理記録Cエリア全13基

{ 1/2 }

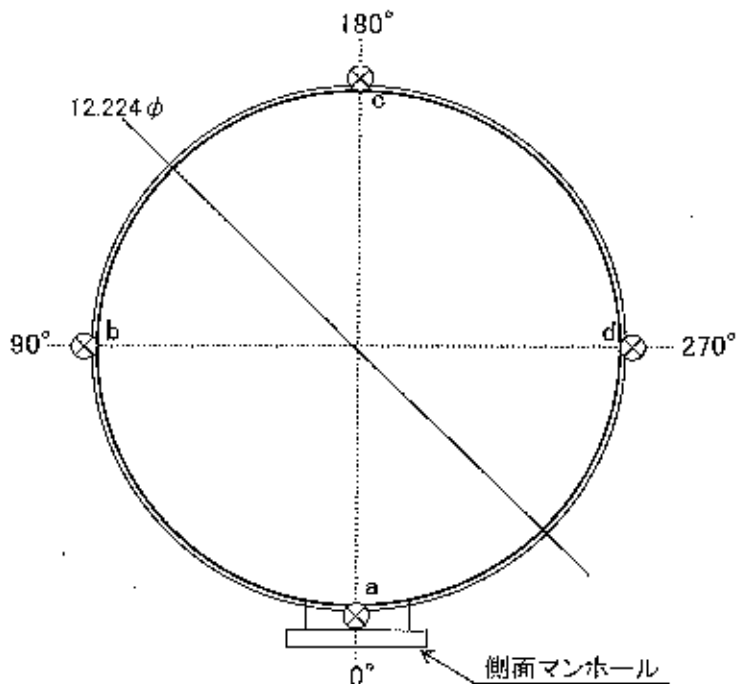
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (C-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール)				測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-19
測定日時	平成28年3月11日 8時30分				区域区分	線量-1, 2, 3 汚染-A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上, 下), マスク(全面・フット)

×: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク (点検時)



Cエリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> γ <input type="checkbox"/> β ( <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量・1, 2, 3 汚染・A, B1, B2, C, D	
平成 年 月 日 時 分		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
 (mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## CエリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	B1	a (0° 側)	γ線	0.010
			β γ線	0.015
		b (90° 側)	γ線	0.008
			β γ線	0.013
		c (180° 側)	γ線	0.010
			β γ線	0.014
		d (270° 側)	γ線	0.011
			β γ線	0.010
側面マンホール	γ線	0.012		
	β γ線	0.014		
測定時間	8:30~8:45			
タンク内水位	71.7%			
タンク堰内水深	1cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



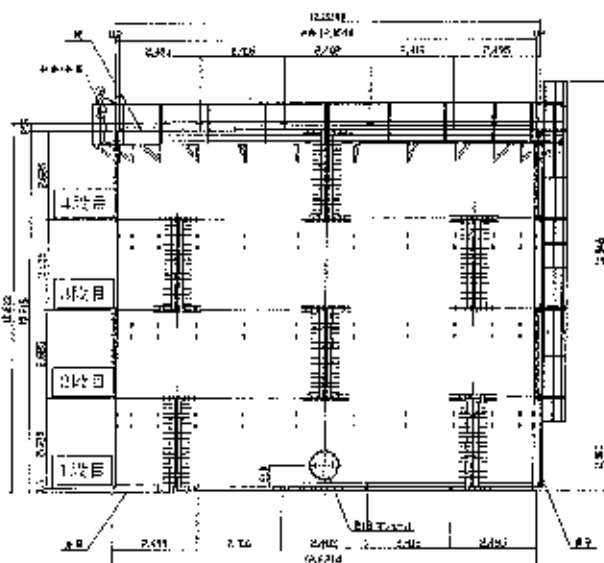
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

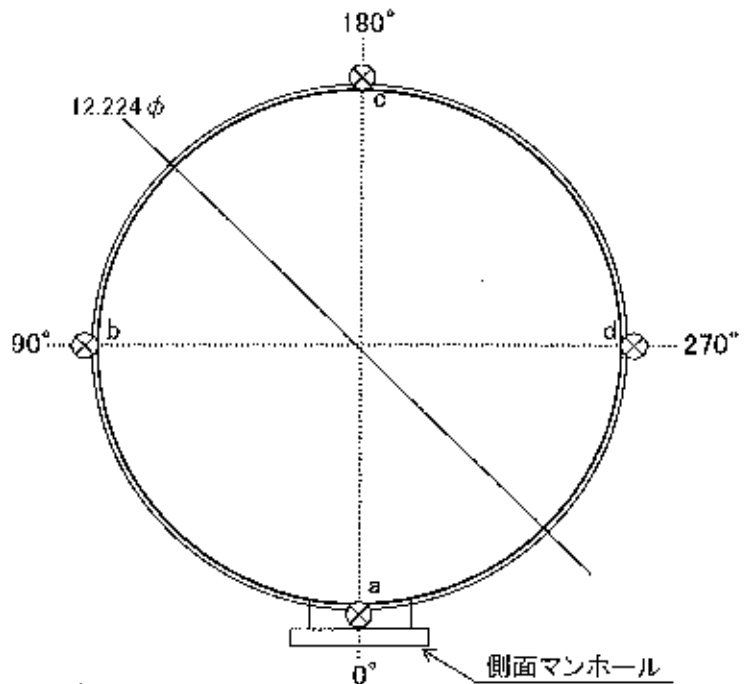
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア			コード	#/B	F.L.
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( C-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			コード		
測定日時	平成 28 年 3 月 11 日 8 時 45 分				測定器	U-ICW-310 F1-ICWBL-19
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	停止後	日
				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
				防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (ア/ラツ) (上) (下) (マスク) (全面・フード)	

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2)



Cエリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名						測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所						測定者	
作業内容 (測定目的)						測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分 線量 ~ 1, 2, 3 汚染 ~ A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	線量 ~ 1, 2, 3 汚染 ~ A, B1, B2, C 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ア/ラック(上・下), マスク(全面・フード)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## CエリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位(mSV/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.007
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.008		
	$\beta \gamma$ 線	0.008		
測定時間	8:45~9:00			
タンク内水位	72.7%			
タンク堰内水深	1cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

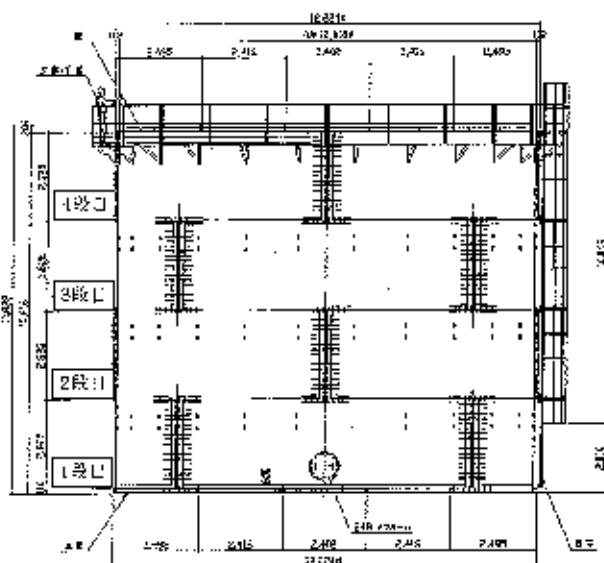
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

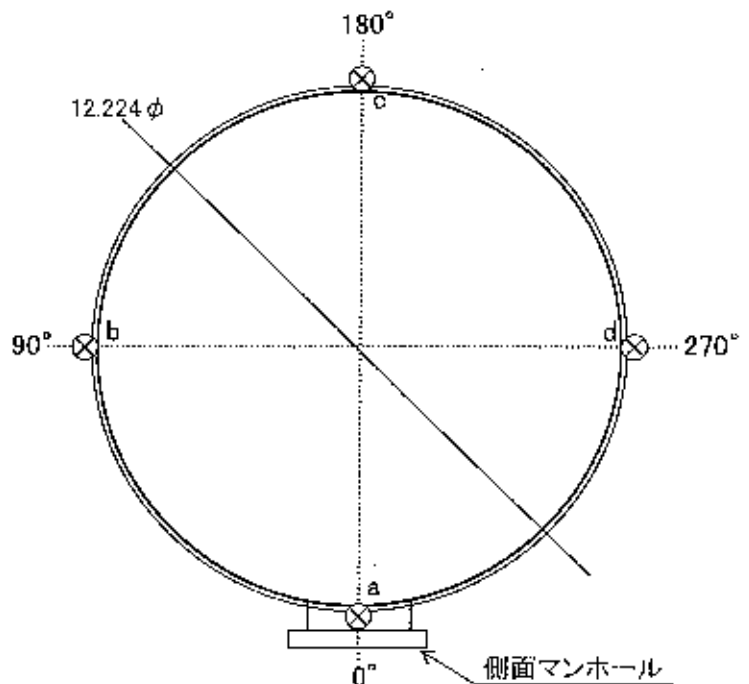
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( C・B3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-19
測定日時	平成28年3月11日 9時00分			区域区分	線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ム手袋) (タイベック) (タイツ) (アフラック) (上) (下) (マスク) (全面・フード)

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Cエリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWB)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録Cエリア全13基

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
防護装備		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アブソルク(上・下), マスク(全面・フット)	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## CエリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	B3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.005
側面マンホール	$\gamma$ 線	0.007		
	$\beta \gamma$ 線	0.007		
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	72.8%			
タンク堰内水深	1cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

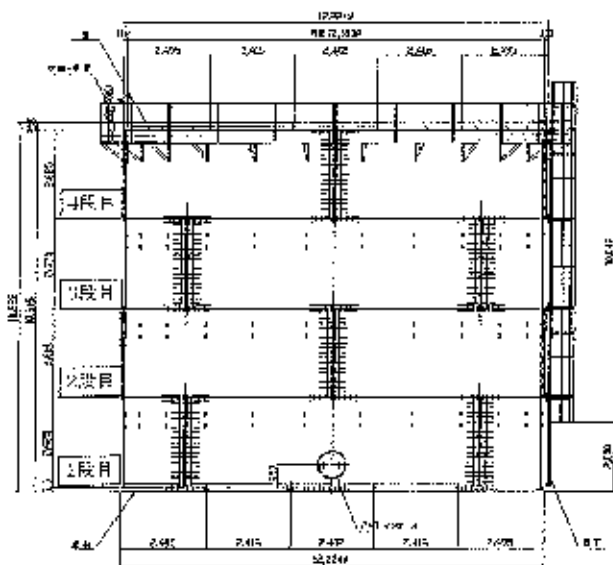
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

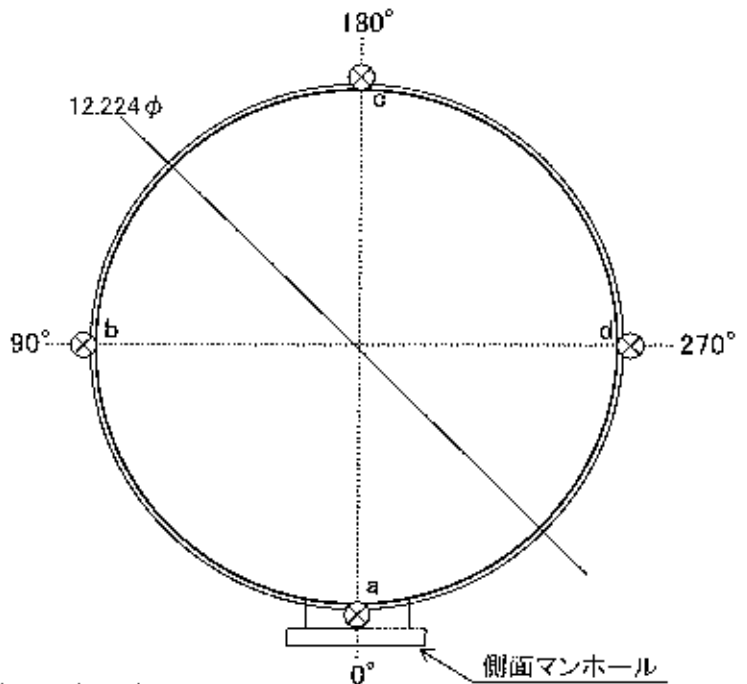
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( C-B 4 円筒ノランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-19
測定日時	平成 28 年 3 月 11 日 9 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上), (下), マスク(全面・ソート)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

出展タンク 立面図 (mm)



Cエリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名						測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所						測定者	
作業内容 (測定目的)						測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
 (mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## CエリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	B4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004	
$\beta \gamma$ 線		0.006		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	72.7%			
タンク堰内水深	1cm(側面マンホール前にて測定)			

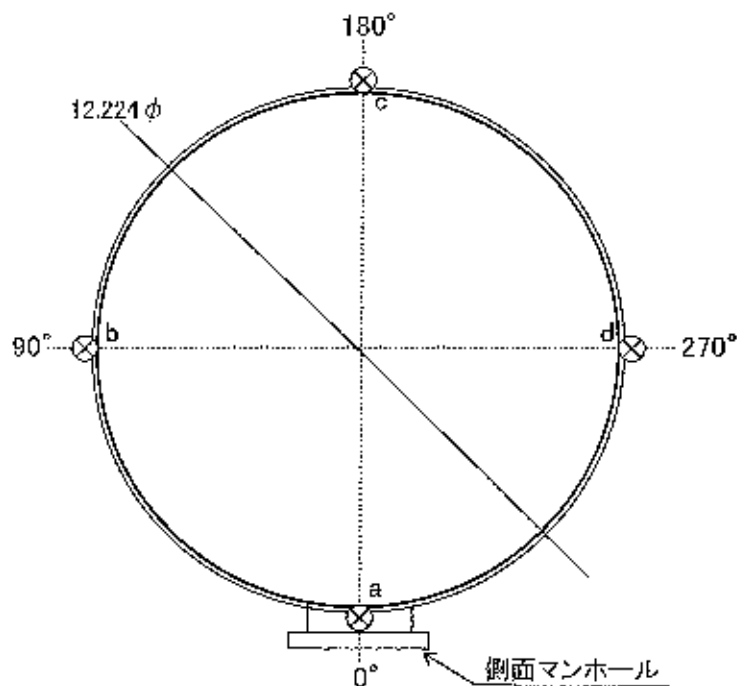
◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$(-1/2)$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

Cエリア B5タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
 ピニール袋(0.03mm)で養生実施。  
 また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。

◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> γ <input type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		コード	R/B	F/L	測定者	
作業内容 (測定目的)		コード			測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>)

△：ダストポイント  
(Bq/cm<sup>3</sup>)

## CエリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位(mSV/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	B5	a (0° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.005
		b (90° 側)	γ線	0.002
			β γ線	0.007
		c (180° 側)	γ線	0.008
			β γ線	0.008
		d (270° 側)	γ線	0.004
			β γ線	0.004
	側面マンホール	γ線	0.005	
		β γ線	0.005	
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	72.8%			
タンク堰内水深	1cm(側面マンホール前にて測定)			

◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



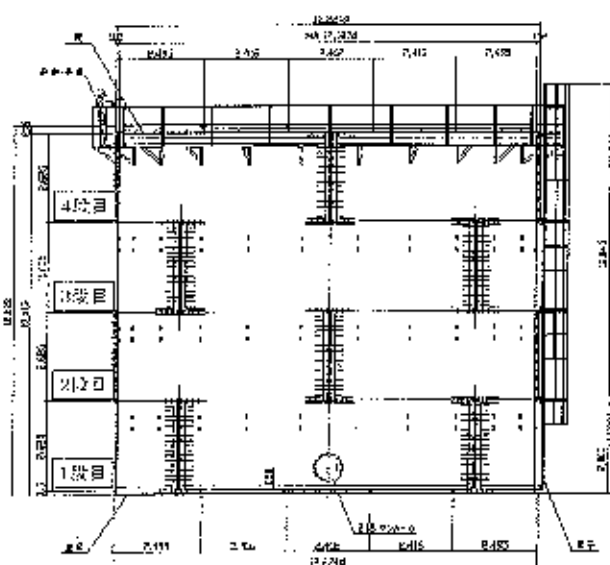
## 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

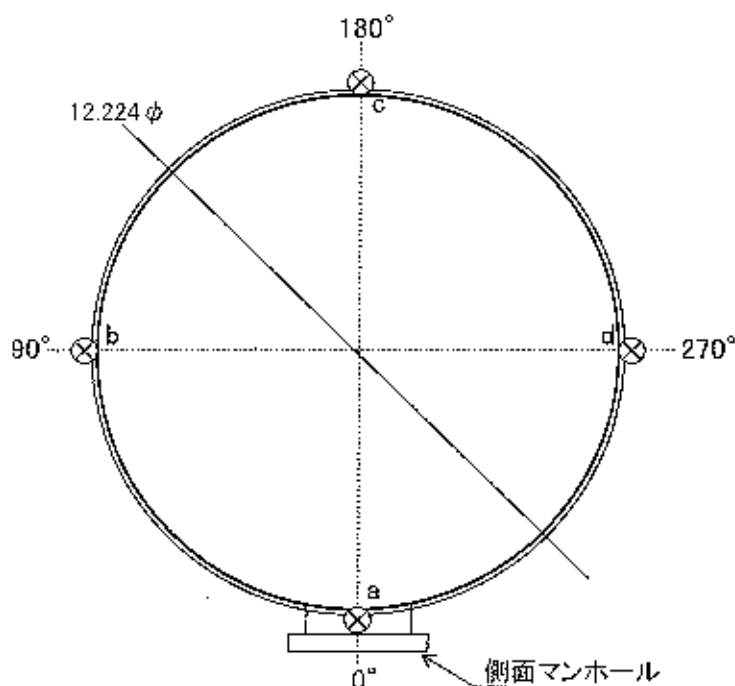
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (C-B6 円筒フランジタンク、側面マンホール)				測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-19
測定日時	平成28年3月11日 9時30分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ①手袋 ②タイベック ③タイラック ④アライズ(上) ⑤(下), マスク(全面・フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) 次紙参照



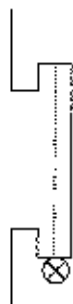
Cエリア B6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ト ク	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ ト ク			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日
		MW		防護装備	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## CエリアB6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	B6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.005
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.004	
		$\beta \gamma$ 線	0.005	
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	72.8%			
タンク堰内水深	1cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

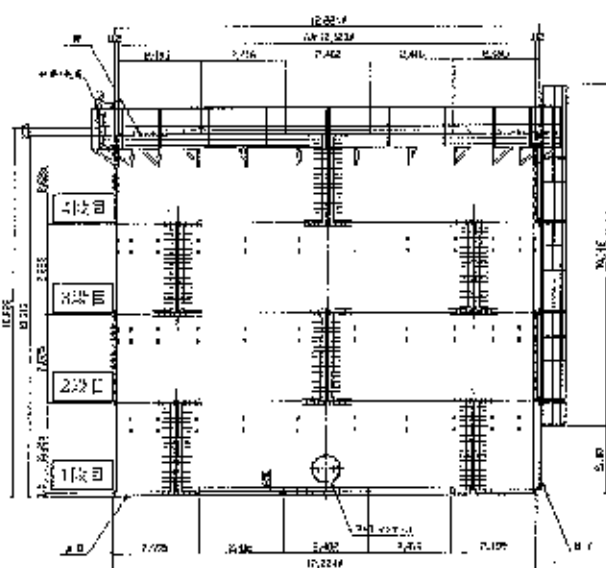
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

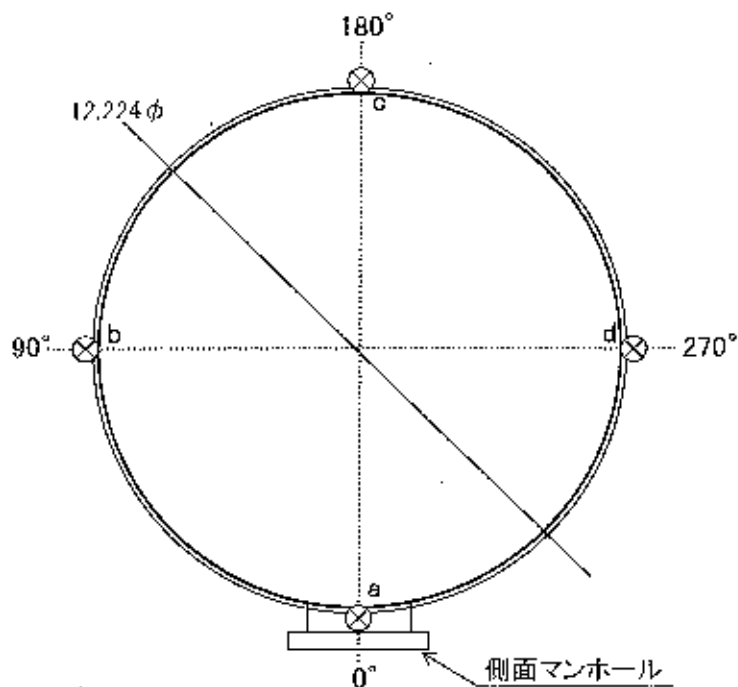
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( C・B7 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-CW-310
					測定器	FI-CWBL-19
測定日時	平成 28 年 3 月 11 日 9 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (ノラック) (上) (下) (マスク) (全遮-フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



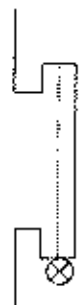
Cエリア B7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)	

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## CエリアB7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	B7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.006
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.007	
		$\beta \gamma$ 線	0.008	
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	72.6%			
タンク堰内水深	1cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

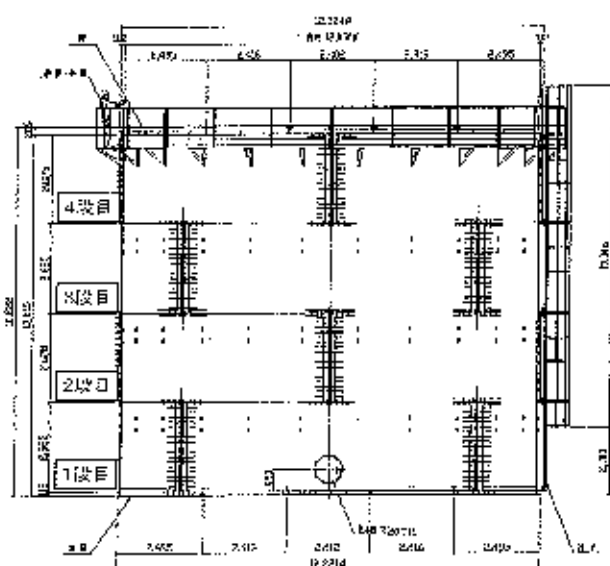
# 放射線管理記録Cエリア全13基

( 1/2 )

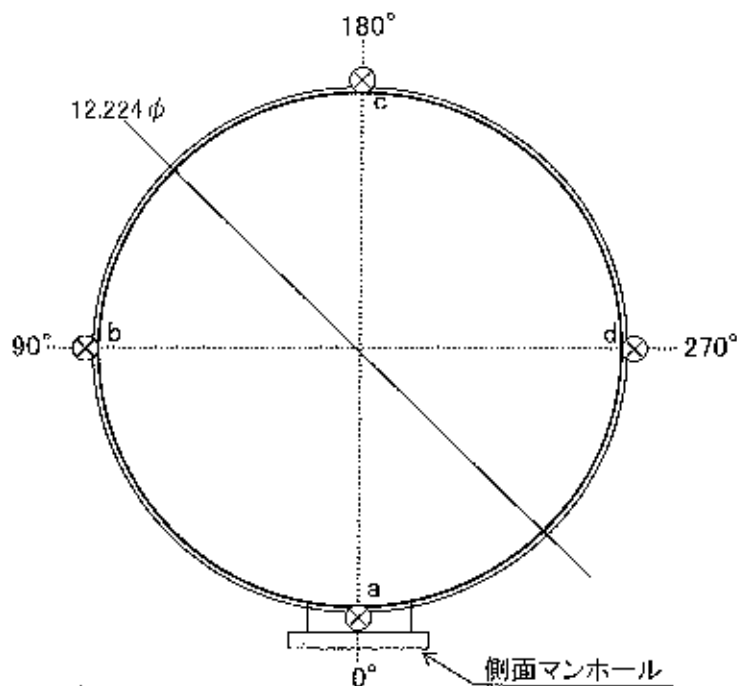
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Cエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( C-B8 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-19
測定日時	平成28年3月11日 9時50分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイヤック アタッチ(上) (下), マスク (全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク上面図



Cエリア B8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、静電気・汚染防止の為晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

## 放射線管理記録Cエリア全13基

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	M/B	F/L	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック フフラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## CエリアB8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

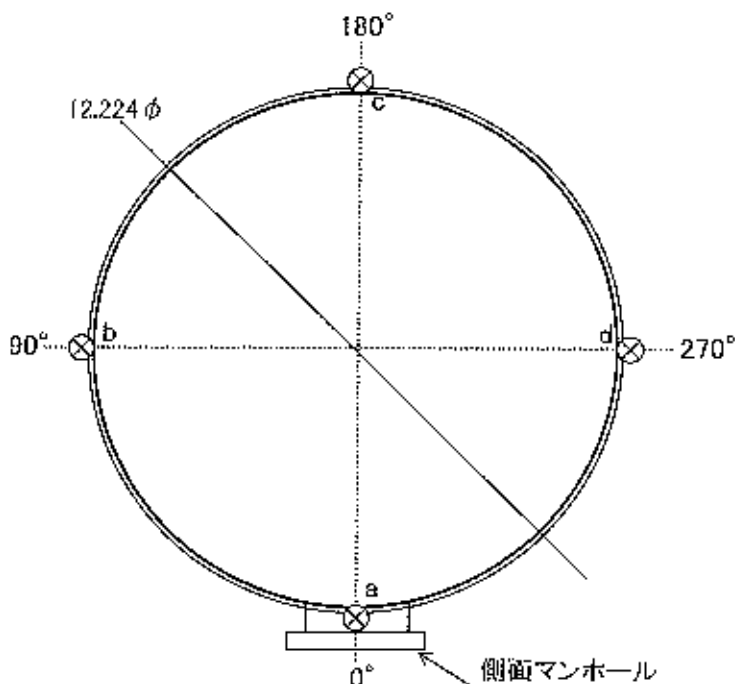
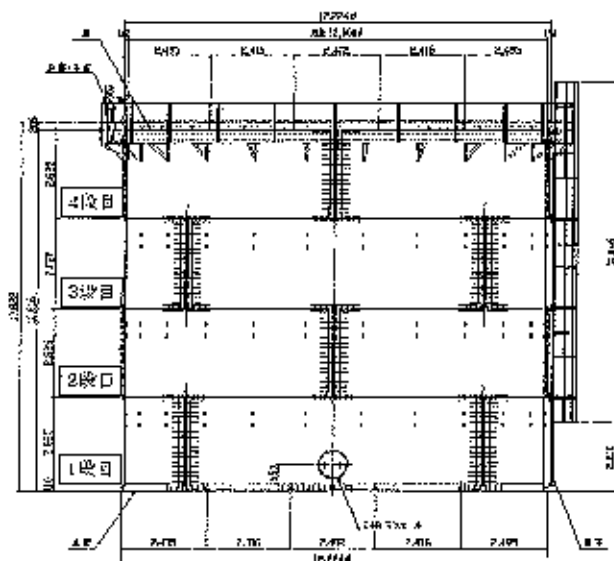
単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
C	B8	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.009
	側面マンホール	$\gamma$ 線	0.008	
$\beta \gamma$ 線		0.012		
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	72.6%			
タンク堰内水深	1cm (側面マンホール前にて測定)			

- ◎1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

Eエリア A1タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

	放 管	主 技	担 当
	2016.3.16	2016.3.16	2016.3.16

# 放射線管理記録Eエリア全48基

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ー ド	#/B	F.I.	測定者		
作業内容 (測定目的)		コ ー ド			測定器		
測定日時	平成 年 月 日 時 分					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ブライヤック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)				
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.017
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.027
			$\beta \gamma$ 線	0.027
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.015	
		$\beta \gamma$ 線	0.015	
測定時間	8:30~8:40			
タンク内水位	33.1%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



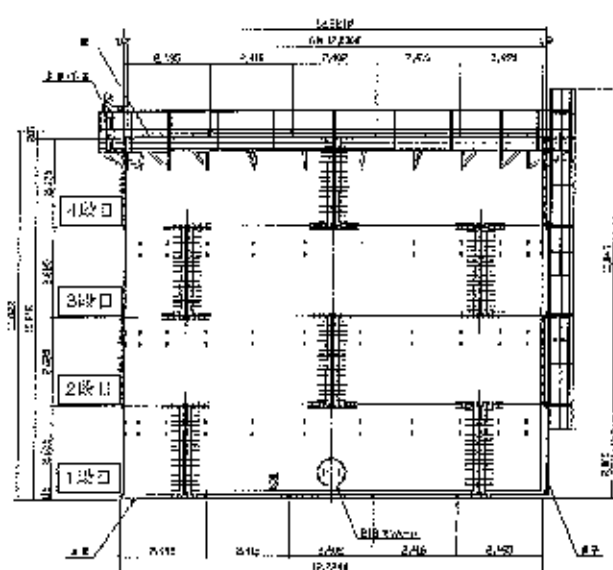
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

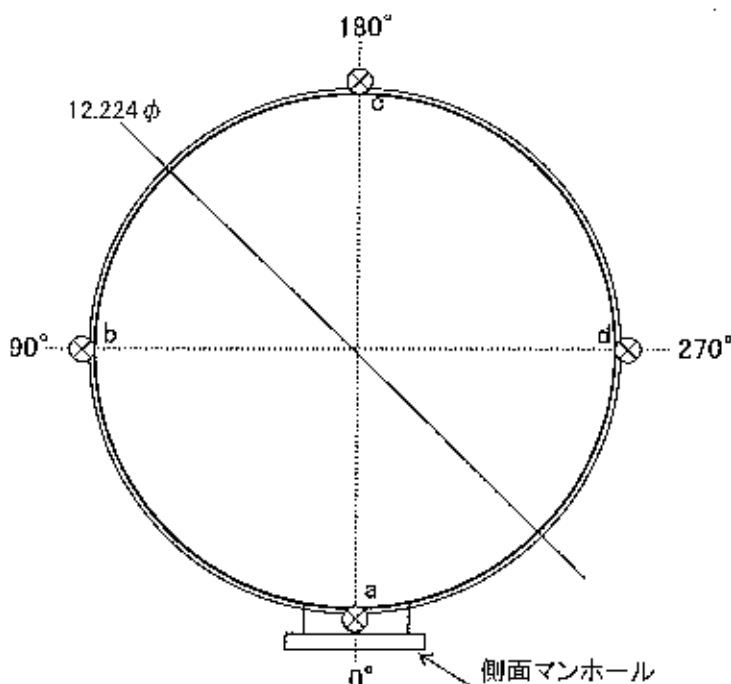
作業件名		IF-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 (E-A2円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-115
測定日時		平成28年2月6日 8時40分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アノラック (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

フランジタンク 立面図 (cm)



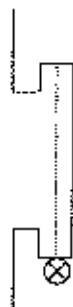
Eエリア A2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.008		
	$\beta \gamma$ 線	0.008		
測定時間	8:40~8:50			
タンク内水位	35.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

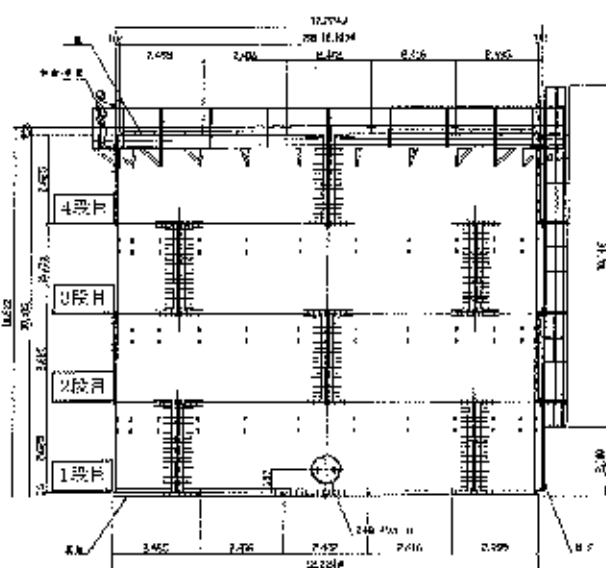
# 放射線管理記録

( 1/2 )

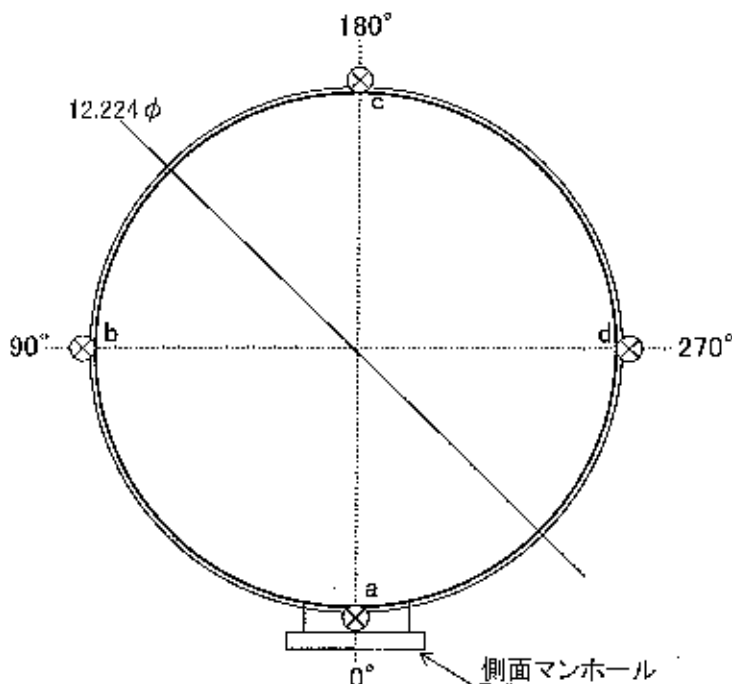
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( E-A3 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-115
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 8 時 50 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライ (上) (下) (マスク (全面・フット))

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) (2/2)



Eエリア A3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード		RWA 番号		電気 出力	
		MW		原子炉 停止後	
		日		防護装備	
				一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA3タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.002
			$\beta \gamma$ 線	0.004
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.006	
$\beta \gamma$ 線		0.007		
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	35.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

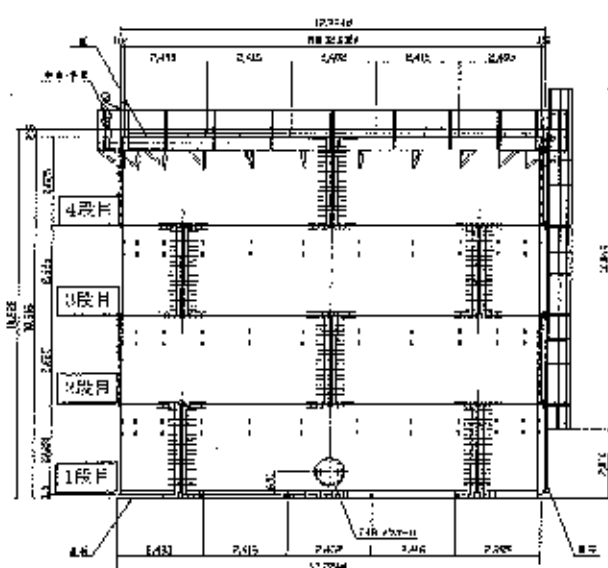
# 放射線管理記録

( 1/2 )

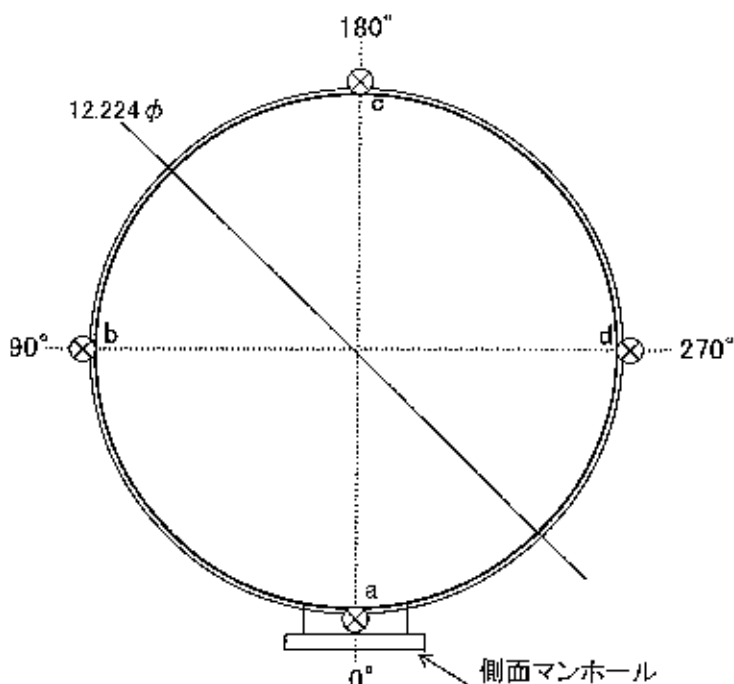
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-A 4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-104
				測定器	F1-ICWBL-115
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 9 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライズ (上) (下) マスク (全面・フット)
コード	番号	出力 MW	停止後		

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 直視図 (mSv/h)



Eエリア A4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ฝุ่น <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日		
					区域区分	線量… 1, 2, 3 汚染… A, B1, B2, C, D	
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ฝุ่นポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアA4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.006
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.004	
		$\beta \gamma$ 線	0.005	
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	35.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

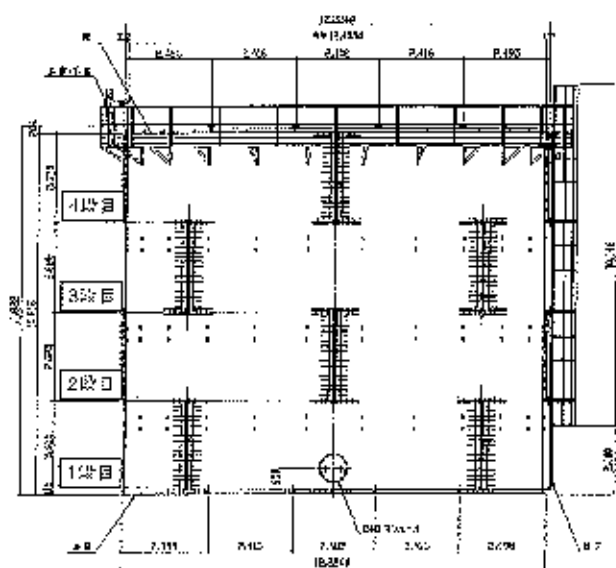
# 放射線管理記録

( 1/2 )

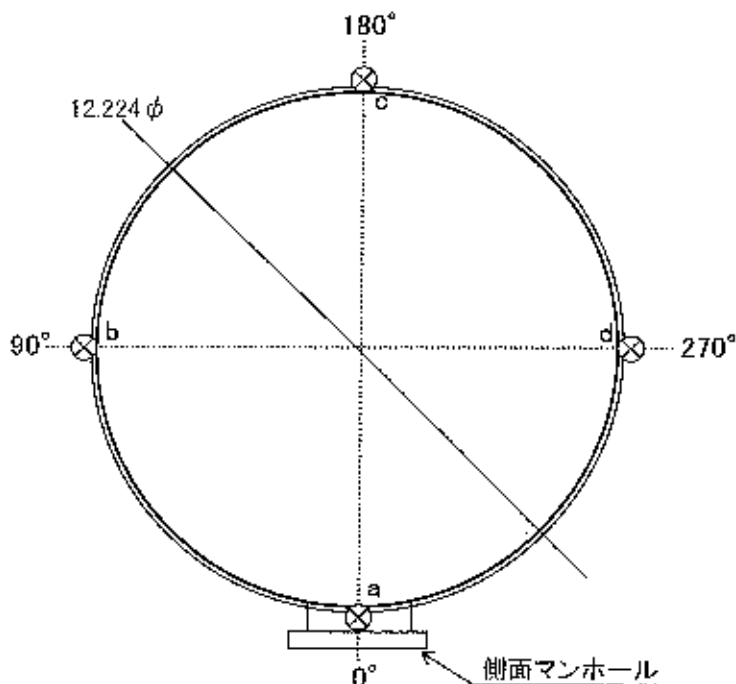
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (E-A5 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-115
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 9 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライメント (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2)



Eエリア A5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名						測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所						測定者	
作業内容 (測定目的)						測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分 線量… 1, 2, 3 汚染… A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイツク アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
 (mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.007
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.005	
$\beta \gamma$ 線		0.013		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	35.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



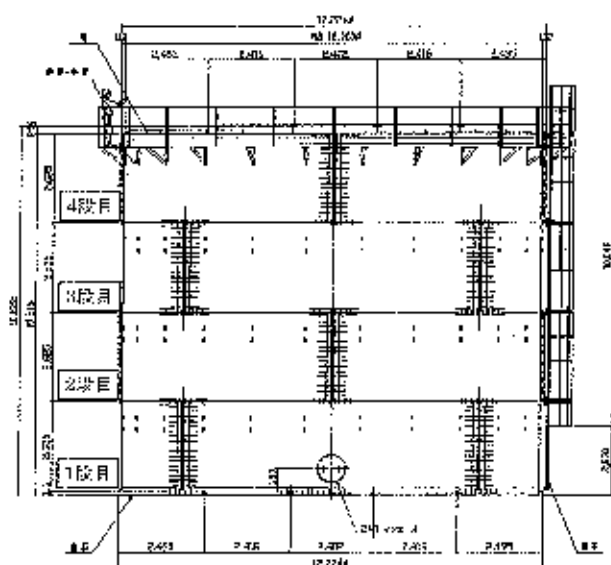
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

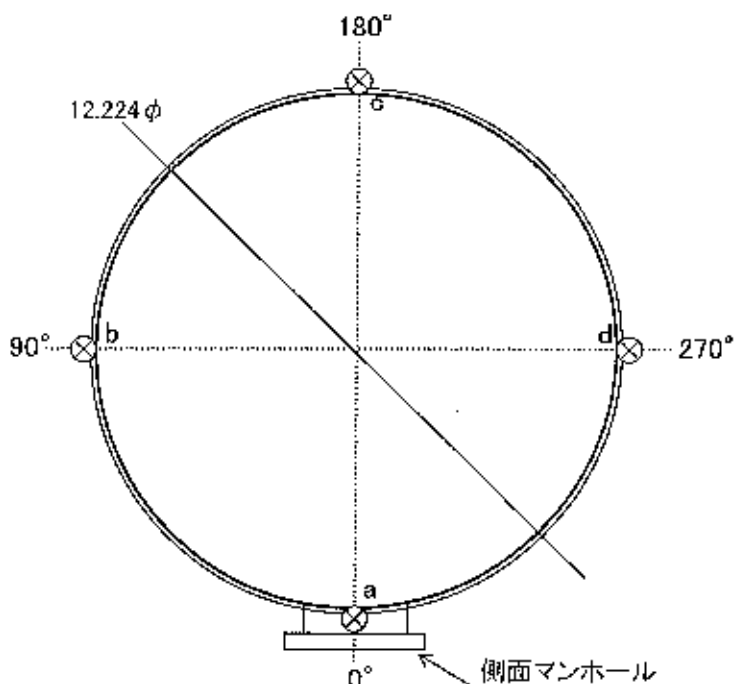
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (E-A6 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-115
測定日時	平成28年2月6日 9時20分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

×: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (m)



Eエリア A6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.010
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.004
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.013
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.005	
		$\beta$ $\gamma$ 線	0.005	
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	35. 3%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

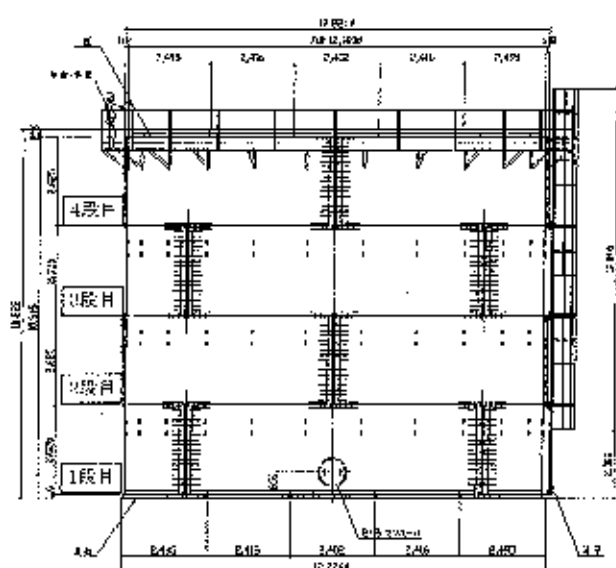
# 放射線管理記録

( 1/2 )

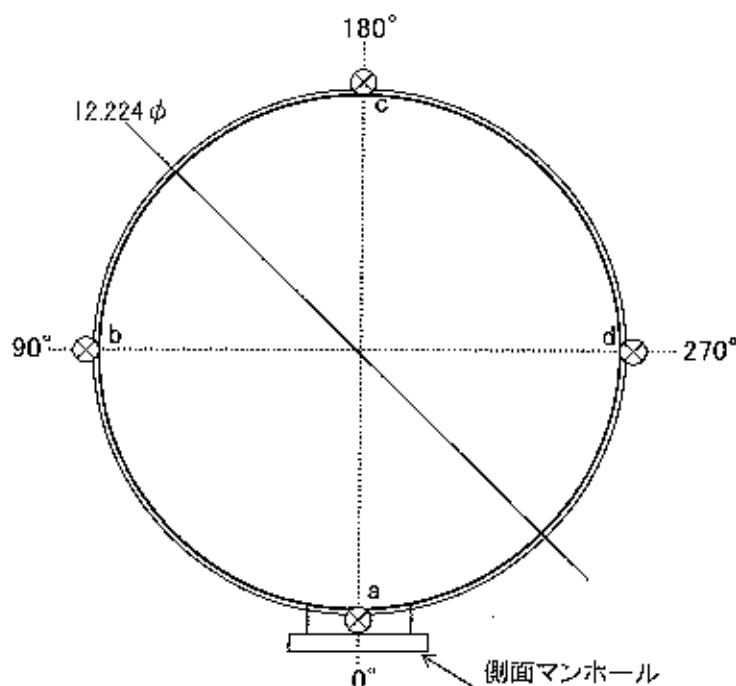
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-A7 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-104
				測定器	F1-ICWBL-115
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 9 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
作業コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アフラック(上, 下), マスク(全面・フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 1.6m



Eエリア A7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		防護装備		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.005	
$\beta \gamma$ 線		0.005		
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	35.2%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1 段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

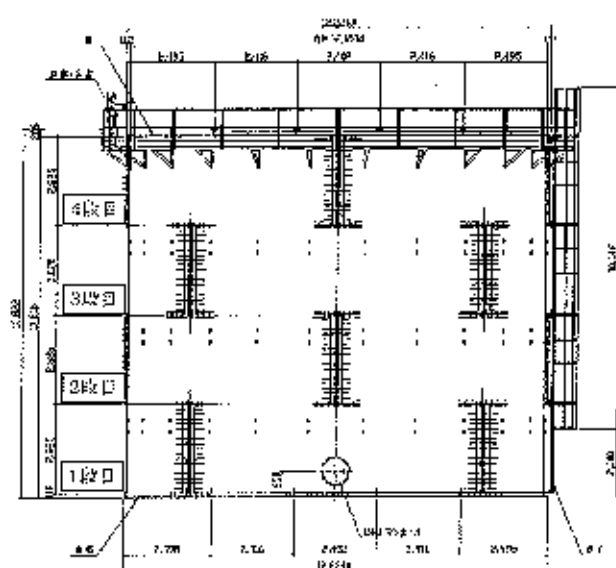
# 放射線管理記録

( 1/2 )

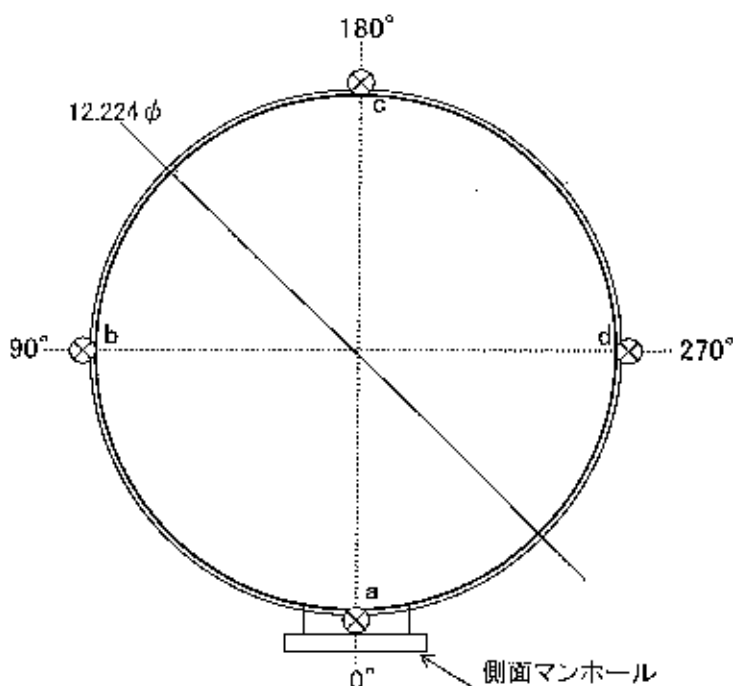
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所	Eエリア				測定者		
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-A8 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-104	
					測定器	F1-ICWBL-115	
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 9 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック) (上) (下) (マスク) (全面・フード)	
コード	番号	出力	MW	停止後			

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 平面図 (2/2) 100%



Eエリア A8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ロ ド	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ロ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A8	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.004
			$\beta \gamma$ 線	0.004
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.003
			$\beta \gamma$ 線	0.003
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.006	
$\beta \gamma$ 線		0.006		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	35.2%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

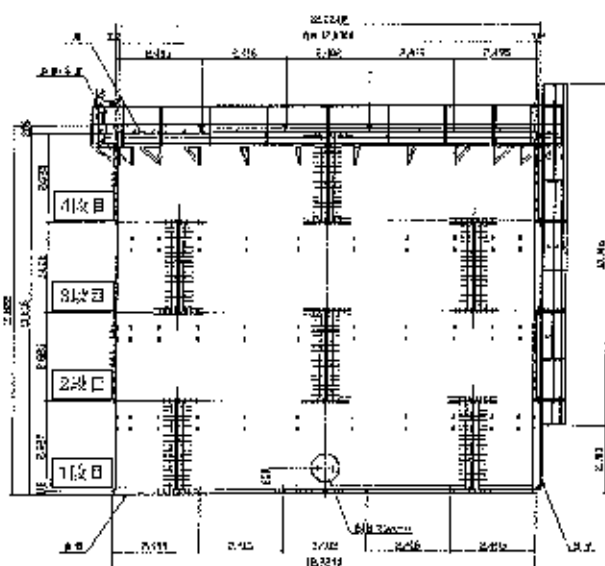
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

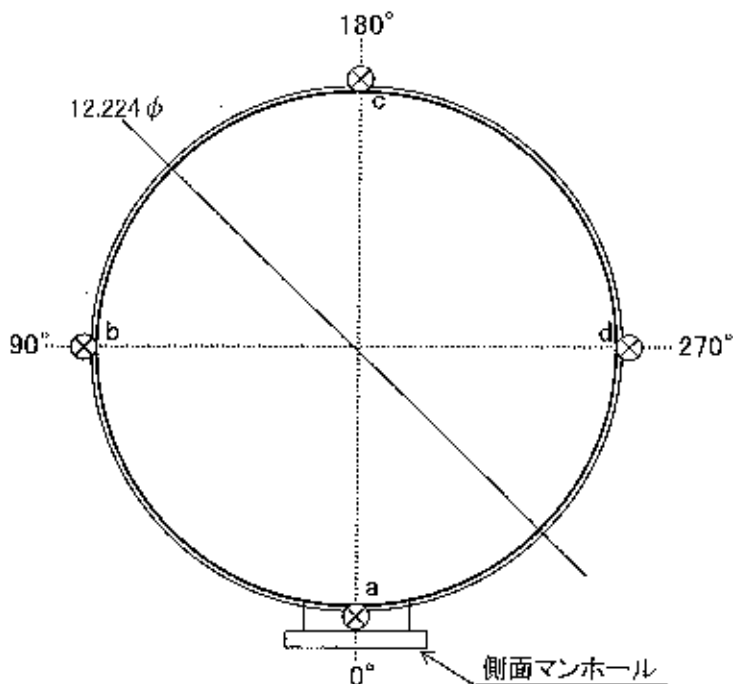
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		線量率測定、目視検査 (E-A9 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-115
測定日時		平成28年2月6日 9時50分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイバック, タイバック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)
コード	番号	出力	MW	停止後	日	

×: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



Eエリア A9タンク 平面図



側面マンホール

## 測定条件

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	計/B	F	L
作業内容 (測定目的)		測定者			
		測定器			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック プロテクト(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA9タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A9	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.005
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.007	
		$\beta \gamma$ 線	0.007	
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	35.2%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



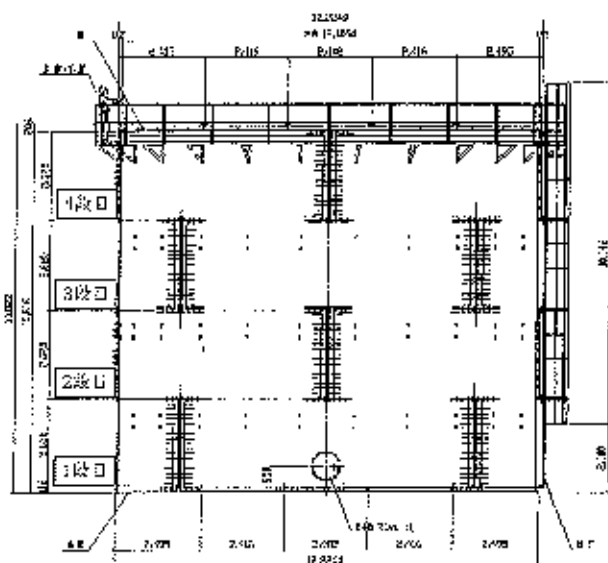
# 放射線管理記録

( 1/2 )

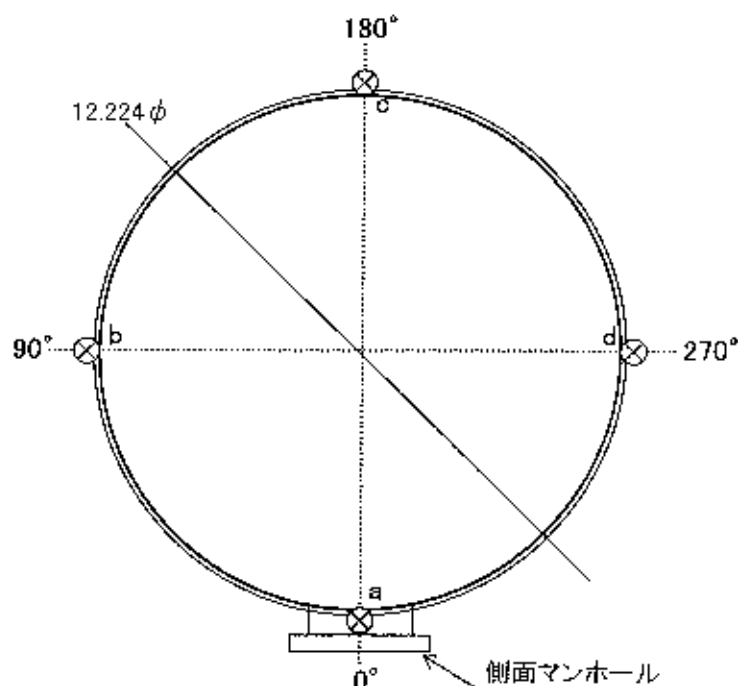
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-A10 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-104 F1-ICWBL-115
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 10 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) (2/2)



Eエリア A10タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ イ ド	4/8	F.L.	測定者
作業内容 (測定目的)		コ イ ド			測定器
測定日時		平成	年	月	日
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアA10タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	A10	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.015
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.008		
	$\beta \gamma$ 線	0.008		
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	35.3%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

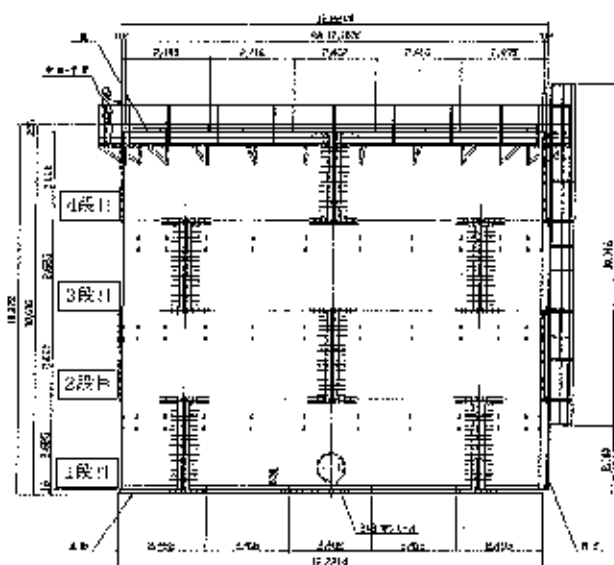
# 放射線管理記録

( 1/2 )

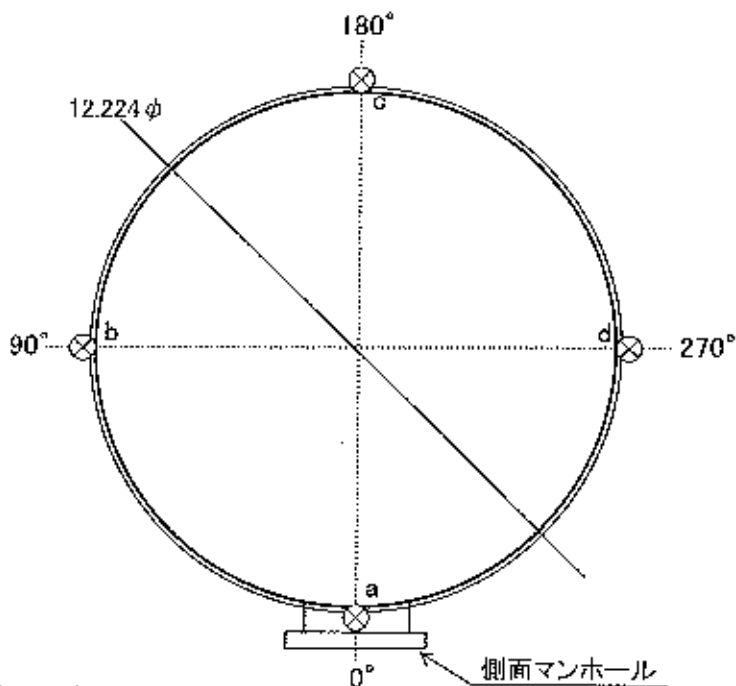
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-B1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-100 F1-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 8 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (ノラック) (上) (下), (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (参照)



Eエリア B1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ロ ド	号 / 日	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ロ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
				日	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)  
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)  
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアB1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	B1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.021
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.030
			$\beta \gamma$ 線	0.030
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.026
			$\beta \gamma$ 線	0.026
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta \gamma$ 線	0.023
		側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta \gamma$ 線	0.023
測定時間	8:30~8:40			
タンク内水位	0.1%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

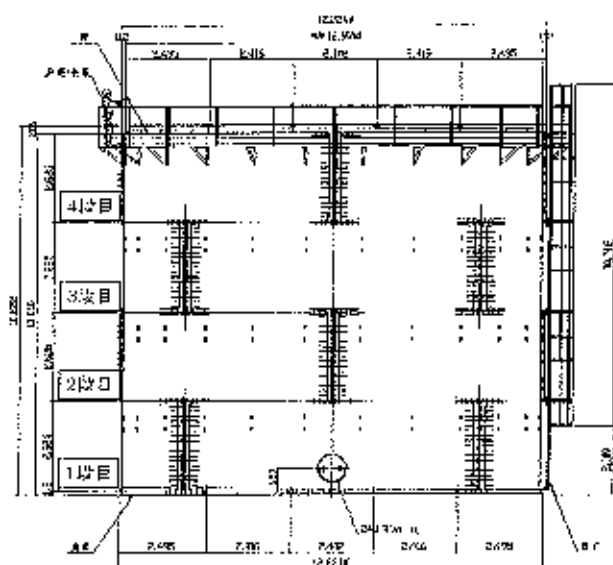
# 放射線管理記録

( 1/2 )

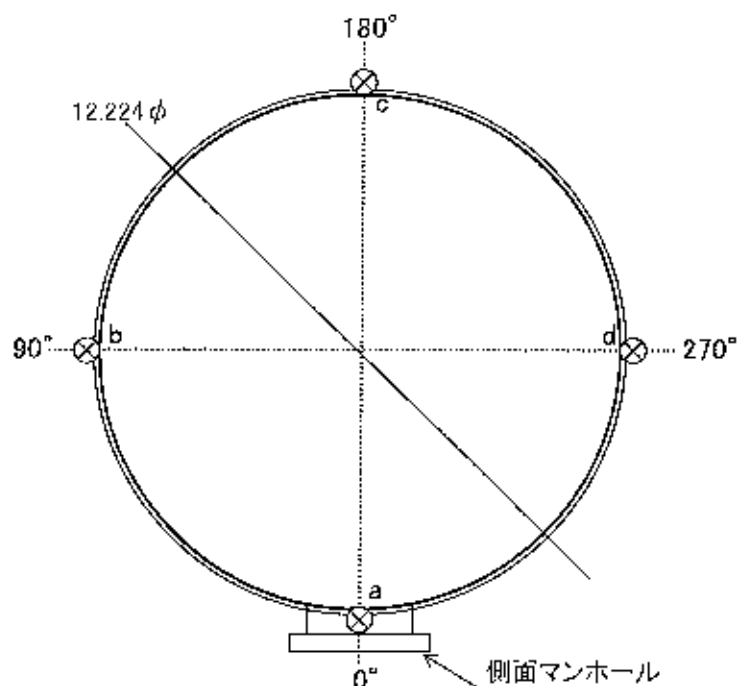
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( E-B2 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-100 F1-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 8 時 40 分				区域区分	線量 : 1, 2, 3 汚染 : A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服 : A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アラック (上) (下), (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 点検図 (ICW-100)



Eエリア B2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
区域区分						線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
防護装備						一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアB2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	B2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.019
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.018
			$\beta \gamma$ 線	0.018
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.026
			$\beta \gamma$ 線	0.026
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.018	
$\beta \gamma$ 線		0.019		
測定時間	8:40~8:50			
タンク内水位	0.6%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

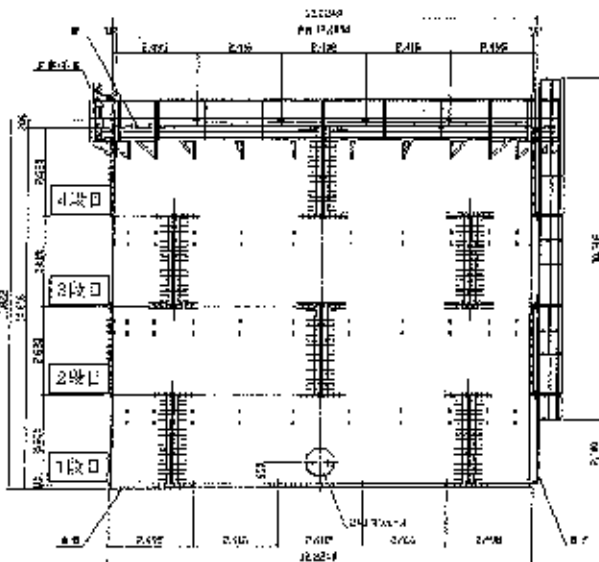
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

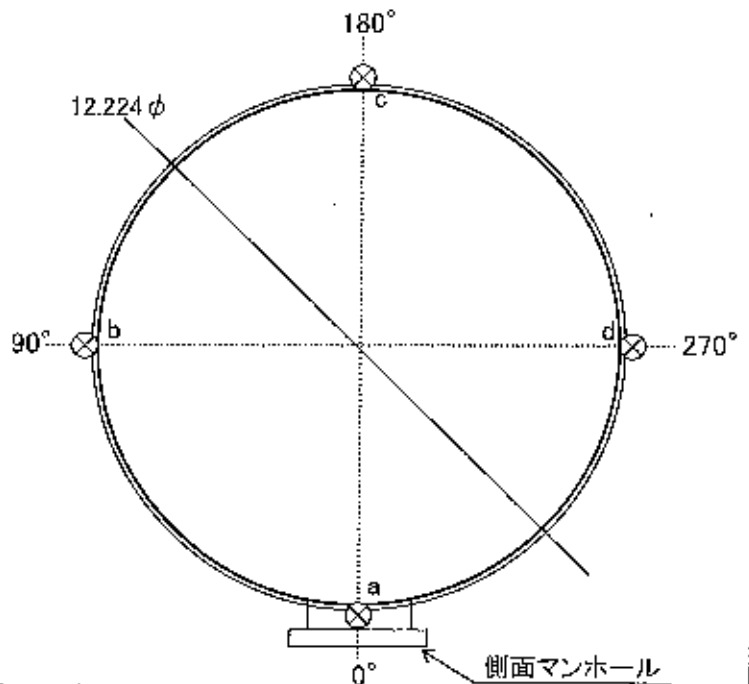
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (E-B3 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-100 F1-ICWBL-6
測定日時	平成28年2月6日 8時50分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック) (上) (下), (マスク) (全面・フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 15-2001



Eエリア B3タンク 平面図



側面マンホール

## ＜測定条件＞

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アノック(上・下), マスク(全面・7・ト)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアB3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	B3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.020
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.013
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.030	
$\beta \gamma$ 線		0.030		
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	-%(158mm)			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



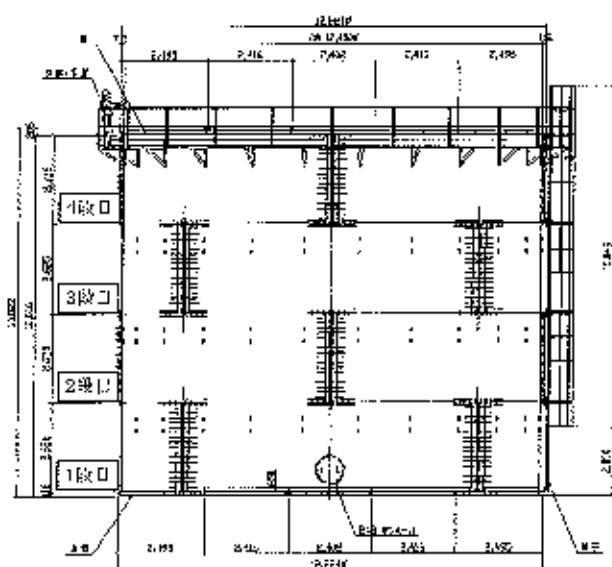
# 放射線管理記録

( 1/2 )

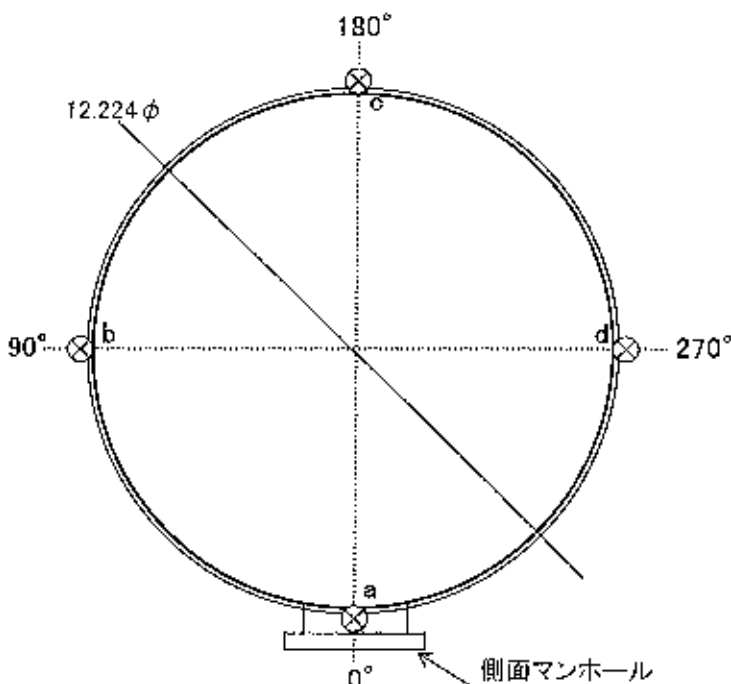
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-B4 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	F1-ICW-100
					測定器	F1-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 9 時 00 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイラック アノラック (上, 下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 正面図 (2023.1)



Eエリア B4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名						測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所						測定者	
作業内容 (測定目的)						測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック プロテクト(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアB4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

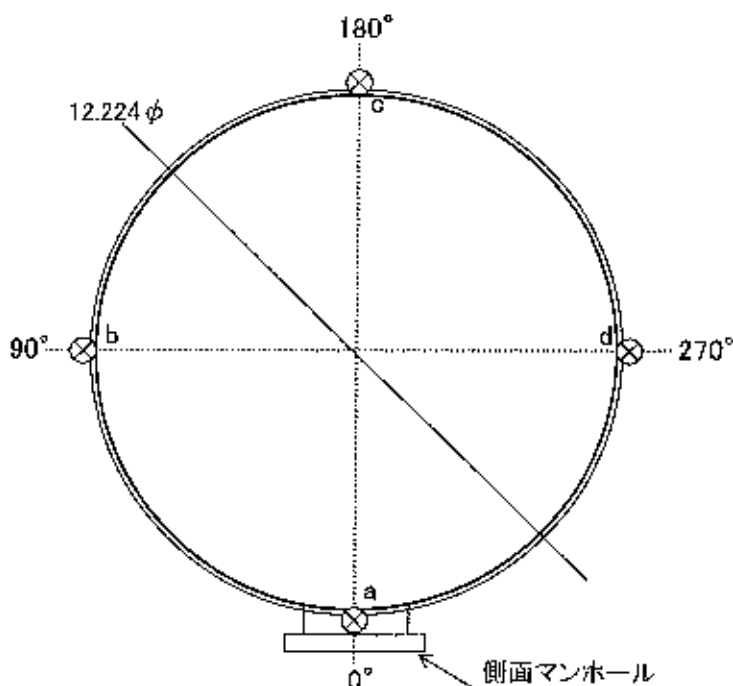
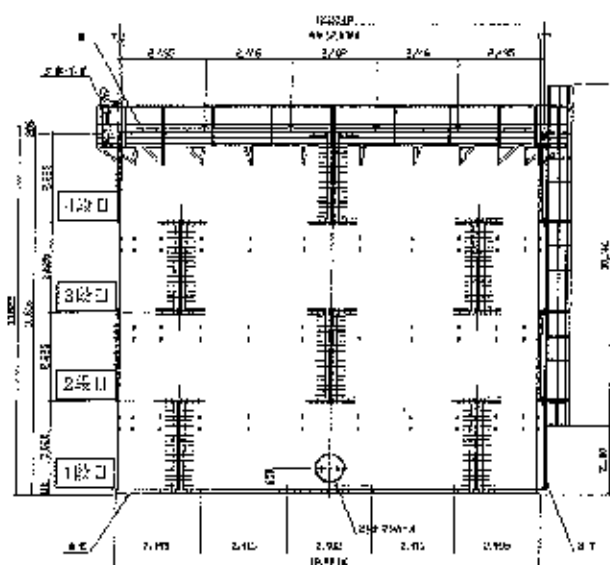
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	B4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.017
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta \gamma$ 線	0.023
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.019
			$\beta \gamma$ 線	0.025
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.018		
	$\beta \gamma$ 線	0.019		
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	0.4%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$(1/2)$ 

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

Eエリア B5タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアB5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	B5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.021
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.020
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.020
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.020
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.020	
		$\beta \gamma$ 線	0.022	
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	0.3%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

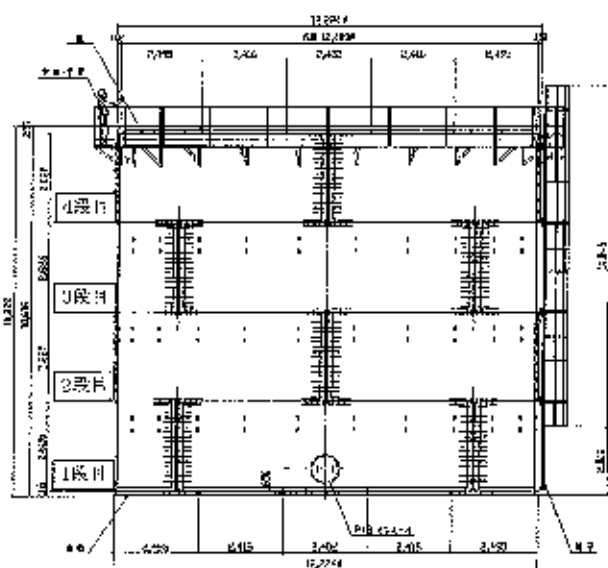
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

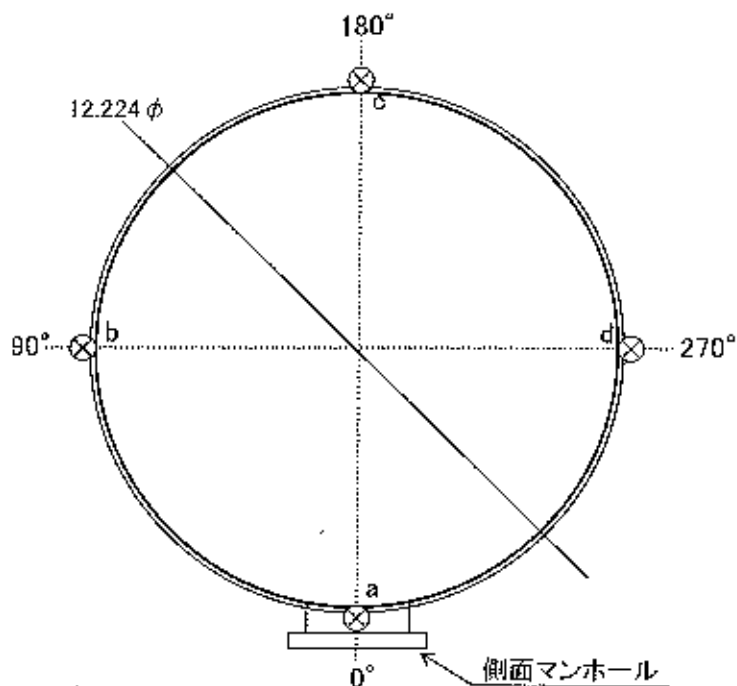
作業件名		1F 1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Eエリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 (E-B6 円筒フランジタンク、側面マンホール)		測定器	F1-ICW-100 F1-ICWBL-6
測定日時		平成 28 年 2 月 6 日 9 時 20 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アザック(上), (下), マスク(全周・フード)
コード	番号	出力	MW 停止後	日	

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ( )：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



Eエリア B6タンク 平面図



側面マンホール

## ＜測定条件＞

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> γ	<input type="checkbox"/> β	<input type="checkbox"/> ダスト	<input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者				
作業内容 (測定目的)					測定器				
測定日時	平成	年	月	日	時	分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名	RWA	電気	原子炉	停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フード)		

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアB6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	B6	a (0° 側)	γ線	0.010
			β γ線	0.014
		b (90° 側)	γ線	0.017
			β γ線	0.019
		c (180° 側)	γ線	0.017
			β γ線	0.017
		d (270° 側)	γ線	0.018
			β γ線	0.018
側面マンホール (最下部)	γ線	0.013		
	β γ線	0.015		
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	0.5%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

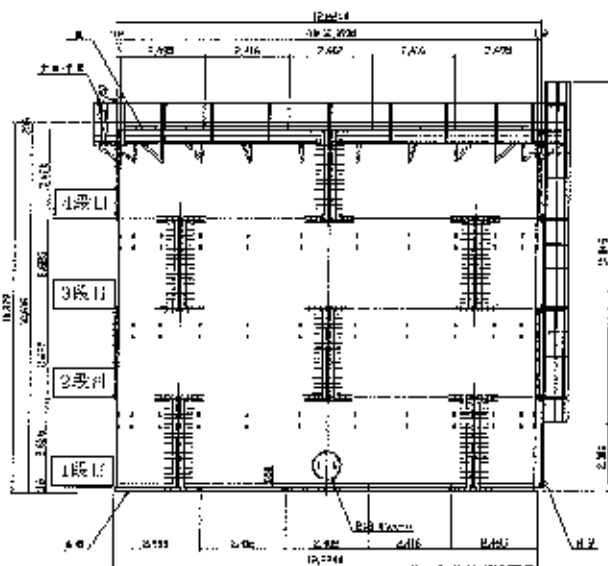
# 放射線管理記録

( 1/2 )

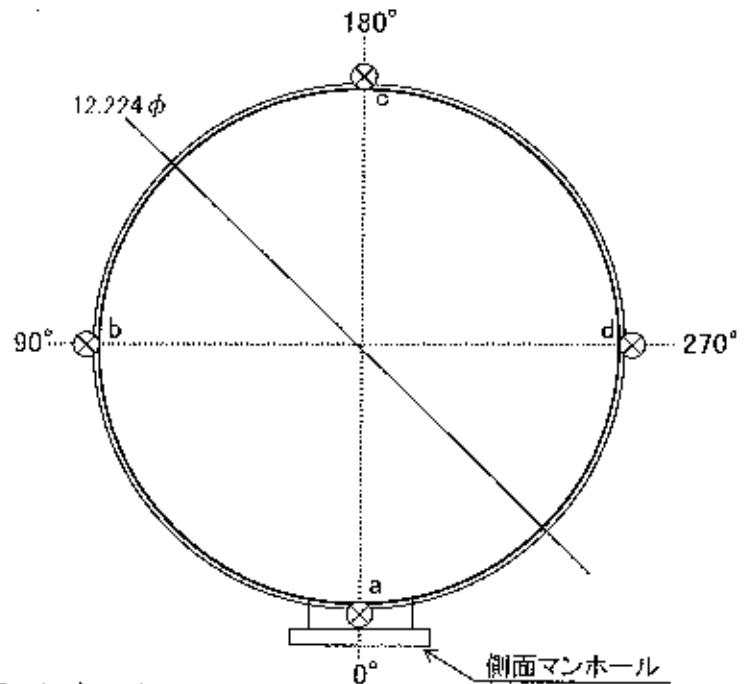
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E B7 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	F1-ICW-100
				測定器	F1-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 2 月 6 日 9 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライズ (上, 下), マスク (全面・フット)
コード	番号	出力	MW 停止後		

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント      △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) (1/2)



Eエリア B7タンク 平面図



側面マンホール

## ＜測定条件＞

雨天時の測定器 (ICW, ICWBL) 損傷防止のため、ビニール袋 (0.03mm) で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアB7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	B7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.021
			$\beta \gamma$ 線	0.021
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta \gamma$ 線	0.022
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.016		
	$\beta \gamma$ 線	0.016		
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	0.5%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



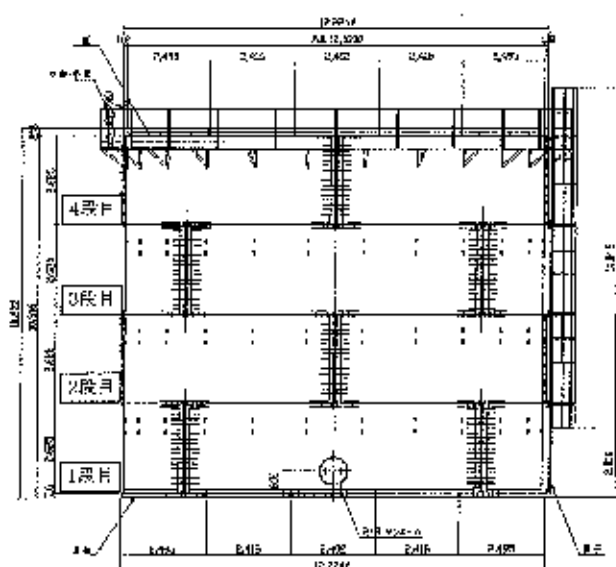
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

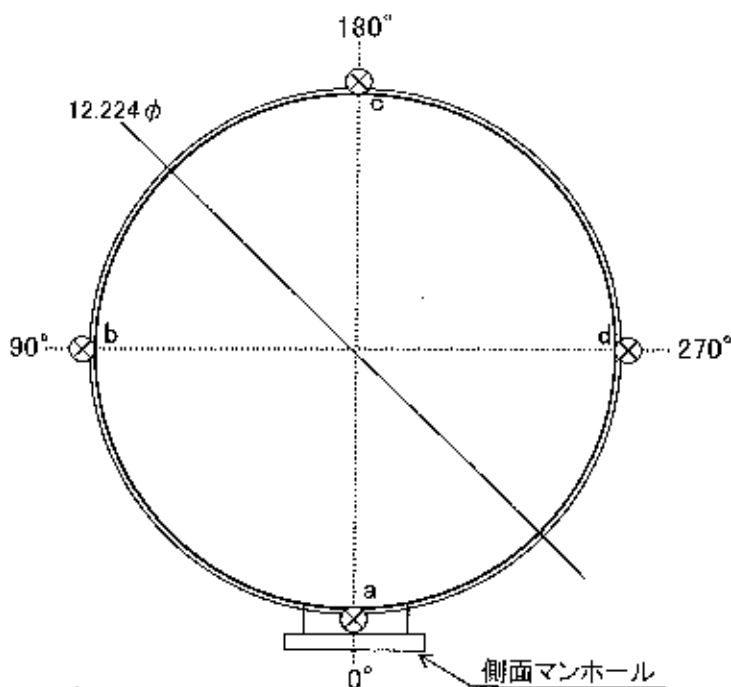
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (E-B8 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	F1-ICW-100
				測定器	F1-ICWBL-6
測定日時	平成28年2月6日 9時40分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アブレッタ(上), (下), マスク(全面・フード)
コード	番号	出力	MW 停止後		

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (参照)



Eエリア B8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	測定者		
作業内容 (測定目的)		コード	測定器		
測定日時		平成 年 月 日 時 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアB8タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	B8	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.016
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.012	
$\beta \gamma$ 線		0.012		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	0.5%			
タンク堰内水深	3cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

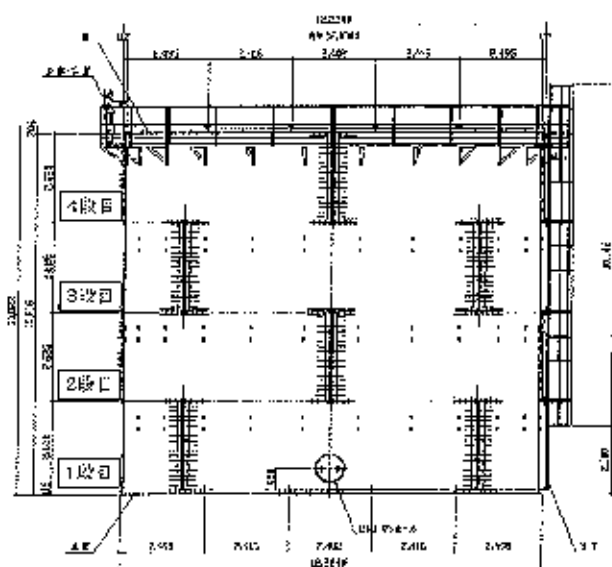
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

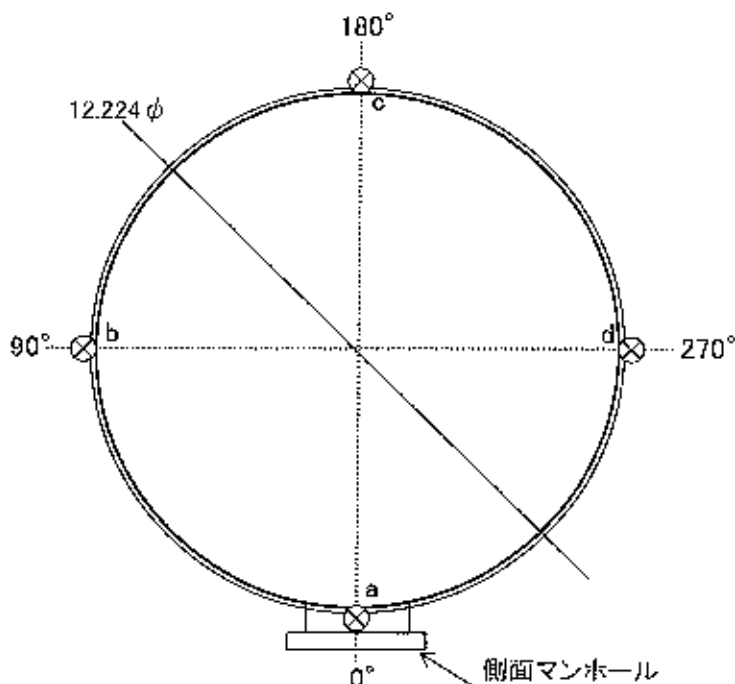
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( 1F-C1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-286 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 10 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック メガネ (上) (下), マスク (全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm単位)



Eエリア C1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアC1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

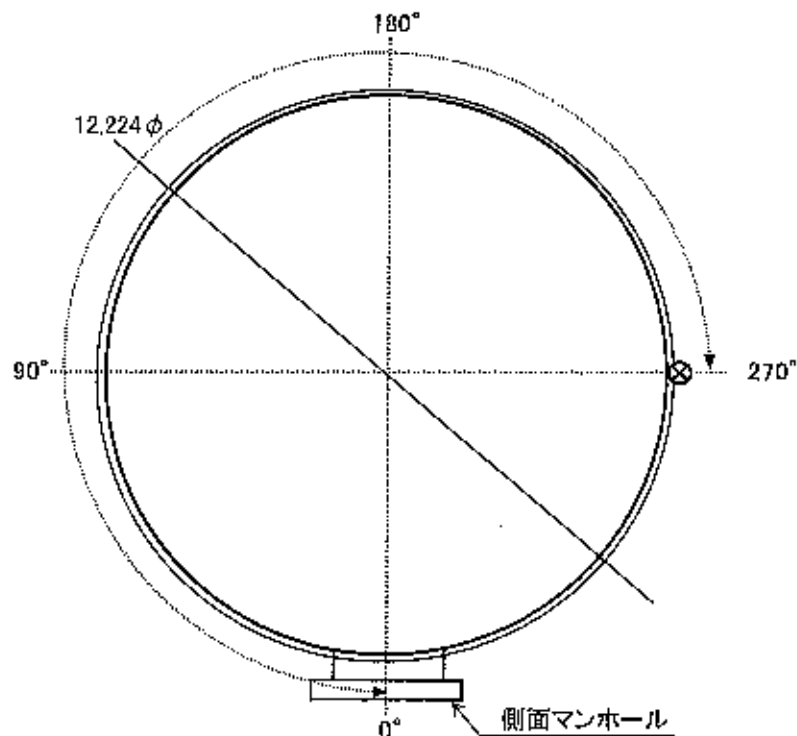
エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C1	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.023
			$\beta \gamma$ 線	0.027
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta \gamma$ 線	0.022
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.019
			$\beta \gamma$ 線	0.022
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.140
			$\beta \gamma$ 線	0.150
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.025		
	$\beta \gamma$ 線	0.027		
測定時間	10:50~11:00			
タンク内水位	0.1%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP 3 9 8 検査記録参照  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

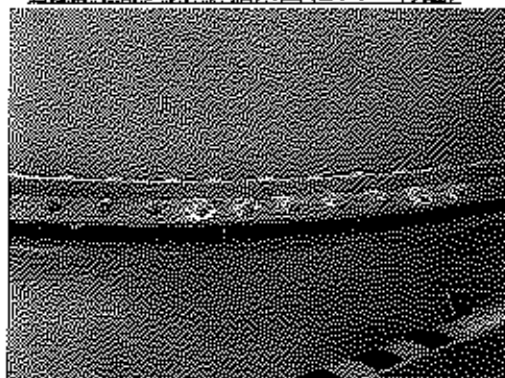
# 検 査 記 録

発電所名	東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 1~4号機	東京電力㈱ 記録確認者	QC 主技担当
対象機器	Eエリア C1タンク		
検査項目	目視検査	2016.3.17	2016.3.15/2.15

Eエリア C1タンク 平面図



1段目下部フランジ拡大図(270° 付近)



測定器: リーコウ ICW-286 F1-ICWBL-62  
単位: mSv/h

No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	1段目下部フランジ(270° 付近)	0.14	0.15

タンク堰内: 水深0cm(側面マンホール前)にて測定  
・タンク内: 水位0.1%

◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に漏れ、にじみ等は確認されなかった。

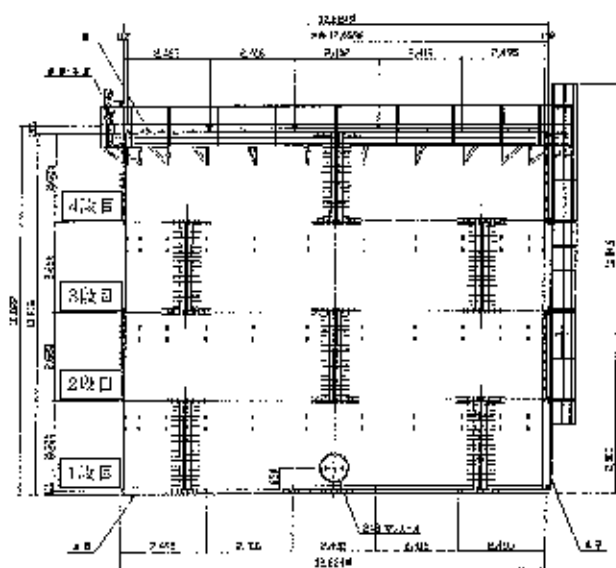
# 放射線管理記録

( 1/2 )

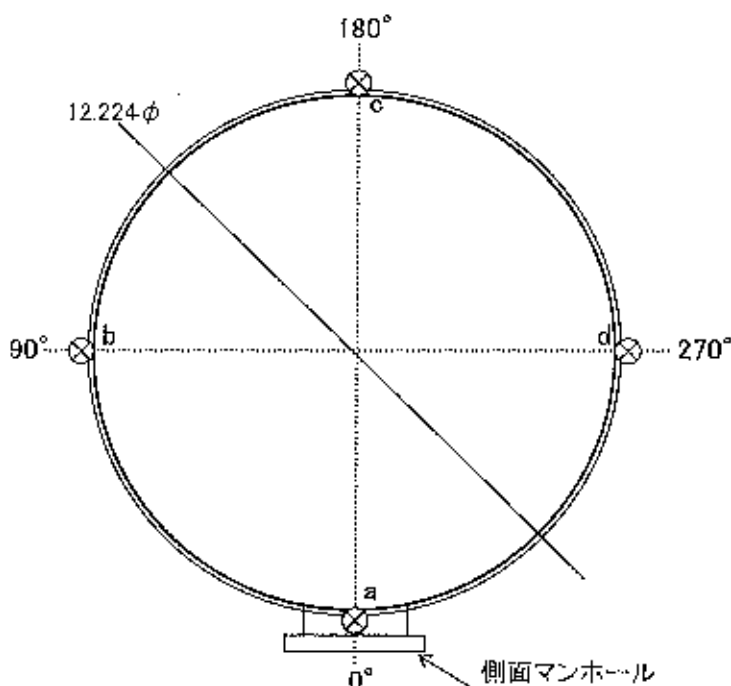
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-C2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-286 FI-ICWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 10 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タイアック ノラック (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 1/2000



Eエリア C2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック フット(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアC2タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.024
			$\beta \gamma$ 線	0.026
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.035
			$\beta \gamma$ 線	0.035
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.016	
$\beta \gamma$ 線		0.016		
測定時間	10:40~10:50			
タンク内水位	0.6%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

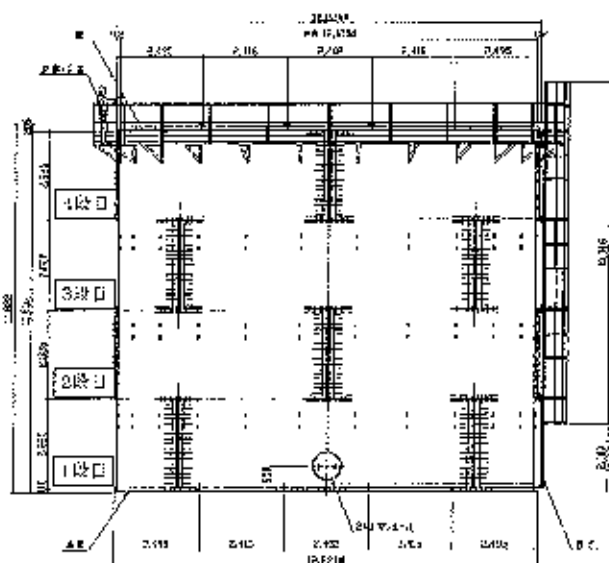
# 放射線管理記録

1/2

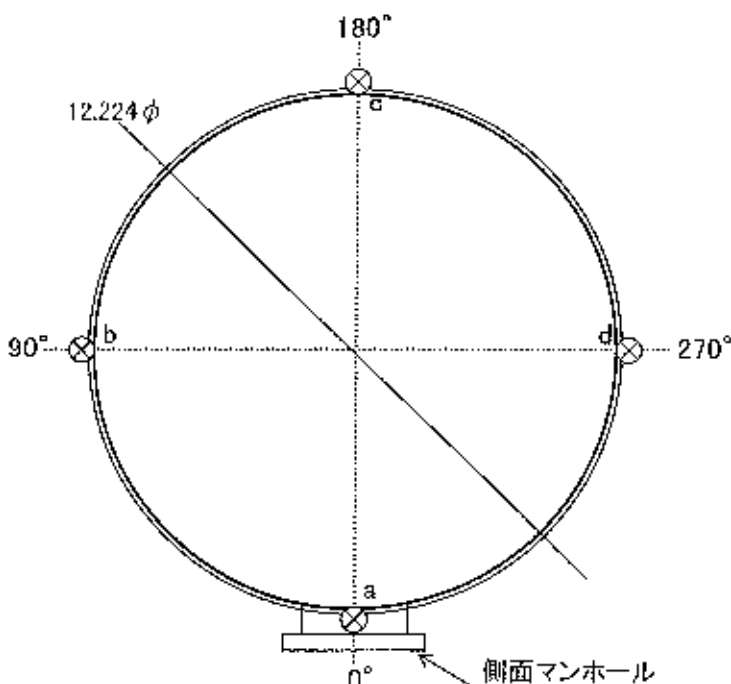
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (E-C3 円筒フランジタンク、側面マンホール)				測定器	リ-CW-286 FI-CWBL-62
測定日時	平成28年3月14日 10時30分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上, 下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) 次紙参照



Eエリア C3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> γ <input type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成 年 月 日 時 分	区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D			
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アノラック(上・下), マスク(全面・フード)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアC3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C3	a (0° 側)	γ 線	0.012
			β γ 線	0.055
		b (90° 側)	γ 線	0.009
			β γ 線	0.010
		c (180° 側)	γ 線	0.013
			β γ 線	0.015
		d (270° 側)	γ 線	0.016
			β γ 線	0.016
	側面マンホール (最下部)	γ 線	0.016	
β γ 線		0.016		
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	—%(144mm)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

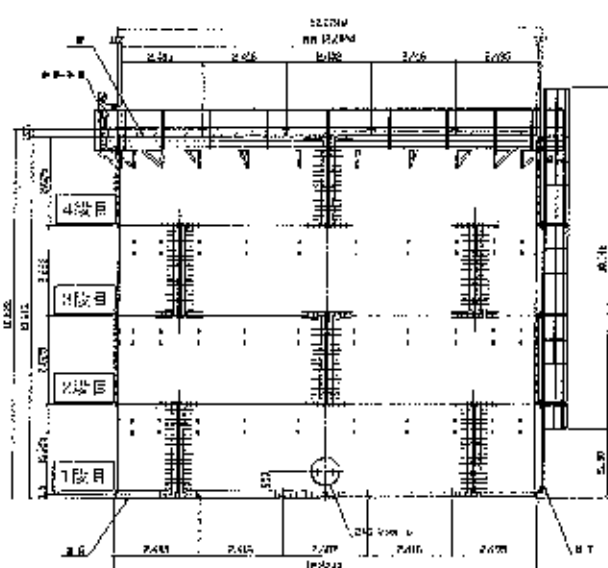
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

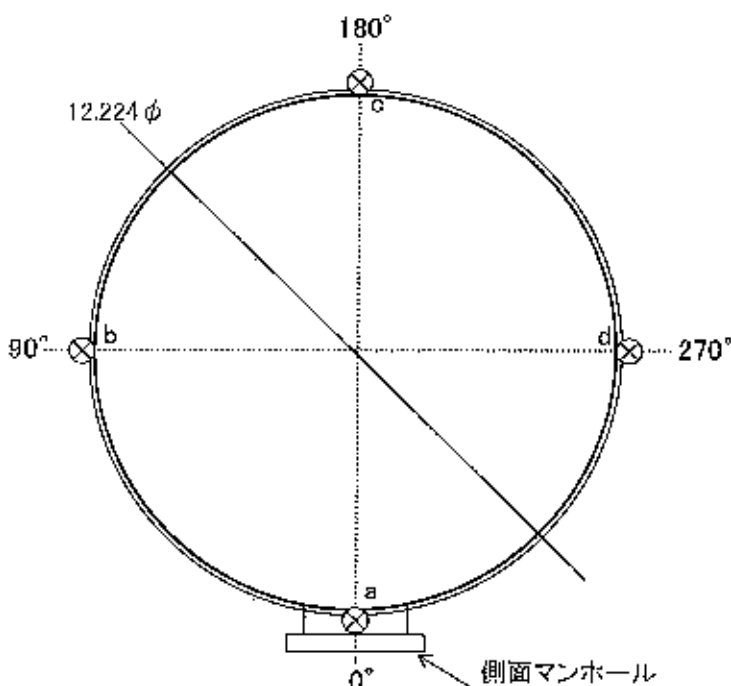
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (E-C4 円筒フランジタンク、側面マンホール)				測定器	リ-ICW-286
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成28年3月14日 10時20分				区域区分	線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上), (下), (マスク), (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2)



Eエリア C4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック ア/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント  
(Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアC4タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.010
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.017
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.016
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.012	
$\beta$ $\gamma$ 線		0.012		
測定時間	10:20～10:30			
タンク内水位	0.5%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

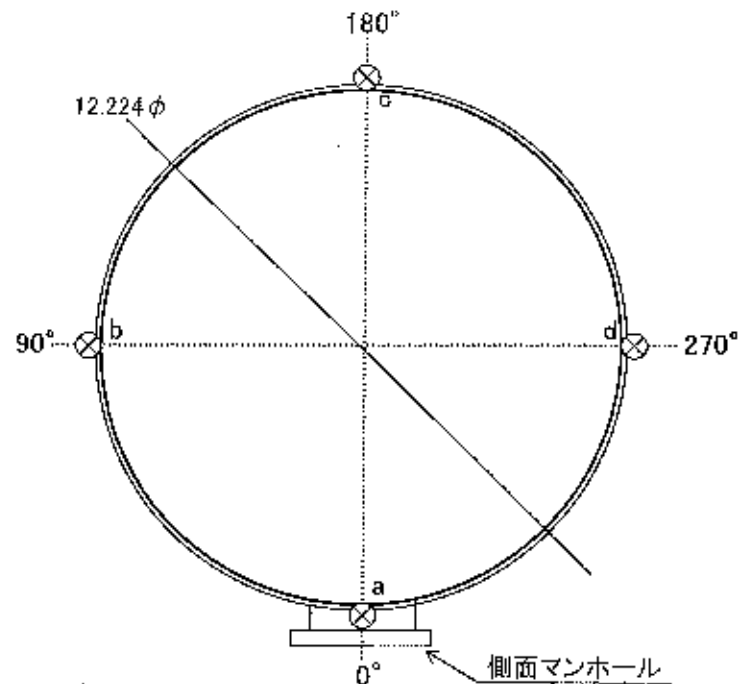
◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

$$\left( \frac{1}{2} \right)$$

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

Eエリア C.5タンク 平面図



側面マンホール

雨天時の測定器(ICW、ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					防護装備
					線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック グラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアC5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.019
			$\beta \gamma$ 線	0.019
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.022
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.015		
	$\beta \gamma$ 線	0.015		
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	0.6%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

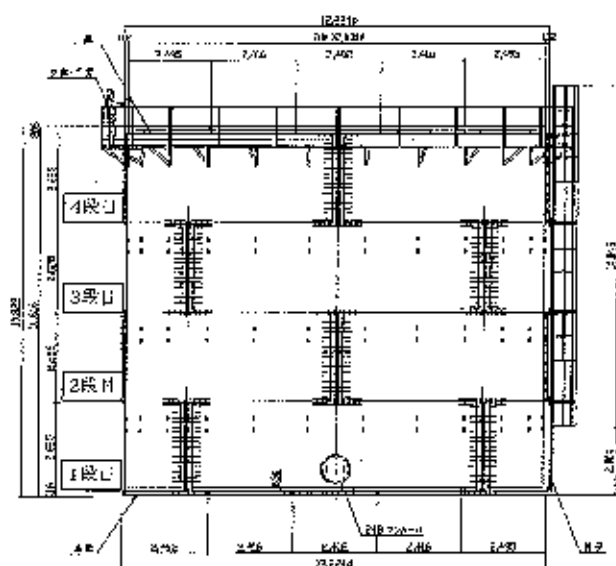
# 放射線管理記録

( 1/2 )

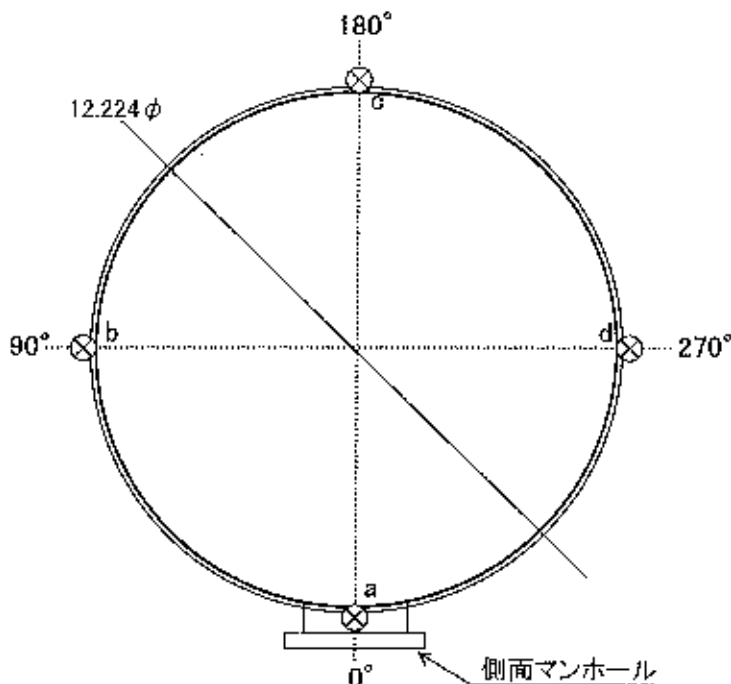
作業件名	1F...1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-C6 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-CW-286
					測定器	F1-CWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 8 時 40 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(E), (下), (マスク)(全面・フード)
コード	番号	出力	MW	停止後		

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Eエリア C6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input checked="" type="checkbox"/> ฝุ่น <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック ブラック(上・下), マスク(全面・フット)	
件名	RWA	電気	原子炉		
コード	番号	出力	MW	停止後	日

X: 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △: ฝุ่นポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアC6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C6	a (0° 側)	γ線	0.009
			β γ線	0.013
		b (90° 側)	γ線	0.022
			β γ線	0.022
		c (180° 側)	γ線	0.011
			β γ線	0.012
		d (270° 側)	γ線	0.017
			β γ線	0.017
		側面マンホール (最下部)	γ線	0.013
			β γ線	0.013
測定時間	8:40~8:50			
タンク内水位	0.7%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

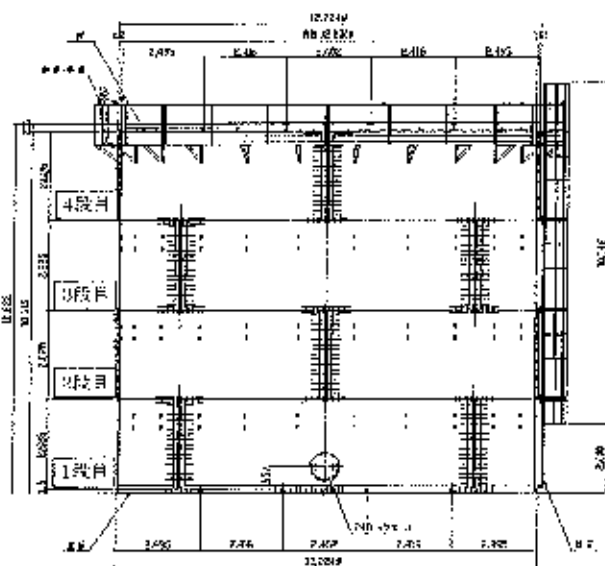
# 放射線管理記録

( 1/2 )

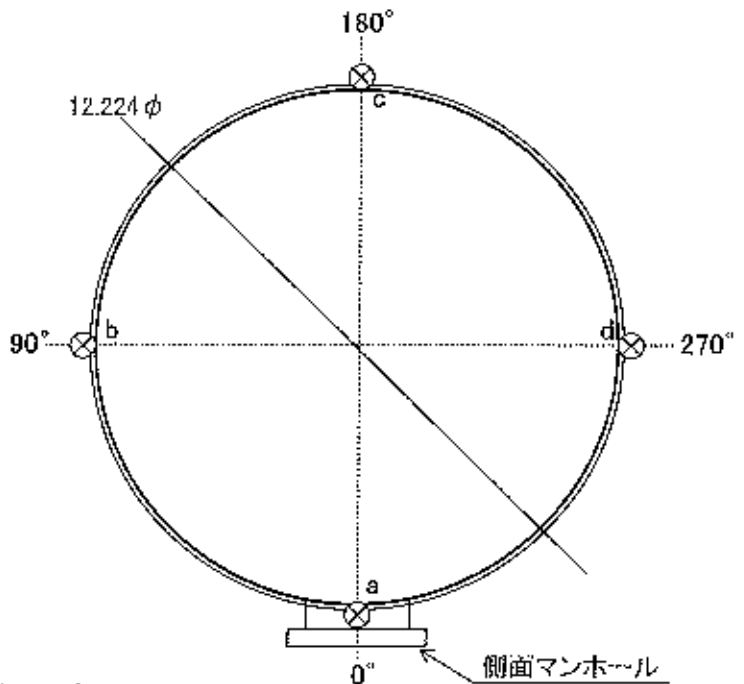
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( E-C7 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-286 F1-CWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 8 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アラック (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク (直径φ12,224)



Eエリア C7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアC7タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C7	a (0° 側)	γ 線	0.006
			β γ 線	0.011
		b (90° 側)	γ 線	0.016
			β γ 線	0.016
		c (180° 側)	γ 線	0.017
			β γ 線	0.017
		d (270° 側)	γ 線	0.017
			β γ 線	0.017
	側面マンホール (最下部)	γ 線	0.009	
β γ 線		0.011		
測定時間	8:30~8:40			
タンク内水位	0.7%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

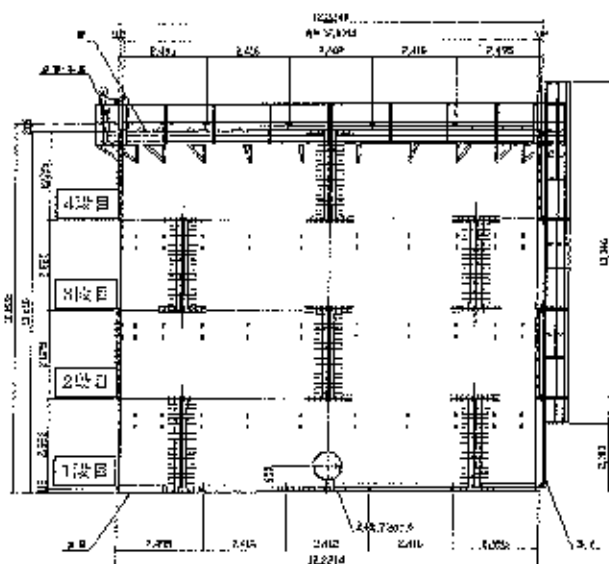
# 放射線管理記録

( 1/2 )

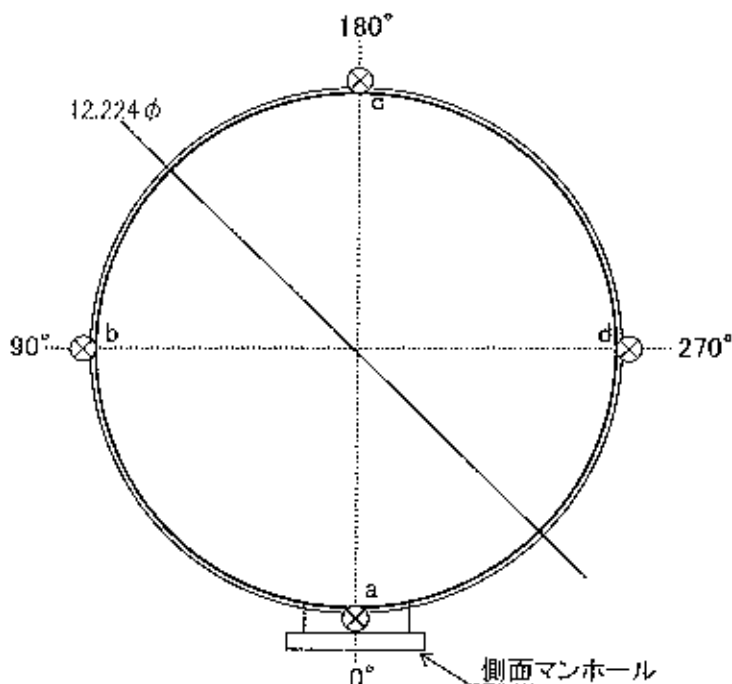
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-C8 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-286
				測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 8 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(E), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) (2/2)



Eエリア C8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	防護装備
コード	番号	出力	MW	停止後	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアC8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C8	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.017
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.017
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.014	
$\beta \gamma$ 線		0.015		
測定時間	8:15~8:30			
タンク内水位	0.6%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

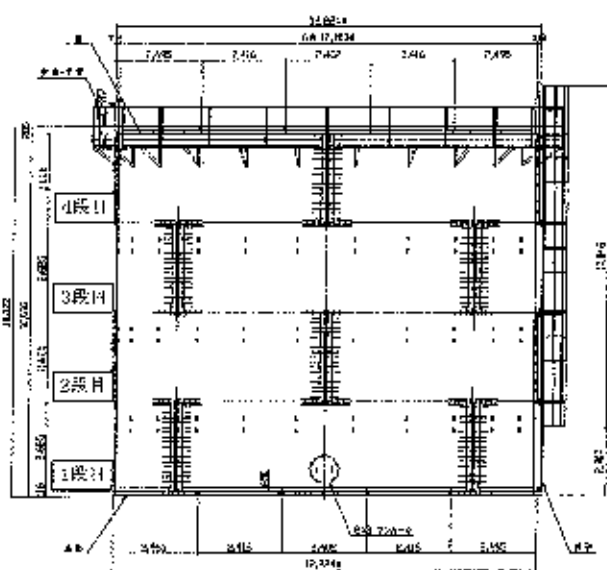
# 放射線管理記録

( 1/2 )

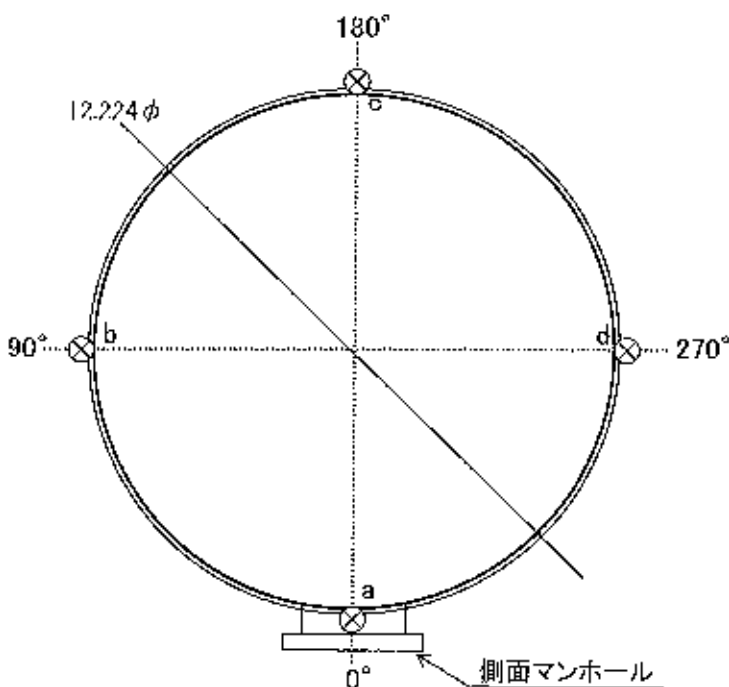
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-C9 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 FI-CWBL-6
測定日時	平成 28 年 3 月 15 日 8 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上, 下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



Eエリア C9タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		3 1 0	#/B	FL	測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量… 1, 2, 3 汚染… A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック 7/ラック(上・下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアC9タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C9	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.021
			$\beta \gamma$ 線	0.021
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.011	
$\beta \gamma$ 線		0.014		
測定時間	8:40~8:50			
タンク内水位	0.7%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

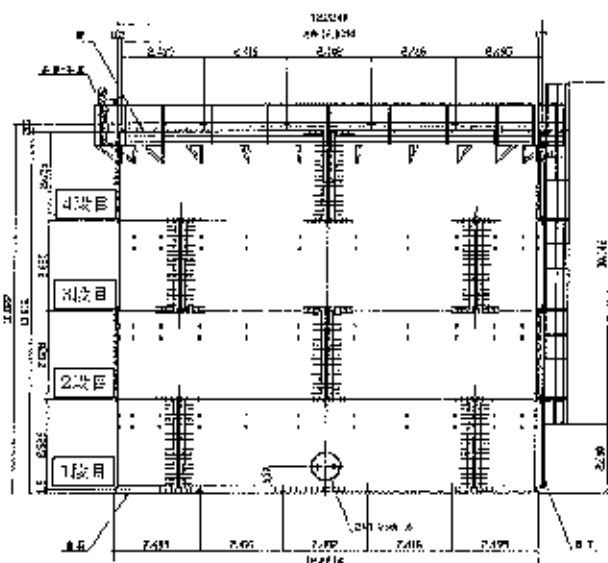
# 放射線管理記録

( 1/2 )

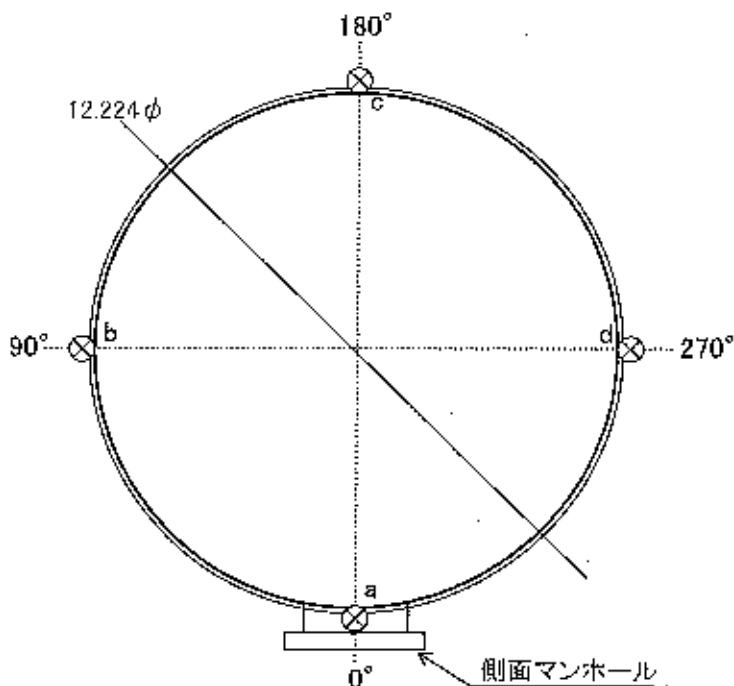
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (E-C10 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	リ-ICW-286 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 10 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (2/2) (2/2)



Eエリア C10タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ド	#/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
コード				日	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアC10タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C10	a (0° 側)	γ 線	0.012
			β γ 線	0.015
		b (90° 側)	γ 線	0.012
			β γ 線	0.013
		c (180° 側)	γ 線	0.008
			β γ 線	0.009
		d (270° 側)	γ 線	0.010
			β γ 線	0.011
側面マンホール (最下部)	γ 線	0.010		
	β γ 線	0.015		
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	—%(199mm)			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

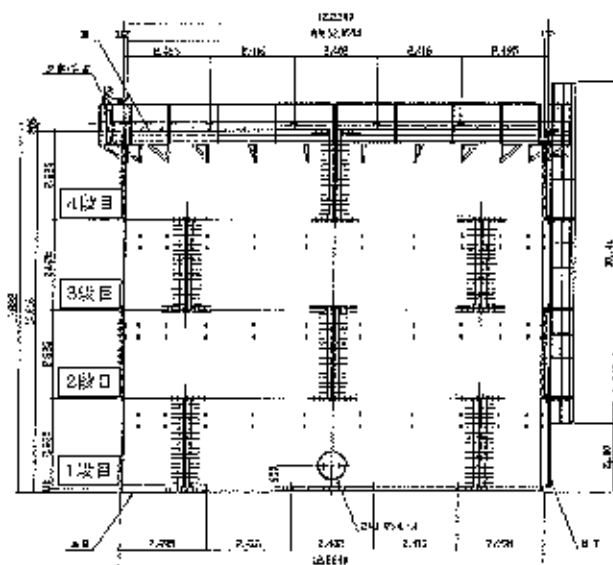
# 放射線管理記録

( 1/2 )

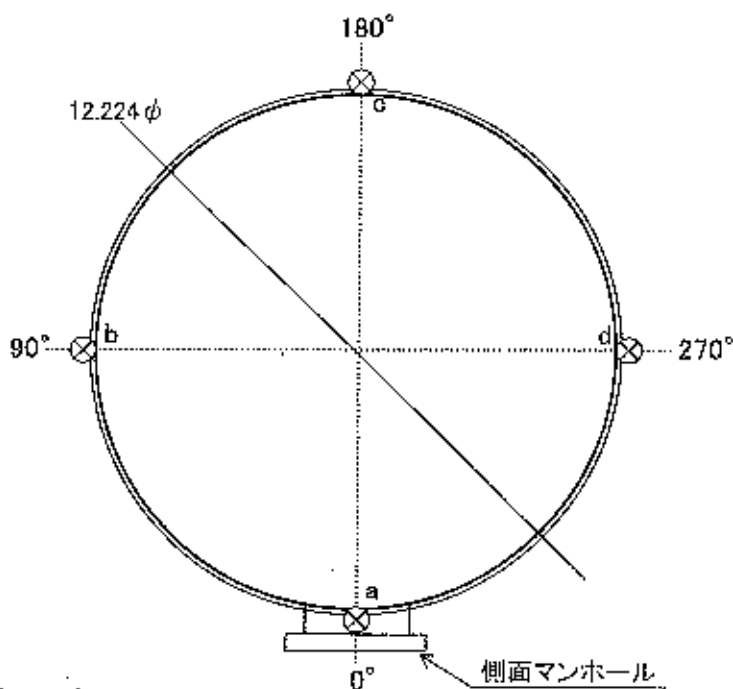
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-C11 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-286 F1-ICWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 10 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C Jム手袋, タイベック, タラック (ノラック)(上)(下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (ICWBL)



Eエリア C11タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		防護装備		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ( ) : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアC11タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	C11	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.011
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.010		
	$\beta \gamma$ 線	0.015		
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	0.4%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

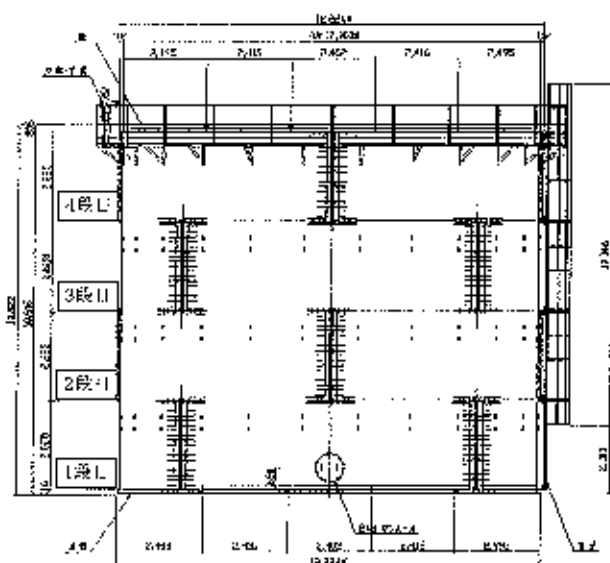
# 放射線管理記録

( 1/2 )

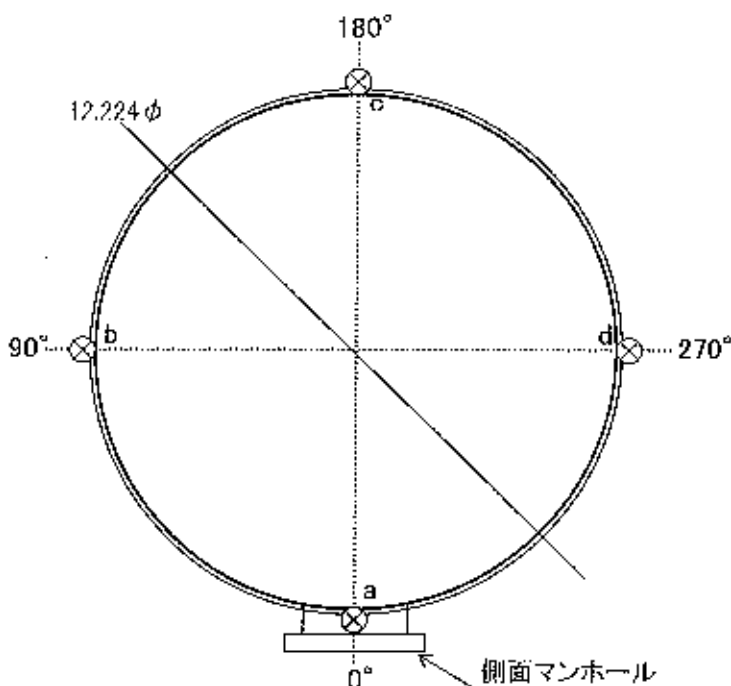
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E: D1 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-286
					測定器	F1-ICWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 9 時 20 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉		防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上), (下), マスク(全面・フード)
コード	番号	出力	MW	停止後		

X: 空間線量当量率 ⊗: 表面線量当量率 ○: スミアポイント      △: ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



Eエリア D1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コード			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名		RWA	電気	原子炉	
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		防護装備		線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアD1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D1	a (0° 側)	γ線	0.900
			β γ線	1.200
		b (90° 側)	γ線	1.500
			β γ線	1.500
		c (180° 側)	γ線	1.400
			β γ線	1.400
		d (270° 側)	γ線	1.300
			β γ線	1.800
	側面マンホール (最下部)	γ線	1.500	
		β γ線	1.600	
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	56.4%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP 4 2 1 検査記録参照  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

## 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所 1~4号機

東京電力(株)  
記録確認者

QC 主技 担当

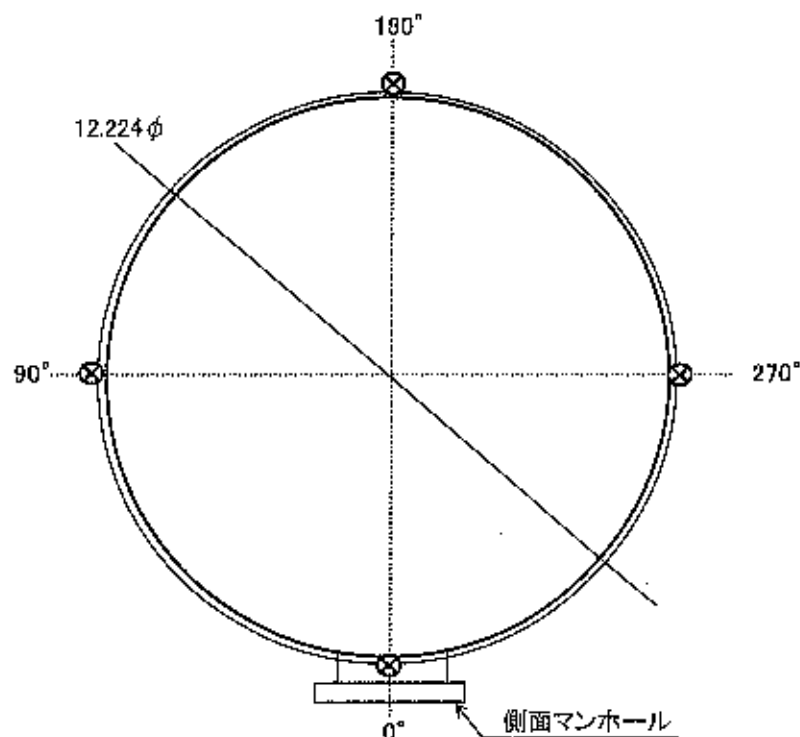
対象機器 Eエリア D1タンク

検査項目 目視検査

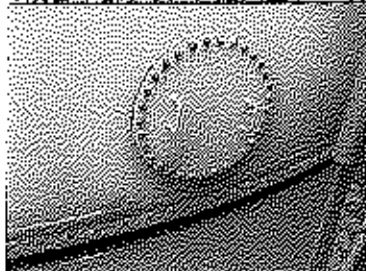
2016.3.17

2016.3.15 2016.3.15

Eエリア D1タンク 平面図



1段目下部フランジ拡大図(0° 付近)



1段目下部フランジ拡大図(90° 付近)



1段目下部フランジ拡大図(180° 付近)



1段目下部フランジ拡大図(270° 付近)



測定器: リー\_ICW-286 F1-ICWBL-62

単位: mSv/h

No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	1段目下部フランジ(0° 付近)	0.9	1.2
②	1段目下部フランジ(90° 付近)	1.5	1.5
③	1段目下部フランジ(180° 付近)	1.4	1.4
④	1段目下部フランジ(270° 付近)	1.3	1.8

タンク堀内: 水深0cm(側面マンホール前)にて測定  
-タンク内: 水位56.4%

◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に漏れ、にじみ等は確認されなかった。

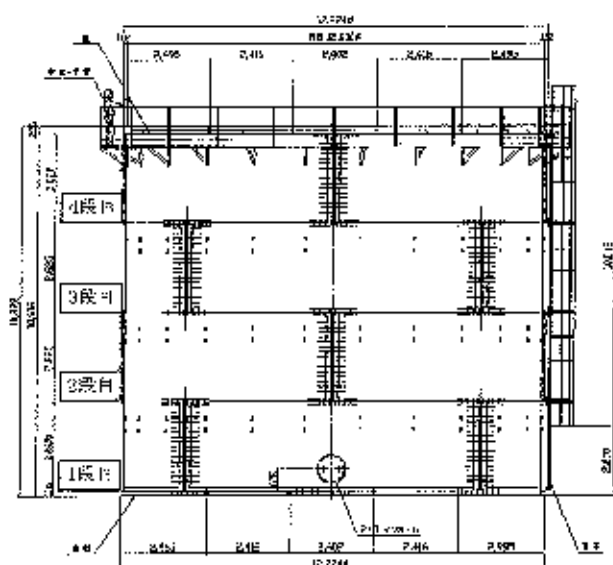
# 放射線管理記録

( 1/2 )

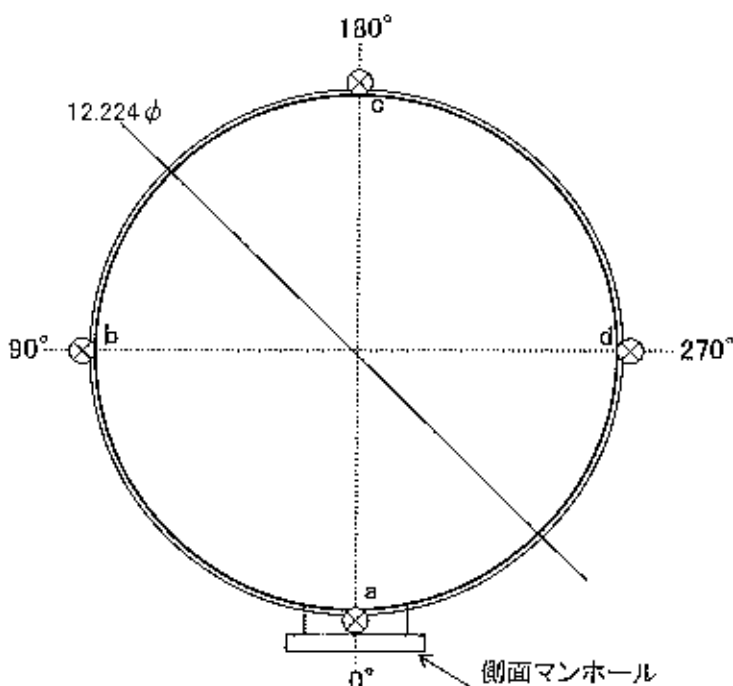
作業件名		1F 1～4号機 フランジタンク点検保守委託		測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Eエリア		測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( E-D2 円筒フランジタンク、側面マンホール )		測定器	リ-CW-286 F1-CWBL-62
測定日時		平成 28 年 3 月 14 日 9 時 30 分		区域区分	線量・ 1, 2, 3 汚染・ A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (1) 手袋 (2) タイベック (3) タイラック (4) フラッシュ (5) (上) (下) (マスク) (全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

フランジタンク 点検例 (単位:mm)



Eエリア D2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBI)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> CM直接	
測定場所		コ ロ ネ	#/B	F	L
作業内容 (測定目的)		コ ロ ネ			
測定日時		平成 年 月 日 時 分		測定者	
件名		RWA	電気	原子炉	
コード	番号	出力	MW	停止後	日
		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)	

× : 空間線量当量率    ⊗ : 表面線量当量率    ○ : スミアポイント    △ : ダストポイント  
 (mSv/h)                      (mSv/h)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)                      (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアD2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta \gamma$ 線	0.025
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.045
			$\beta \gamma$ 線	0.045
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.160
			$\beta \gamma$ 線	0.160
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.035
			$\beta \gamma$ 線	0.035
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.034		
	$\beta \gamma$ 線	0.035		
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	18.6%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP 4 2 4 検査記録参照  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

## 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所 1~4号機

対象機器 Eエリア D2タンク

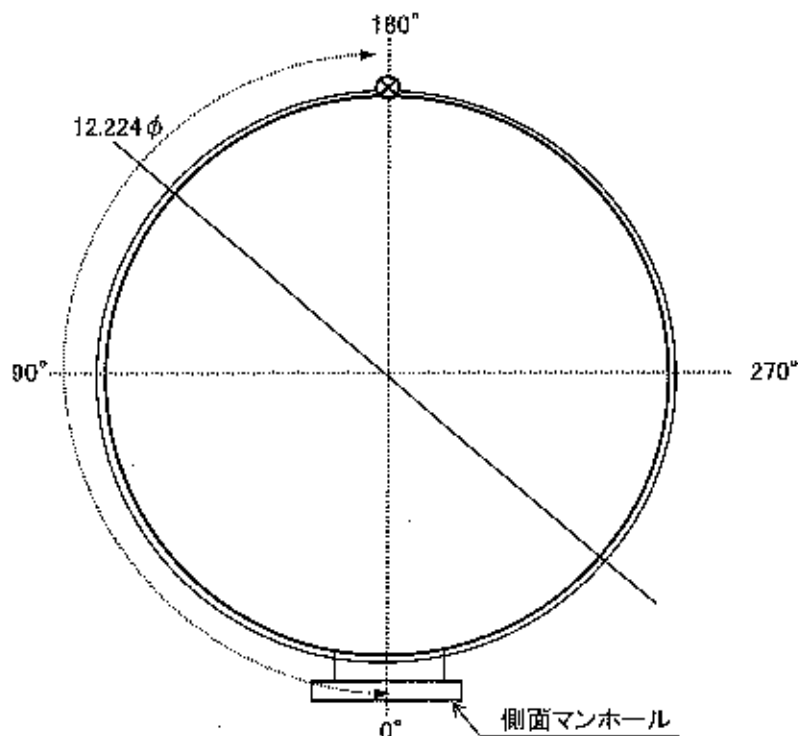
検査項目 目視検査

東京電力物  
記録確認者 Q C 主技担当

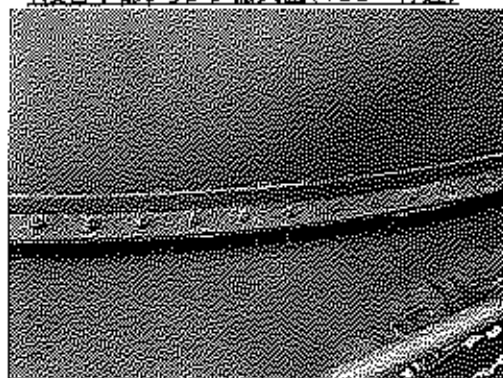
2016.3.17

2016.3.15

Eエリア D2タンク 平面図



1段目下部フランジ拡大図(180° 付近)



測定器:リ-CW-286 F1-CWBL-62

単位: mSv/h

No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	1段目下部フランジ(180° 付近)	0.16	0.16

タンク堀内:水深0cm(側面マンホール前にて測定)

・タンク内:水位18.6%

◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に漏れ、にじみ等は確認されなかった。

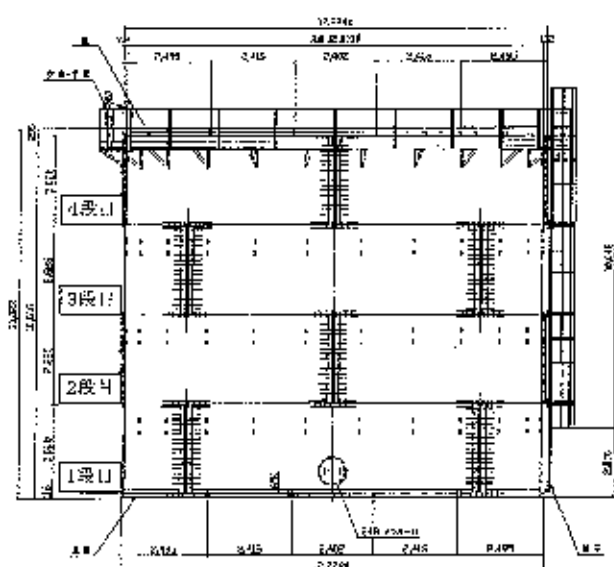
# 放射線管理記録

( 1/2 )

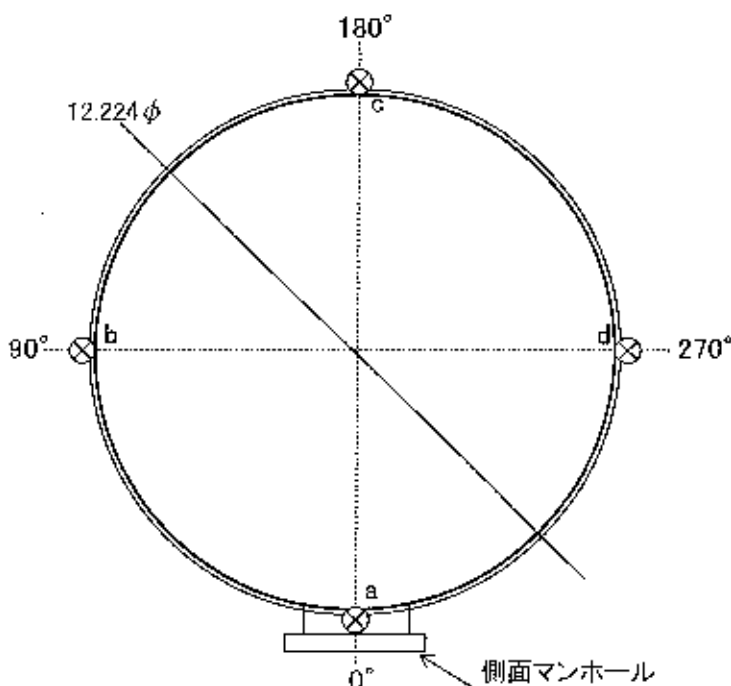
作業件名	1F 1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-D3 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ・ICW-286 F1・ICWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 9 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アフラック (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



Eエリア D3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ン タ イ ナ ー	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ン タ イ ナ ー			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
				線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備
					一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアD3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.014
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.022
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta \gamma$ 線	0.014
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.013	
$\beta \gamma$ 線		0.014		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	—% (190mm)			
タンク堰内水深	0cm (側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

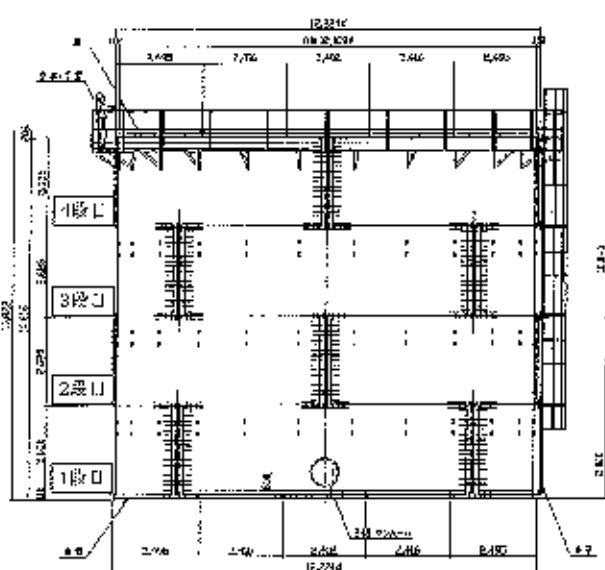
# 放射線管理記録

( 1/2 )

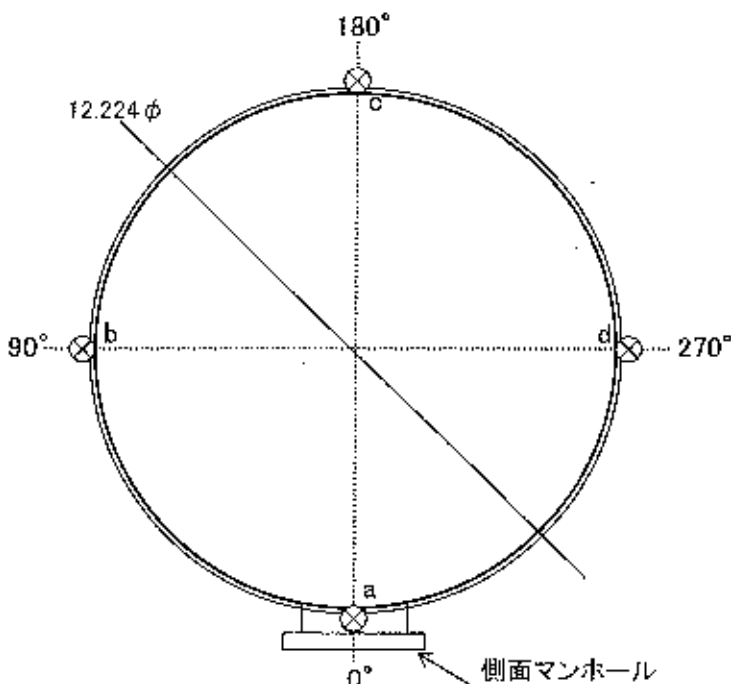
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-D4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-286 F1-CWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 8 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (1) 手袋 (2) タイベック (3) タイラック (4) ノラック (5) (上) (下) (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位: mm)



Eエリア D4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		4/B	F L		測定者	
作業内容 (測定目的)		コード			測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアD4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.021
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.019
			$\beta \gamma$ 線	0.019
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.013	
$\beta \gamma$ 線		0.013		
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	0.4%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

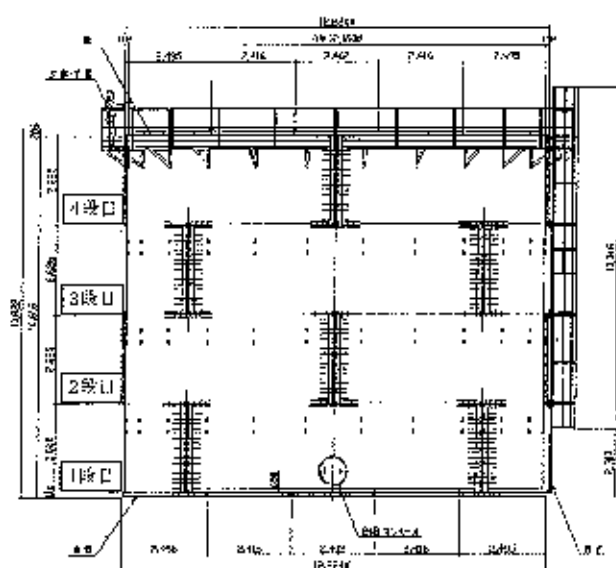
# 放射線管理記録

( 1/2 )

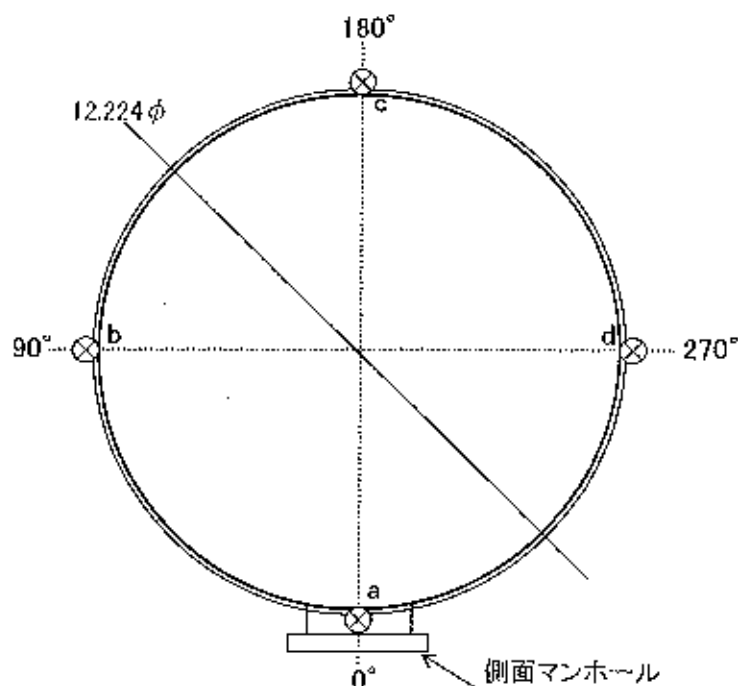
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E・D5 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-310
					測定器	Fi-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 3 月 15 日 9 時 00 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	MW	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アライカ (上) (下) (マスク) (全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm/1/2)



Eエリア D5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアD5タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.022
			$\beta \gamma$ 線	0.022
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.019
			$\beta \gamma$ 線	0.019
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.014		
	$\beta \gamma$ 線	0.014		
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	0.4%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

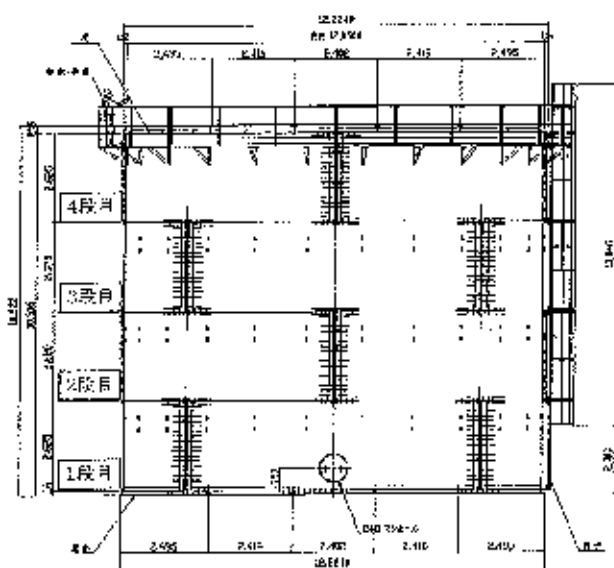
# 放射線管理記録

( 1/2 )

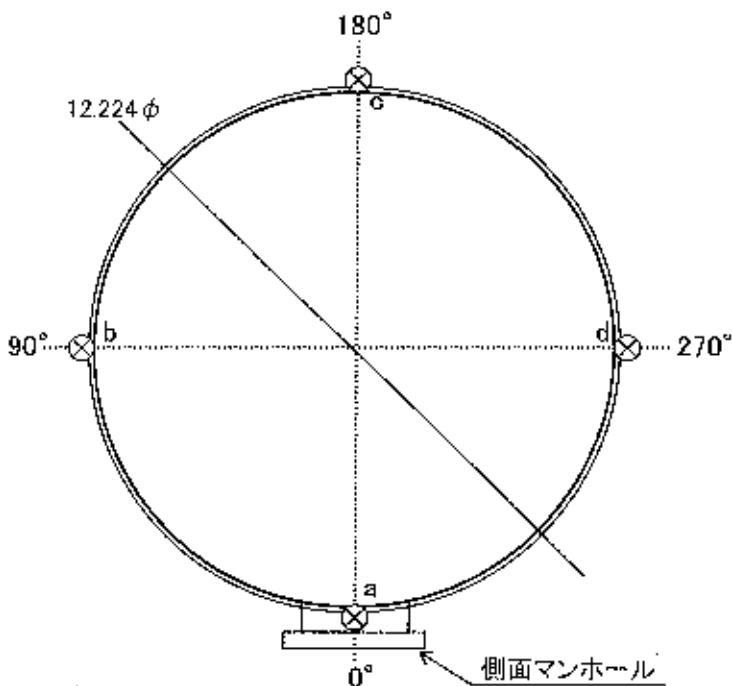
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ ( <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接 )
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-D6 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-310 F1-CWBL-6
測定日時	平成 28 年 3 月 15 日 8 時 50 分			区域区分	線量 - 1. 2. 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服: A, B1, B2, C ( <u>ゴム手袋</u> ) ( <u>タイベック</u> ) タラック ( <u>アラック</u> ) ( <u>上</u> ) ( <u>下</u> ) ( <u>マスク</u> ) ( <u>全面</u> ・ <u>フット</u> )

×: 空間線量当量率 ⊗: 表面線量当量率 ○: スミアポイント △: ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Eエリア D6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ イ ド	#/B	F	測定者
作業内容 (測定目的)		コ イ ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後
					防護装備
					線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック ソラック(上・下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアD6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D6	a (0° 側)	γ線	0.014
			β γ線	0.014
		b (90° 側)	γ線	0.016
			β γ線	0.022
		c (180° 側)	γ線	0.022
			β γ線	0.023
		d (270° 側)	γ線	0.020
			β γ線	0.035
	側面マンホール (最下部)	γ線	0.017	
		β γ線	0.017	
測定時間	8:50~9:00			
タンク内水位	0.5%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

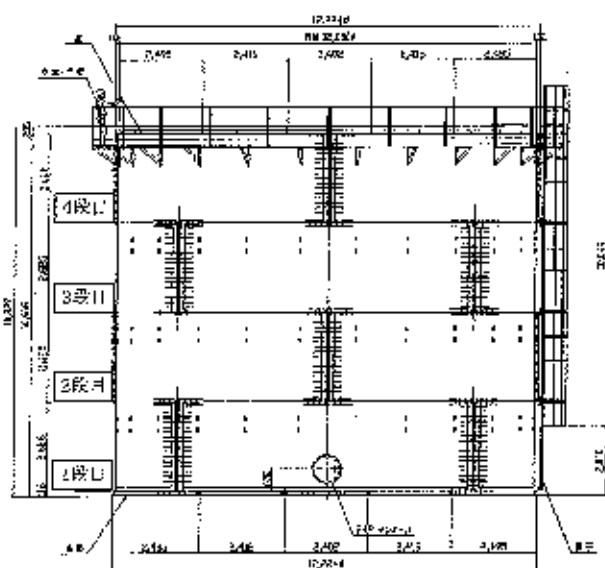
# 放射線管理記録

( 1/2 )

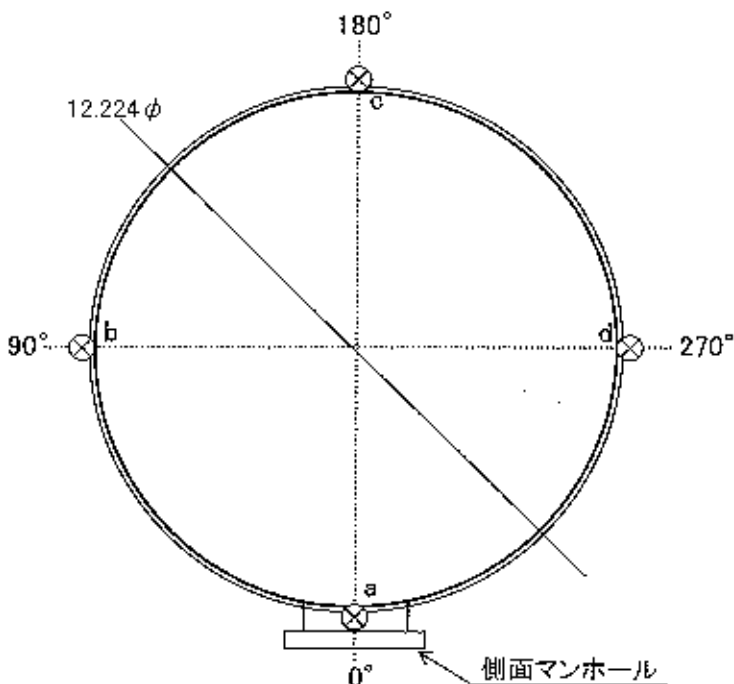
作業件名	1F 1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-D8 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-CW-310
					測定器	F1-CWBL-6
測定日時	平成 28 年 3 月 15 日 10 時 10 分				区域区分	線量・ 1, 2, 3 汚染・ A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイラック アラック (上) (下), マスク (全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク (目視検査用)



Eエリア D8タンク 平面図



側面マンホール

## ＜測定条件＞

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW 原子炉 停止後	日
				防護装備	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアD8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D8	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.014
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.014
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.021
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.025
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.007
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.013	
$\beta$ $\gamma$ 線		0.013		
測定時間	10:10~10:20			
タンク内水位	0.6%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

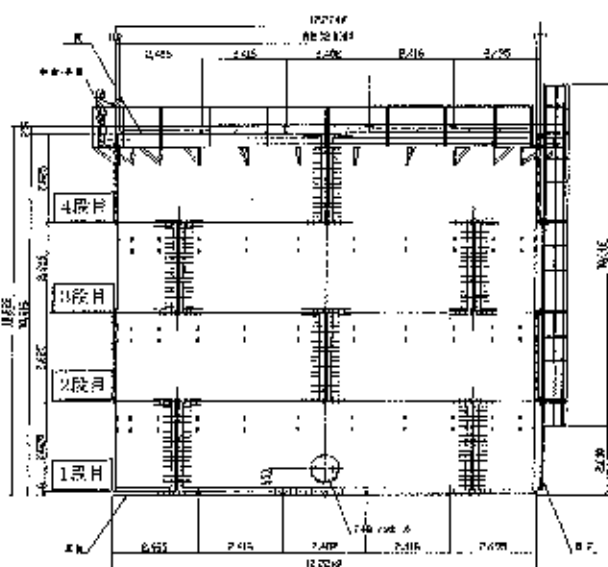
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

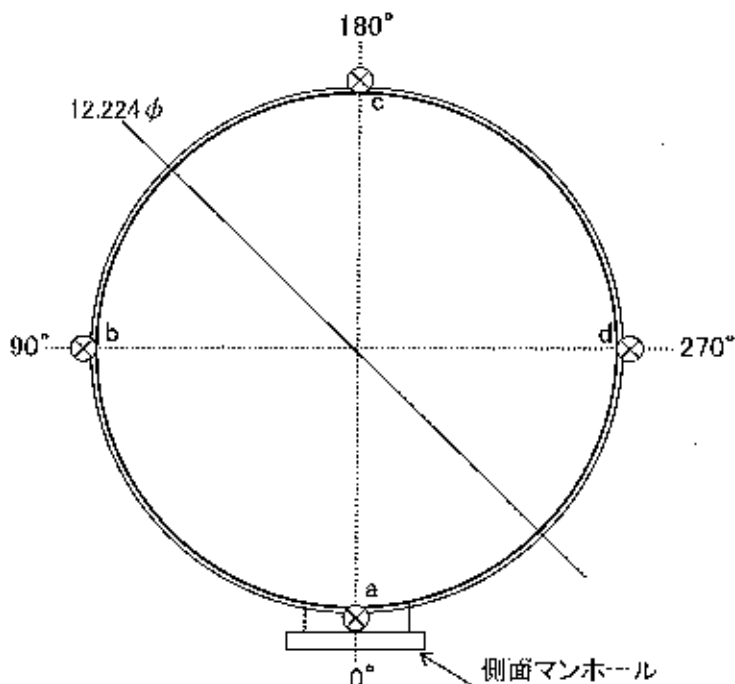
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> γ <input checked="" type="checkbox"/> β <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (E-D9 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-6
測定日時	平成28年3月15日 10時20分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アライズ(上, 下), マスク(全面・フード)

×: 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗: 表面線量当量率 (mSv/h)    ○: スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △: ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (1/2) (2/2)



Eエリア D9タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ ー ド	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コ ー ド			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

×: 空間線量当量率 ⊗: 表面線量当量率 ○: スミアポイント △: ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアD9タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D9	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.013
			$\beta \gamma$ 線	0.220
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.016
			$\beta \gamma$ 線	0.016
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.008
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.013	
$\beta \gamma$ 線		0.013		
測定時間	10:20~10:30			
タンク内水位	0.7%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細は P 4 3 7 検査記録参照

◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

## 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所 1~4号機

対象機器 Eエリア D9タンク

検査項目 目視検査

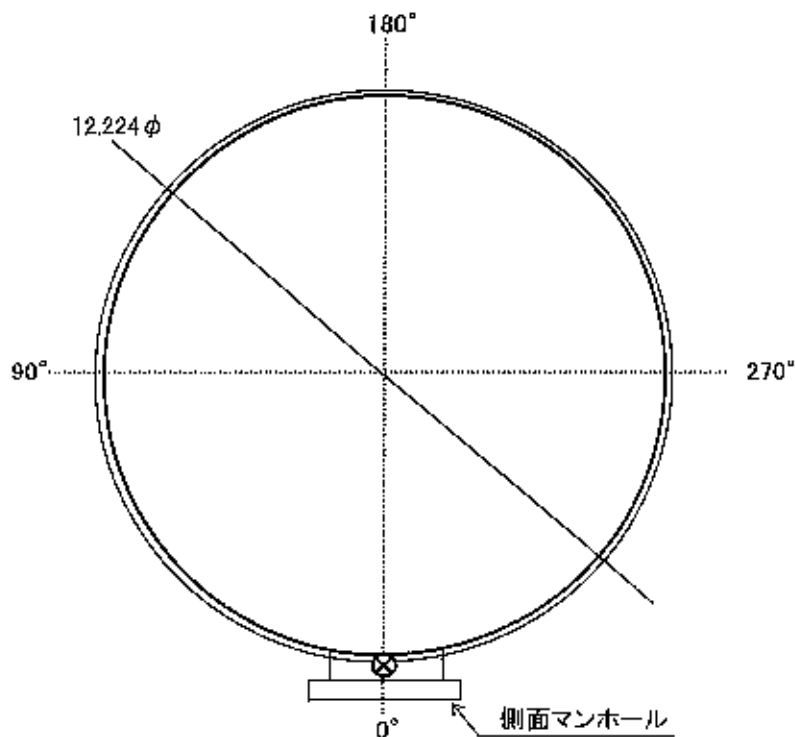
東京電力機  
記録確認者

QC 主技 担当

2016.3.17

2016.3.15 2016.3.15

Eエリア D9タンク 平面図



1段目下部フランジ拡大図(0° 付近)



測定器: リーシワ-310 F1-ICWBL-6

単位: mSv/h

No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	1段目下部フランジ(0° 付近)	0.013	0.22

タンク壘内: 水深0cm(側面マンホール前にて測定)

・タンク内: 水位0.6%

◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に濡れ、にじみ等は確認されなかった。

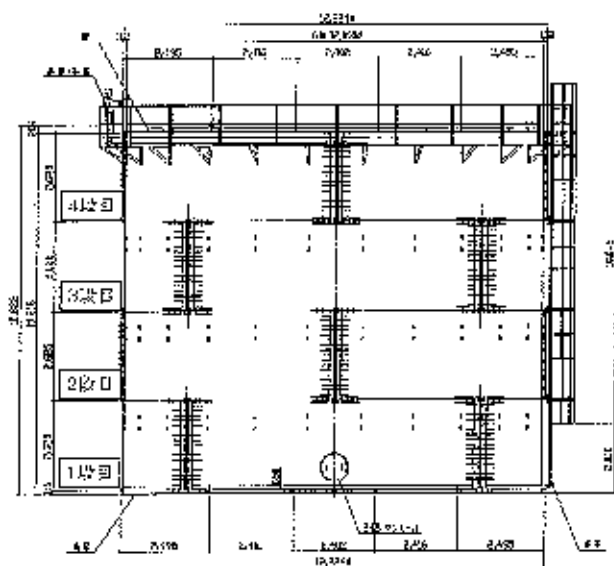
# 放射線管理記録

( 1/2 )

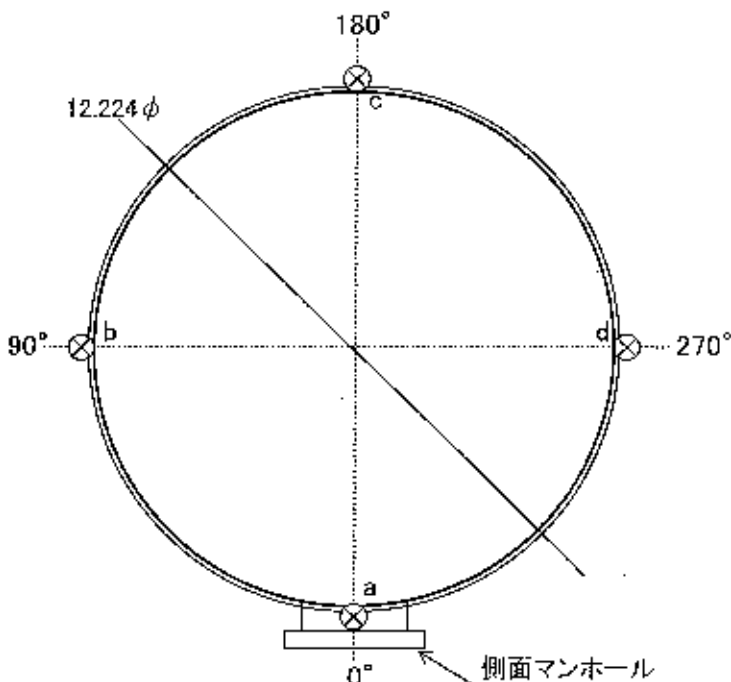
作業件名		1F-1~4号機・フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( E-D10 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-6
測定日時		平成 28 年 3 月 15 日 10 時 30 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック), タラック アノラック (E), (下), (マスク) (全商・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Eエリア D10タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日
防護装備				一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアD10タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D10	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.012
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.029
			$\beta \gamma$ 線	0.029
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.024
			$\beta \gamma$ 線	0.024
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.017
			$\beta \gamma$ 線	0.017
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.014		
	$\beta \gamma$ 線	0.015		
測定時間	10:30~10:40			
タンク内水位	0.4%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

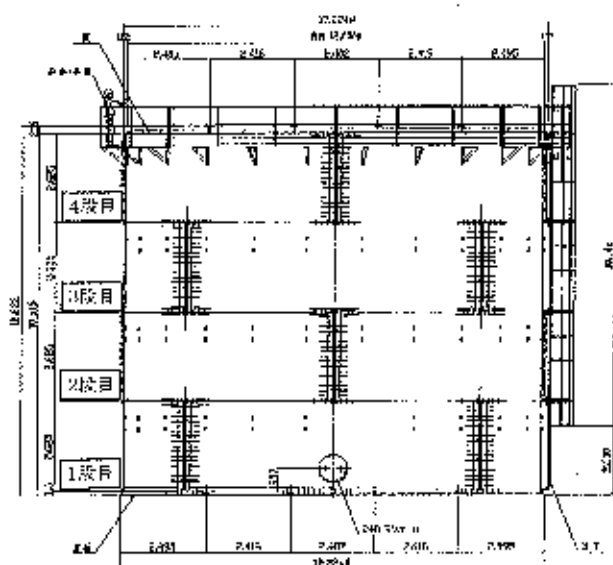
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

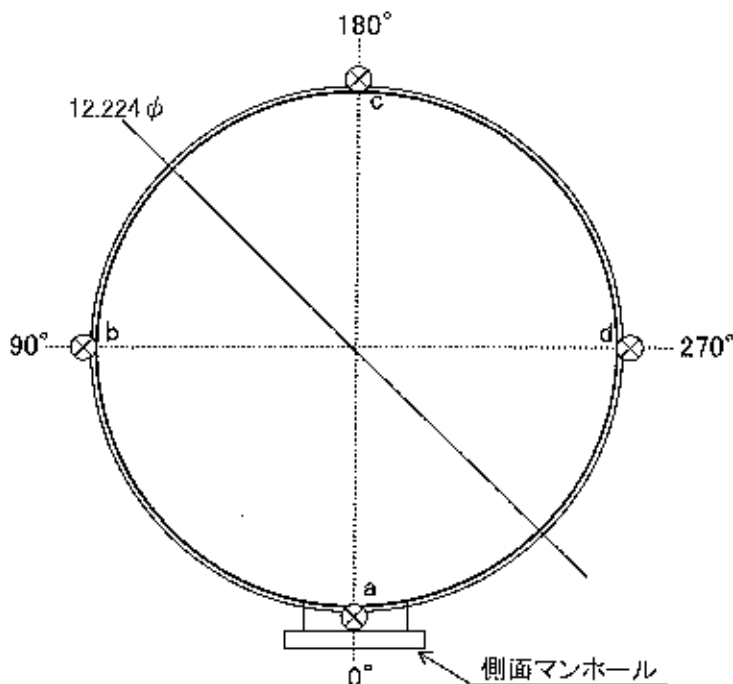
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 (E-D11 円筒フランジタンク、側面マンホール)				測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 3 月 15 日 8 時 30 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	B	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (ゴム手袋) (タイベック) (タイラック) (アノラック) (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 点検図



Eエリア D11タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアD11タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D11	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.021
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.020
			$\beta \gamma$ 線	0.020
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.017	
$\beta \gamma$ 線		0.017		
測定時間	8:30~8:40			
タンク内水位	0.5%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。



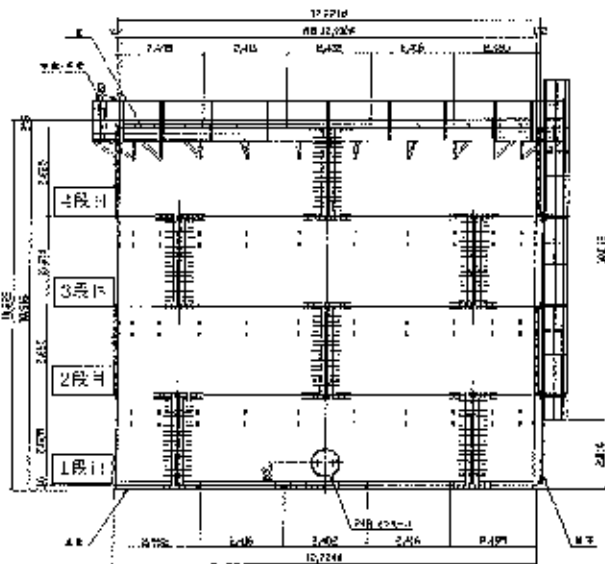
# 放射線管理記録

( 1/2 )

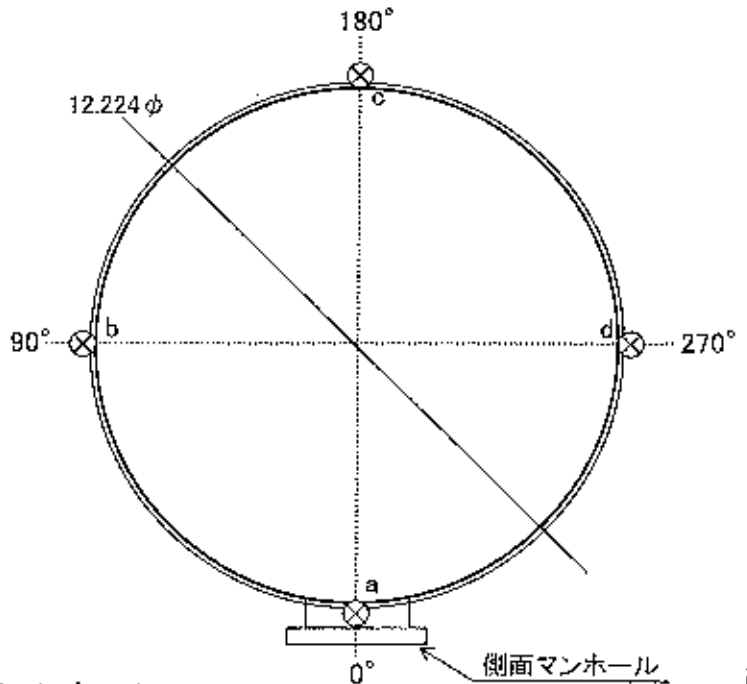
作業件名	1F・1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-D12 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-286 F1-CWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 8 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (手袋) (タイベック) (タイラック) (ノラック) (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 平面図 (mm)



Eエリア D12タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、  
ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目 <input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接				
測定場所					コード	#/B	F	L	測定者
作業内容 (測定目的)					コード				測定器
測定日時 平成 年 月 日 時 分					区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D				
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)			

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアD12タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	D12	a (0° 側)	γ 線	0.011
			β γ 線	0.011
		b (90° 側)	γ 線	0.019
			β γ 線	0.016
		c (180° 側)	γ 線	0.017
			β γ 線	0.020
		d (270° 側)	γ 線	0.025
			β γ 線	0.028
側面マンホール (最下部)	γ 線	0.010		
	β γ 線	0.013		
測定時間	8:00~8:15			
タンク内水位	0.4%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

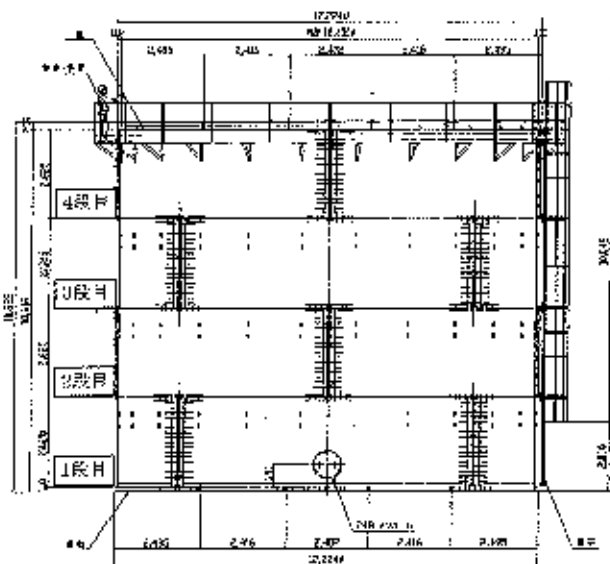
# 放射線管理記録

( 1/2 )

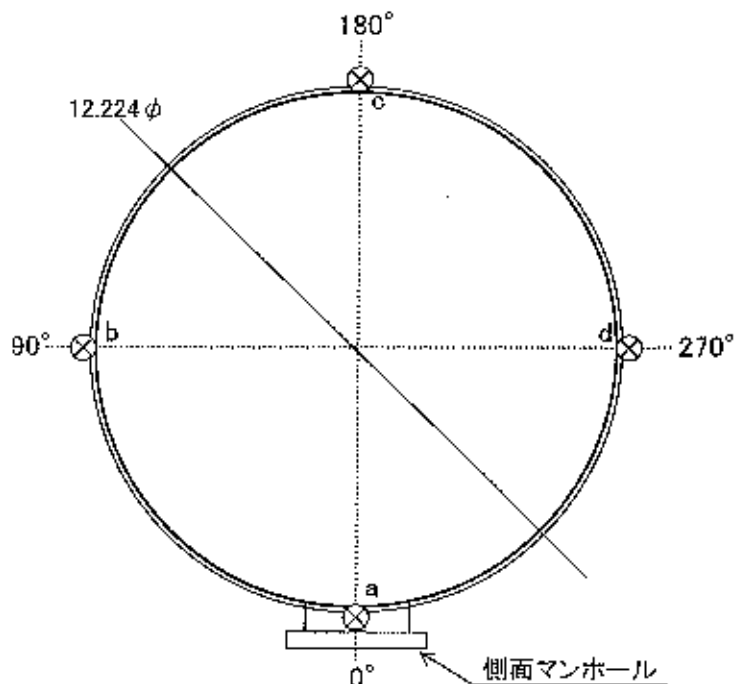
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-E1 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-CW-286
				測定器	F1-CWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 9 時 10 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名	RWA	電気	原子炉	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (1) 手袋 (2) タバック (3) タバック (4) フラック (5) (上) (下) (6) マスク (7) 全面・フード
コード	番号	出力	MW 停止後		

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 側面図 (cm)



Eエリア E1タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWB)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ	ト	測 定 者	
作業内容 (測定目的)		ト	測 定 器		
測定日時 平成 年 月 日 時 分		区域区分		線量・1, 2, 3 汚染… A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・7-4)

×：空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗：表面線量当量率 (mSv/h)    ○：スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △：ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアE1タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	E1	a (0° 側)	γ線	0.018
			β γ線	0.026
		b (90° 側)	γ線	0.140
			β γ線	0.140
		c (180° 側)	γ線	0.020
			β γ線	0.022
		d (270° 側)	γ線	0.014
			β γ線	0.014
側面マンホール (最下部)	γ線	0.024		
	β γ線	0.024		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	90.0%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの差異を確認しました。詳細はP446検査記録参照  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

## 検 査 記 録

発電所名 東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所 1～4号機

対象機器 Eエリア E1タンク

検査項目 目視検査

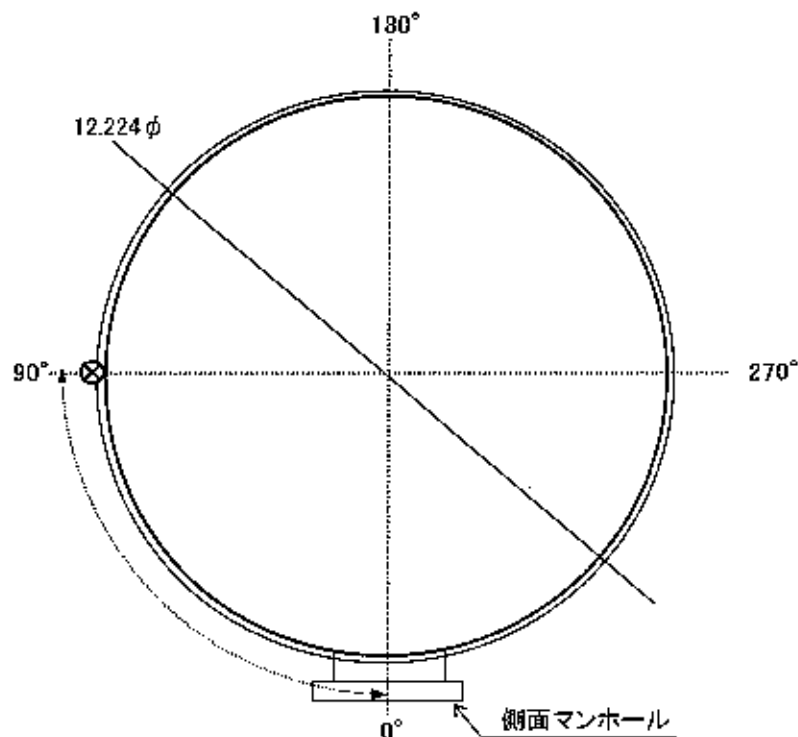
東京電力㈱  
記録確認者

QC 主技担当

2016.3.17

2016.3.15 2016.3.15

Eエリア E1タンク 平面図



1段目下部フランジ拡大図(90° 付近)



測定器: リーコW-286 F1-ICWBL-62

単位: mSv/h

No.	採取箇所	γ線	βγ線
①	1段目下部フランジ(90° 付近)	0.14	0.14

タンク堰内: 水深0cm(側面マンホール前にて測定)

・タンク内: 水位90.0%

◎表示線量率が顕著に上昇している箇所を発見したが、表面上に濡れ、にじみ等は確認されなかった。

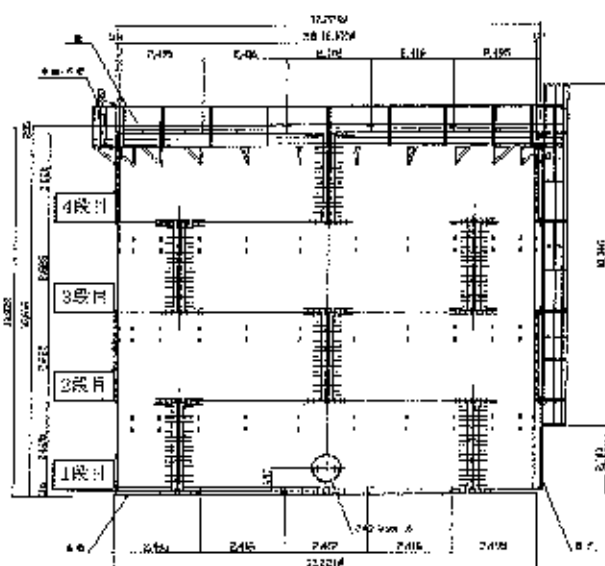
# 放射線管理記録

( 1/2 )

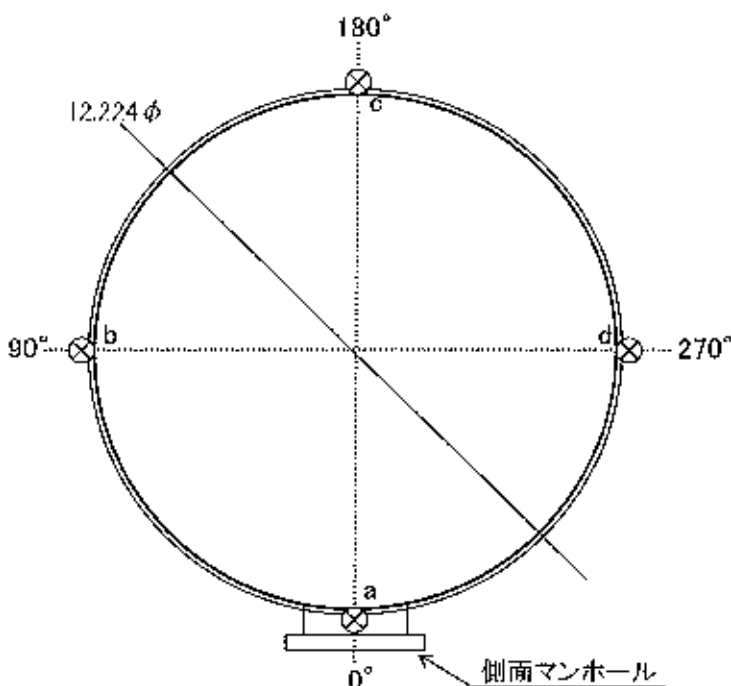
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 ( E-E2 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-28G F1-ICWBL-62
測定日時	平成 28 年 3 月 14 日 9 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上), (下), マスク(全面・フット)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (mm)



Eエリア E2タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>コ ン タ イ ナ ー</div> <div>中 心 部</div> <div>上 部</div> </div>				測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タラック アブソルブ(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>)

△ : ダストポイント  
(Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアE2タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	E2	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.010
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.019
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.019
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.018
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.018
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta$ $\gamma$ 線	0.010
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.009	
$\beta$ $\gamma$ 線		0.010		
測定時間	9:00~9:10			
タンク内水位	90.2%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

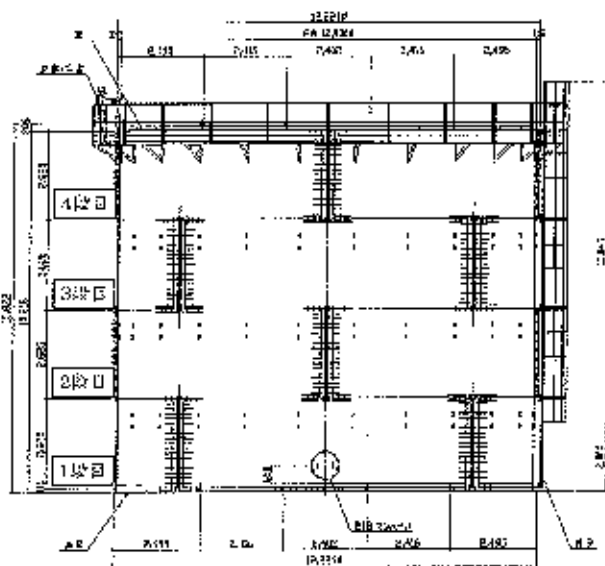
# 放射線管理記録

( 1/2 )

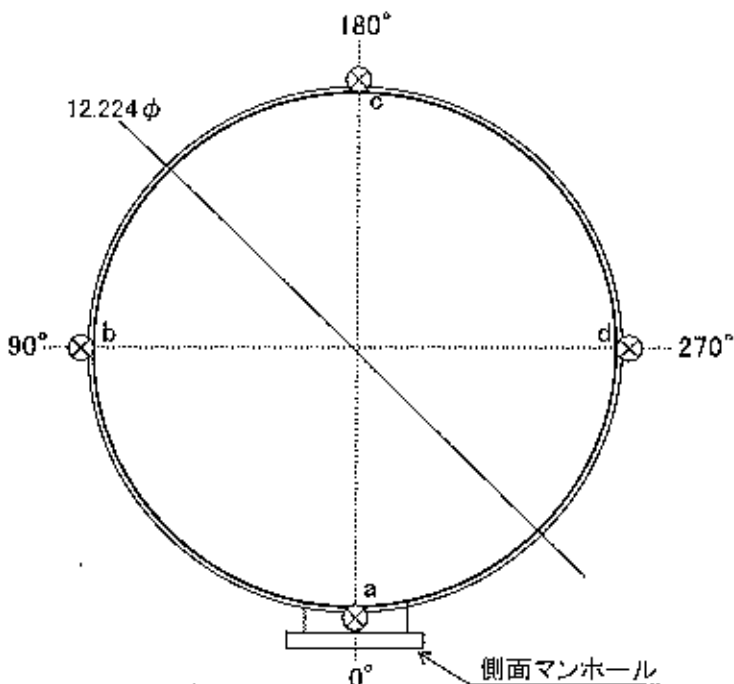
作業件名	1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-3 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 3 月 15 日 9 時 10 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (タイベック) タイベック アフラック (上) (下) (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

コ型タンク 平面図 (mm単位)



Eエリア E3タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

{ 2/2 }

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コ	中	FL	測定者
作業内容 (測定目的)		コ	中	FL	測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分 線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	防護装備 一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アラック(上・下), マスク(全面・フード)

X : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアE3タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

単位: (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	E3	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.011
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.007		
	$\beta \gamma$ 線	0.008		
測定時間	9:10~9:20			
タンク内水位	90.1%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

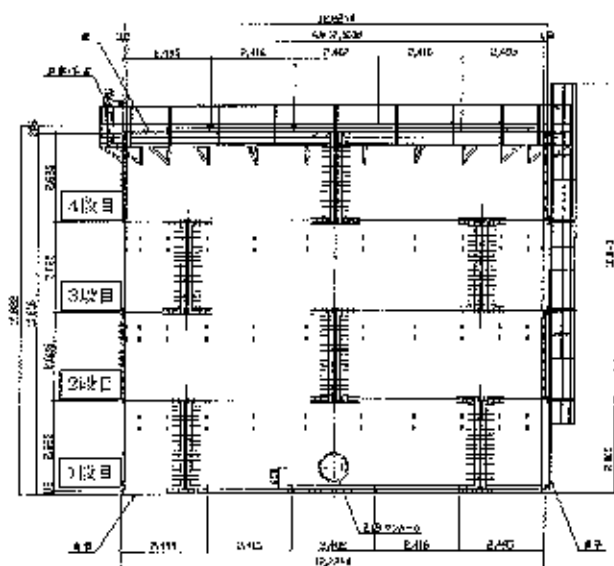
# 放射線管理記録

( 1/2 )

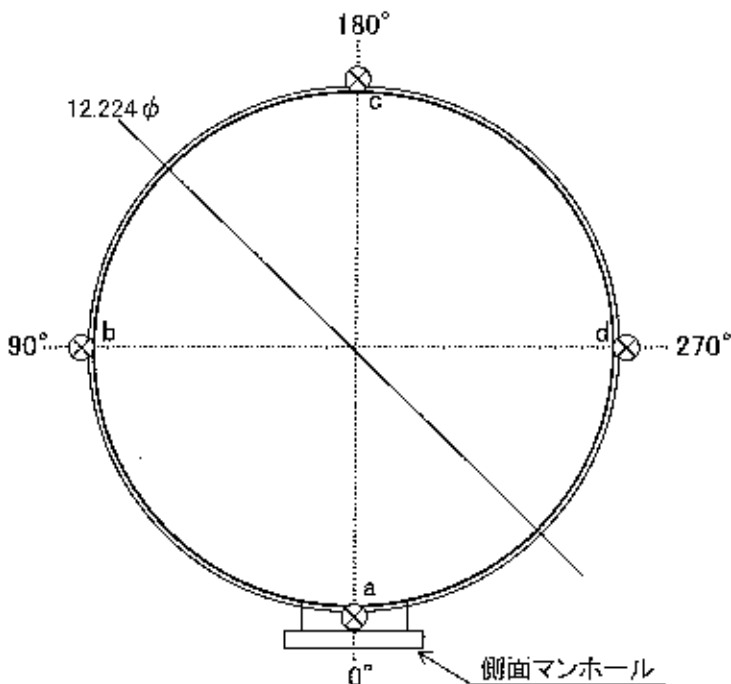
作業件名		1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 ( E E4 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-6
測定日時		平成 28 年 3 月 15 日 9 時 40 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (1人平袋) (タイベック) タイラック (アラック) (上) (下), (マスク) (全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位: mm)



Eエリア E4タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		測定者			
作業内容 (測定目的)		測定器			
測定日時		区域区分		線電 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
防護装備		防護装備		一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タバック, タイヤック アフラック(上・下), マスク(全面・フード)	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアE4タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	E4	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.011
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.006
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.007	
$\beta \gamma$ 線		0.009		
測定時間	9:40~9:50			
タンク内水位	90.2%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

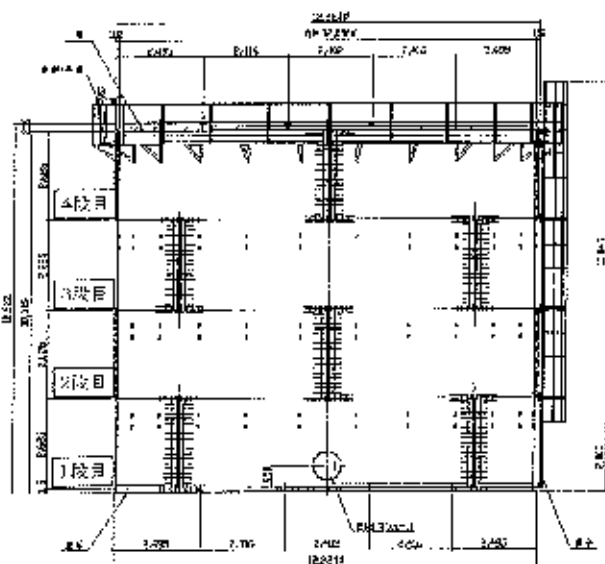
# 放射線管理記録

( 1/2 )

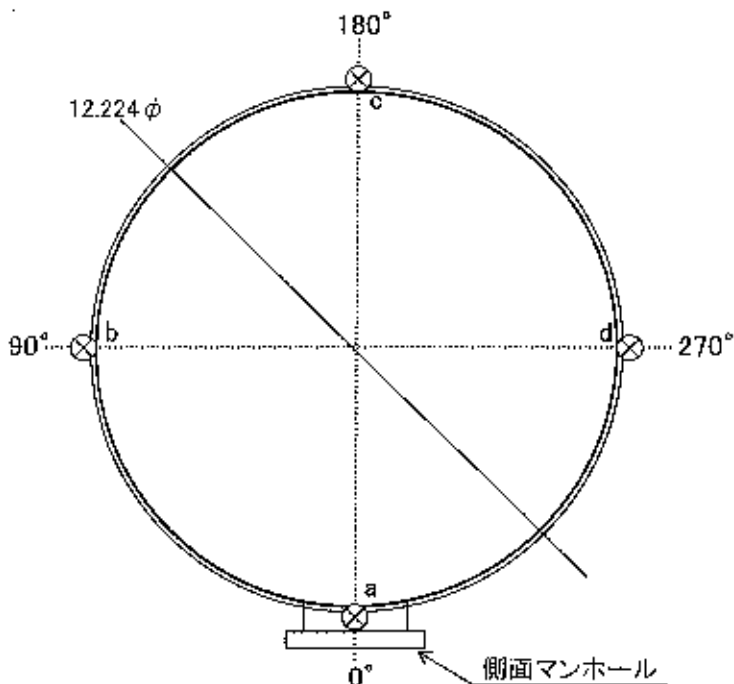
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア				測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E・E5 円筒フランジタンク、側面マンホール )				測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 3 月 15 日 9 時 30 分				区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋 (上) (下), マスク (全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 平面図



Eエリア E5タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時  
も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input checked="" type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック フラック(上・下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアE5タンク堰内線量率測定結果

単位 (mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	E5	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.011
			$\beta \gamma$ 線	0.013
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.007
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.006
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.006	
		$\beta \gamma$ 線	0.007	
測定時間	9:30~9:40			
タンク内水位	90.3%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

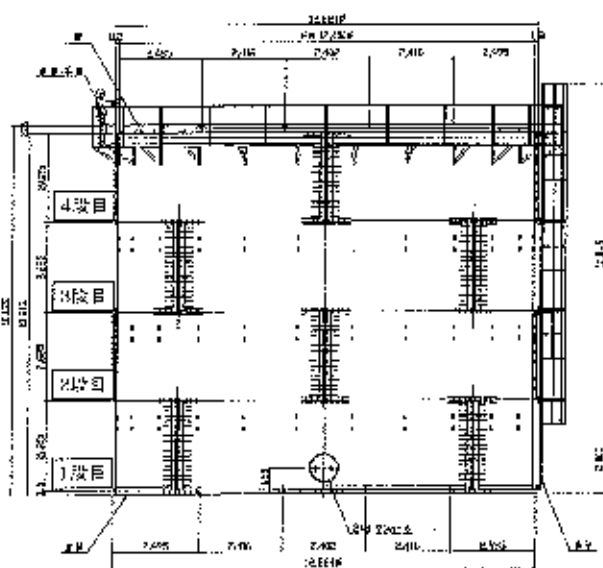
# 放射線管理記録

[ 1/2 ]

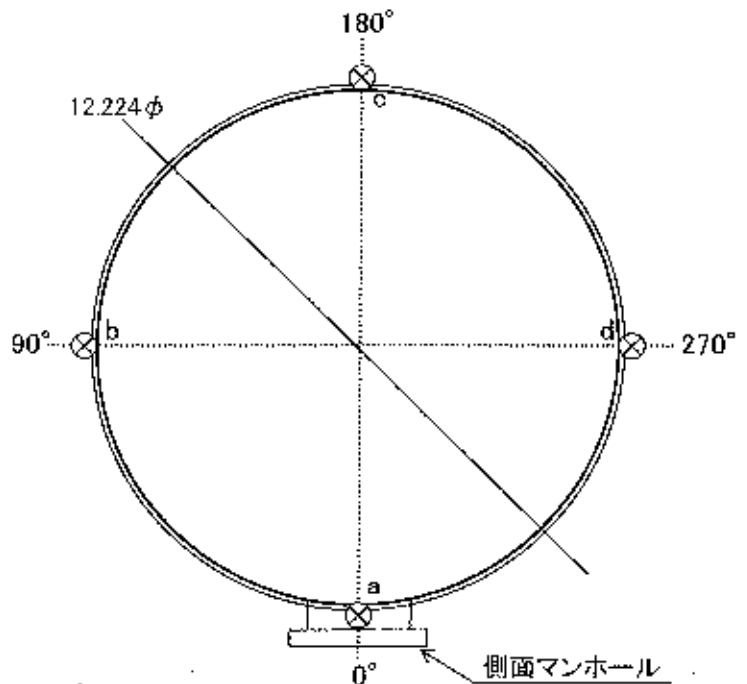
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	線量率測定、目視検査 (E-6円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	リ-ICW-310 FI-ICWBL-6
測定日時	平成28年3月15日 9時20分			区域区分	線量 1, 2, 3 汚染 A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上), (下), マスク(全面・フット)

×：空間線量当量率 ⊗：表面線量当量率 ○：スミアポイント △：ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

円型タンク E6平面図



Eエリア E6タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所					測定者	
作業内容 (測定目的)					測定器	
測定日時	平成	年	月	日	時	分
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日	
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タラック アラック(上・下), マスク(全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアE6タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	E6	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.008
			$\beta \gamma$ 線	0.008
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.015
			$\beta \gamma$ 線	0.015
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.006
			$\beta \gamma$ 線	0.006
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.011
	側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.009	
$\beta \gamma$ 線		0.010		
測定時間	9:20~9:30			
タンク内水位	90.1%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。

◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

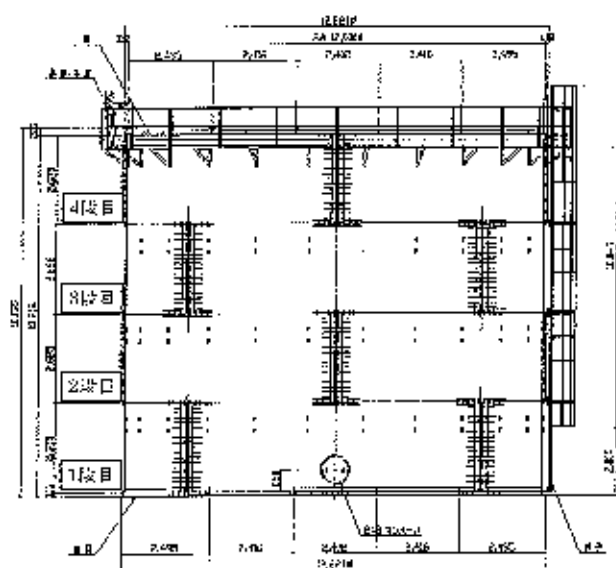
# 放射線管理記録

{ 1/2 }

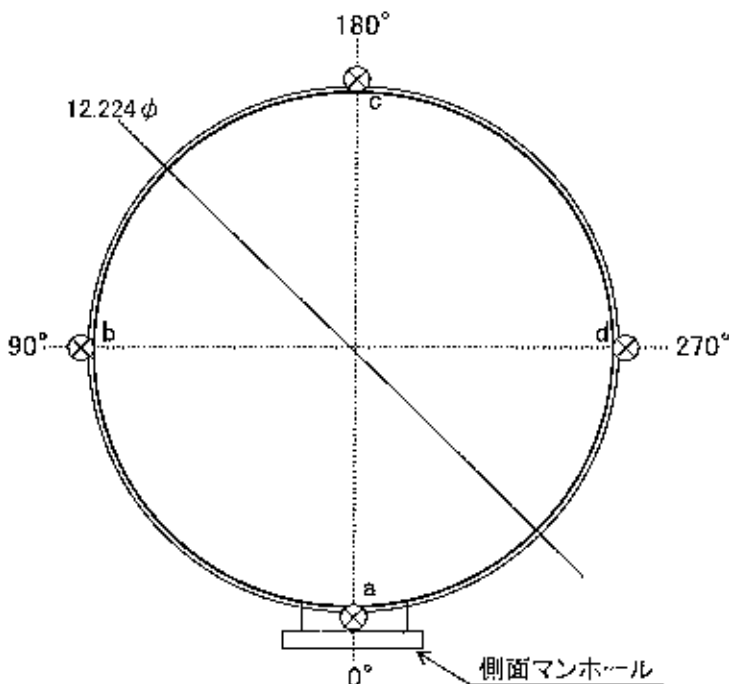
作業件名		1F-1~4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所		Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)		・線量率測定、目視検査 (E-E7 円筒フランジタンク、側面マンホール)			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-6
測定日時		平成 28 年 3 月 15 日 9 時 50 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	日	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイベック, タイラック アフラック(上, 下), マスク(全面・フード)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)

円筒タンク 立面図 (単位:mm)



Eエリア E7タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。



# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名					測定項目	<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所					測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器		
測定日時	平成	年	月	日	時	分	
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	MW	原子炉 停止後	日		
					区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D	
					防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C ゴム手袋, タイバック, タイラック アフラック(上・下), マスク(全面・2-4)	

× : 空間線量当量率 ⊗ : 表面線量当量率 ○ : スミアポイント △ : ダストポイント  
(mSv/h) (mSv/h) (Bq/cm<sup>2</sup>) (Bq/cm<sup>2</sup>)

## EエリアE7タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	E7	a (0° 側)	$\gamma$ 線	0.007
			$\beta \gamma$ 線	0.010
		b (90° 側)	$\gamma$ 線	0.009
			$\beta \gamma$ 線	0.009
		c (180° 側)	$\gamma$ 線	0.010
			$\beta \gamma$ 線	0.012
		d (270° 側)	$\gamma$ 線	0.005
			$\beta \gamma$ 線	0.006
側面マンホール (最下部)	$\gamma$ 線	0.009		
	$\beta \gamma$ 線	0.010		
測定時間	9:50~10:00			
タンク内水位	90.2%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。

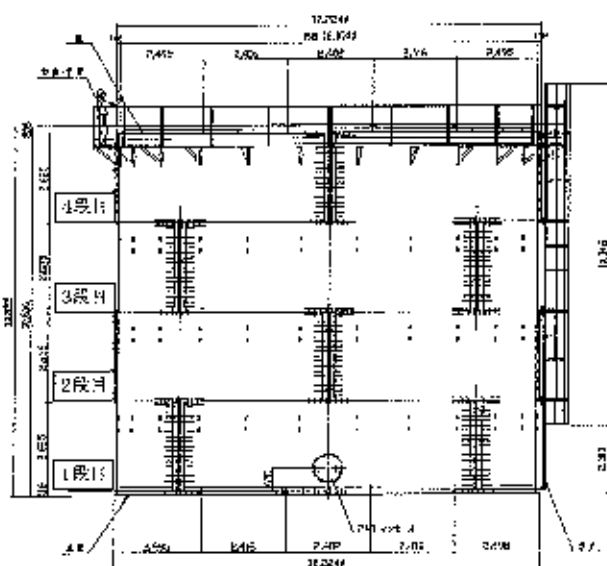
# 放射線管理記録

( 1/2 )

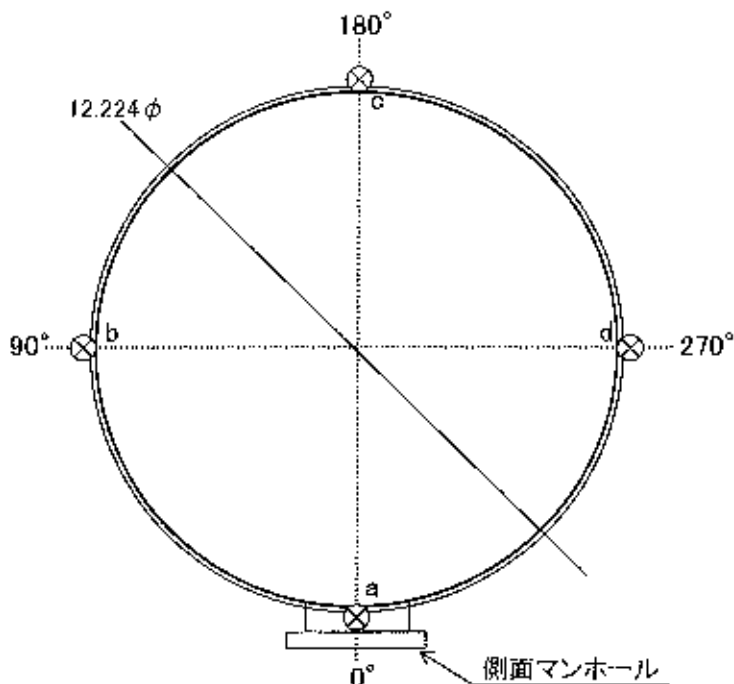
作業件名	1F-1～4号機 フランジタンク点検保守委託			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input type="checkbox"/> GM直接
測定場所	Eエリア			測定者	
作業内容 (測定目的)	・線量率測定、目視検査 ( E-E8 円筒フランジタンク、側面マンホール )			測定器	リ-ICW-310 F1-ICWBL-6
測定日時	平成 28 年 3 月 15 日 10 時 00 分			区域区分	線量 - 1, 2, 3 汚染 - A, B1, B2, C, D
件名 コード	RWA 番号	電気 出力	原子炉 停止後	防護装備	一般作業服, A, B1, B2, C (JAL手袋) (タイベック) (タイラック) (アラック) (上) (下) (マスク) (全面・フット)

× : 空間線量当量率 (mSv/h)    ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)    ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)    △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

円筒タンク 立面図 (cm単位)



Eエリア E8タンク 平面図



側面マンホール

## 《測定条件》

雨天時の測定器(ICW, ICWBL)損傷防止のため、ビニール袋(0.03mm)で養生実施。  
また、同じ環境条件で測定するために、晴天時も養生実施。



◎ タンクの線量率測定結果の詳細は(2/2)次紙参照。

# 放射線管理記録

( 2/2 )

作業件名		測定項目		<input type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta$ <input type="checkbox"/> ダスト <input checked="" type="checkbox"/> GM直接	
測定場所		コード	#/B	F L	測定者
作業内容 (測定目的)		コード			測定器
測定日時		平成 年 月 日 時 分		区域区分	
件名 コード		RWA 番号	電気 出力	MW 原子炉 停止後	日
				防護装備	

× : 空間線量当量率 (mSv/h)   
 ⊗ : 表面線量当量率 (mSv/h)   
 ○ : スミアポイント (Bq/cm<sup>2</sup>)   
 △ : ダストポイント (Bq/cm<sup>3</sup>)

## EエリアE8タンク堰内線量率測定結果

単位(mSv/h)

エリア	タンクNo	測定ポイント	線種	表面
E	E8	a (0° 側)	γ線	0.008
			β γ線	0.008
		b (90° 側)	γ線	0.010
			β γ線	0.011
		c (180° 側)	γ線	0.010
			β γ線	0.010
		d (270° 側)	γ線	0.005
			β γ線	0.006
側面マンホール (最下部)	γ線	0.009		
	β γ線	0.010		
測定時間	10:00~10:10			
タンク内水位	90.0%			
タンク堰内水深	0cm(側面マンホール前にて測定)			

- ◎ 1段目下部フランジ(全周)、側面マンホール(全周)の線量を測定し、バックグラウンドとの大きな差異は確認されなかった。  
 ◎ 放射線管理記録には0° 90° 180° 270° 側面マンホール(最下部)を記載しました。